

行橋市高齢者実態調査 報告書

令和5年3月

行 橋 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計と回収状況	1
3. 調査結果利用上の注意	2
第2章 調査結果の概要	3
1. 回答者の基本属性	3
2. 健康状態や健康づくり・介護予防等について	7
3. 社会参加や生きがいづくりについて	8
4. 日常生活等、地域での支え合いについて	8
5. 住まいについて	10
6. 介護保険サービス、施設サービス等について	10
7. 在宅医療や在宅介護について	11
8. 介護保険制度や高齢者福祉制度全般について	12
9. 家族等介護者について（在宅要介護認定者用調査）	14
第3章 一般高齢者用調査	16
1. 回答者の基本属性	16
2. 健康について	19
3. 介護予防について	24
4. 認知症について	29
5. 社会参加や生きがいづくりについて	32
6. 日常生活上の不安や困りごとについて	44
7. 地域での支えあいについて	48
8. 住まいについて	52
9. 在宅医療や介護等について	56
10. 高齢者福祉制度全般について	61

第4章 在宅要介護認定者用調査	66
1. 回答者の基本属性	66
2. 介護保険サービスについて	74
3. 介護保険制度について	84
4. 在宅医療について	89
5. 日常生活上等について	91
6. 住まいについて	99
7. 高齢者福祉施策全般について	103
8. 主な介護者の基本属性	105
9. 主な介護者の勤務形態について	109
10. 介護について	114
第5章 施設・居住系サービス利用者用調査	123
1. 回答者の基本属性	123
2. 今後の介護希望について	127
3. 施設等でのサービスについて	129
4. 介護保険制度について	134
5. 高齢者福祉施策全般について	138
参考資料	140
1. 一般高齢者用調査票	140
2. 在宅要介護認定者用調査票	152
3. 施設・居住系サービス利用者用調査票	167

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和5年度に実施する「行橋市老人保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しのための基礎資料として、高齢者の健康状態や福祉・介護に対する考え方等を把握するために実施した。

2. 調査の設計と回収状況

	一般高齢者用 調査	在宅要介護認定者用 調査	施設・居住系サービス 利用者用調査
調査対象者	要介護認定を受けていない第1号被保険者 (65歳以上)	在宅で生活している 要介護認定者	介護保険施設や居住系 サービスを利用している 要介護認定者
抽出方法	無作為抽出	無作為抽出	無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収
対象抽出数	1,800人	2,600人	600人
送付数	1,800人	2,600人	600人
回収数 (回収率)	1,094人 (60.8%)	1,286人 (49.5%)	253人 (42.2%)
有効回収数 (有効回収率)※	1,086人 (60.3%)	889人 (34.2%)	146人 (24.3%)
調査期間	令和4年12月23日～1月13日		

※ 有効回収率は、回収数から調査不能者数（調査時に病院へ入院中、施設へ入所中、転居・転出、死亡等の理由により実質的な回答ができなかった者）を除いた数。

3. 調査結果利用上の注意

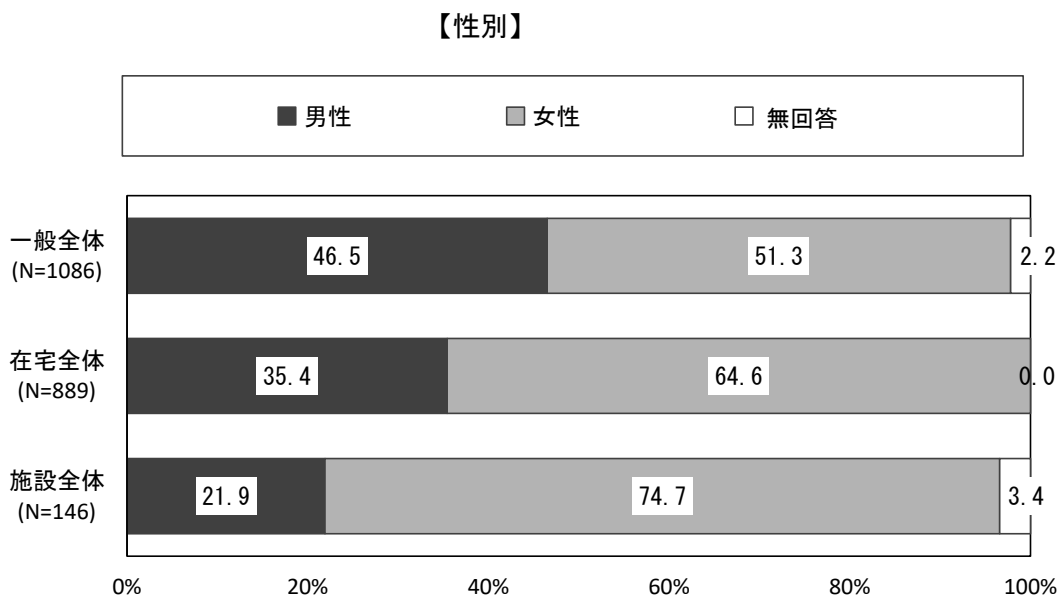
- 各調査結果については、原則として、各質問の調査数を基数（N）とした百分率（%）で表している。なお、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100.0%にならない場合がある。また、2つ以上の選択肢を選択できる複数回答の質問では、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- 本文または図表中に引用した質問文や選択肢は省略して表記している場合があるため、詳細は巻末「参考資料」中の「調査票」参照。
- クロス集計の表側に使用する「性別」「圏域別」「居住地区別」等の基本属性では、副問（サブクエスチョン）等の回答者が限定される質問もあるため、図表中の表側項目の調査数を合計しても、必ずしも調査の有効回収数にならない場合がある。
- クロス集計結果等において、基数（N）となる調査数が概ね30人未満と少数のものについては、参考までに数値を見るにとどめ、結果の利用には注意を要する。

第2章 調査結果の概要

1. 回答者の基本属性

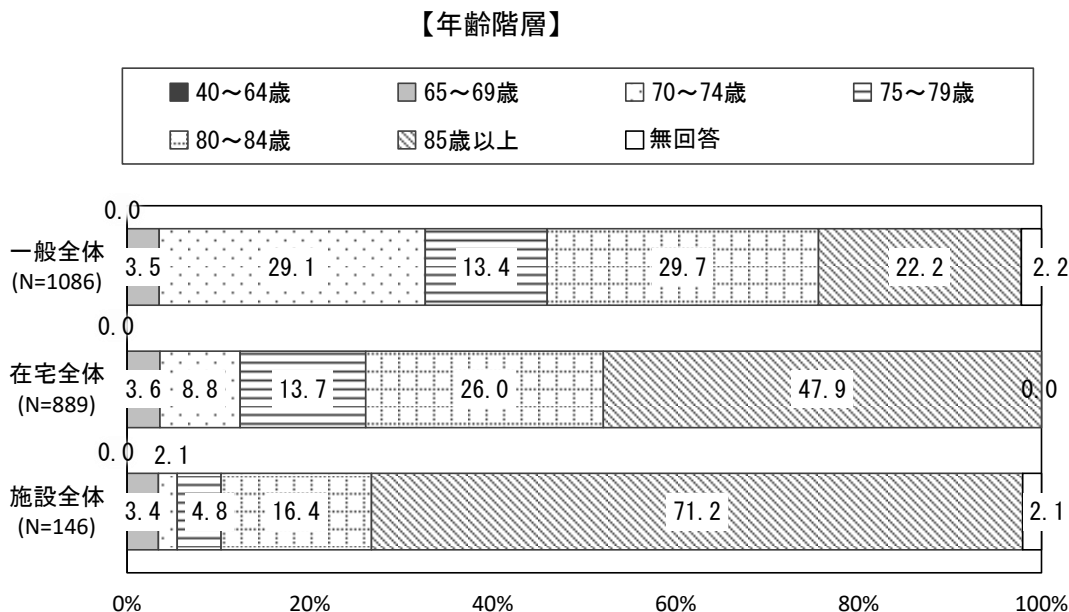
(1) 性別

- 一般高齢者、在宅要介護認定者、施設・居住系サービス利用者のいずれにおいても「女性」が過半数を占め、男性を上回っている。特に、施設・居住系サービス利用者の74.7%が「女性」と高くなっている。



(2) 年齢

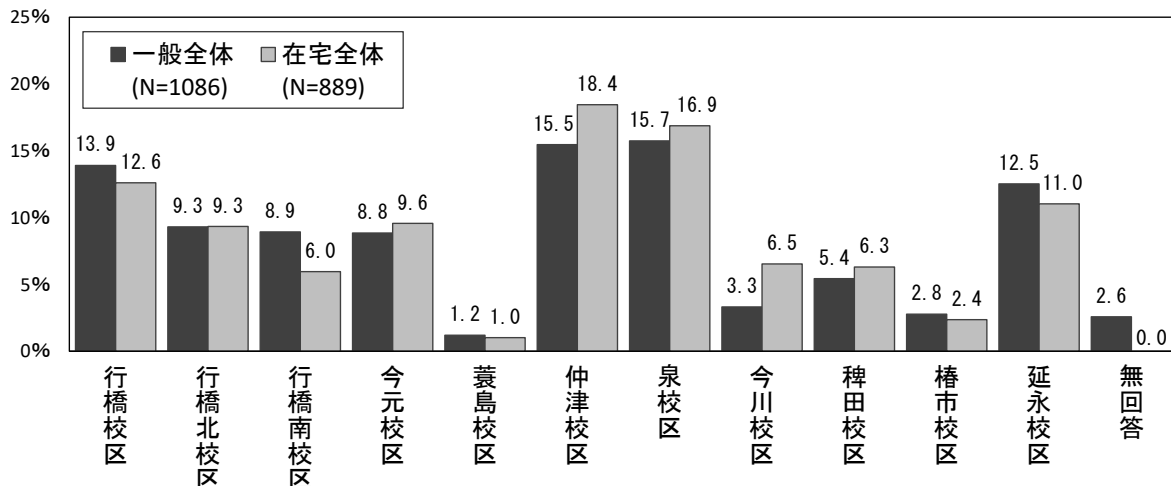
- 一般高齢者では、75歳以上の後期高齢者が65.3%と半数を占めている。
- 在宅要介護認定者、施設・居住系サービス利用者は、75歳以上の後期高齢者が大多数を占めており、在宅要介護認定者では87.6%、施設・居住系サービス利用者では92.4%となっている。



(3) 居住地区（小学校区・圏域）

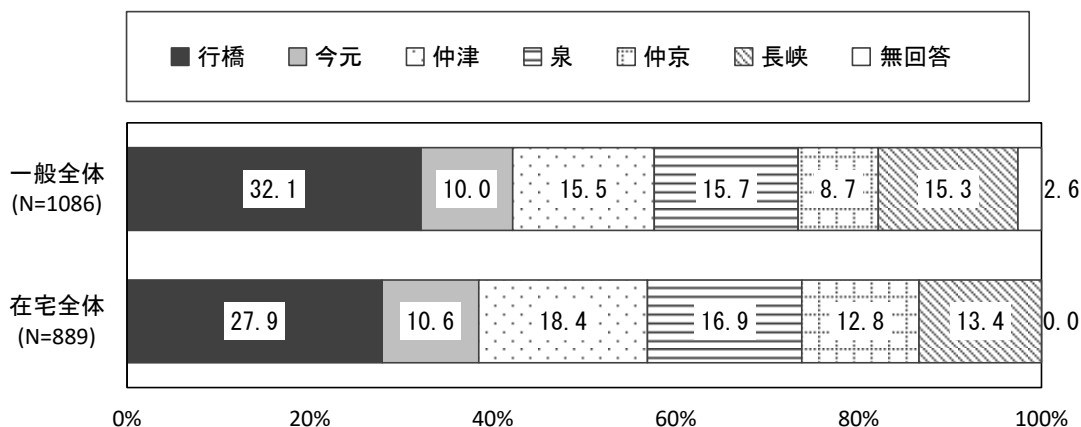
- 小学校区別で見ると、一般高齢者では「泉校区」（15.7%）、「仲津校区」（15.5%）、「行橋校区」（13.9%）、「延永校区」（12.5%）の順に高い。（※回答者の選択に基づく構成比）
- 在宅要介護認定者では「仲津校区」（18.4%）、「泉校区」（16.9%）、「行橋校区」（12.6%）、「延永校区」（11.0%）の順に高い。（※被保険者情報に基づく構成比）

【小学校区】



- 圏域別で見ると、一般高齢者では「行橋（行橋校区、行橋北校区、行橋南校区）」（32.1%）、「泉（泉校区）」（15.7%）、「仲津（仲津校区）」（15.5%）の順に高い。
- 在宅要介護認定者では「行橋（行橋校区、行橋北校区、行橋南校区）」（27.9%）、「仲津（仲津校区）」（18.4%）、「泉（泉校区）」（16.9%）の順に高い。

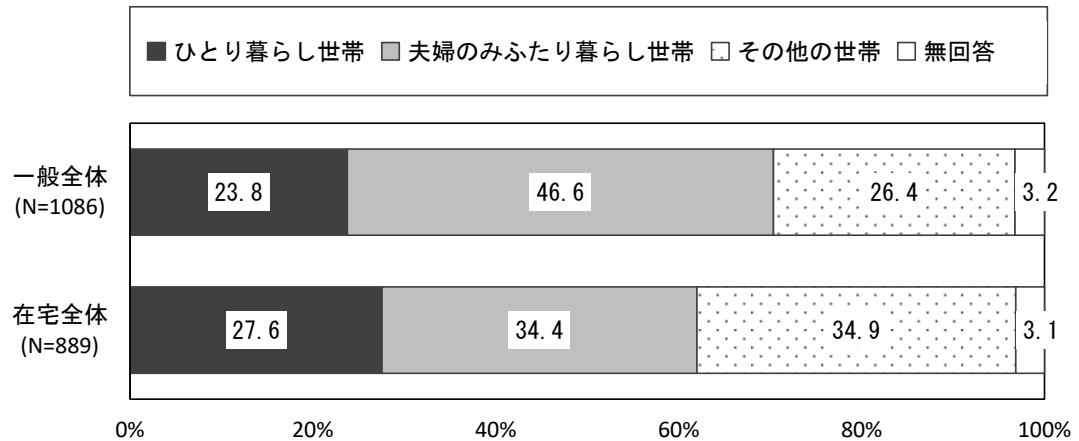
【圏域】



(4) 世帯構成

- 一般高齢者では「夫婦のみふたり暮らし世帯」(46.6%)、在宅要介護認定者では「その他の世帯」(34.9%) がそれぞれ最も高くなっている。「夫婦ふたり暮らし世帯」は、一般高齢者が在宅要介護認定者より高く、「ひとり暮らし世帯」は在宅要介護認定者が一般高齢者より高い。

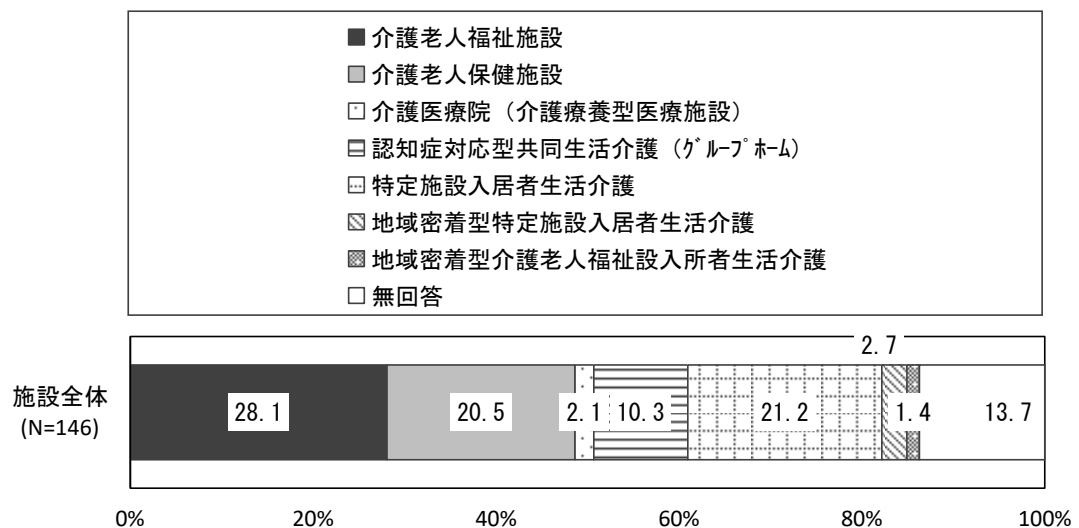
【世帯構成】



(5) 入所・入居施設の種類の種類

- 施設・居住系サービス利用者では「介護老人福祉施設」が 28.1%と最も高く、次いで「特定施設入居者生活介護」(21.2%)、「介護老人保健施設」(20.5%)、「認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)」(10.3%) の順に高くなっている。

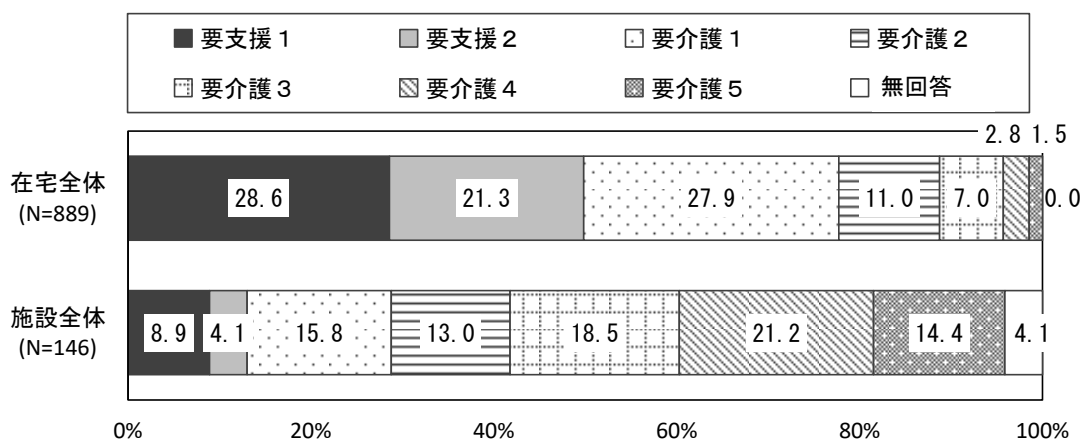
【入所・入居施設の種類の種類】



(6) 要介護度

- 在宅要介護認定者では「要支援1」が28.6%と最も高く、次いで「要介護1」(27.9%)、「要支援2」(21.3%)の順に高い。
- 施設・居住系サービス利用者では「要介護4」が21.2%と最も高く、次いで「要介護3」(18.5%)、「要介護1」(15.8%)の順に高く、中重度の認定者は54.1%となっている。
- 在宅要介護認定者では要支援1・2の要支援認定者が49.9%と半数を占めているが、施設・居住系サービス利用者では要介護1以上の要介護認定者が82.9%を占めている。

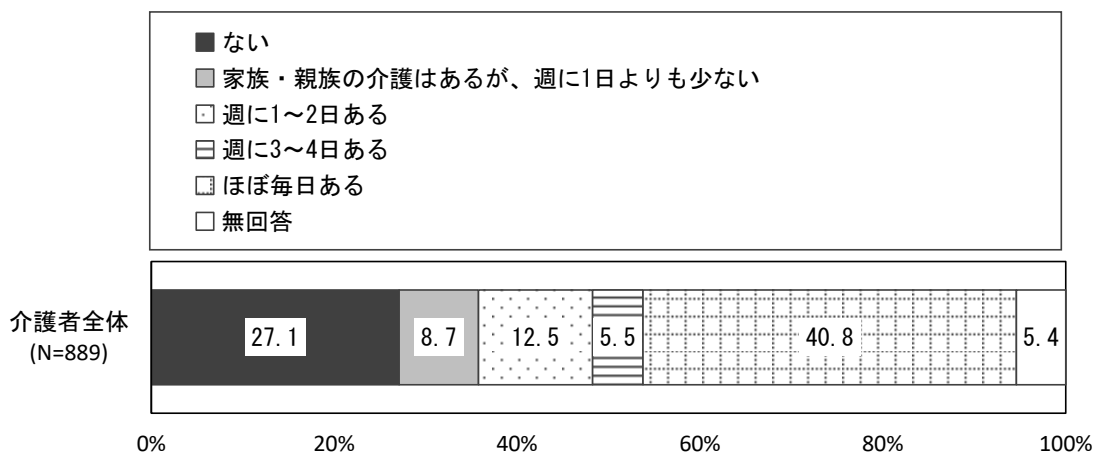
【要介護度】



(7) 家族・親族等からの介護の頻度

- 在宅要介護認定者の家族・親族等からの介護は「ほぼ毎日ある」が40.8%と最も高く、次いで「ない」(27.1%)、「週に1～2日ある」(12.5%)の順に高く、「週に1～2日ある」から「ほぼ毎日ある」を合わせた『週に1日以上』が58.8%を占めている。

【家族・親族等からの介護の頻度】



2. 健康状態や健康づくり・介護予防等について

(1) 健康状態について

- 現在抱えている怪我、病気について、一般高齢者では「高血圧」(48.7%)、在宅要介護認定者では「その他」(22.0%)、施設・居住系サービス利用者では「認知症」(50.7%)がそれぞれ最も高い。
- 一般高齢者、在宅要介護認定者において「骨粗しょう症、脊柱管狭窄症」が上位にあがっている。

【抱えている怪我や病気】

	一般高齢者 (N=1,086)	在宅要介護認定者 (N=889)	施設・居住系サービス (N=146)
1位	高血圧 (48.7%)	その他 (22.0%)	認知症 (50.7%)
2位	目の病気 (18.0%)	骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等 (21.4%)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等) (21.2%)
3位	筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)	認知症 (20.5%)	糖尿病 (19.2%)
4位	特にな (同率 13.6%)	心臓病 (18.7%)	骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等
5位	心臓病 (13.0%)	糖尿病 (17.0%)	その他 (同率 18.5%)

(2) 介護予防について

- 一般高齢者が健康づくりや介護予防のために、日常生活の中で取り組んでいることは「歩く(散歩や買い物等)」が57.7%と最も高く、次いで「食事の栄養バランスに気をつける」(51.2%)、「規則正しい生活をする」(50.8%)、「十分な休養や睡眠をとる」(45.2%)となっており、「特に取り組んでいない」は5.3%に留まっている。
- 一般高齢者が健康づくりや介護予防で関心があることは「がん・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予防について」「認知症の予防について」が44.8%と最も高く、次いで「膝痛や腰痛の改善・予防のための運動等について」(44.5%)、「転倒・骨折予防について」(33.0%)、「運動等による体力づくりや肥満の予防について」(27.3%)の順に高くなっている。

(3) 認知症について

- 一般高齢者の認知症に関する知識については、認知症はふだんから頭を使うことで予防できると思うかについて「予防できると思う」が60.9%、認知症はふだんから運動をすることで予防できると思うかについて「予防できると思う」が50.5%となっている。また、早期治療が必要な病気であると思うかについて「そう思う」が76.5%となっている。
- 一般高齢者が認知症について関心があることは「認知症の予防」が70.3%と最も高く、次いで「認知症の医学的な情報」(36.3%)、「認知症の介護のしかた」(31.9%)の順に高い。

3. 社会参加や生きがいづくりについて

(1) 地域活動について

- 一般高齢者の地域活動への参加は「参加していない」が46.4%となっており、参加している人の活動内容は「町内会・自治会」が18.4%と最も高く、次いで「趣味のサークル・団体」(15.8%)、「老人クラブ」(14.8%)、「いきいきサロン」(14.0%)、「健康・スポーツのサークル・団体」(13.6%)の順に高く、その他の活動については10%未満となっている。また、「参加していない」と回答した人の理由は、「一人の方が気楽だから」が37.1%と最も高く、次いで「体力に自信がないから」(25.0%)、「家庭の事情(家事や仕事等)で時間がとれないから」(20.6%)の順に高くなっている。
- 一般高齢者が今後やりたいことは「特にない」は6.7%に留まっており、やりたいことの内容は「家に閉じこもらないでできるだけ外にでること」が50.4%と最も高く、次いで「これまでの友人や知人と交流すること」(43.1%)、「家族と一緒に過ごすこと」(32.1%)、「個人や家族でスポーツや趣味・娯楽を楽しむこと」(27.5%)、「サークル活動等で、スポーツや趣味・娯楽を楽しむこと」(21.5%)の順に高くなっている。

(2) 働くことについて

- 一般高齢者では現在「働いている」が19.5%となっており、働いている人の職業は「パート・アルバイト等(シルバー人材センターへの登録等含む)」が30.2%と最も高く、次いで「農林漁業自営」(17.5%)、「家事専業」「その他」(13.2%)の順に高い。
- 一般高齢者で現在働いていない人の14.4%が今後働きたいと考えており、働く際に重視する条件は「体力的に負担が軽い仕事であること」が47.5%と最も高く、次いで「勤務時間が希望と合うこと」(23.7%)、「経験が活かせる仕事であること」(22.9%)の順に高い。また、希望する業種は「製造業」(11.0%)や「農林漁業」(10.2%)、「保育・子ども子育て支援関連事業」(6.8%)が高い。

4. 日常生活等、地域での支え合いについて

(1) 日常生活上の不安や困りごと

- 日常生活上の不安や困りごとは、一般高齢者・在宅要介護認定者ともに「健康や病気、介護」が最も高い。また、「急病などの緊急時の対応」も共通して上位にあがっている。在宅要介護認定者では「買い物」や「外出」、「家事」など、日頃の生活に欠かせない動作や活動に不安や困りごとを抱えている人が多い。

【日常生活上の不安や困りごと】

	一般高齢者 (N=1,086)	在宅要介護認定者 (N=889)
1位	健康や病気、介護 (37.7%)	健康や病気、介護 (40.8%)
2位	急病などの緊急時の対応 (24.5%)	買い物 (32.8%)
3位	庭の手入れ (19.6%)	外出 (手段、送迎、付き添い等) (27.4%)
4位	買い物 (16.6%)	急病などの緊急時の対応 (27.1%)
5位	高齢者のみの生活 (13.8%)	家事 (掃除・洗濯・ごみ出し等) (26.2%)

- 日常生活上の不安や困りごとの相談相手・機関は、一般高齢者・在宅要介護認定者ともに「家族や親族」や「かかりつけ医の医師・看護師等」が高くなっている。また、在宅要介護認定者では「ケアマネジャー」が38.0%と2番目に高い。

(2) 在宅要介護認定者への支援・サービスについて

- 在宅要介護認定者の介護保険サービス以外の支援・サービスの利用について、「特に利用していない」が52.3%となっており、利用している人の支援・サービスは「配食」(11.7%)、「外出同行 (通院、買い物など)」(10.7%)、「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」(10.1%)、「ごみ出し」(9.0%)、「買い物」(7.8%)が上位にあがっている。
- 不安や困りごとがある在宅要介護認定者のうち、身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいことは「庭の手入れ」が11.7%と最も高く、次いで「健康や病気、介護」(11.5%)、「高齢者のみの生活」(10.6%)、「災害時の手助け (情報伝達・避難・消火等)」(10.4%)、「家事 (掃除・洗濯・ごみ出し等)」(8.2%)が上位にあがっている。

(3) 地域での支え合いについて

- 一般高齢者が、日常生活で支援が必要になった場合に身近な地域の人にしてほしい支援は「急病などの緊急時の手助け」が36.9%と最も高く、次いで「買い物」(28.5%)、「災害時の手助け」(28.2%)の順に高い。
- 一般高齢者が、とより近所の人に対してできる支援は「定期的な声かけや見守り」が34.3%と最も高く、次いで「ごみ出し」(33.1%)、「急病などの緊急時の手助け」(22.8%)の順に高い。

【地域の人にしてもらいたい支援、できる支援】 (一般高齢者(N=1,086))

	身近な地域の人にしてほしいこと	近所の高齢者や障がいのある人にできる支援
1位	急病などの緊急時の手助け (36.9%)	定期的な声かけや見守り (34.3%)
2位	買い物 (28.5%)	ごみ出し (33.1%)
3位	災害時の手助け (28.2%)	急病などの緊急時の手助け (22.8%)
4位	外出時の送迎 (28.0%)	災害時の手助け (20.5%)
5位	庭の手入れ (22.6%)	買い物 (20.0%)

5. 住まいについて

(1) 住居に関する不便さや困りごと

- 住居に関する不便さや困りごとは、「特にない」が一般高齢者では46.7%、在宅要介護認定者では42.6%となっている。一般高齢者・在宅要介護認定者ともに「維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）」「バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）」「古くなって安全性に不安がある」が上位にあがっている。

【住居の困りごと】

	一般高齢者 (N=1,086)	在宅要介護認定者 (N=889)
1位	維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）(24.3%)	バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）(26.4%)
2位	バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）(19.4%)	維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）(24.7%)
3位	古くなって安全性に不安がある (15.1%)	古くなって安全性に不安がある (16.4%)

- 住んでいる環境・地域に関する不便さや困りごとは、「特にない」が一般高齢者では35.5%、在宅要介護認定者では34.2%となっている。一般高齢者・在宅要介護認定者ともに「交通の便が悪い」が最も高く、次いで「商業施設が近くにない（銀行、スーパー等）」「役所等の公共機関が近くにない」の順に高くなっている。

【環境・地域の困りごと】

	一般高齢者 (N=1,086)	在宅要介護認定者 (N=889)
1位	交通の便が悪い (31.1%)	交通の便が悪い (35.5%)
2位	商業施設が近くにない（銀行、スーパー等）(29.6%)	商業施設が近くにない（銀行、スーパー等）(35.1%)
3位	役所等の公共機関が近くにない (23.9%)	役所等の公共機関が近くにない (30.5%)

6. 介護保険サービス、施設サービス等について

(1) 介護保険サービスの利用について

- 在宅要介護認定者では、住宅改修、福祉用具貸与、購入以外の介護保険サービスを利用している人が76.6%となっており、利用したことにより、「穏やかに毎日を過ごせている」(40.4%)や「日々の生活の中に楽しみが増えた」(26.0%)等の効果を感じている。
- 介護保険サービスを利用している在宅要介護認定者のうち、介護保険サービスの利用満足度は「まあ満足」が35.4%と最も高く、「満足」(30.7%)を合わせた『満足』が66.1%と高くなっている。また、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は3.8%となっており、不満の理由について57.7%が「サービスの量（回数や時間）が足りない」と回答している。
- 在宅要介護認定者では、現在の介護保険サービス利用の有無に関わらず、今後利用したい（利用し続けたい）在宅サービスは「福祉用具貸与（レンタル）・購入」(36.9%)、「通所リハビリテーション」(32.8%)、「訪問介護（生活援助中心）」(22.5%)、「通所介護」(17.2%)、「訪問介護（身体的介護中心）」(16.8%)が上位にあがっている。

(2) 施設サービスの利用について

- 施設・居住系サービス利用者が施設等に入所している期間は「5年以上」が24.0%と最も高く、次いで「2～3年未満」(16.4%)、「6か月～1年未満」(15.1%)となっており、『2年以上』が53.4%と高くを占めている。
- 施設・居住系サービス利用者の施設サービスの利用満足度は「まあ満足」が37.7%と最も高く、「満足」(24.0%)を合わせた『満足』が61.7%と高くなっている。また、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は4.1%となっている。

7. 在宅医療や在宅介護について

(1) 在宅医療について

- 一般高齢者では在宅医療サービスについて「どれも知らない」は19.1%に留まっており、知っているサービス内容は「訪問看護」(57.6%)や「通所リハビリテーション(デイケア)」(51.7%)、「訪問診療」(43.9%)が高い。
- 在宅要介護認定者が利用している在宅医療サービスは「通所リハビリテーション(デイケア)」が34.4%と最も高い。また、在宅医療サービスが必要となった理由(状態、病気、処置)について「その他」(23.7%)が最も高く、その内容は筋力や歩行能力の低下となっている。次いで「認知症」(14.5%)、「脳梗塞などの後遺症」(10.4%)となっており、「たんの吸引」「腹膜透析・人工透析」「在宅酸素」等の高度な医療処置を必要とする人は2%以下となっている。

(2) 今後の介護希望について

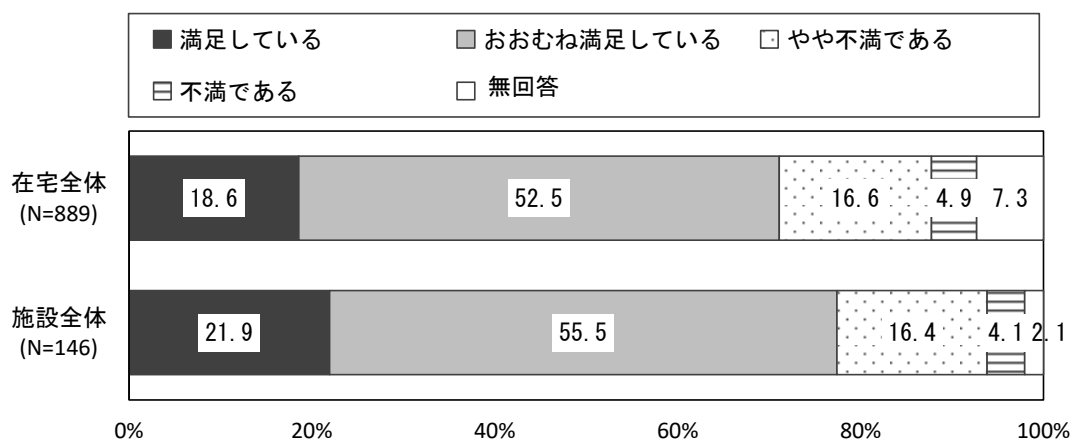
- 一般高齢者では、将来、自分自身に介護が必要になった場合、希望する介護は「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい」が28.1%と最も高く、これに「自宅で家族だけで介護してほしい」(8.6%)と「自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい」(13.8%)を合わせた『在宅希望』が50.5%と半数を超えている。
- 一般高齢者では、人生の最期をどこで迎えたいかについて「自宅」が59.8%と半数を占め、次いで「病院等の医療施設(ホスピスや緩和ケア病棟含む)」(19.6%)となっている。
- 施設・居住系サービス利用者が今後希望する介護は「現在のグループホーム・特定施設等(居住系サービス)で引き続き生活したい」が41.8%と最も高く、これに「現在の介護保険施設に引き続き入所したい」(35.6%)を合わせた77.4%が現在入所中の施設等への継続入所を希望している。

8. 介護保険制度や高齢者福祉制度全般について

(1) 介護保険制度について

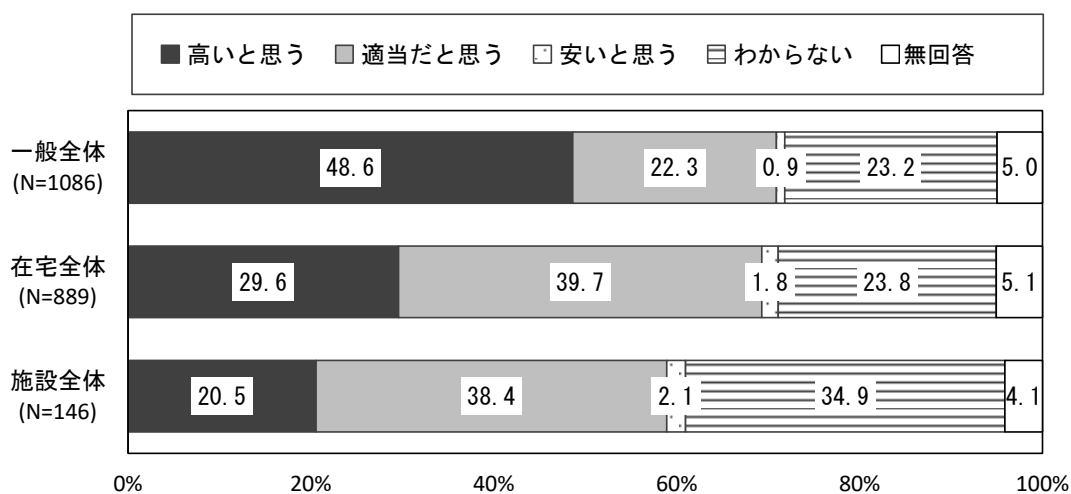
- 介護保険制度の満足度では、在宅要介護認定者、施設・居住系サービス利用者ともに、「おおむね満足している」が過半数を占めて最も高い。また、「満足している」と「おおむね満足している」を合わせた『満足』は、在宅要介護認定者、施設・居住系サービス利用者ともに70%以上を占めている。

【介護保険制度の満足度】



- 介護保険料と介護サービスのあり方について、施設・居住系サービスでは、一般高齢者や在宅要介護認定者に比べて「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」が28.8%とやや高い。
- 介護保険料の負担感は、一般高齢者では「高いと思う」が48.6%と半数程度を占めているが、実際に介護保険サービスを利用している在宅要介護認定者や施設・居住系サービス利用者では「適当だと思う」が最も高くなっている。

【介護保険料の負担感】



(2) 高齢者施策について

- 高齢者に対する施策や支援で特に大切だと思うものは、一般高齢者、施設・居住系サービス利用者のいずれにおいても「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」「高齢者に配慮したまちづくり」が上位にあがっている。

【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの】

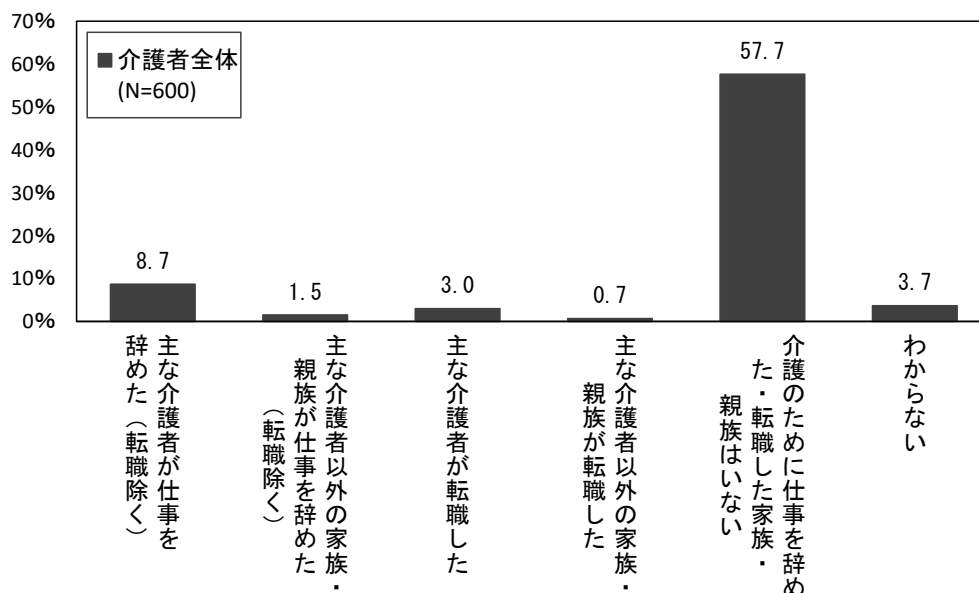
	一般高齢者 (N=1,086)	在宅要介護認定者 (N=899)	施設・居住系サービス (N=146)
1位	ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援 (43.2%)	日中、施設に通うサービスの充実 (デイサービスなど) (31.8%)	ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援 (42.5%)
2位	高齢者に配慮したまちづくり (交通機関、道路、建物などのバリアフリー化) (40.5%)	自宅を訪問するサービスの充実 (ホームヘルプサービスなど) (27.2%)	介護保険施設等の施設サービスの充実 (39.0%)
3位	自宅を訪問するサービスの充実 (ホームヘルプサービスなど) (40.1%)	介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策 (27.1%)	介護保険施設等の施設サービスの充実 (34.2%)
4位	介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策 (32.9%)	高齢者に配慮したまちづくり (交通機関、道路、建物などのバリアフリー化) (27.0%)	認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援 (30.8%)
5位	日中、施設に通うサービスの充実 (デイサービスなど) (29.0%)	ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援 (25.1%)	高齢者に配慮したまちづくり (交通機関、道路、建物などのバリアフリー化) (24.7%)

9. 家族等介護者について（在宅要介護認定者用調査）

（1）主な介護者について

- 在宅要介護認定者を介護されているご家族やご親族等について、調査対象者との続柄は、「子」（47.7%）や「配偶者」（33.7%）で81.4%を占める。
- 主な介護者の性別は「女性」が61.7%、「男性」が31.0%となっている。
- 主な介護者の年齢は「60歳代」（26.8%）、「70歳代」（22.0%）、「80歳以上」（20.0%）、「50歳代」（17.5%）の順に高い。
- 調査対象者と主な介護者は「同居」が63.2%と多くを占め、「別居（行橋市内）」が18.3%、「別居（行橋市外）」が11.2%となっている。
- 調査対象者の介護を主な理由として、過去1年間に離職・転職した家族・親族について「主な介護者が仕事を辞めた」が8.7%、「主な介護者が転職した」が3.0%となっている。

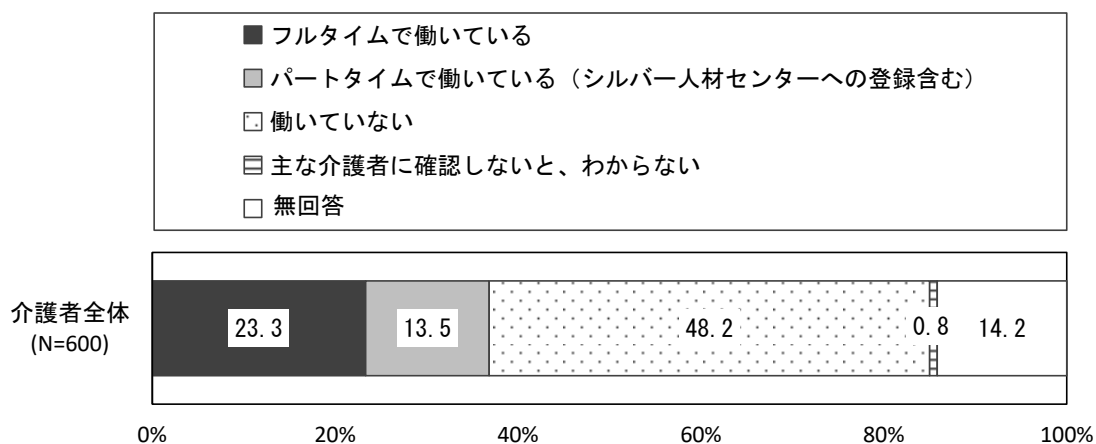
【家族・親族等の介護を理由とした離職状況】



（2）仕事と介護の両立について

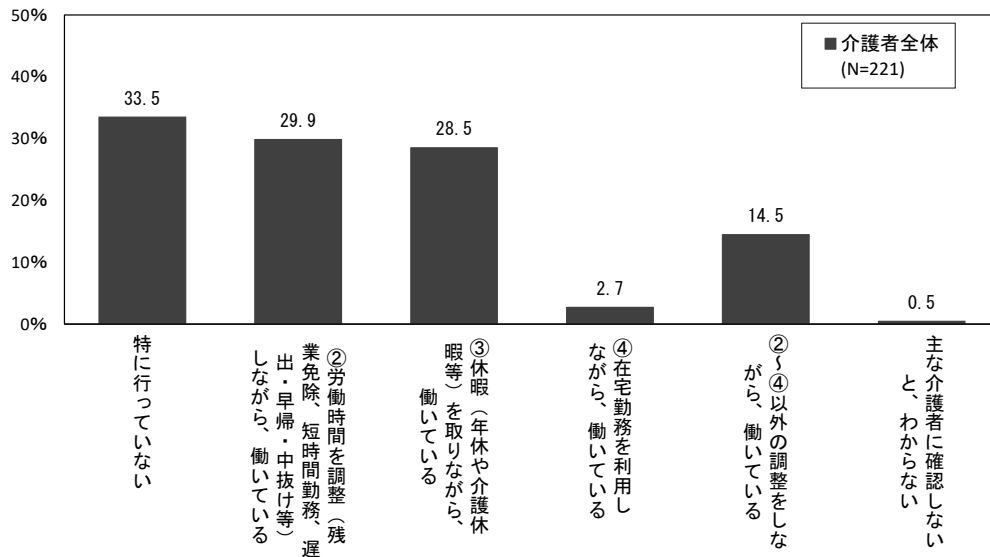
- 主な介護者の勤務形態は「働いていない」が48.2%と半数近くを占め、「フルタイムで働いている」が23.3%、「パートタイムで働いている」が13.5%となっており、36.8%が働きながら介護を行っている。

【主な介護者の勤務形態】



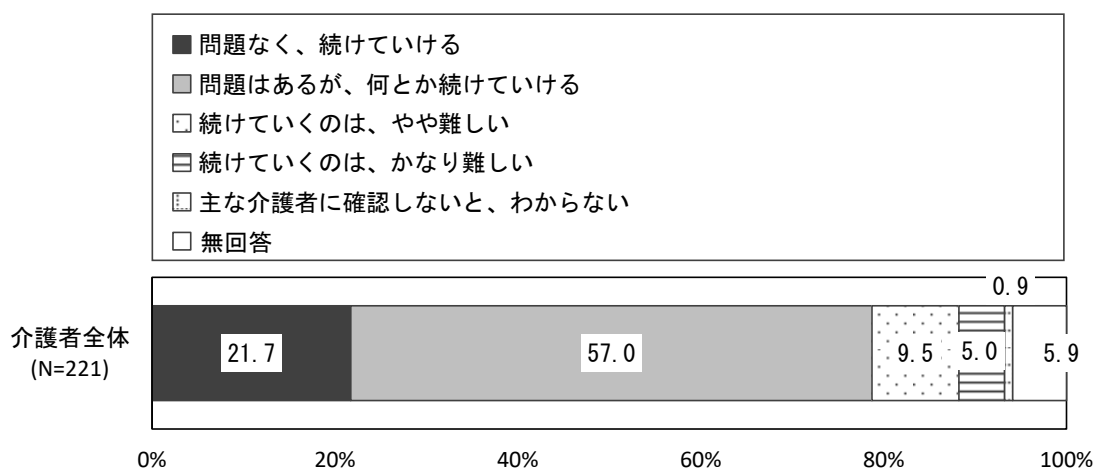
- フルタイム又はパートタイムで働きながら介護を行う介護者の働き方の調整等について、33.5%が「特に行っていない」としている。調整等を行う人では、「②労働時間を調整しながら、働いている」(29.9%)、「③休暇を取りながら、働いている」(28.5%)、「②～④以外の調整をしながら、働いている」(14.5%)が高い。

【介護をするにあたって行う働き方についての調整等】



- 働きながら介護を行う従業員に勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかは「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が37.6%と最も高くなっている。次いで「介護休暇等の制度を利用しやすい職場づくり」(30.3%)、「特にない」(22.6%)の順に高い。
- 今後も介護をしながら就労継続が見込めるかについて「問題はあるが、何とか続けていける」が57.0%と最も高く、「問題なく、続けていける」(21.7%)を合わせた78.7%が『就労継続可能』となる。一方、「続けていくのは、やや難しい」(9.5%)と「続けていくのは、かなり難しい」(5.0%)を合わせた『就労継続困難』は14.5%となっている。就労継続可能な期間を維持できるよう、支援していく必要がある。

【就労継続見込み】



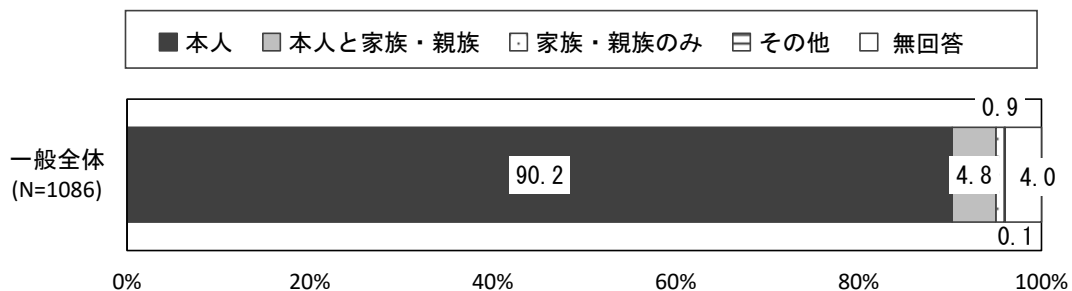
第3章 一般高齢者用調査

1. 回答者の基本属性

(1) 調査の回答者

- 「本人」による回答が90.2%となっている。

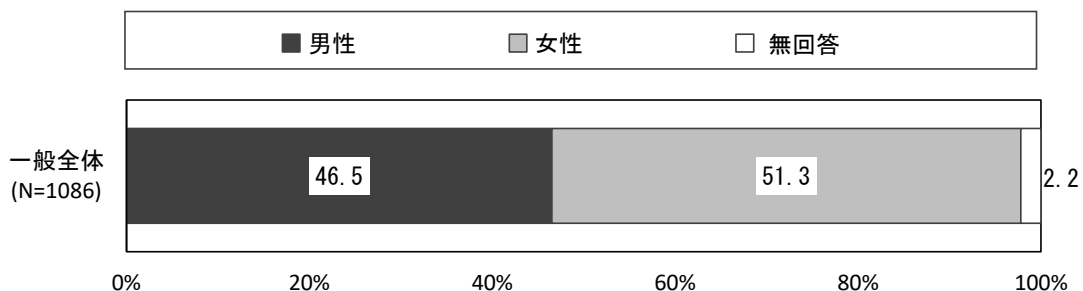
【調査の回答者】



(2) 性別

- 「女性」が51.3%を占め、「男性」(46.5%)を4.8ポイント上回っている。

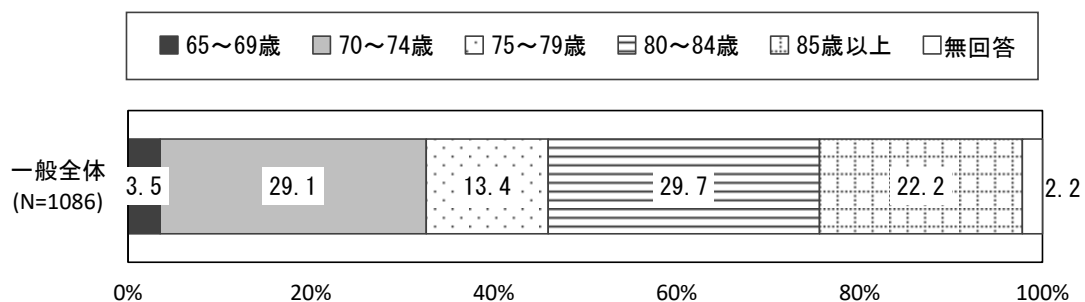
【性別】



(3) 年齢

- 「80～84歳」が29.7%と最も高く、「75～79歳」(13.4%)、「85歳以上」(22.2%)を合わせた後期高齢者が65.3%とおおよそ7割を占める。75歳未満の前期高齢者は32.6%となっている。

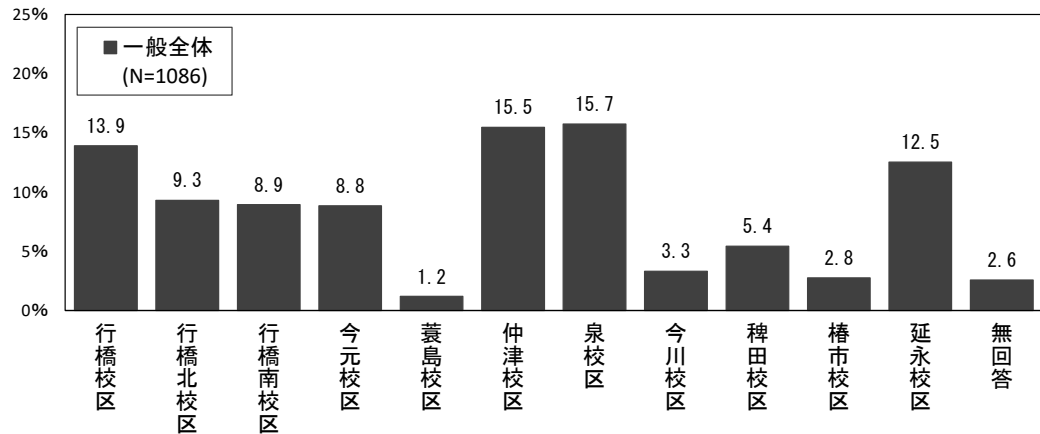
【年齢】



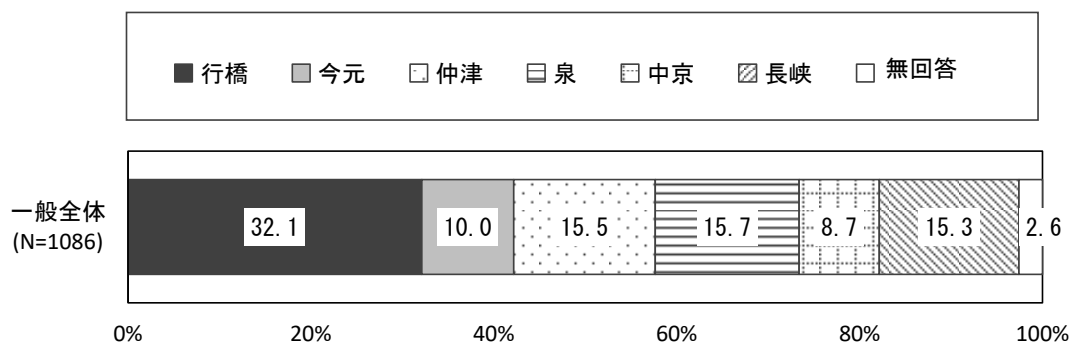
(4) 居住地区

- 「泉校区」が15.7%と最も高く、次いで「仲津校区」(15.5%)、「行橋校区」(13.9%)の順に続く。

【居住地区(小学校区)】



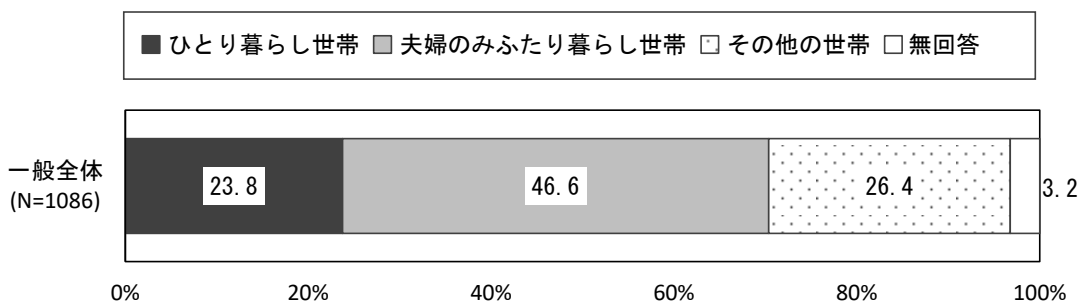
【居住地区(圏域)】



(5) 世帯構成

- 「夫婦のみふたり暮らし世帯」が46.6%と最も高く、次いで「その他の世帯」(26.4%)、「ひとり暮らし世帯」(23.8%)の順に続く。
- 性別にみると、女性は「ひとり暮らし世帯」が32.7%と男性を上回っている。男性は「夫婦のみふたり暮らし世帯」が59.2%を占めている。
- 年齢別にみると年齢が上がるにつれて「ひとり暮らし世帯」の割合が高まり、85歳以上になると29.5%を占める。
- 小学校区別にみると、「ひとり暮らし世帯」は、箕島校区が38.5%と最も高く、次いで「今川校区」(33.3%)、「行橋校区」(32.5%)、「行橋北校区」(30.7%)が30%を超えている。

【世帯構成】



【世帯構成(性別・年齢別・居住地区別)】

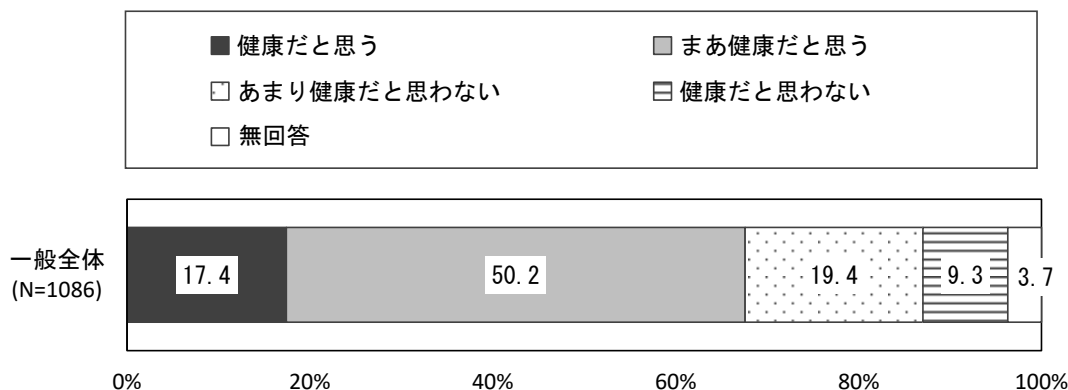
	調査数	ひとり暮らし世帯	夫婦のみふたり暮らし世帯	その他の世帯	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	1,086	23.8	46.6	26.4	3.2	
性別	男性	505	15.0	59.2	24.8	1.0
	女性	557	32.7	37.0	28.9	1.4
	無回答	24	0.0	4.2	4.2	91.7
年齢別	65～69歳	38	10.5	47.4	39.5	2.6
	70～74歳	316	19.9	50.9	28.8	0.3
	75～79歳	145	26.2	54.5	18.6	0.7
	80～84歳	322	25.5	46.3	25.8	2.5
	85歳以上	241	29.5	40.2	29.0	1.2
	無回答	24	0.0	8.3	4.2	87.5
小学校区別	行橋校区	151	32.5	38.4	26.5	2.6
	行橋北校区	101	30.7	50.5	17.8	1.0
	行橋南校区	97	28.9	46.4	24.7	0.0
	今元校区	96	20.8	40.6	32.3	6.3
	箕島校区	13	38.5	46.2	15.4	0.0
	仲津校区	168	26.8	43.5	28.6	1.2
	泉校区	171	16.4	58.5	25.1	0.0
	今川校区	36	33.3	36.1	30.6	0.0
	稗田校区	59	11.9	59.3	28.8	0.0
	樺市校区	30	26.7	36.7	36.7	0.0
	延永校区	136	16.9	53.7	29.4	0.0
	無回答	28	7.1	7.1	7.1	78.6

2. 健康について

(1) 主体的健康感

- 自分の健康状態について「まあ健康だと思う」が 50.2%と半数以上を占め、これに「健康だと思う」(17.4%) を合わせた 67.6%が『健康だと思う』と回答している。一方、「あまり健康だと思わない」(19.4%) と「健康だと思わない」(9.3%) を合わせた『健康だと思わない』は 28.7%となっている。
- 性別にみると、『健康だと思う』が、男性では 68.7%、女性では 69.1%と大きな差はない。
- 年齢別にみると、85歳以上では『健康だと思う』は 61.0%となっており、『健康だと思わない』が 37.0%となっている。

【主体的健康感】



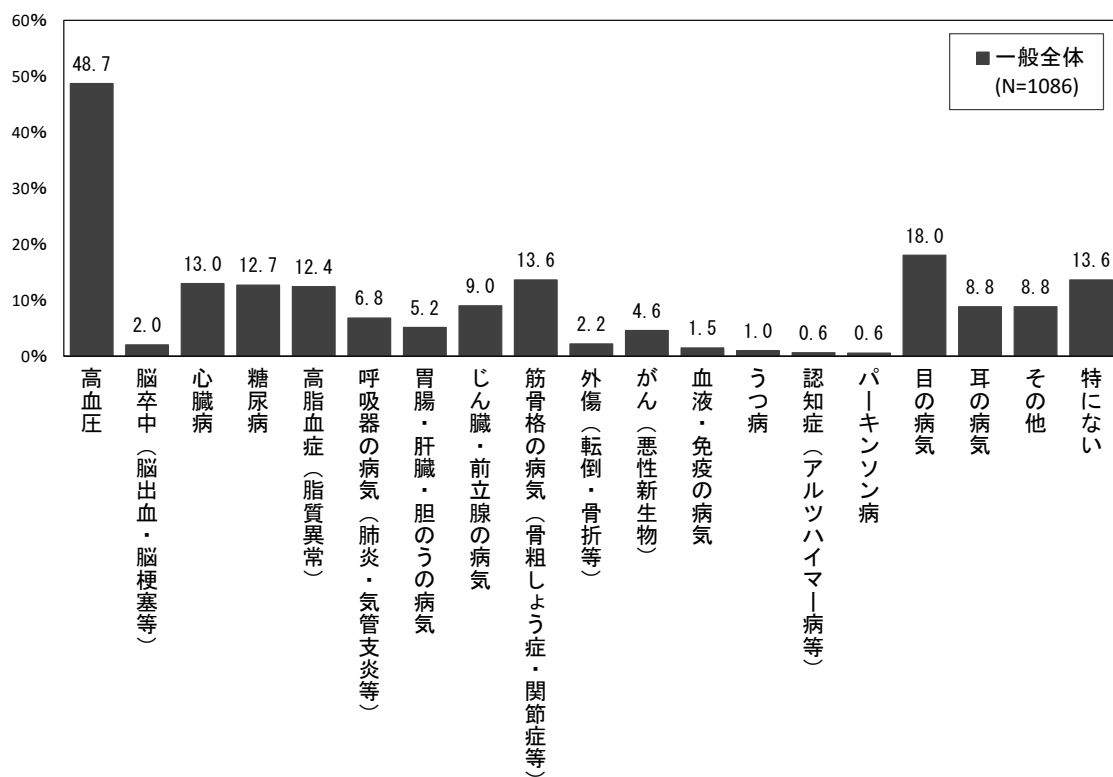
【主体的健康感(性別・年齢別)】

	調査数	健康 だ と 思 う	ま あ 健 康 だ と 思 う	あ ま り 健 康 だ と 思 わ な い	健 康 だ と 思 わ な い	無 回 答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	1,086	17.4	50.2	19.4	9.3	3.7	
性別	男性	505	19.8	48.9	20.6	9.3	1.4
	女性	557	16.0	53.1	19.2	9.5	2.2
	無回答	24	0.0	8.3	0.0	4.2	87.5
年齢別	65～69歳	38	23.7	63.2	7.9	2.6	2.6
	70～74歳	316	21.2	52.8	19.0	6.0	0.9
	75～79歳	145	22.8	49.7	20.0	4.8	2.8
	80～84歳	322	15.2	51.6	18.6	13.0	1.6
	85歳以上	241	12.9	48.1	24.1	12.9	2.1
	無回答	24	0.0	0.0	4.2	4.2	91.7

(2) 治療中、生活に支障がある怪我、病気

- 怪我、病気は「高血圧」が48.7%と最も高く、次いで「目の病気」(18.0%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(13.6%)、「心臓病」(13.0%)、「糖尿病」(12.7%)の順に高い。
- 性別にみると、男性は「糖尿病」(18.0%)や「じん臓・前立腺の病気」(17.6%)が女性に比べて高い。女性は男性に比べて「高脂血症(脂質異常)」(17.1%)や「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(21.7%)が高い。
- 年齢別にみると、65～69歳では「特にない」が26.3%みられたが、年齢が上がるにつれて「特にない」は20%を下回っており、高齢になるほど病気にかかる人が高くなっている。また、75歳を境に、「高血圧」や「心臓病」、「胃腸・肝臓・胆のうの病気」、「認知症(アルツハイマー病等)等の割合が高まる。

【治療中、生活に支障がある怪我、病気】



【治療中、生活に支障がある怪我、病気(性別・年齢別)】

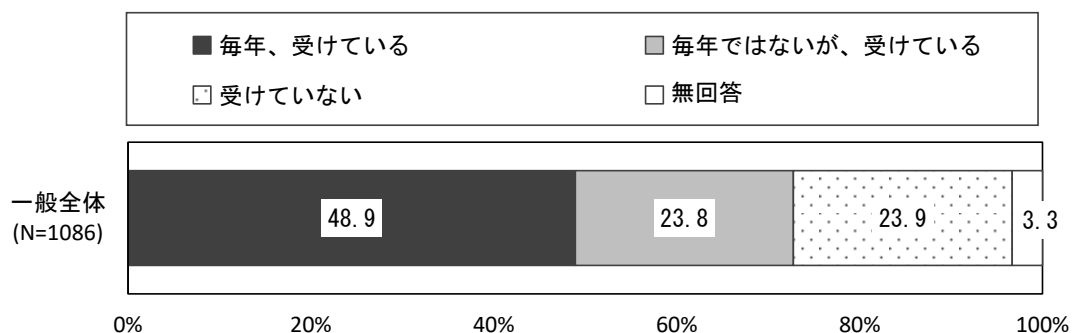
	調査数	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎・気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	じん臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)	外傷(転倒・骨折等)	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,086	48.7	2.0	13.0	12.7	12.4	6.8	5.2	9.0	13.6	2.2	
性別	男性	505	48.5	3.4	15.0	18.0	7.9	6.7	5.3	17.6	5.3	1.6
	女性	557	50.8	0.9	11.7	8.4	17.1	7.0	5.2	1.6	21.7	2.9
	無回答	24	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	65～69歳	38	36.8	5.3	5.3	18.4	13.2	0.0	2.6	10.5	5.3	0.0
	70～74歳	316	44.3	2.5	8.5	16.8	16.8	5.4	4.4	6.0	12.3	0.6
	75～79歳	145	50.3	4.1	9.7	15.9	19.3	4.8	6.2	9.0	10.3	1.4
	80～84歳	322	51.6	1.9	12.7	10.2	10.9	9.6	5.3	9.9	19.3	2.2
	85歳以上	241	55.6	0.0	23.2	9.1	5.8	7.9	6.2	12.0	12.4	5.4
	無回答	24	8.3	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0

	調査数	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	特にない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,086	4.6	1.5	1.0	0.6	0.6	18.0	8.8	8.8	13.6	
性別	男性	505	5.3	1.8	1.4	1.0	0.8	16.8	9.3	8.5	15.4
	女性	557	4.1	1.1	0.7	0.4	0.4	19.7	8.8	9.3	12.6
	無回答	24	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0
年齢別	65～69歳	38	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	5.3	10.5	26.3
	70～74歳	316	4.7	0.3	1.6	0.0	0.9	13.3	4.4	9.8	15.8
	75～79歳	145	2.8	2.8	1.4	0.7	0.7	11.0	5.5	9.7	18.6
	80～84歳	322	5.3	2.5	0.6	0.3	0.3	21.4	9.9	8.1	11.2
	85歳以上	241	5.4	1.2	0.8	2.1	0.4	25.7	16.2	7.9	10.4
	無回答	24	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	8.3	0.0

(3) 健康診断の受診状況

- 健康診断の受診状況は「毎年、受けている」が48.9%とおよそ半数を占め、これに「毎年ではないが、受けている」(23.8%)を合わせた72.7%が『受けている』と回答している。一方、「受けていない」は23.9%となっている。
- 性別にみると、『受けている』は、女性(76.2%)が男性(71.9%)をやや上回っている。
- 年齢別にみると、「毎年、受けている」は年齢が上がるにつれて減少傾向にあり、「受けていない」が80~84歳では29.2%、85歳以上では27.4%となっている。
- 主体的健康感別にみると、「受けていない」の割合は、健康だと思わない人では40%を超えている。

【健康診断の受診状況】



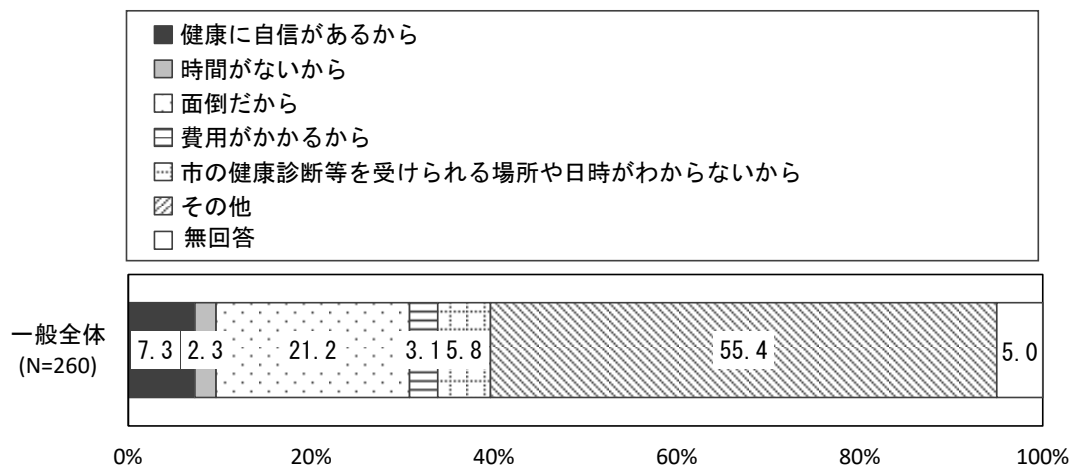
【健康診断の受診状況(性別・年齢別・主体的健康感別)】

		調査数	毎年、受けている	毎年ではないが、受けている	受けていない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,086	48.9	23.8	23.9	3.3
性別	男性	505	48.1	23.8	27.1	1.0
	女性	557	51.2	25.0	22.1	1.8
	無回答	24	12.5	0.0	0.0	87.5
年齢別	65~69歳	38	63.2	13.2	23.7	0.0
	70~74歳	316	55.1	25.6	19.0	0.3
	75~79歳	145	47.6	31.0	20.7	0.7
	80~84歳	322	45.7	22.7	29.2	2.5
	85歳以上	241	47.7	22.4	27.4	2.5
	無回答	24	8.3	4.2	4.2	83.3
主体的健康感別	健康だと思う	189	60.3	23.3	16.4	0.0
	まあ健康だと思う	545	52.1	24.6	22.4	0.9
	あまり健康だと思わない	211	42.2	26.5	28.9	2.4
	健康だと思わない	101	35.6	20.8	41.6	2.0
	無回答	40	20.0	10.0	10.0	60.0

(4) 健康診断を受けていない理由

- 健康診断を受けていない理由は「その他」が55.4%と最も高く、次いで「面倒だから」(21.2%)となっている。「その他」は、「病院に通っている」とする回答が多い。
- 性別にみると、女性は男性に比べて「時間がないから」(3.3%)や「費用がかかるから」(5.7%)が高い。
- 年齢別にみると、70～74歳では「面倒だから」(31.7%)が他の年齢に比べて高い。85歳以上では「健康に自信があるから」が13.6%と各年代で最も高い。
- 主体的健康感別にみると、健康だと思う人では「健康に自信があるから」が29.0%、健康だと思わない人では「面倒だから」が14.3%と最も高い。

【健康診断を受けていない理由】



【健康診断を受けていない理由(性別・年齢別・主体的健康感別)】

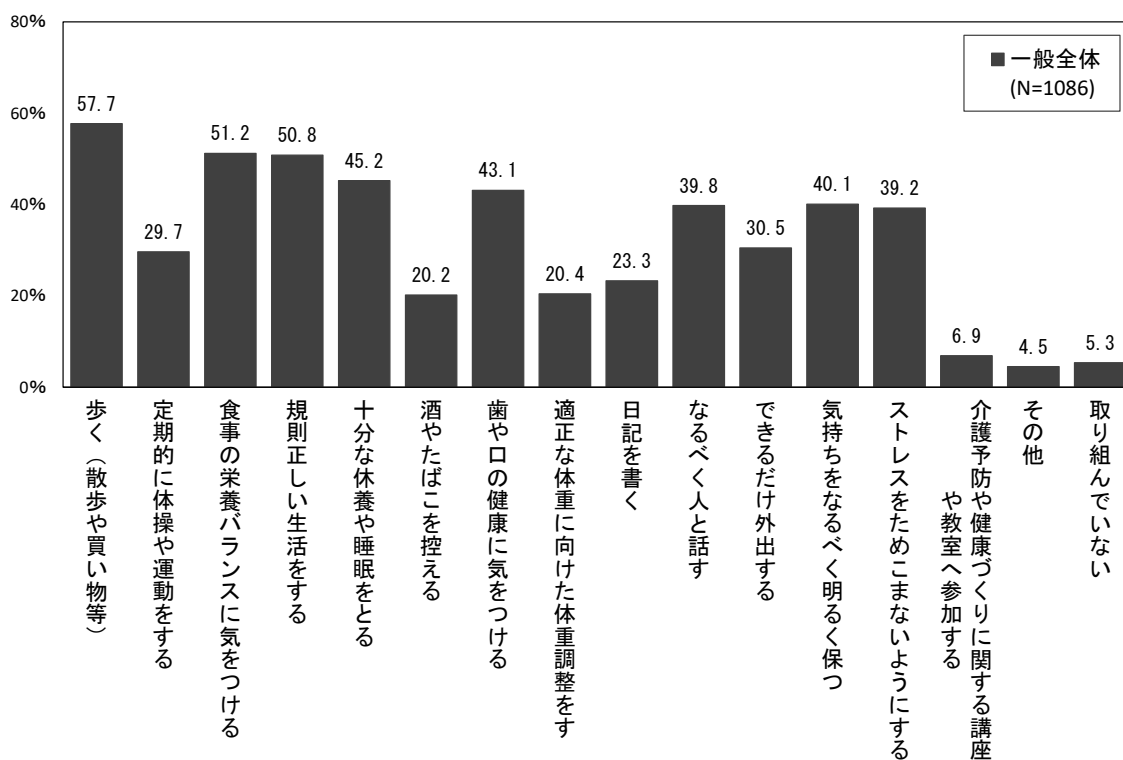
	調査数	健康に自信があるから	時間がないから	面倒だから	費用がかかるから	市の健康診断等を受けられないから	その他	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	260	7.3	2.3	21.2	3.1	5.8	55.4	5.0	
性別	男性	137	8.0	1.5	23.4	0.7	5.8	54.7	5.8
	女性	123	6.5	3.3	18.7	5.7	5.7	56.1	4.1
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	65～69歳	9	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	55.6	11.1
	70～74歳	60	1.7	3.3	31.7	8.3	6.7	46.7	1.7
	75～79歳	30	13.3	0.0	23.3	3.3	3.3	50.0	6.7
	80～84歳	94	5.3	2.1	19.1	2.1	4.3	60.6	6.4
	85歳以上	66	13.6	1.5	15.2	0.0	7.6	57.6	4.5
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
主体的健康感別	健康だと思う	31	29.0	0.0	25.8	0.0	3.2	38.7	3.2
	まあ健康だと思う	122	6.6	2.5	22.1	0.8	4.1	59.0	4.9
	あまり健康だと思わない	61	0.0	4.9	23.0	4.9	9.8	49.2	8.2
	健康だと思わない	42	2.4	0.0	14.3	7.1	7.1	66.7	2.4
	無回答	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0

3. 介護予防について

(1) 健康づくりや介護予防のために取り組んでいること

- 健康づくりや介護予防のために取り組んでいることは「取り組んでいない」は5.3%に留まり、多くの人に取り組んでいる。その内容は「歩く（散歩や買い物等）」が57.7%と最も高く、次いで「食事の栄養バランスに気をつける」（51.2%）、「規則正しい生活をする」（50.8%）、「十分な休養や睡眠をとる」（45.2%）、「歯や口の健康に気をつける」（43.1%）の順に続く。
- 性別にみると、男性に比べて女性の方が「食事の栄養バランスに気をつける」（59.4%）や「歯や口の健康に気をつける」（49.6%）のほか、「なるべく人と話す」（49.2%）、「気持ちをなるべく明るく保つ」（47.9%）等の精神面での健康づくりに関する項目が顕著に高い。また、「介護予防や健康づくりに関する講座や教室へ参加する」という項目についても、男性（5.1%）より女性（8.6%）の方が高い。
- 年齢別にみると、「歩く（散歩や買い物等）」は65～69歳では68.4%となっており、他の年齢層と比べて高い。75～79歳では「定期的に体操や運動をする」（38.6%）や「食事の栄養バランスに気をつける」（60.0%）等の健康づくりに関する項目が他の年齢層に比べて高い。「十分な休養や睡眠をとる」は、85歳以上が47.3%と他の年齢層に比べて高い。

【健康づくりや介護予防のために取り組んでいること】



【健康づくりや介護予防のために取り組んでいること(性別・年齢別)】

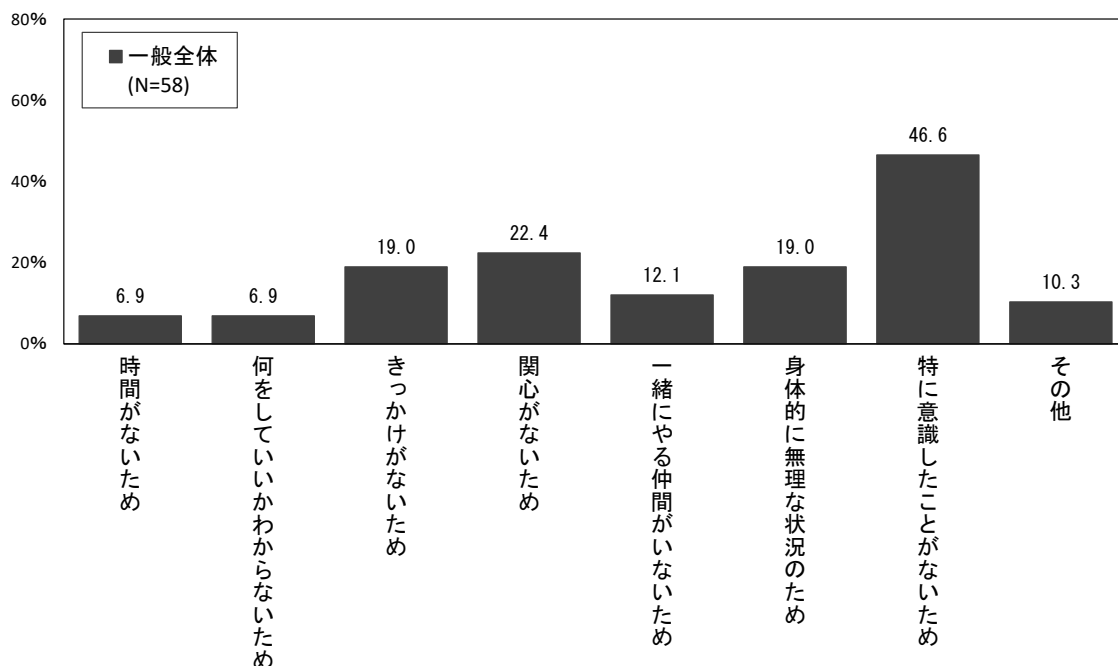
		調査数	歩く(散歩や買い物等)	定期的に体操や運動をする	食事の栄養バランスに気をつける	規則正しい生活をする	十分な休養や睡眠をとる	酒やたばこを控える	歯や口の健康に気をつける	適正な体重に向けた体重調整をする	日記を書く
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,086	57.7	29.7	51.2	50.8	45.2	20.2	43.1	20.4	23.3
性別	男性	505	60.0	25.9	42.8	50.1	44.4	28.5	36.0	21.4	19.6
	女性	557	56.9	33.2	59.4	52.1	45.8	12.7	49.6	19.9	27.1
	無回答	24	29.2	25.0	37.5	37.5	50.0	16.7	41.7	12.5	12.5
年齢別	65～69歳	38	68.4	34.2	36.8	52.6	44.7	15.8	50.0	23.7	10.5
	70～74歳	316	55.7	30.7	46.8	51.6	42.4	23.1	43.0	25.9	16.8
	75～79歳	145	60.0	38.6	60.0	52.4	46.2	20.7	46.9	26.9	25.5
	80～84歳	322	63.4	28.0	53.1	49.1	45.0	19.3	44.7	15.8	29.5
	85歳以上	241	52.7	24.5	51.5	51.9	47.3	17.8	38.2	15.4	25.7
	無回答	24	29.2	29.2	50.0	41.7	58.3	20.8	37.5	16.7	8.3

		調査数	なるべく人と話す	できるだけ外出する	気持ちをなるべく明るく保つ	ストレスをためこまないようにする	介護予防や健康づくりに関する講座や教室へ参加する	その他	取り組んでいない
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,086	39.8	30.5	40.1	39.2	6.9	4.5	5.3
性別	男性	505	29.9	31.3	31.5	36.8	5.1	6.1	4.4
	女性	557	49.2	30.2	47.9	41.5	8.6	3.2	5.7
	無回答	24	29.2	20.8	37.5	37.5	4.2	0.0	16.7
年齢別	65～69歳	38	21.1	21.1	18.4	34.2	0.0	2.6	2.6
	70～74歳	316	36.4	29.1	37.0	38.0	6.3	3.2	4.7
	75～79歳	145	40.7	29.7	42.8	41.4	3.4	6.2	2.8
	80～84歳	322	48.4	36.6	47.5	44.1	9.3	5.9	4.7
	85歳以上	241	35.3	26.1	35.7	33.6	7.9	4.1	7.9
	無回答	24	37.5	29.2	41.7	41.7	4.2	0.0	16.7

(2) 健康づくりや介護予防に取り組んでいない理由

- 健康づくりや介護予防に取り組んでいない理由は「特に意識したことがないため」が46.6%と最も高く、次いで「関心がないため」(22.4%)、「身体的に無理な状況のため」「きっかけがないため」(19.0%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「関心がないため」(31.8%)や「特に意識したことがないため」(59.1%)が顕著に高い。一方、女性は「身体的に無理な状況のため」(25.0%)が男性に比べて高い。
- 年齢別にみると、「特に意識したことがないため」は、70～74歳で66.7%となっている。

【健康づくりや介護予防に取り組んでいない理由】



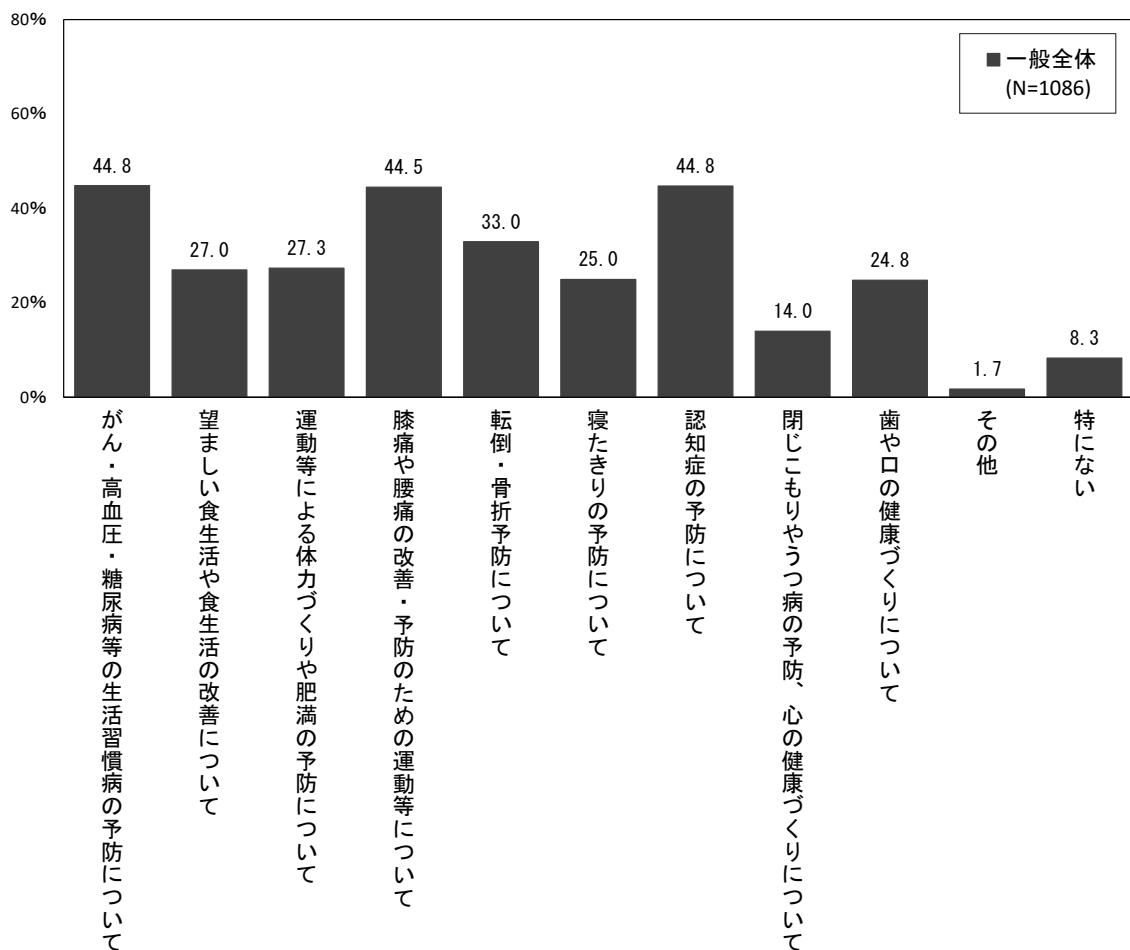
【健康づくりや介護予防に取り組んでいない理由(性別・年齢別)】

	調査数	時間がないため	何をしたいかわからないため	きっかけがないため	関心がないため	一緒にやる仲間がないため	身体的に無理な状況のため	特に意識したことがないため	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	58	6.9	6.9	19.0	22.4	12.1	19.0	46.6	10.3	
性別	男性	22	4.5	4.5	13.6	31.8	4.5	9.1	59.1	13.6
	女性	32	9.4	9.4	21.9	12.5	18.8	25.0	37.5	9.4
	無回答	4	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	50.0	0.0
年齢別	65～69歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	70～74歳	15	20.0	13.3	26.7	26.7	6.7	20.0	66.7	6.7
	75～79歳	4	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	80～84歳	15	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	20.0	40.0	13.3
	85歳以上	19	5.3	10.5	26.3	31.6	21.1	15.8	42.1	10.5
	無回答	4	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	50.0	0.0

(3) 健康づくりや介護予防で関心があること

- 健康づくりや介護予防で関心があることは「がん・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予防について」「認知症の予防について」が44.8%と最も高く、次いで「膝痛や腰痛の改善・予防のための運動等について」(44.5%)、「転倒・骨折予防について」(33.0%)、「運動等による体力づくりや肥満の予防について」(27.3%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は「がん・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予防について」(49.1%)、女性は「認知症の予防について」(52.1%)がそれぞれ最も高い。また、女性は男性に比べて「転倒・骨折予防について」(40.2%)や「寝たきりの予防について」(30.5%)等の要介護状態につながる項目の割合が高い。
- 年齢別にみると、「運動等による体力づくりや肥満の予防について」は、年齢が若いほど割合が高い。また、年齢が高いほど「転倒・骨折予防について」や「寝たきりの予防について」の割合が高い。

【健康づくりや介護予防で関心があること】



【健康づくりや介護予防に関心があること(性別・年齢別)】

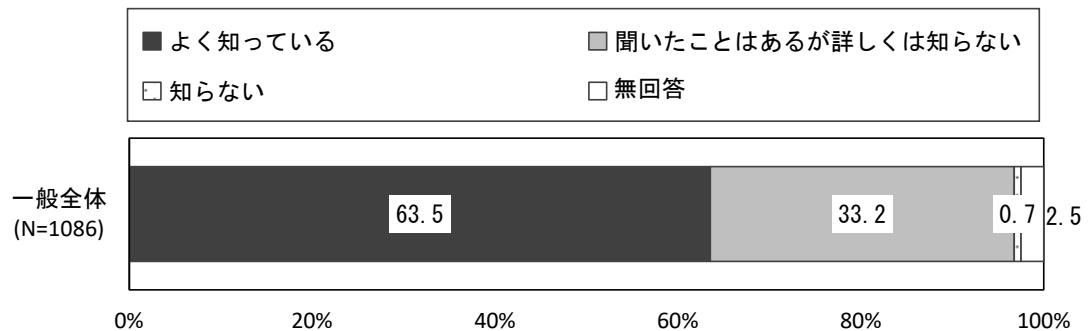
	調査数	がん・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予防について	望ましい食生活や食生活の改善について	運動等による体力づくりや肥満の予防について	膝痛や腰痛の改善・予防のための運動等について	転倒・骨折予防について	寝たきりの予防について	認知症の予防について	閉じこもりやうつ病の予防、心の健康づくりについて	歯や口の健康づくりについて	その他	特にない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,086	44.8	27.0	27.3	44.5	33.0	25.0	44.8	14.0	24.8	1.7	8.3	
性別	男性	505	49.1	24.2	30.9	41.0	25.5	19.2	37.6	11.1	24.4	2.4	9.7
	女性	557	41.1	30.2	24.4	48.3	40.2	30.5	52.1	16.7	25.9	1.1	6.8
	無回答	24	41.7	12.5	20.8	29.2	20.8	16.7	25.0	12.5	8.3	4.2	12.5
年齢別	65～69歳	38	39.5	18.4	31.6	47.4	13.2	5.3	39.5	5.3	23.7	0.0	15.8
	70～74歳	316	43.7	26.9	31.3	43.4	24.1	23.1	47.2	14.9	24.7	1.6	8.2
	75～79歳	145	51.0	26.9	29.0	42.8	25.5	22.8	49.7	13.1	23.4	1.4	6.9
	80～84歳	322	46.9	28.9	26.1	46.9	41.9	29.2	47.2	14.0	28.0	2.2	5.3
	85歳以上	241	40.7	26.6	22.4	44.4	41.9	26.6	37.8	14.9	23.7	1.7	10.8
	無回答	24	45.8	20.8	25.0	33.3	16.7	20.8	29.2	12.5	4.2	4.2	20.8

4. 認知症について

(1) 認知症の認知度

- 認知症の認知度は「よく知っている」が63.5%と最も高く、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」(33.2%)を合わせると96.7%が、認知症という病気を知っている。
- 性別にみても大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、65～69歳では「よく知っている」が47.4%と半数を下回っている。

【認知症の認知度】



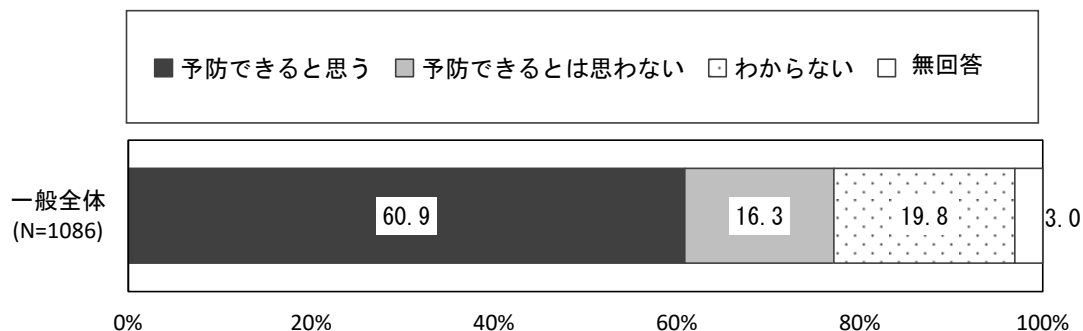
【認知症の認知度(性別・年齢別)】

		調査数	よく知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	知らない	無回答
			(人)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,086	63.5	33.2	0.7	2.5
性別	男性	505	60.6	35.8	1.4	2.2
	女性	557	66.8	31.1	0.2	2.0
	無回答	24	50.0	29.2	0.0	20.8
年齢別	65～69歳	38	47.4	52.6	0.0	0.0
	70～74歳	316	66.1	32.6	0.6	0.6
	75～79歳	145	66.2	29.7	0.0	4.1
	80～84歳	322	63.0	33.9	0.6	2.5
	85歳以上	241	63.9	32.0	1.7	2.5
	無回答	24	41.7	37.5	0.0	20.8

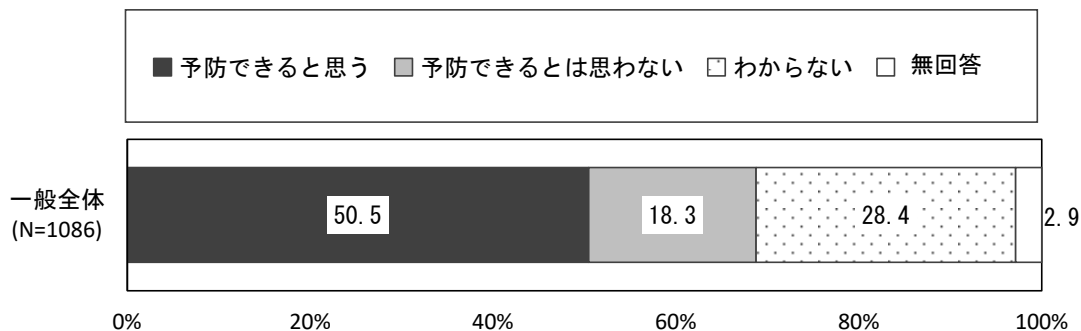
(2) 認知症に関する知識

- 認知症はふだんから頭を使うことで予防できると思うかについて「予防できると思う」が60.9%となっている。
- 認知症はふだんから運動をすることで予防できると思うかについて「予防できると思う」が50.5%となっている。
- 認知症は、早く見つけて治療することが必要な病気だと思うかについて「そう思う」が76.5%となっている。

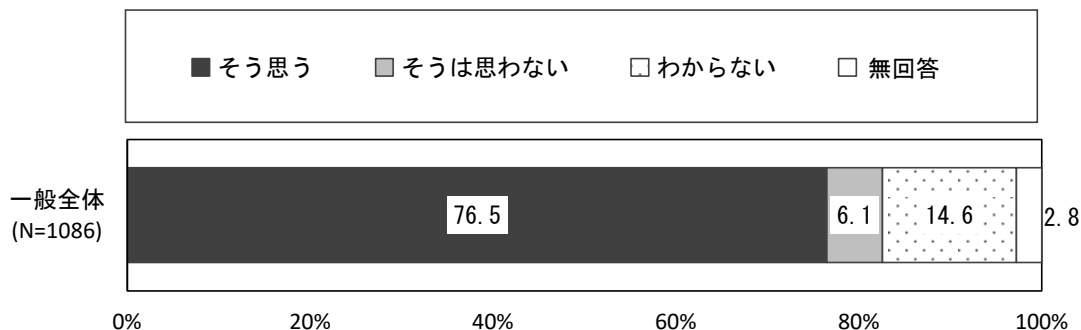
【認知症に関する知識 (1) 認知症は頭を使うことで予防できると思うか】



【認知症に関する知識 (2) 認知症は運動をすることで予防できると思うか】



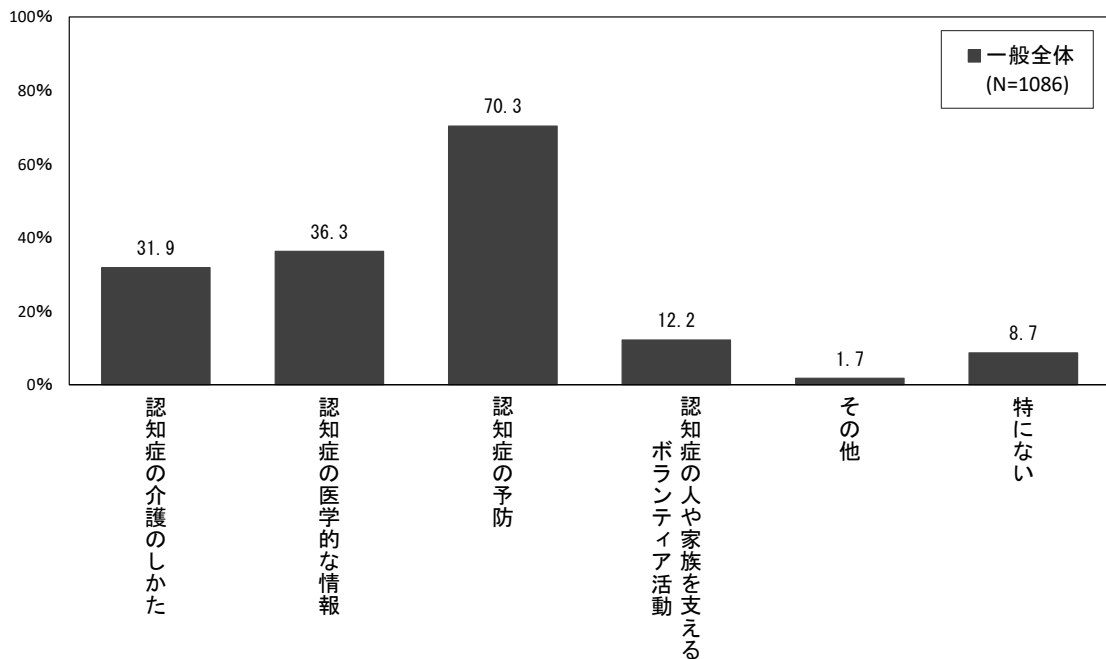
【認知症に関する知識 (3) 認知症は、早く見つけて治療することが必要な病気だと思うか】



(3) 認知症について関心があること

- 認知症について関心があることは「認知症の予防」が70.3%と最も高く、次いで「認知症の医学的な情報」(36.3%)、「認知症の介護のしかた」(31.9%)の順に続く。
- 性別にみても大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、70～74歳、75～79歳、80～84歳では「認知症の予防」の割合が70%を超えており、特に75～79歳では76.6%と他の年齢層に比べて高い。

【認知症について関心があること】



【認知症について関心があること(性別・年齢別)】

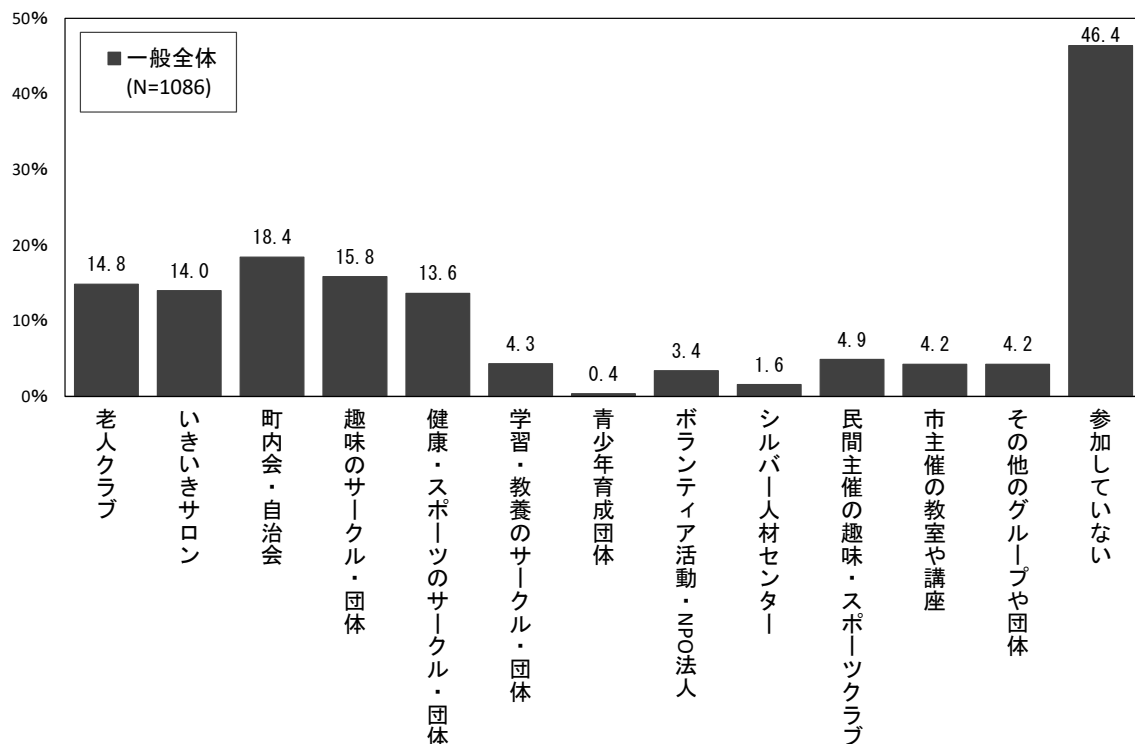
	調査数	認知症の介護のしかた	認知症の医学的な情報	認知症の予防	認知症の人や家族を支えるボランティア活動	その他	特にない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,086	31.9	36.3	70.3	12.2	1.7	8.7	
性別	男性	505	32.7	32.1	66.1	12.1	2.0	11.3
	女性	557	31.4	41.1	75.2	12.7	1.4	5.7
	無回答	24	25.0	12.5	45.8	0.0	4.2	20.8
年齢別	65～69歳	38	44.7	36.8	65.8	10.5	0.0	13.2
	70～74歳	316	32.0	40.8	74.7	13.6	1.6	7.9
	75～79歳	145	30.3	35.2	76.6	10.3	2.1	5.5
	80～84歳	322	33.2	36.0	70.8	12.7	1.2	7.5
	85歳以上	241	28.6	33.6	63.1	12.0	2.9	11.2
	無回答	24	33.3	12.5	50.0	0.0	0.0	20.8

5. 社会参加や生きがいがづくりについて

(1) 地域活動への参加状況

- 地域のグループや団体等の活動について「参加していない」が46.4%、参加している人の活動内容は「町内会・自治会」が18.4%と最も高く、次いで「趣味のサークル・団体」(15.8%)、「老人クラブ」(14.8%)、「いきいきサロン」(14.0%)の順に続く。
- 性別にみると、「参加していない」という割合は男性の方が高い。また、男性は女性に比べて「町内会・自治会」(23.6%)の割合が特に高い。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「老人クラブ」や「いきいきサロン」の割合が高い。また、65～69歳の57.9%が「参加していない」と回答している。
- 小学校区別にみると、「老人クラブ」の参加は稗田校区(33.9%)や今川校区(33.3%)で高く、最も低い延永校区(5.9%)とは27ポイント以上差がみられる。「いきいきサロン」は行橋北校区(20.8%)が最も高く、今元校区(8.3%)が最も低い。「町内会・自治会」は今川校区(30.6%)が最も高く、椿市校区(3.3%)が最も低い。

【地域活動への参加状況】



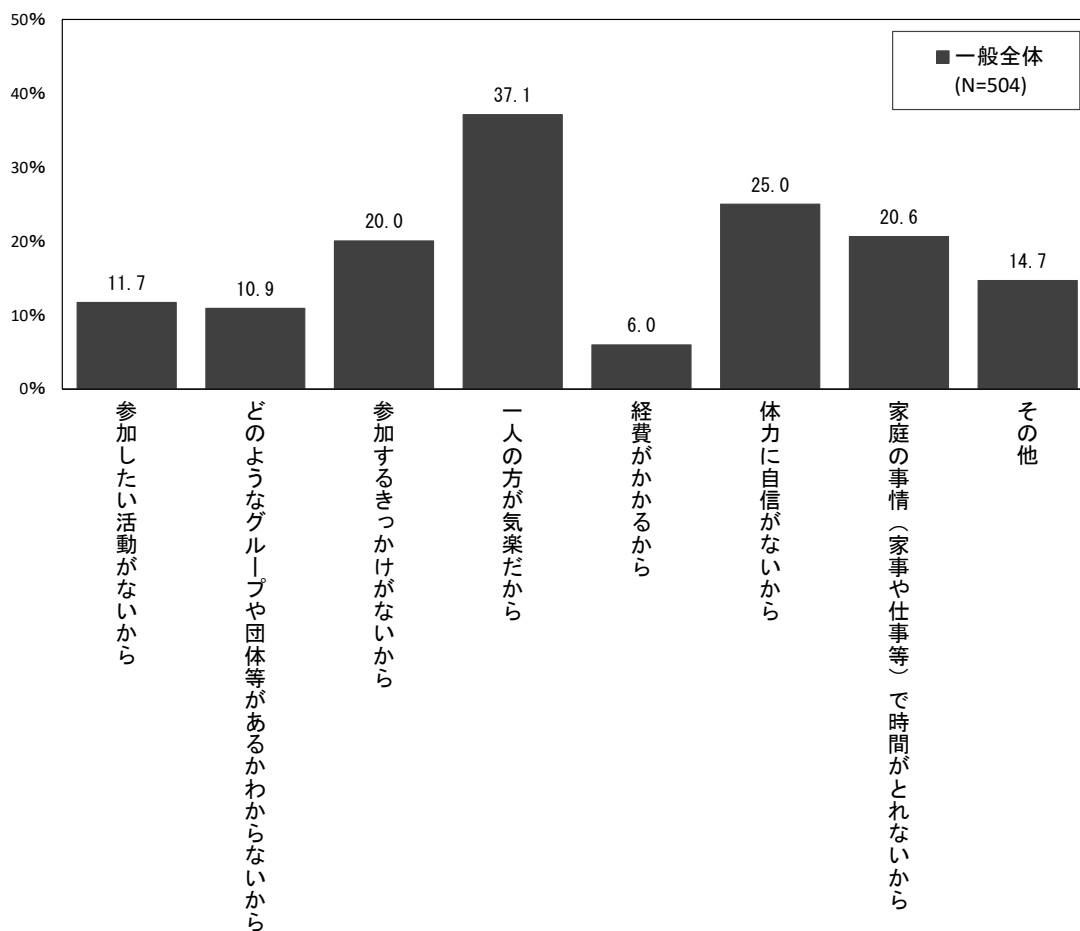
【地域活動への参加状況(性別・年齢別・小学校区別)】

	調査数	老人クラブ	いきいきサロン	町内会・自治会	趣味のサークル・団体	健康・スポーツのサークル・団体	学習・教養のサークル・団体	青少年育成団体	ボランティア活動・NPO法人	シルバー人材センター	民間主催の趣味・スポーツクラブ	市主催の教室や講座	その他のグループや団体	参加していない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	1,086	14.8	14.0	18.4	15.8	13.6	4.3	0.4	3.4	1.6	4.9	4.2	4.2	46.4	
性別	男性	505	15.8	9.1	23.6	12.7	12.7	3.6	0.8	3.4	2.6	5.0	3.2	4.4	46.7
	女性	557	13.6	18.7	14.2	19.2	14.5	5.2	0.0	3.6	0.7	4.8	5.4	4.3	45.8
	無回答	24	20.8	8.3	8.3	4.2	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	54.2
年齢別	65～69歳	38	0.0	0.0	26.3	15.8	2.6	2.6	2.6	2.6	5.3	5.3	2.6	2.6	57.9
	70～74歳	316	10.4	4.7	23.4	17.4	12.7	2.8	0.3	4.4	0.6	5.7	3.8	5.4	47.5
	75～79歳	145	9.7	10.3	17.2	15.2	17.9	7.6	0.0	6.9	3.4	4.8	2.8	6.2	47.6
	80～84歳	322	17.7	21.4	18.0	20.8	15.2	5.3	0.3	2.5	1.6	5.0	6.5	3.4	42.9
	85歳以上	241	22.0	20.7	12.4	9.1	12.0	3.7	0.4	1.7	1.2	3.7	2.9	3.3	46.5
	無回答	24	16.7	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	54.2
小学校区別	行橋校区	151	12.6	18.5	11.9	14.6	14.6	3.3	0.7	2.6	0.0	2.6	4.0	4.0	52.3
	行橋北校区	101	17.8	20.8	18.8	20.8	15.8	9.9	0.0	5.0	1.0	5.9	5.9	1.0	40.6
	行橋南校区	97	11.3	14.4	15.5	16.5	15.5	4.1	0.0	6.2	3.1	6.2	8.2	5.2	44.3
	今元校区	96	20.8	8.3	25.0	18.8	16.7	5.2	1.0	4.2	1.0	7.3	4.2	3.1	44.8
	葦島校区	13	30.8	15.4	23.1	23.1	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	46.2
	仲津校区	168	13.1	11.9	17.9	16.7	12.5	3.6	0.6	3.6	1.8	5.4	4.8	6.0	46.4
	泉校区	171	9.4	14.0	22.8	17.0	14.0	4.7	0.0	2.9	2.9	5.3	2.9	3.5	45.6
	今川校区	36	33.3	13.9	30.6	13.9	16.7	8.3	0.0	5.6	2.8	2.8	5.6	5.6	33.3
	稗田校区	59	33.9	20.3	30.5	18.6	15.3	6.8	1.7	1.7	1.7	5.1	1.7	3.4	42.4
	樺市校区	30	23.3	10.0	3.3	6.7	10.0	3.3	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	6.7	46.7
	延永校区	136	5.9	9.6	14.7	12.5	7.4	0.0	0.0	2.2	1.5	3.7	3.7	6.6	49.3
	無回答	28	14.3	7.1	7.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	64.3

(2) 地域活動に参加していない理由

- 地域活動に参加していない理由は「一人の方が気楽だから」が 37.1%と最も高く、次いで「体力に自信がないから」(25.0%)、「家庭の事情(家事や仕事等)で時間がとれないから」(20.6%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性より「一人の方が気楽だから」(43.2%)や「参加するきっかけがないから」(21.6%)が高い。女性は男性より「体力に自信がないから」(30.2%)や「家庭の事情(家事や仕事等)で時間がとれないから」(23.1%)が高い。
- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「体力に自信がないから」という割合が高くなっていく。また、年齢が若いほど「家庭の事情(家事や仕事等)で時間がとれないから」という割合が高く、65～69歳では31.8%となっている。

【地域活動に参加していない理由】



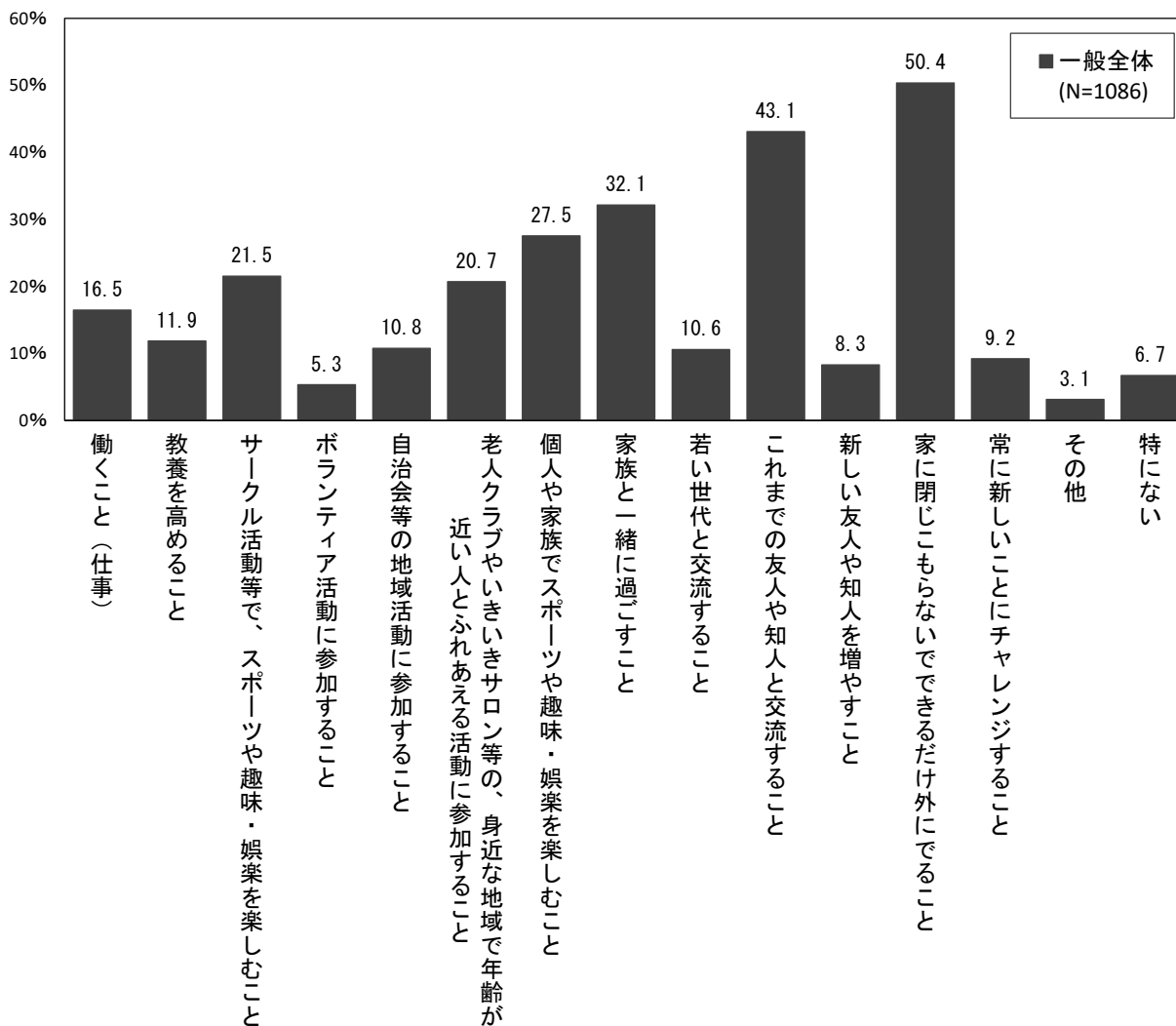
【地域活動に参加していない理由(性別・年齢別・小学校区別)】

	調査数	参加したい活動がないから	どのようなグループや団体等があるかわからないから	参加するきっかけがないから	一人の方が気楽だから	経費がかかるから	体力に自信がないから	家庭の事情(家事や仕事等)で時間がとれないから	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	504	11.7	10.9	20.0	37.1	6.0	25.0	20.6	14.7	
性別	男性	236	14.0	10.6	21.6	43.2	4.7	19.5	18.2	15.7
	女性	255	9.4	11.4	18.0	32.2	7.5	30.2	23.1	14.1
	無回答	13	15.4	7.7	30.8	23.1	0.0	23.1	15.4	7.7
年齢別	65～69歳	22	22.7	9.1	22.7	22.7	9.1	4.5	31.8	18.2
	70～74歳	150	11.3	14.0	24.0	41.3	10.7	13.3	28.7	13.3
	75～79歳	69	10.1	5.8	15.9	42.0	5.8	27.5	20.3	11.6
	80～84歳	138	10.9	11.6	19.6	35.5	4.3	31.2	17.4	16.7
	85歳以上	112	10.7	9.8	16.1	34.8	1.8	35.7	12.5	16.1
	無回答	13	23.1	7.7	30.8	23.1	0.0	23.1	15.4	7.7
小学校区別	行橋校区	79	11.4	20.3	26.6	31.6	12.7	26.6	22.8	15.2
	行橋北校区	41	19.5	19.5	19.5	24.4	4.9	22.0	17.1	12.2
	行橋南校区	43	7.0	14.0	20.9	48.8	4.7	32.6	30.2	9.3
	今元校区	43	7.0	14.0	18.6	41.9	7.0	27.9	20.9	16.3
	蓑島校区	6	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7	33.3
	仲津校区	78	11.5	5.1	19.2	35.9	1.3	23.1	25.6	15.4
	泉校区	78	10.3	7.7	21.8	32.1	1.3	26.9	9.0	20.5
	今川校区	12	0.0	0.0	8.3	66.7	16.7	25.0	33.3	0.0
	稗田校区	25	16.0	8.0	24.0	36.0	8.0	36.0	20.0	8.0
	樺市校区	14	21.4	7.1	28.6	28.6	7.1	14.3	28.6	28.6
	延永校区	67	11.9	7.5	11.9	46.3	7.5	20.9	20.9	11.9
	無回答	18	22.2	5.6	22.2	27.8	5.6	16.7	11.1	11.1

(3) 今後やりたいこと

- 今後やりたいことは「家に閉じこもらないでできるだけ外にでること」が50.4%と最も高く、次いで「これまでの友人や知人と交流すること」(43.1%)、「家族と一緒に過ごすこと」(32.1%)、「個人や家族でスポーツや趣味・娯楽を楽しむこと」(27.5%)、「サークル活動等で、スポーツや趣味・娯楽を楽しむこと」(21.5%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性より「個人や家族でスポーツや趣味・娯楽を楽しむこと」(32.9%)や「働くこと(仕事)」(24.4%)が高く、女性は男性より「これまでの友人や知人と交流すること」(52.4%)が顕著に高い。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて、「老人クラブやいきいきサロン等の、身近な地域で年齢が近い人とふれあえる活動に参加すること」の割合が高い。65～69歳では「働くこと(仕事)」「教養を高めること」「新しい友人や知人を増やすこと」が他の年代に比べて10ポイント程度高くなっている。
- 小学校区別にみると、「自治会等の地域活動に参加すること」は今川校区(25.0%)、今元校区(18.8%)、稗田校区(18.6%)が高い。

【今後やりたいこと】



【今後やりたいこと(性別・年齢別・小学校区別)】

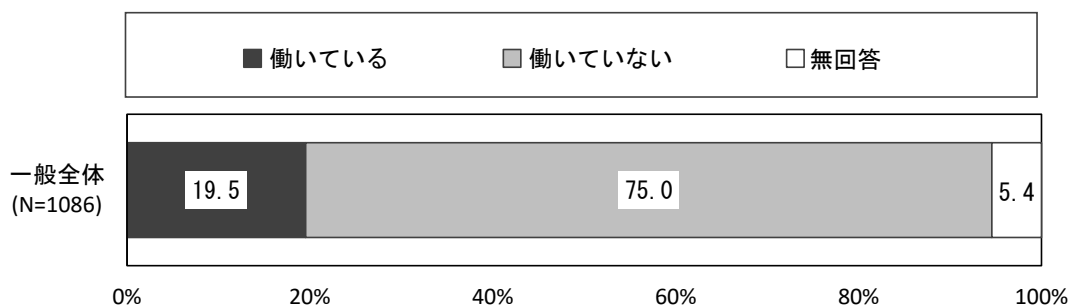
	調査数	働くこと(仕事)	教養を高めること	サークル活動等で、楽しむこと	ボランティア活動に参加すること	自治会等の地域活動に参加すること	年齢が近い人とふれあえる活動に参加すること	老人クラブやいきいきサロン等の、身近な地域で楽しむこと	個人や家族でスポーツや趣味・娯楽を楽しむこと	家族と一緒に過ごすこと
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	1,086	16.5	11.9	21.5	5.3	10.8	20.7	27.5	32.1	
性別	男性	505	24.4	12.7	25.0	6.5	15.0	16.2	32.9	35.8
	女性	557	9.3	11.5	19.2	4.3	7.2	25.3	22.8	28.7
	無回答	24	16.7	4.2	4.2	4.2	4.2	8.3	25.0	33.3
年齢別	65～69歳	38	34.2	23.7	15.8	13.2	7.9	0.0	42.1	34.2
	70～74歳	316	25.9	13.6	23.7	6.0	11.7	13.3	34.8	31.0
	75～79歳	145	17.9	12.4	28.3	9.7	12.4	16.6	29.7	30.3
	80～84歳	322	9.3	11.2	22.7	2.5	11.5	25.5	25.5	33.2
	85歳以上	241	10.0	9.1	15.4	4.6	8.7	30.7	17.4	34.0
	無回答	24	16.7	4.2	8.3	4.2	4.2	12.5	25.0	20.8
小学校区別	行橋校区	151	15.2	11.3	19.2	4.0	7.9	19.9	25.8	31.1
	行橋北校区	101	11.9	15.8	29.7	9.9	11.9	27.7	26.7	33.7
	行橋南校区	97	19.6	12.4	19.6	5.2	12.4	18.6	29.9	24.7
	今元校区	96	22.9	13.5	22.9	5.2	18.8	18.8	29.2	36.5
	葦島校区	13	15.4	7.7	15.4	15.4	7.7	23.1	7.7	23.1
	仲津校区	168	19.0	14.3	20.2	6.5	8.9	20.2	28.0	30.4
	泉校区	171	14.6	12.3	25.7	5.8	9.4	21.6	28.1	38.6
	今川校区	36	22.2	11.1	16.7	2.8	25.0	30.6	16.7	19.4
	稗田校区	59	18.6	6.8	28.8	6.8	18.6	35.6	32.2	40.7
	椿市校区	30	26.7	6.7	20.0	0.0	3.3	26.7	26.7	40.0
	延永校区	136	9.6	10.3	16.2	2.2	6.6	11.0	28.7	28.7
無回答	28	14.3	3.6	10.7	3.6	3.6	7.1	28.6	25.0	

	調査数	若い世代と交流すること	これまでの友人や知人と交流すること	新しい友人や知人を増やすこと	家に閉じこもらないで、できるだけ外にでること	常に新しいことにチャレンジすること	その他	特になし	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,086	10.6	43.1	8.3	50.4	9.2	3.1	6.7	
性別	男性	505	10.5	33.9	11.1	49.3	8.9	3.0	6.7
	女性	557	11.1	52.4	5.9	52.2	9.7	3.4	6.6
	無回答	24	0.0	20.8	4.2	29.2	4.2	0.0	8.3
年齢別	65～69歳	38	18.4	39.5	21.1	34.2	10.5	2.6	0.0
	70～74歳	316	9.2	43.7	9.5	52.8	10.4	2.2	4.7
	75～79歳	145	13.1	40.7	9.0	52.4	9.0	2.8	8.3
	80～84歳	322	9.6	51.2	7.1	56.8	9.6	4.7	4.3
	85歳以上	241	12.0	36.1	6.2	41.1	7.5	2.9	12.4
	無回答	24	0.0	16.7	4.2	37.5	4.2	0.0	8.3
小学校区別	行橋校区	151	10.6	43.0	6.6	53.0	9.9	4.0	4.6
	行橋北校区	101	13.9	44.6	12.9	53.5	12.9	3.0	5.9
	行橋南校区	97	9.3	45.4	8.2	54.6	3.1	6.2	5.2
	今元校区	96	10.4	32.3	5.2	45.8	9.4	0.0	6.3
	葦島校区	13	7.7	38.5	0.0	46.2	0.0	7.7	0.0
	仲津校区	168	13.1	42.3	8.3	51.2	11.3	1.2	7.7
	泉校区	171	11.7	48.5	9.4	49.7	8.8	4.7	7.0
	今川校区	36	8.3	52.8	5.6	52.8	16.7	5.6	13.9
	稗田校区	59	10.2	44.1	16.9	52.5	11.9	3.4	10.2
	椿市校区	30	10.0	43.3	6.7	36.7	13.3	0.0	0.0
	延永校区	136	8.1	42.6	6.6	50.0	5.9	2.9	6.6
無回答	28	0.0	28.6	3.6	35.7	3.6	0.0	14.3	

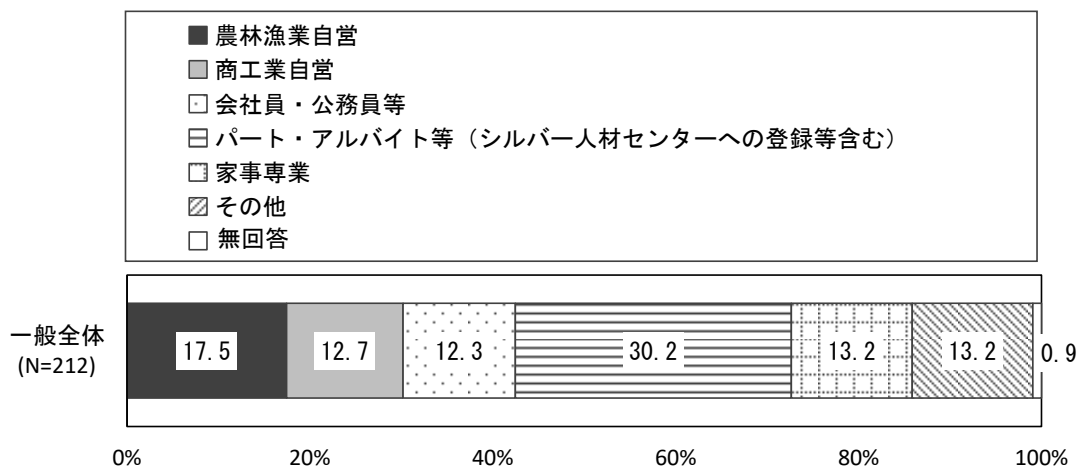
(4) 就労状況・職業

- 現在の就労状況は「働いている」が 19.5%、「働いていない」が 75.0%となっている。また、「働いている」と回答した人の職業は、「パート・アルバイト等（シルバー人材センターへの登録等含む）」が 30.2%と最も高く、次いで「農林漁業自営」（17.5%）、「家事専業」「その他」（13.2%）の順に高い。
- 性別にみると、「働いている」という割合は、男性（25.3%）が女性（14.4%）より高い。また、男性では「農林漁業自営」（19.5%）や「商工業自営」（17.2%）、「会社員・公務員等」（14.1%）が女性より高い。女性では「パート・アルバイト等（シルバー人材センターへの登録等含む）」（36.3%）や「家事専業」（23.8%）が男性より高い。
- 年齢別にみると、「働いている」という割合は、65～69歳が 44.7%、70～74歳で 32.0%、75～79歳で 23.4%となっており、80歳以上になると全体の割合を下回るようになる。
- 小学校区別にみると、「働いている」という割合は、稗田校区が 33.9%と最も高く、行橋北校区（7.9%）が最も低い。

【就労状況】



【職業】



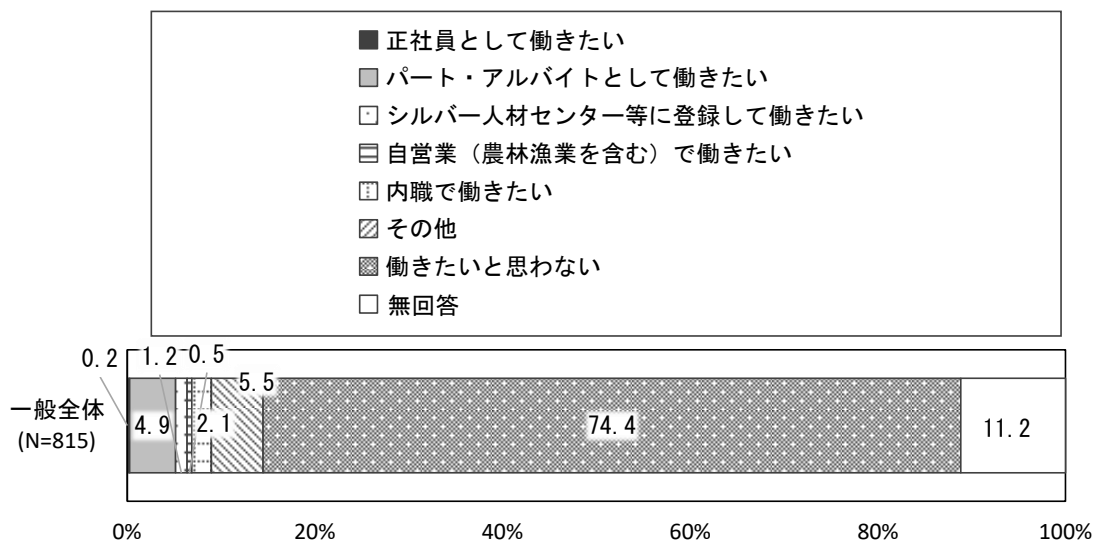
【就労状況・職業(性別・年齢別・小学校区別)】

		調査数 (人)	働いている	働いていない	無回答	調査数 (人)	農林漁業自営	商工業自営	会社員・公務員等	パート・アルバイト等(シル含む)	家事専業	その他	無回答
			(%)	(%)	(%)		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,086	19.5	75.0	5.4	212	17.5	12.7	12.3	30.2	13.2	13.2	0.9
性別	男性	505	25.3	70.7	4.0	128	19.5	17.2	14.1	26.6	7.0	14.8	0.8
	女性	557	14.4	79.7	5.9	80	13.8	6.3	7.5	36.3	23.8	11.3	1.3
	無回答	24	16.7	58.3	25.0	4	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	65～69歳	38	44.7	55.3	0.0	17	5.9	11.8	35.3	41.2	0.0	5.9	0.0
	70～74歳	316	32.0	65.8	2.2	101	12.9	11.9	11.9	44.6	6.9	10.9	1.0
	75～79歳	145	23.4	71.0	5.5	34	20.6	11.8	14.7	23.5	11.8	14.7	2.9
	80～84歳	322	10.6	82.0	7.5	34	29.4	14.7	2.9	8.8	23.5	20.6	0.0
	85歳以上	241	8.7	85.5	5.8	21	23.8	19.0	0.0	0.0	42.9	14.3	0.0
	無回答	24	20.8	54.2	25.0	5	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0
小学校区別	行橋校区	151	23.2	72.2	4.6	35	2.9	25.7	20.0	28.6	11.4	11.4	0.0
	行橋北校区	101	7.9	87.1	5.0	8	0.0	25.0	0.0	37.5	25.0	12.5	0.0
	行橋南校区	97	19.6	73.2	7.2	19	5.3	26.3	15.8	31.6	10.5	10.5	0.0
	今元校区	96	24.0	75.0	1.0	23	39.1	4.3	8.7	26.1	13.0	8.7	0.0
	菟島校区	13	15.4	69.2	15.4	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	仲津校区	168	18.5	76.8	4.8	31	25.8	9.7	12.9	35.5	6.5	9.7	0.0
	泉校区	171	17.0	77.2	5.8	29	13.8	3.4	10.3	37.9	6.9	24.1	3.4
	今川校区	36	25.0	75.0	0.0	9	22.2	22.2	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0
	稗田校区	59	33.9	64.4	1.7	20	35.0	0.0	0.0	20.0	25.0	15.0	5.0
	樺市校区	30	23.3	70.0	6.7	7	14.3	0.0	14.3	14.3	28.6	28.6	0.0
	延永校区	136	17.6	75.0	7.4	24	8.3	16.7	8.3	37.5	25.0	4.2	0.0
	無回答	28	17.9	60.7	21.4	5	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0

(5) 働いていない人の今後の就労意向

- 現在働いていない人の今後の就労意向は「働きたいと思わない」が74.4%と多くを占める。一方、「正社員として働きたい」から「その他」までを合わせた『就労意向あり』とする割合は14.4%となっている。
- 性別にみると、『就労意向あり』の割合は男性が16.4%と女性（13.6%）より高い。
- 年齢別にみると、『就労意向あり』の割合は、年齢が若いほど高く、65～69歳では23.9%となっている。

【就労意向】



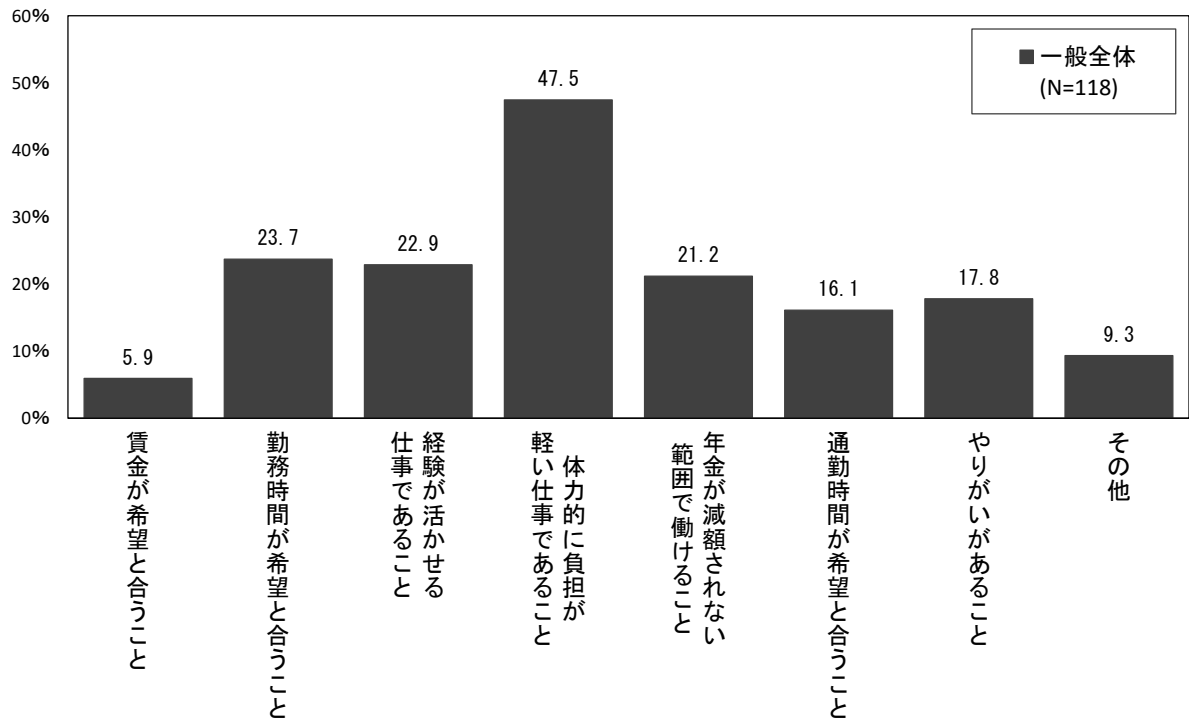
【就労意向(性別・年齢別)】

		調査数 (人)	正社員として働きたい	パート・アルバイトとして働きたい	シルバー人材センター等に登録して働きたい	自営業（農林漁業を含む）で働きたい	内職で働きたい	その他	働きたいと思わない	無回答
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		815	0.2	4.9	1.2	0.5	2.1	5.5	74.4	11.2
性別	男性	357	0.6	7.3	2.0	1.1	0.6	4.8	75.6	8.1
	女性	444	0.0	3.2	0.7	0.0	3.4	6.3	73.4	13.1
	無回答	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	28.6
年齢別	65～69歳	21	4.8	14.3	4.8	0.0	0.0	0.0	71.4	4.8
	70～74歳	208	0.0	10.6	1.4	0.5	3.8	4.3	76.9	2.4
	75～79歳	103	0.0	7.8	1.0	0.0	1.9	6.8	73.8	8.7
	80～84歳	264	0.4	1.5	0.8	0.8	2.7	6.1	75.8	12.1
	85歳以上	206	0.0	1.5	1.5	0.5	0.0	6.3	70.9	19.4
	無回答	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.2	30.8

(6) 働く場合に重視する条件

- 現在は働いていないが、今後働きたいと思っている人が働く場合に重視する条件は「体力的に負担が軽い仕事であること」が47.5%と最も高く、次いで「勤務時間が希望と合うこと」(23.7%)、「経験が活かせる仕事であること」(22.9%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性より「その他」を除くすべての条件で重視している割合が高い。
- 年齢別にみると、65～74歳の前期高齢者では「体力的に負担が軽い仕事であること」が60%以上となっている。

【働く場合に重視する条件】



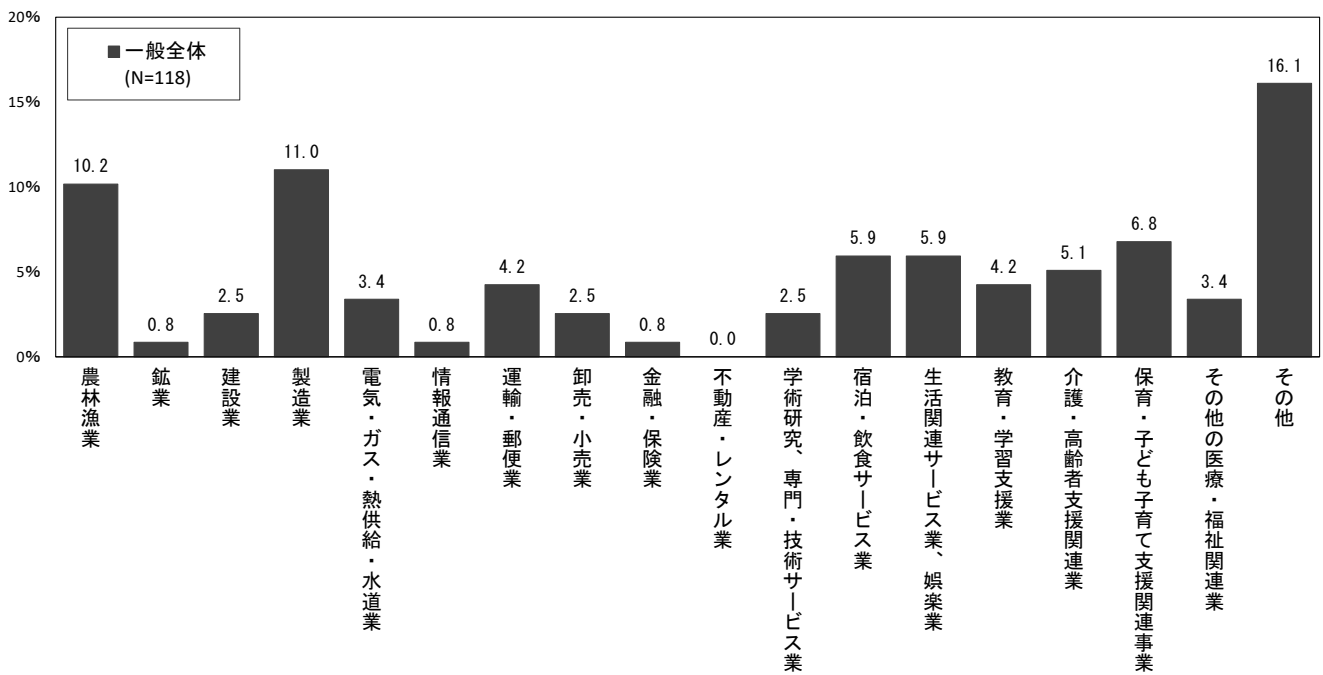
【働く場合に重視する条件(性別・年齢別)】

		調査数 (人)	賃金が希望と合うこと	勤務時間が希望と合うこと	経験が活かせる仕事であること	体力的に負担が軽い仕事であること	年金が減額されない範囲で働けること	通勤時間が希望と合うこと	やりがいがあること	その他
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		118	5.9	23.7	22.9	47.5	21.2	16.1	17.8	9.3
性別	男性	58	10.3	31.0	32.8	48.3	25.9	20.7	19.0	8.6
	女性	60	1.7	16.7	13.3	46.7	16.7	11.7	16.7	10.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	65～69歳	5	0.0	40.0	0.0	60.0	20.0	20.0	20.0	0.0
	70～74歳	43	9.3	34.9	20.9	60.5	32.6	16.3	11.6	4.7
	75～79歳	18	5.6	27.8	33.3	44.4	16.7	22.2	27.8	5.6
	80～84歳	32	6.3	15.6	28.1	43.8	15.6	15.6	25.0	9.4
	85歳以上	20	0.0	5.0	15.0	25.0	10.0	10.0	10.0	25.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(7) 働く場合に希望する業種

- 現在は働いていないが、今後働きたいと思っている人が働く場合に希望する業種は「製造業」が11.0%と最も高く、次いで「農林漁業」(10.2%)、「保育・子ども子育て支援関連事業」(6.8%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は「製造業」(20.7%)、女性は「宿泊・飲食サービス業」「保育・子ども子育て支援関連事業」(10.0%)がそれぞれ最も高い。
- 年齢別にみると、65～69歳では「電気・ガス・熱供給・水道業」「生活関連サービス業、娯楽業」(40.0%)が最も高い。

【働く場合に希望する業種】



【働く場合に希望する業種(性別・年齢別)】

	調査数	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産・レンタル業	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	118	10.2	0.8	2.5	11.0	3.4	0.8	4.2	2.5	0.8	0.0	
性別	男性	58	17.2	1.7	5.2	20.7	6.9	1.7	8.6	3.4	1.7	0.0
	女性	60	3.3	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	65～69歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	70～74歳	43	14.0	2.3	2.3	23.3	4.7	2.3	7.0	2.3	2.3	0.0
	75～79歳	18	11.1	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0
	80～84歳	32	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0
	85歳以上	20	10.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

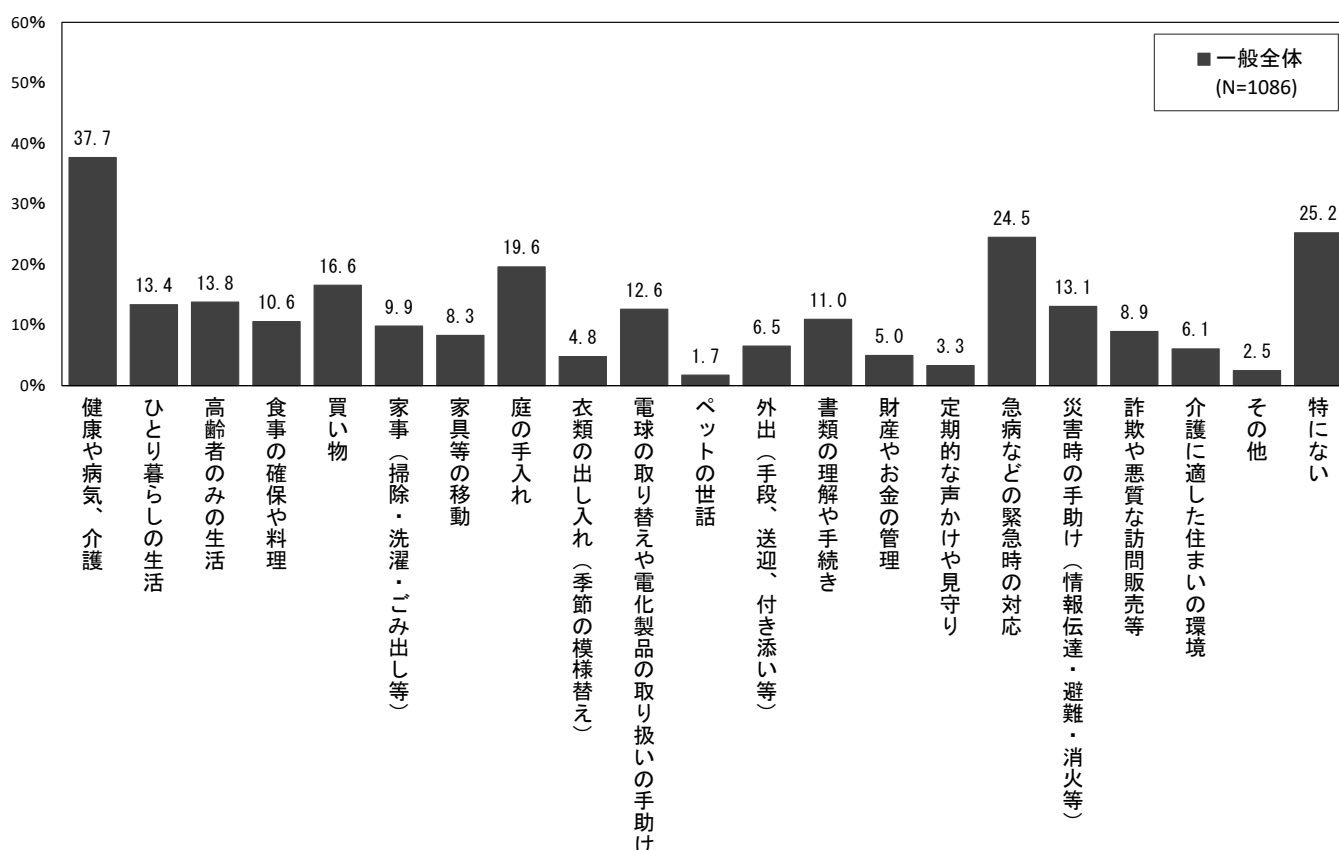
	調査数	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊・飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育・学習支援業	介護・高齢者支援関連業	保育・子ども子育て支援関連事業	その他の医療・福祉関連業	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	118	2.5	5.9	5.9	4.2	5.1	6.8	3.4	16.1	
性別	男性	58	5.2	1.7	6.9	6.9	3.4	3.4	1.7	12.1
	女性	60	0.0	10.0	5.0	1.7	6.7	10.0	5.0	20.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	65～69歳	5	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	43	2.3	7.0	2.3	2.3	7.0	4.7	4.7	16.3
	75～79歳	18	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	11.1	0.0	27.8
	80～84歳	32	3.1	6.3	6.3	6.3	3.1	6.3	0.0	9.4
	85歳以上	20	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0	10.0	10.0	20.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

6. 日常生活上の不安や困りごとについて

(1) 日常生活上の不安や困りごと

- 日常生活上の不安や困りごとは、「特にない」が25.2%を占めている。不安や困りごとがある人では、「健康や病気、介護」が37.7%と最も高く、次いで「急病などの緊急時の対応」(24.5%)、「庭の手入れ」(19.6%)、「買い物」(16.6%)、「高齢者のみの生活」(13.8%)が上位5項目にあがっている。
- 性別にみると、女性は男性に比べて「買い物」(20.3%)や「庭の手入れ」(22.4%)、「急病などの緊急時の対応」(27.3%)等の割合が高く、20%を超えている。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「高齢者のみの生活」「食事の確保や料理」「買い物」「家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)」「電球の取り替えや電化製品の取り扱いの手助け」「外出(手段、送迎、付き添い等)」「急病などの緊急時の対応」「災害時の手助け(情報伝達・避難・消火等)」の割合が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「ひとり暮らしの生活」や「急病などの緊急時の対応」等、13項目において他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、菟島校区では「健康や病気、介護」(61.5%)、「ひとり暮らしの生活」(30.8%)が他の校区に比べて高い。また、稗田校区では「買い物」(22.0%)、「高齢者のみの生活」(20.3%)、行橋北校区では「災害時の手助け(情報伝達・避難・消火等)」(16.8%)が他の校区に比べて高い。

【日常生活上の不安や困りごと】



【日常生活上の不安や困りごと(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

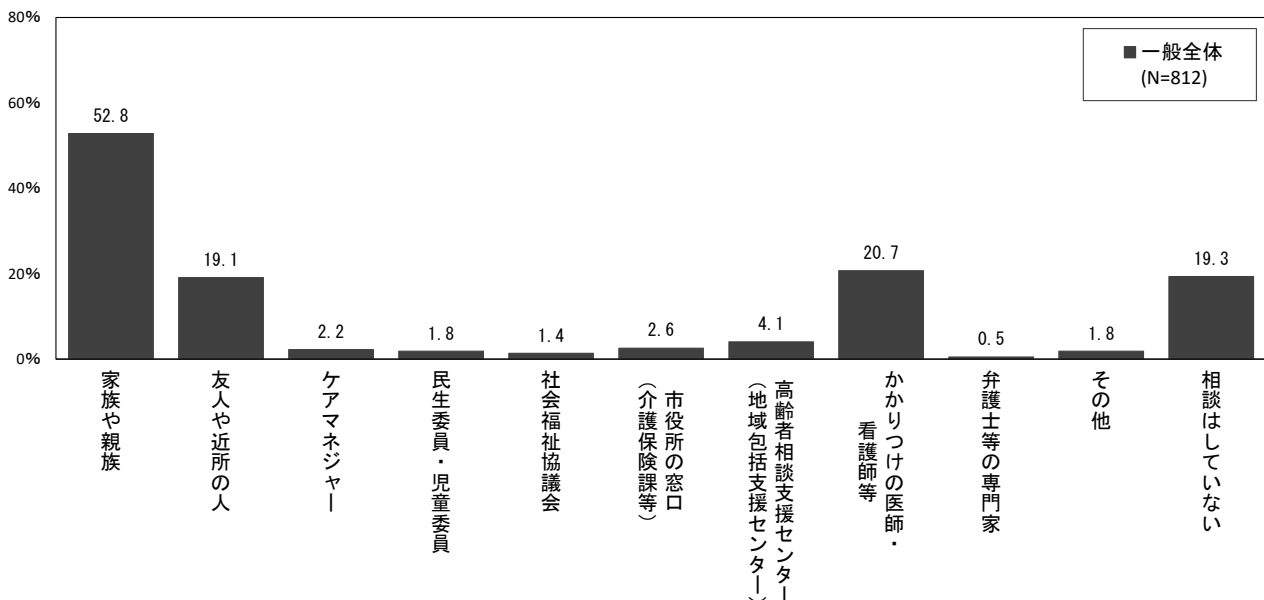
	調査数	健康や病氣、介護	ひとり暮らしの生活	高齢者のみの生活	食事の確保や料理	買い物	家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)	家具等の移動	庭の手入れ	衣類の出し入れ(季節の模様替え)	電球の取り替えや製品の取り扱	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,086	37.7	13.4	13.8	10.6	16.6	9.9	8.3	19.6	4.8	12.6	
性別	男性	505	39.4	11.7	14.9	12.3	12.7	8.1	5.1	16.4	4.0	6.3
	女性	557	36.6	14.9	12.9	9.2	20.3	11.3	11.3	22.4	5.6	18.5
	無回答	24	25.0	12.5	12.5	8.3	12.5	12.5	4.2	20.8	4.2	8.3
年齢別	65～69歳	38	36.8	10.5	5.3	2.6	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0
	70～74歳	316	35.4	9.2	7.9	7.6	7.0	4.1	6.0	15.5	3.8	6.0
	75～79歳	145	30.3	13.1	14.5	7.6	9.7	5.5	4.1	11.0	0.7	7.6
	80～84歳	322	41.0	15.2	16.5	13.7	23.6	14.0	10.6	22.4	4.7	14.9
	85歳以上	241	41.5	17.0	19.5	13.7	26.1	15.4	12.4	28.2	8.7	23.2
	無回答	24	29.2	12.5	8.3	8.3	12.5	16.7	4.2	25.0	12.5	12.5
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	258	39.9	39.9	7.4	15.5	24.0	12.4	13.2	27.9	4.3	26.0
	夫婦のみふたり暮らし世帯	506	37.7	5.9	21.1	9.1	15.6	9.3	5.9	16.6	5.1	9.3
	その他の世帯	287	36.9	3.1	5.9	8.4	12.2	8.0	8.7	16.7	4.2	7.0
	無回答	35	25.7	8.6	20.0	14.3	11.4	14.3	2.9	25.7	8.6	8.6
小学校区別	行橋校区	151	42.4	15.2	16.6	11.3	18.5	7.3	11.9	19.2	4.6	15.2
	行橋北校区	101	31.7	15.8	12.9	7.9	8.9	4.0	9.9	7.9	3.0	17.8
	行橋南校区	97	44.3	12.4	14.4	10.3	21.6	7.2	9.3	14.4	4.1	15.5
	今元校区	96	33.3	8.3	15.6	16.7	21.9	15.6	9.4	21.9	6.3	13.5
	養鳥校区	13	61.5	30.8	7.7	7.7	7.7	7.7	15.4	23.1	0.0	7.7
	仲津校区	168	31.5	17.3	12.5	10.1	19.0	13.7	8.3	26.8	2.4	11.3
	泉校区	171	43.9	11.7	17.0	9.4	11.7	7.6	8.2	21.1	8.2	10.5
	今川校区	36	36.1	13.9	5.6	13.9	19.4	13.9	5.6	30.6	2.8	11.1
	稗田校区	59	42.4	10.2	20.3	10.2	22.0	11.9	5.1	18.6	8.5	11.9
	樺市校区	30	36.7	20.0	13.3	10.0	20.0	6.7	6.7	26.7	3.3	16.7
	延永校区	136	33.8	8.8	8.8	10.3	14.0	11.0	4.4	15.4	3.7	8.1
	無回答	28	25.0	14.3	7.1	7.1	10.7	14.3	3.6	21.4	7.1	10.7

	調査数	ペットの世話	外出(手段、送り、送り先等)	書類の理解や手続き	財産やお金の管理	定期的な声かけや見守り	急病などの緊急時の対応	難(情報伝達・避火等)	災害時の手助け	詐欺や悪質な訪問販売等	介護に適した住まいの環境	その他	特になし
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	1,086	1.7	6.5	11.0	5.0	3.3	24.5	13.1	8.9	6.1	2.5	25.2	
性別	男性	505	2.2	4.8	9.9	4.6	2.4	21.8	10.1	6.5	6.1	2.4	29.1
	女性	557	1.4	8.1	12.2	5.4	4.1	27.3	16.0	11.1	6.1	2.7	22.1
	無回答	24	0.0	8.3	4.2	4.2	4.2	16.7	8.3	8.3	4.2	0.0	16.7
年齢別	65～69歳	38	5.3	0.0	2.6	2.6	0.0	13.2	0.0	7.9	0.0	0.0	44.7
	70～74歳	316	1.9	2.8	10.8	4.7	1.6	19.6	9.8	7.0	4.4	1.3	34.5
	75～79歳	145	2.1	4.1	7.6	2.8	0.7	20.0	11.7	3.4	6.9	1.4	29.7
	80～84歳	322	1.2	6.8	11.2	5.3	4.0	28.6	16.1	11.5	6.5	4.3	17.7
	85歳以上	241	1.7	13.3	14.5	6.6	6.6	30.3	16.6	11.6	8.3	2.9	18.3
	無回答	24	0.0	8.3	8.3	4.2	4.2	20.8	8.3	8.3	4.2	0.0	16.7
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	258	1.6	6.6	11.2	4.7	6.2	43.4	22.1	12.4	5.8	2.3	12.8
	夫婦のみふたり暮らし世帯	506	2.0	6.9	11.1	5.1	1.8	21.7	11.1	7.9	6.5	2.4	26.5
	その他の世帯	287	1.7	5.9	10.8	4.9	2.8	13.2	9.4	7.3	5.9	3.1	35.2
	無回答	35	0.0	5.7	8.6	5.7	8.6	17.1	5.7	11.4	2.9	0.0	17.1
小学校区別	行橋校区	151	0.7	4.6	7.9	3.3	2.6	27.2	14.6	6.6	5.3	4.0	19.2
	行橋北校区	101	2.0	6.9	10.9	6.9	5.9	28.7	16.8	11.9	6.9	3.0	26.7
	行橋南校区	97	1.0	6.2	8.2	4.1	2.1	28.9	16.5	4.1	6.2	4.1	21.6
	今元校区	96	2.1	6.3	11.5	5.2	5.2	28.1	12.5	14.6	8.3	3.1	26.0
	養鳥校区	13	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	23.1	7.7	7.7	0.0	0.0	15.4
	仲津校区	168	2.4	4.2	11.9	5.4	3.0	27.4	10.1	9.5	4.2	2.4	27.4
	泉校区	171	1.2	7.0	14.6	7.0	3.5	21.6	14.6	11.1	5.3	2.3	25.1
	今川校区	36	2.8	5.6	8.3	5.6	5.6	19.4	13.9	5.6	5.6	0.0	19.4
	稗田校区	59	5.1	8.5	16.9	5.1	0.0	23.7	8.5	8.5	6.8	0.0	27.1
	樺市校区	30	3.3	13.3	10.0	0.0	0.0	16.7	3.3	10.0	6.7	3.3	26.7
	延永校区	136	0.7	8.1	9.6	4.4	2.9	17.6	14.0	5.9	8.8	1.5	33.1
	無回答	28	0.0	10.7	10.7	3.6	3.6	17.9	7.1	10.7	3.6	0.0	17.9

(2) 不安や困りごとの相談先

- 日常生活上の不安や困りごとの相談先は、「相談はしていない」が19.3%を占めている。不安や困りごとの相談先がある人では、「家族や親族」が52.8%と半数を超え、次いで「かかりつけの医師・看護師等」(20.7%)、「友人や近所の人」(19.1%)の順に続く。「ケアマネジャー」「市役所の窓口(介護保険課等)」「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」等は5%未満と少ない。
- 性別にみると、女性は男性に比べて「家族や親族」(58.8%)や「友人や近所の人」(24.0%)が高い。
- 年齢別にみると、70歳以上になると「家族や親族」のほか、「友人や近所の人」「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」の割合が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「友人や近所の人」や「民生委員・児童委員」が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「市役所の窓口(介護保険課等)」や「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」は稗田校区と泉校区が他の校区に比べてやや高い。

【不安や困りごとの相談先】



【不安や困りごとの相談先(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

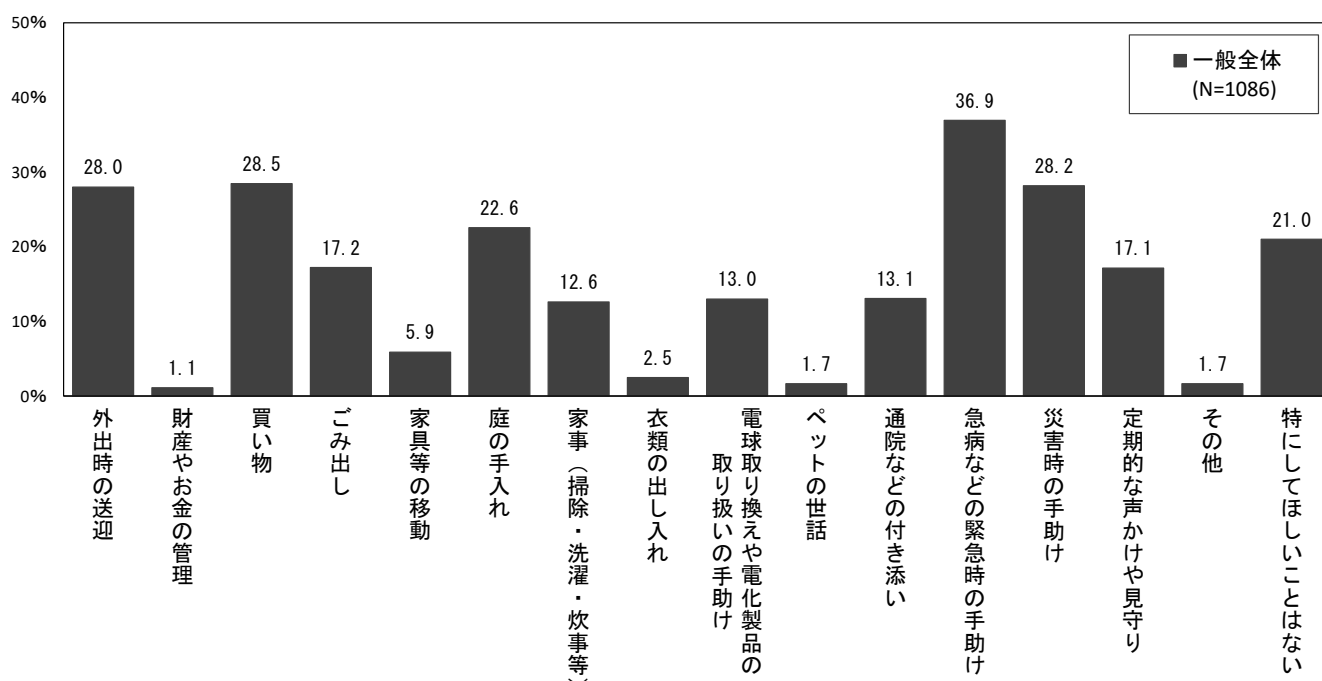
	調査数	家族や親族	友人や近所の人	ケアマネジャー	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	市役所の窓口 (介護保険課等)	高齢者相談支援センター (地域包括支援センター)	かかりつけの医師・ 看護師等	弁護士等の専門家	その他	相談はしていない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	812	52.8	19.1	2.2	1.8	1.4	2.6	4.1	20.7	0.5	1.8	19.3	
性別	男性	358	47.5	13.7	2.2	2.2	2.0	3.9	5.6	21.8	0.8	1.4	24.0
	女性	434	58.8	24.0	2.3	1.6	0.9	1.6	3.0	20.3	0.2	2.3	15.9
	無回答	20	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0
年齢別	65～69歳	21	42.9	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	23.8	0.0	4.8	23.8	
	70～74歳	207	56.0	17.9	1.4	1.0	1.0	1.9	3.4	17.4	1.0	1.4	23.2
	75～79歳	102	47.1	17.6	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	18.6	0.0	1.0	22.5
	80～84歳	265	55.5	22.6	2.6	2.3	2.3	4.2	4.2	21.1	0.4	3.0	18.5
	85歳以上	197	52.3	18.3	4.1	3.6	1.5	2.5	6.6	25.4	0.5	1.0	15.2
	無回答	20	30.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	225	52.4	30.2	2.2	2.2	0.9	0.4	4.4	18.2	0.4	3.1	19.6
	夫婦のみふたり暮らし世帯	372	49.5	14.2	2.7	1.9	1.9	4.0	4.8	21.2	0.8	1.6	22.8
	その他の世帯	186	61.8	16.7	1.1	1.6	1.1	2.2	2.7	22.0	0.0	1.1	14.0
	無回答	29	41.4	10.3	3.4	0.0	0.0	3.4	0.0	24.1	0.0	0.0	6.9
小学校区別	行橋校区	122	51.6	20.5	0.8	2.5	4.1	2.5	3.3	13.1	0.0	2.5	23.0
	行橋北校区	74	51.4	23.0	1.4	2.7	0.0	0.0	2.7	20.3	1.4	1.4	20.3
	行橋南校区	76	61.8	18.4	5.3	1.3	0.0	5.3	5.3	27.6	0.0	2.6	21.1
	今元校区	71	53.5	18.3	2.8	0.0	0.0	4.2	1.4	22.5	0.0	1.4	19.7
	叢島校区	11	45.5	36.4	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2
	仲津校区	122	46.7	16.4	2.5	3.3	2.5	0.0	4.1	13.9	0.8	2.5	23.8
	泉校区	128	53.9	17.2	1.6	2.3	1.6	5.5	7.0	31.3	0.8	1.6	17.2
	今川校区	29	58.6	31.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	31.0	0.0	3.4	13.8
	稗田校区	43	58.1	20.9	2.3	4.7	2.3	7.0	9.3	23.3	0.0	0.0	30.2
	樫市校区	22	63.6	13.6	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5	22.7	0.0	0.0	4.5
	延永校区	91	52.7	17.6	2.2	0.0	0.0	0.0	3.3	16.5	1.1	2.2	12.1
	無回答	23	34.8	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	0.0	0.0	8.7

7. 地域での支えあいについて

(1) 支援が必要になったとき、身近な地域の人にしてほしいこと

- 日常生活で支援が必要になったとき、身近な地域の人にしてほしいことは「急病などの緊急時の手助け」が36.9%と最も高く、次いで「買い物」(28.5%)、「災害時の手助け」(28.2%)、「外出時の送迎」(28.0%)、「庭の手入れ」(22.6%)が上位5項目にあがっている。
- 性別にみると、女性は男性に比べて「外出時の送迎」(28.7%)や「買い物」(29.3%)、「電球取り換えや電化製品の取り扱いの手助け」(18.5%)、「通院などの付き添い」(13.6%)、「災害時の手助け」(29.6%)等の割合が高い。
- 年齢別にみると、「電球取り換えや電化製品の取り扱いの手助け」や「災害時の手助け」は年齢が上がるにつれて高くなっている。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「電球取り換えや電化製品の取り扱いの手助け」(22.5%)や「通院などの付き添い」(14.7%)、「急病などの緊急時の手助け」(46.9%)、「災害時の手助け」(32.9%)、「定期的な声かけや見守り」(22.5%)等が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「外出時の送迎」は椿市校区(46.7%)が40%を超えている。「買い物」は仲津校区(38.7%)や箕島校区(38.5%)、椿市校区(36.7%)が35%を超えている。「急病などの緊急時の手助け」は、行橋北校区(43.6%)や行橋南校区(40.2%)が他の校区に比べて高い。

【支援が必要になった場合にしてほしいこと】



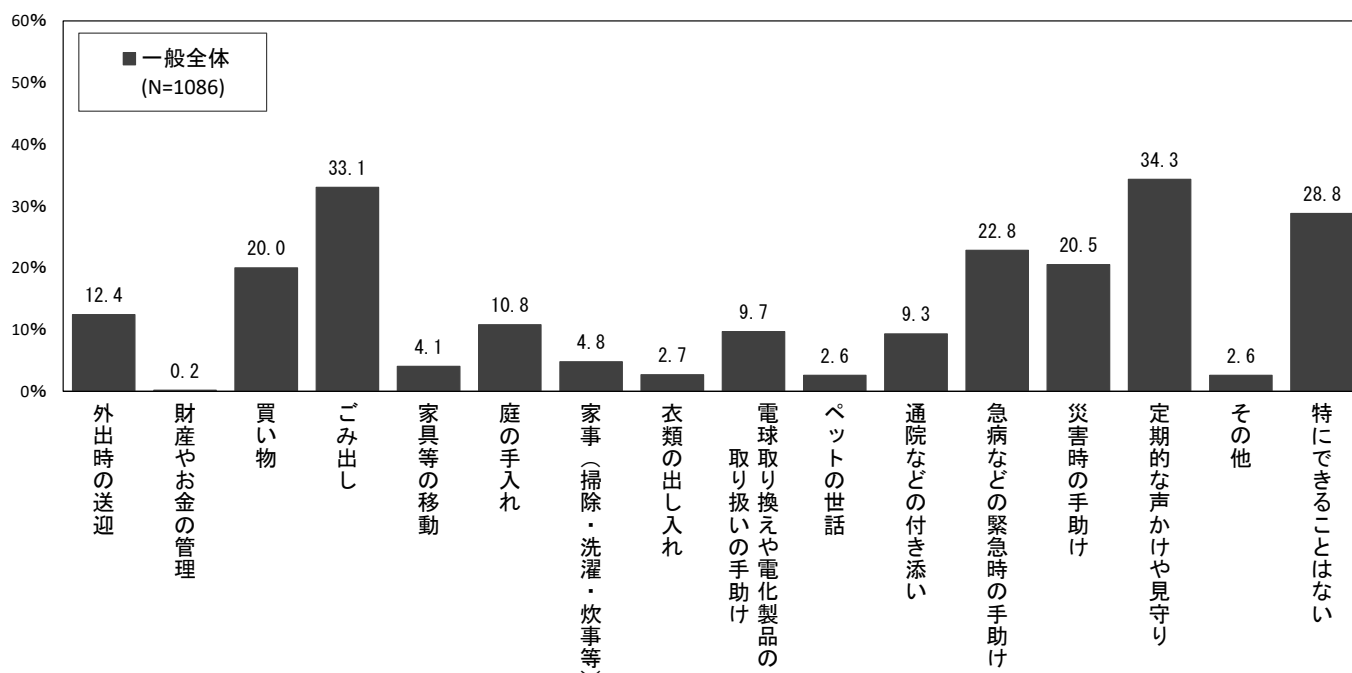
【支援が必要になった場合にしてほしいこと(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

	調査数	外出時の送迎	財産やお金の管理	買い物	ごみ出し	家具等の移動	庭の手入れ	家事(掃除・洗濯・炊事等)	衣類の出し入れ	電球取り換えや電化製品の取り扱いの手助け	ペットの世話	通院などの付き添い	急病などの緊急時の手助け	災害時の手助け	定期的な声かけや見守り	その他	特にしてほしいことはない
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	1,086	28.0	1.1	28.5	17.2	5.9	22.6	12.6	2.5	13.0	1.7	13.1	36.9	28.2	17.1	1.7	21.0
性別																	
男性	505	28.1	1.2	27.9	17.0	4.8	24.8	13.5	2.4	7.1	2.0	12.9	38.0	27.1	16.6	1.6	25.1
女性	557	28.7	1.1	29.3	17.6	7.0	21.0	12.0	2.7	18.5	1.4	13.6	36.4	29.6	18.1	1.6	16.9
無回答	24	8.3	0.0	20.8	12.5	4.2	12.5	8.3	0.0	8.3	0.0	4.2	25.0	16.7	4.2	4.2	29.2
年齢別																	
65～69歳	38	31.6	0.0	26.3	13.2	0.0	18.4	18.4	0.0	0.0	5.3	15.8	34.2	23.7	13.2	2.6	31.6
70～74歳	316	28.2	0.6	29.4	14.2	5.1	22.8	10.8	2.5	10.8	1.9	11.1	37.3	26.6	21.5	1.3	24.1
75～79歳	145	29.0	0.0	29.7	15.2	2.8	20.0	13.8	0.7	11.7	1.4	13.8	36.6	26.9	15.9	0.7	20.7
80～84歳	322	28.0	1.9	30.1	22.0	7.1	20.2	14.0	3.1	14.3	1.6	12.1	36.6	29.5	14.6	2.2	17.7
85歳以上	241	28.6	1.7	25.3	16.6	8.3	27.8	11.2	2.9	17.4	1.2	16.6	38.6	31.1	17.0	1.7	19.1
無回答	24	8.3	0.0	20.8	16.7	4.2	20.8	16.7	4.2	8.3	0.0	8.3	25.0	16.7	8.3	4.2	29.2
世帯構成別																	
ひとり暮らし世帯	258	28.7	0.0	31.0	20.2	8.5	25.6	11.6	2.3	22.5	1.6	14.7	46.9	32.9	22.5	2.3	12.8
夫婦のみふたり暮らし世帯	506	31.8	1.2	30.8	18.8	5.7	23.5	15.0	3.2	10.9	1.8	12.3	38.3	27.9	17.6	1.6	18.6
その他の世帯	287	22.6	1.7	22.6	12.9	4.2	18.5	8.7	1.7	8.7	1.7	13.6	27.9	26.5	12.2	1.0	31.4
無回答	35	11.4	2.9	22.9	8.6	2.9	20.0	17.1	0.0	8.6	0.0	8.6	17.1	11.4	11.4	2.9	31.4
小学校区別																	
行橋校区	151	19.9	1.3	23.8	7.3	6.0	18.5	9.3	2.0	11.3	1.3	11.9	38.4	32.5	13.9	3.3	17.9
行橋北校区	101	30.7	1.0	32.7	22.8	12.9	16.8	15.8	3.0	20.8	1.0	15.8	43.6	33.7	17.8	2.0	25.7
行橋南校区	97	27.8	1.0	32.0	14.4	8.2	14.4	12.4	4.1	14.4	0.0	10.3	40.2	38.1	15.5	1.0	15.5
今元校区	96	25.0	1.0	26.0	18.8	3.1	30.2	11.5	3.1	12.5	2.1	15.6	37.5	22.9	15.6	3.1	24.0
菱島校区	13	23.1	0.0	38.5	23.1	23.1	23.1	15.4	0.0	15.4	7.7	0.0	30.8	7.7	0.0	0.0	23.1
仲津校区	168	24.4	1.8	38.7	19.0	4.8	28.0	13.7	1.2	14.9	3.0	10.7	38.7	24.4	19.6	1.2	19.0
泉校区	171	28.1	0.6	21.1	19.9	3.5	22.2	11.1	2.3	11.7	1.2	13.5	39.2	33.3	19.9	0.6	21.1
今川校区	36	36.1	0.0	19.4	13.9	5.6	38.9	25.0	8.3	16.7	2.8	25.0	36.1	27.8	22.2	0.0	19.4
禰田校区	59	37.3	3.4	25.4	15.3	5.1	16.9	11.9	1.7	13.6	3.4	11.9	28.8	18.6	22.0	1.7	27.1
樺市校区	30	46.7	0.0	36.7	13.3	6.7	30.0	10.0	3.3	6.7	0.0	20.0	33.3	23.3	20.0	3.3	20.0
延永校区	136	33.1	0.7	28.7	22.1	3.7	22.8	12.5	2.2	8.1	1.5	13.2	30.9	24.3	14.7	0.7	21.3
無回答	28	21.4	0.0	21.4	14.3	7.1	17.9	14.3	0.0	10.7	0.0	7.1	21.4	14.3	10.7	3.6	28.6

(2) 支援が必要な家庭に対して、自分ができる支援

- 支援が必要な家庭に対して、自分ができる支援は「定期的な声かけや見守り」が 34.3%と最も高く、次いで「ごみ出し」(33.1%)、「急病などの緊急時の手助け」(22.8%)、「災害時の手助け」(20.5%)、「買い物」(20.0%) が上位5項目にあがっている。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「外出時の送迎」(17.8%) や「ごみ出し」(36.0%)、「家具等の移動」(8.1%)、「庭の手入れ」(15.2%)、「電球取り換えや電化製品の取り扱いの手助け」(19.6%) など日常生活のちょっとした困りごとに関する項目が高いほか、「急病などの緊急時の手助け」(30.1%) や「災害時の手助け」(31.5%) も顕著に高い。
- 年齢別にみると、「外出時の送迎」「買い物」「ごみ出し」「家具等の移動」等は、若い年齢ほど高い。また、「定期的な声かけや見守り」は 65～69 歳では 50%を超えている。
- 世帯構成別にみると、夫婦のみふたり暮らし世帯では「ごみ出し」や「定期的な声かけや見守り」が 30%を超えているほか、「急病などの緊急時の手助け」(26.3%) や「災害時の手助け」(25.9%) が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「外出時の送迎」は稗田校区 (23.7%)、椿市校区 (20.0%) が 20%以上となっている。「定期的な声かけや見守り」は稗田校区 (44.1%) や泉校区 (40.4%) が 40%を超えている。

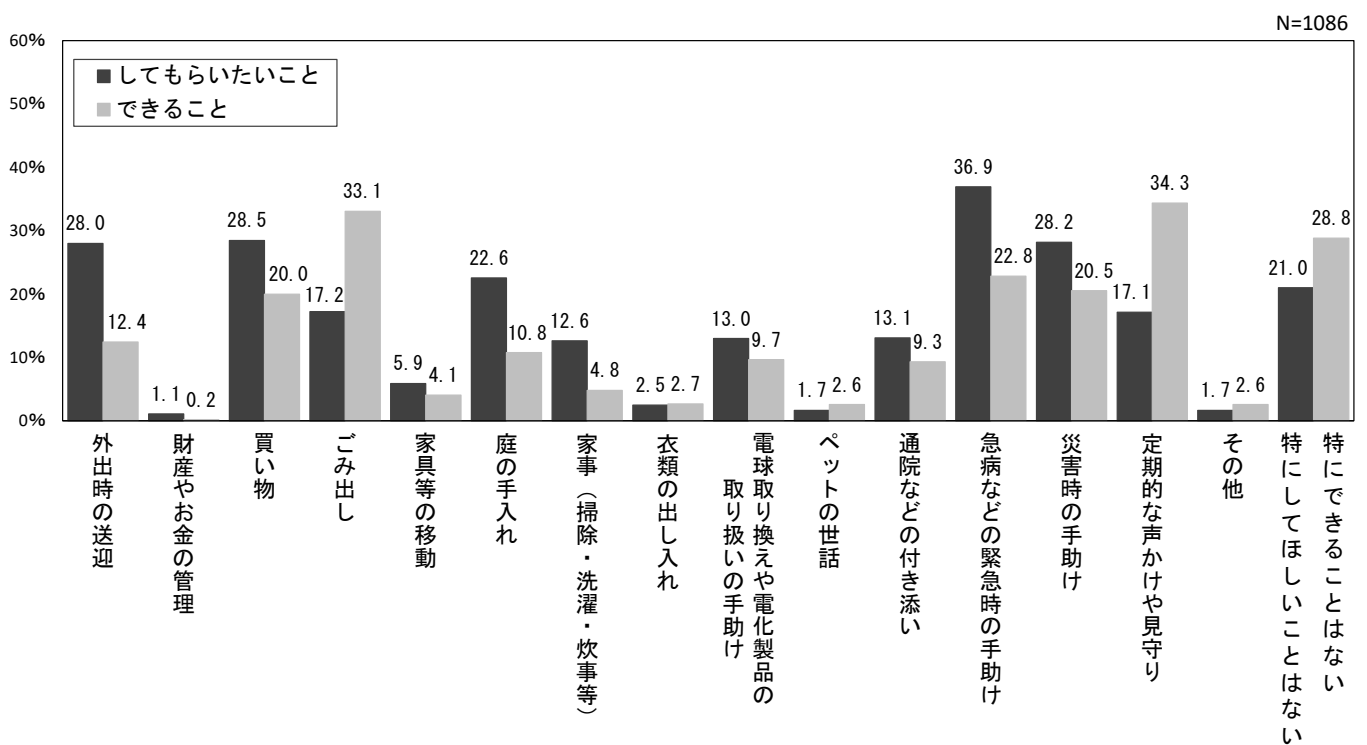
【支援が必要な家庭に対して、自分ができる支援】



【支援が必要な家庭に対して、自分ができる支援(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

	調査数	外出時の送迎	財産やお金の管理	買い物	ごみ出し	家具等の移動	庭の手入れ	家事(掃除・洗濯・炊事等)	衣類の出し入れ	電球取り換えや電化製品の取り扱いの助け	ペットの世話	通院などの付き添い	急病などの緊急時の手助け	災害時の手助け	定期的な声かけや見守り	その他	特にできることはない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	1,086	12.4	0.2	20.0	33.1	4.1	10.8	4.8	2.7	9.7	2.6	9.3	22.8	20.5	34.3	2.6	28.8	
性別	男性	505	17.8	0.0	20.0	36.0	8.1	15.2	1.8	0.8	19.6	2.6	9.9	30.1	31.5	34.1	2.0	25.1
	女性	557	8.1	0.4	20.3	30.9	0.5	6.6	7.7	4.5	0.9	2.5	9.2	16.9	11.1	35.4	3.2	31.6
	無回答	24	0.0	0.0	12.5	20.8	0.0	12.5	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	8.3	8.3	16.7	0.0	41.7
年齢別	65~69歳	38	34.2	0.0	31.6	42.1	15.8	15.8	5.3	7.9	31.6	5.3	15.8	34.2	47.4	55.3	0.0	13.2
	70~74歳	316	19.0	0.3	30.1	40.8	5.7	13.6	5.7	1.6	13.0	3.8	11.4	32.9	30.7	43.4	2.2	19.6
	75~79歳	145	17.9	0.0	29.0	38.6	5.5	13.8	9.7	4.8	11.0	5.5	17.9	24.8	23.4	37.9	1.4	20.0
	80~84歳	322	8.1	0.3	14.9	31.7	2.5	8.7	3.4	2.5	6.2	0.6	6.2	17.7	13.7	30.4	3.4	33.5
	85歳以上	241	4.1	0.0	7.1	21.2	1.7	7.1	2.9	2.5	6.2	1.7	5.4	14.9	11.6	24.5	3.3	41.1
	無回答	24	0.0	0.0	12.5	20.8	0.0	12.5	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	8.3	8.3	12.5	0.0	41.7
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	258	11.6	0.0	18.2	32.6	2.3	7.8	5.4	2.3	5.0	2.3	9.7	19.4	13.6	31.4	3.9	31.0
	夫婦のみふたり暮らし世帯	506	14.4	0.4	22.3	35.2	5.9	12.1	5.1	2.6	12.6	2.6	9.7	26.3	25.9	38.7	2.4	24.7
	その他の世帯	287	11.1	0.0	17.8	31.4	2.8	11.5	3.1	3.1	9.4	2.8	9.1	22.0	18.8	30.7	2.1	33.1
	無回答	35	0.0	0.0	17.1	20.0	0.0	8.6	8.6	2.9	2.9	2.9	2.9	5.7	8.6	22.9	0.0	37.1
小学校区別	行橋校区	151	9.9	0.0	18.5	23.2	2.0	5.3	4.6	1.3	6.0	4.0	4.0	15.9	14.6	29.1	4.6	29.8
	行橋北校区	101	9.9	0.0	17.8	31.7	5.0	5.0	5.9	3.0	8.9	2.0	6.9	22.8	20.8	31.7	3.0	35.6
	行橋南校区	97	6.2	1.0	11.3	28.9	5.2	7.2	3.1	3.1	12.4	3.1	9.3	19.6	18.6	34.0	2.1	29.9
	今元校区	96	14.6	1.0	18.8	29.2	1.0	16.7	6.3	6.3	5.2	2.1	11.5	19.8	20.8	33.3	3.1	27.1
	葦島校区	13	15.4	0.0	23.1	30.8	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	15.4	38.5	30.8	23.1	7.7	23.1
	仲津校区	168	17.3	0.0	19.6	36.9	5.4	14.9	3.0	0.6	12.5	3.0	10.7	26.8	18.5	39.3	2.4	28.0
	泉校区	171	13.5	0.0	25.1	42.1	5.3	12.3	6.4	4.1	13.5	1.8	11.7	22.8	28.7	40.4	2.3	24.0
	今川校区	36	16.7	0.0	22.2	25.0	2.8	13.9	5.6	0.0	13.9	2.8	8.3	30.6	13.9	38.9	0.0	25.0
	稗田校区	59	23.7	0.0	18.6	40.7	8.5	15.3	5.1	3.4	10.2	5.1	18.6	22.0	27.1	44.1	3.4	23.7
	楯市校区	30	20.0	0.0	33.3	50.0	3.3	10.0	10.0	6.7	3.3	3.3	13.3	40.0	30.0	30.0	3.3	20.0
	延永校区	136	7.4	0.0	22.1	33.1	3.7	11.0	2.9	2.2	8.8	0.7	7.4	25.0	18.4	28.7	0.7	33.8
	無回答	28	0.0	0.0	14.3	17.9	0.0	10.7	3.6	0.0	3.6	3.6	0.0	14.3	10.7	21.4	0.0	39.3

【支援してもらいたいこと・自分ができる支援】(再掲)

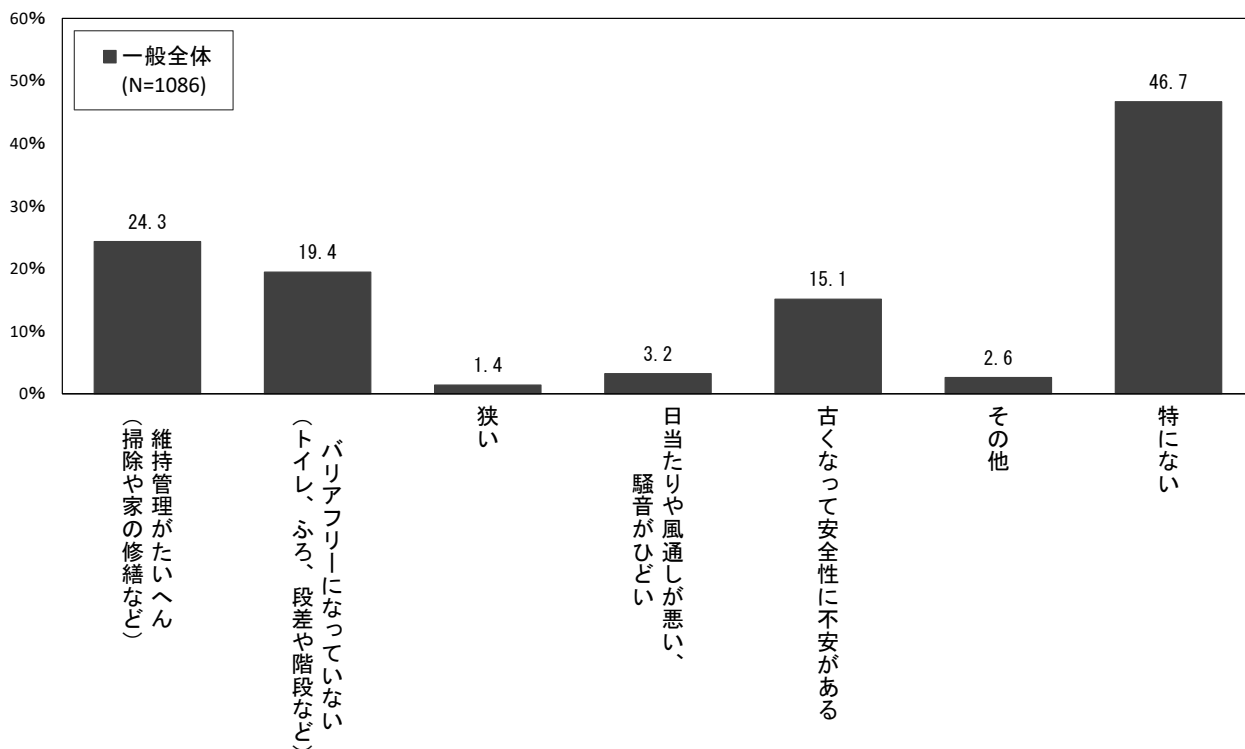


8. 住まいについて

(1) 住環境で困っていること【住居】

- 住居で困っていることは「特にない」が46.7%と約半数を占めている。困っていることがある人では「維持管理がたいへん（掃除や家の修理など）」が24.3%と最も高く、次いで「バリアフリーになっていない（トイレ、ふろ、段差や階段など）」（19.4%）、「古くなって安全性に不安がある」（15.1%）の順に続く。
- 年齢別にみると、80歳以上では「バリアフリーになっていない（トイレ、ふろ、段差や階段など）」が20%を超えている。
- 小学校区別にみると、「維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）」は今川校区（41.7%）が40%を超えている。「古くなって安全性に不安がある」は、行橋南校区（21.6%）、行橋北校区（20.8%）が20%を超えている。

【住居で困っていること】



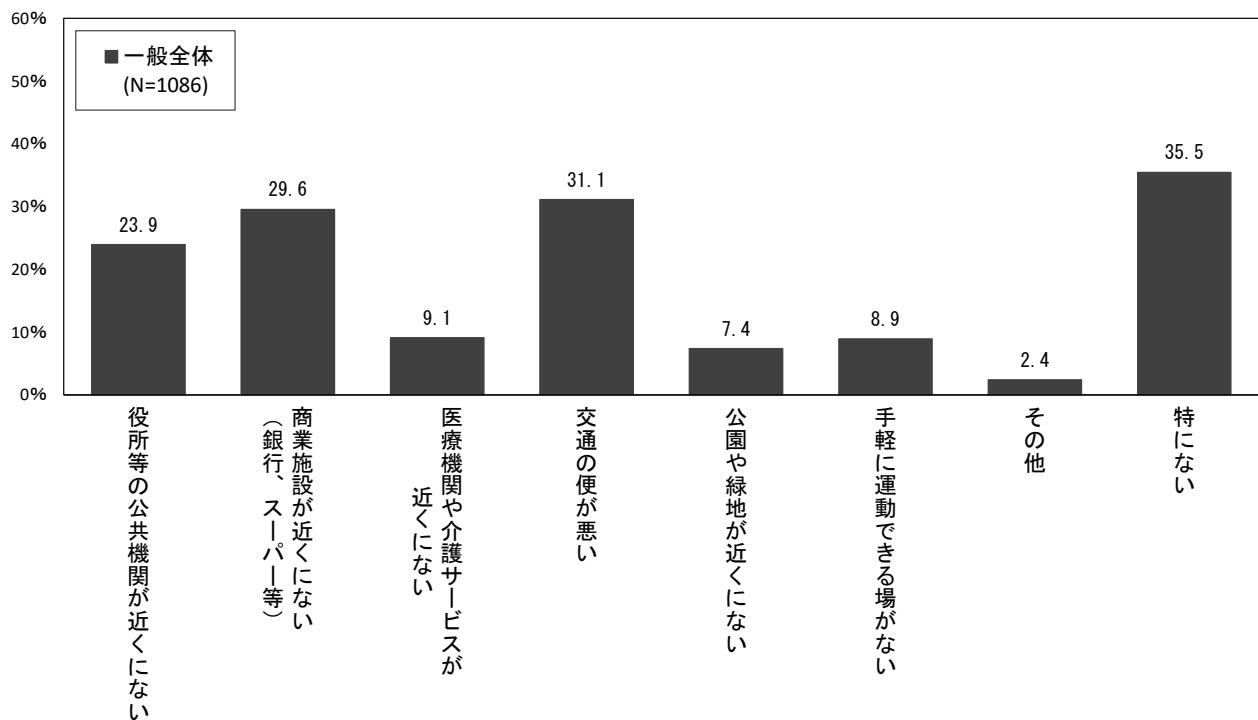
【住居で困っていること(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

		調査数	(維持管理がたいへん (掃除や家の修繕など))	バリアフリーになっていない (トイレ、ふろ、段差や階段など)	狭い	騒音がひどい	古くなって安全性に不安がある	その他	特にない
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,086	24.3	19.4	1.4	3.2	15.1	2.6	46.7
性別	男性	505	25.9	19.8	1.0	3.2	15.2	2.4	47.9
	女性	557	23.2	19.7	1.8	3.2	14.5	2.9	45.6
	無回答	24	16.7	4.2	0.0	4.2	25.0	0.0	45.8
年齢別	65～69歳	38	21.1	15.8	0.0	2.6	0.0	5.3	65.8
	70～74歳	316	23.4	14.6	0.6	3.8	15.8	2.2	56.0
	75～79歳	145	26.9	15.9	0.7	2.8	12.4	3.4	50.3
	80～84歳	322	26.4	24.5	2.5	3.4	15.5	2.2	39.8
	85歳以上	241	22.4	23.2	1.7	2.5	15.8	2.9	39.4
	無回答	24	16.7	4.2	0.0	4.2	33.3	0.0	37.5
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	258	35.3	22.9	0.8	3.1	21.7	2.3	36.8
	夫婦のみふたり暮らし世帯	506	21.3	17.6	1.0	3.2	12.8	1.8	50.2
	その他の世帯	287	20.9	20.9	2.4	3.5	12.5	4.5	49.8
	無回答	35	14.3	8.6	2.9	2.9	20.0	0.0	42.9
小学校区別	行橋校区	151	20.5	17.9	2.6	4.6	17.2	2.0	46.4
	行橋北校区	101	19.8	18.8	2.0	2.0	20.8	2.0	50.5
	行橋南校区	97	21.6	21.6	2.1	5.2	21.6	6.2	42.3
	今元校区	96	27.1	21.9	0.0	3.1	7.3	3.1	42.7
	菟島校区	13	30.8	23.1	0.0	7.7	15.4	15.4	23.1
	仲津校区	168	29.8	21.4	1.8	5.4	14.9	3.0	43.5
	泉校区	171	21.6	19.3	1.2	2.3	12.3	1.8	48.5
	今川校区	36	41.7	19.4	0.0	2.8	11.1	5.6	36.1
	稗田校区	59	27.1	15.3	0.0	3.4	15.3	0.0	62.7
	樺市校区	30	30.0	10.0	0.0	0.0	13.3	0.0	53.3
	延永校区	136	22.1	22.1	1.5	0.0	13.2	0.7	49.3
	無回答	28	17.9	7.1	0.0	3.6	21.4	3.6	42.9

(2) 住環境で困っていること【環境・地域】

- 自分の住む環境・地域で困っていることは「特にない」が 35.5%と最も高く、困っていることがある人では「交通の便が悪い」が 31.1%と最も高く、次いで「商業施設が近くにない（銀行、スーパー等）」(29.6%)、「役所等の公共機関が近くにない」(23.9%) となっている。
- 性別にみると、男性に比べて女性の方が「交通の便が悪い」(36.3%)、「商業施設が近くにない（銀行、スーパー等）」(33.9%)、「役所等の公共機関が近くにない」(27.1%) の割合が顕著に高い。
- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「役所等の公共機関が近くにない」「商業施設が近くにない（銀行、スーパー等）」「医療機関や介護サービスが近くにない」の割合が高い傾向にある。
- 小学校区別にみると、「役所等の公共機関が近くにない」は仲津校区（42.9%）、稗田校区（47.5%）、椿市校区（43.3%）が 40%を超えている。「商業施設が近くにない（銀行、スーパー等）」は仲津校区（58.3%）が 50%を超え、他の校区に比べて顕著に高い。そのほか、今元校区（42.7%）や稗田校区（49.2%）、椿市校区（43.3%）においても 40%を超えている。「交通の便が悪い」は、稗田校区（71.2%）が 70%を超え、他の校区に比べて顕著に高い。そのほか、箕島校区（61.5%）や椿市校区（66.7%）においても 60%を超えている。

【環境・地域で困っていること】



【環境・地域で困っていること(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

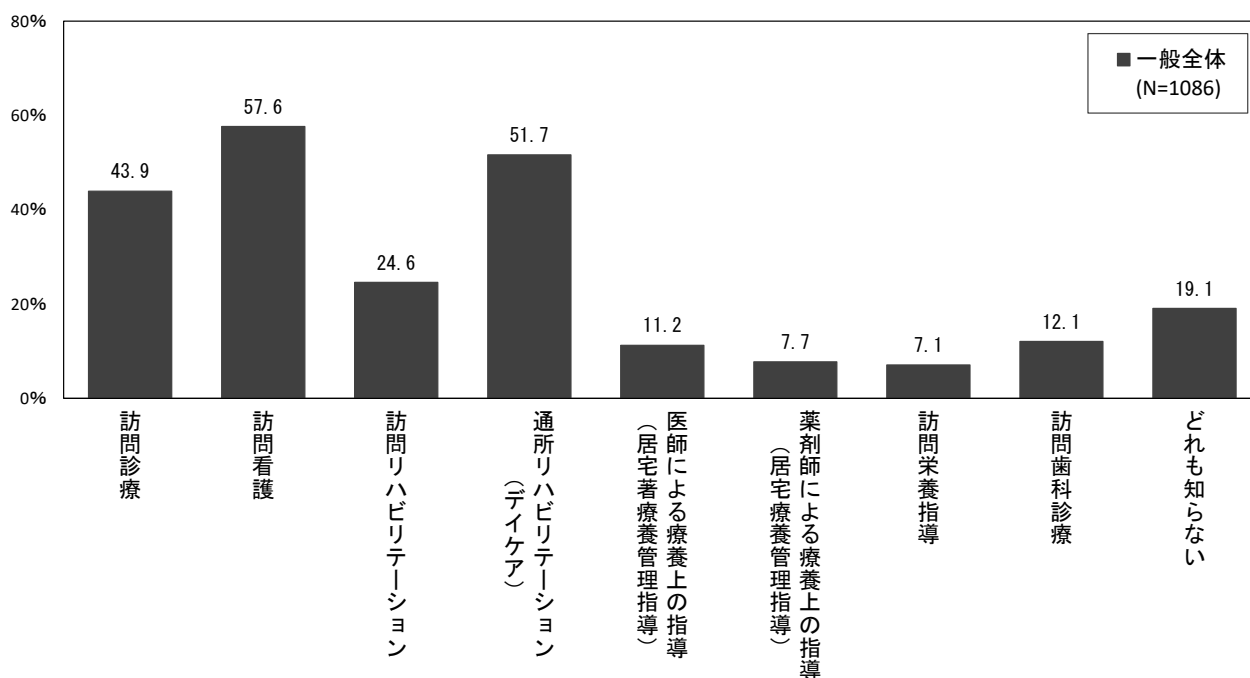
	調査数	役所等の公共機関が近くにない	(商業施設が近くにない (銀行、スーパー等))	医療機関や介護サービスが 近くにない	交通の便が悪い	公園や緑地が近くにない	手軽に運動できる場がない	その他	特にない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,086	23.9	29.6	9.1	31.1	7.4	8.9	2.4	35.5	
性別	男性	505	21.2	25.3	8.5	26.5	8.1	8.7	3.0	42.0
	女性	557	27.1	33.9	9.7	36.3	7.0	9.0	2.0	29.8
	無回答	24	8.3	16.7	8.3	8.3	0.0	12.5	0.0	29.2
年齢別	65～69歳	38	13.2	26.3	5.3	36.8	2.6	7.9	5.3	39.5
	70～74歳	316	19.3	26.9	6.0	26.3	7.6	9.8	2.5	43.7
	75～79歳	145	22.1	27.6	10.3	34.5	8.3	7.6	1.4	40.0
	80～84歳	322	26.7	32.9	9.9	35.1	8.7	9.9	2.8	28.6
	85歳以上	241	30.7	31.5	12.0	30.7	6.2	7.5	2.1	30.7
	無回答	24	8.3	16.7	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0	33.3
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	258	28.7	35.7	11.2	35.7	7.4	10.5	1.9	27.1
	夫婦のみふたり暮らし世帯	506	25.5	28.5	8.9	31.2	6.7	8.1	3.0	36.6
	その他の世帯	287	19.2	27.5	7.7	28.9	9.1	8.4	2.1	41.1
	無回答	35	5.7	17.1	8.6	14.3	2.9	14.3	0.0	34.3
小学校区別	行橋校区	151	9.9	25.8	3.3	6.6	6.6	8.6	4.0	39.7
	行橋北校区	101	16.8	11.9	5.0	15.8	7.9	10.9	1.0	45.5
	行橋南校区	97	7.2	22.7	5.2	20.6	7.2	8.2	3.1	39.2
	今元校区	96	17.7	42.7	19.8	52.1	5.2	6.3	3.1	29.2
	菟島校区	13	38.5	38.5	38.5	61.5	0.0	7.7	0.0	23.1
	仲津校区	168	42.9	58.3	7.1	44.0	8.9	11.3	2.4	20.2
	泉校区	171	22.8	11.7	4.1	21.1	9.9	9.9	2.9	45.0
	今川校区	36	30.6	33.3	13.9	38.9	8.3	8.3	5.6	36.1
	稗田校区	59	47.5	49.2	23.7	71.2	8.5	11.9	0.0	18.6
	樺市校区	30	43.3	43.3	23.3	66.7	13.3	10.0	0.0	16.7
	延永校区	136	25.0	18.4	9.6	33.8	4.4	4.4	0.7	44.9
	無回答	28	7.1	17.9	7.1	7.1	0.0	10.7	3.6	32.1

9. 在宅医療や介護等について

(1) 在宅医療サービスの認知度

- 在宅医療サービスで知っていることは「訪問看護」が57.6%と最も高く、次いで「通所リハビリテーション（デイケア）」(51.7%)、「訪問診療」(43.9%)の順に続く。「どれも知らない」という割合は19.1%となっている。
- 性別にみても大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「どれも知らない」という割合が高い傾向にあり、年齢が高いほど在宅医療サービスの認知度は低い。

【在宅医療サービスの認知度】



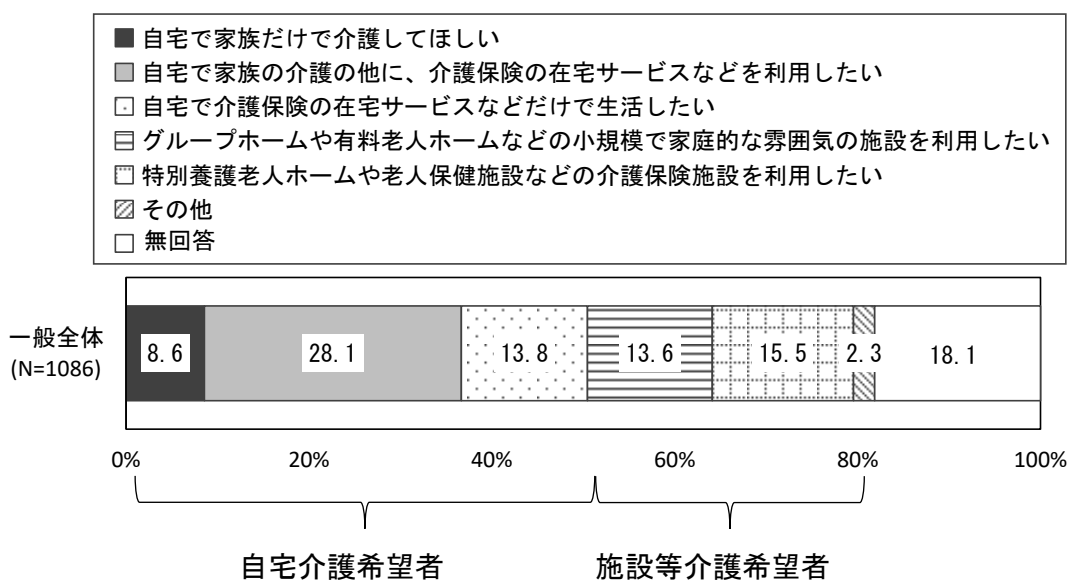
【在宅サービスの認知度(性別・年齢別)】

	調査数	訪問診療	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所リハビリテーション (デイケア)	医師による療養上の指導 (居宅療養管理指導)	薬剤師による療養上の指導 (居宅療養管理指導)	訪問栄養指導	訪問歯科診療	どれも知らない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,086	43.9	57.6	24.6	51.7	11.2	7.7	7.1	12.1	19.1	
性別	男性	505	45.1	57.6	26.3	48.1	11.7	8.3	6.3	9.9	19.4
	女性	557	44.5	59.6	23.9	56.0	11.0	7.4	8.1	14.4	18.3
	無回答	24	4.2	12.5	4.2	25.0	8.3	4.2	0.0	4.2	29.2
年齢別	65～69歳	38	55.3	63.2	42.1	65.8	15.8	13.2	10.5	26.3	18.4
	70～74歳	316	57.0	71.8	30.1	63.3	12.0	10.1	10.8	17.7	15.2
	75～79歳	145	46.2	60.0	23.4	49.0	9.0	6.9	6.9	10.3	18.6
	80～84歳	322	38.8	56.2	24.5	48.4	9.0	6.2	5.6	8.1	19.6
	85歳以上	241	34.4	42.7	17.8	42.7	13.7	6.6	4.6	9.5	23.2
	無回答	24	4.2	16.7	0.0	25.0	12.5	4.2	0.0	4.2	25.0

(2) 自分に介護が必要になった場合の介護希望

- 自分に介護が必要になった場合の介護希望は「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい」が28.1%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を利用したい」(15.5%)、「自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい」(13.8%)の順に続く。「自宅で家族だけで介護してほしい」から「自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい」を合わせた『自宅介護希望者』の割合は50.5%、また、「グループホームや有料老人ホームなどの小規模で家庭的な雰囲気の施設を利用したい」と「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を利用したい」を合わせた『施設等介護希望者』の割合は29.1%となっている。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい」(33.3%)が9.4ポイント高く、『自宅介護希望者』は男性が57.9%、女性が44.6%となっている。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「自宅で家族だけで介護してほしい」割合が高くなる傾向にあり、80歳以上では11%以上となる。一方、年齢が若いほど「グループホームや有料老人ホームなどの小規模で家庭的な雰囲気の施設を利用したい」が高く、65～69歳では21.1%となっている。また、『自宅介護希望者』は、65～69歳(68.4%)、『施設等介護希望者』は、70～74歳(32.0%)が最も高くなっている。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい」(21.3%)、その他の世帯では「自宅で家族だけで介護してほしい」という割合が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、『自宅介護希望者』は、今川校区(58.3%)や椿市校区(56.7%)、『施設等介護希望者』は、箕島校区(38.5%)や行橋校区(35.8%)が、他の小学校区に比べて高い。

【自分に介護が必要になった場合の介護希望】



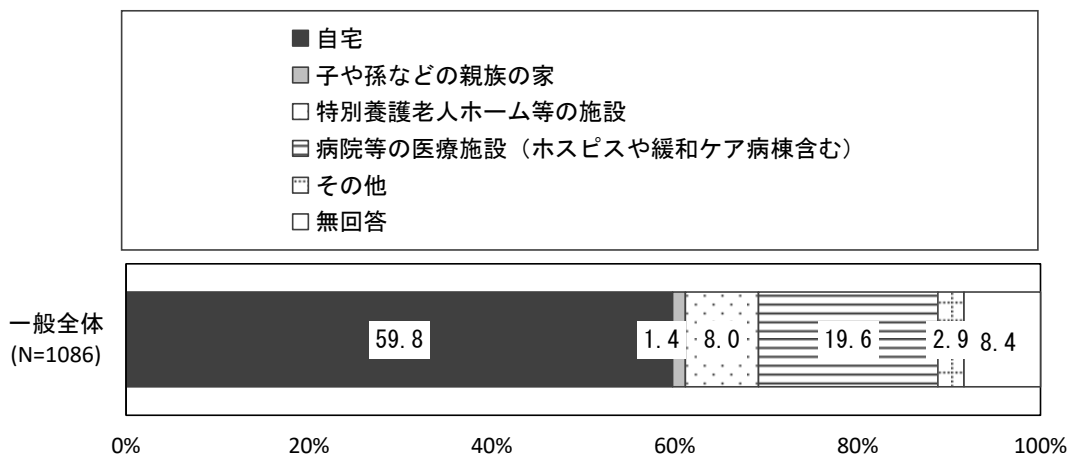
【自分に介護が必要になった場合の介護希望(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

		調査数	自宅 で家族 だけで 介護し てほし い	自宅 で家族 の介護 の他に 、介護 保険の 在宅サ ービス などを 利用し たい	自宅 で介護 保険の 在宅サ ービス などだ けで 生活し たい	グル ープ ホーム や有料 老人ホ ームな どの小 規模で 家庭的 な雰囲 気の施 設を利 用し たい	特別 養護 老人ホ ームや 老人保 健施設 などの 介護保 険施設 を利用 したい	その 他	無回 答
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,086	8.6	28.1	13.8	13.6	15.5	2.3	18.1
性別	男性	505	11.1	33.3	13.5	11.5	14.3	1.6	14.9
	女性	557	6.3	23.9	14.4	16.2	16.5	3.1	19.7
	無回答	24	8.3	16.7	8.3	0.0	16.7	0.0	50.0
年齢別	65～69歳	38	10.5	39.5	18.4	21.1	5.3	2.6	2.6
	70～74歳	316	5.4	29.1	18.7	14.9	17.1	3.5	11.4
	75～79歳	145	4.1	34.5	16.6	13.8	15.2	1.4	14.5
	80～84歳	322	11.5	25.8	10.9	14.0	14.6	1.2	22.0
	85歳以上	241	11.2	25.3	8.7	11.6	17.0	2.9	23.2
	無回答	24	8.3	16.7	16.7	0.0	8.3	0.0	50.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	258	5.4	15.5	21.3	18.6	17.4	1.9	19.8
	夫婦のみふたり暮らし世帯	506	8.5	32.4	13.2	11.5	15.0	1.8	17.6
	その他の世帯	287	11.5	33.1	8.4	14.3	15.0	3.8	13.9
	無回答	35	8.6	17.1	11.4	2.9	11.4	0.0	48.6
小学校区別	行橋校区	151	9.3	24.5	11.9	19.9	15.9	1.3	17.2
	行橋北校区	101	6.9	21.8	14.9	20.8	10.9	4.0	20.8
	行橋南校区	97	6.2	29.9	19.6	8.2	16.5	4.1	15.5
	今元校区	96	7.3	32.3	10.4	8.3	22.9	0.0	18.8
	葦島校区	13	7.7	23.1	15.4	23.1	15.4	0.0	15.4
	仲津校区	168	7.1	28.0	13.7	11.9	17.3	2.4	19.6
	泉校区	171	7.0	29.2	15.2	12.9	13.5	2.3	19.9
	今川校区	36	16.7	22.2	19.4	27.8	5.6	0.0	8.3
	稗田校区	59	1.7	42.4	10.2	10.2	18.6	5.1	11.9
	樺市校区	30	30.0	20.0	6.7	10.0	13.3	3.3	16.7
	延永校区	136	11.8	30.1	13.2	11.8	15.4	1.5	16.2
	無回答	28	7.1	21.4	14.3	3.6	10.7	3.6	39.3

(3) 人生の最期に対する意向

- 人生の最期に対する意向は「自宅」が 59.8%と約6割を占めており、次いで「病院等の医療施設(ホスピスや緩和ケア病棟含む)」(19.6%)、「特別養護老人ホーム等の施設」(8.0%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「自宅」(70.1%)が19.5ポイント高い。一方、女性は男性に比べて「病院等の医療施設(ホスピスや緩和ケア病棟含む)」(23.7%)が8.5ポイント高い。
- 年齢別にみると、65～69歳では「自宅」(68.4%)が他の年齢層に比べて高い。「病院等の医療施設(ホスピスや緩和ケア病棟含む)」は65～74歳にやや高くみられる。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「病院等の医療施設(ホスピスや緩和ケア病棟含む)」が28.7%と他の世帯構成に比べて高くなっているが、「自宅」(43.8%)も40%を超えている。
- 小学校区別にみると、「自宅」は、蓑島校区(76.9%)と椿市校区(76.7%)が70%を超えている。「病院等の医療施設(ホスピスや緩和ケア病棟含む)」は、今川校区(25.0%)や行橋校区(24.5%)等が20%を超えている。蓑島校区では「特別養護老人ホーム等の施設」が15.4%と11校区の中で唯一15%を超えている。

【人生の最期に対する意向】



【人生の最期に対する意向(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

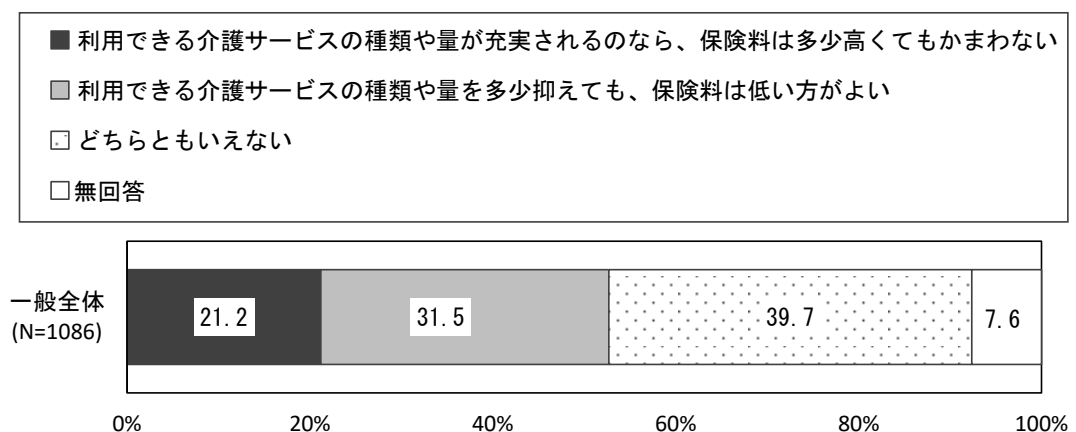
		調査数	自宅	子や孫などの親族の家	特別養護老人ホーム等の施設	病院等の医療施設 (ホスピスや緩和ケア病棟含む)	その他	無回答
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,086	59.8	1.4	8.0	19.6	2.9	8.4
性別	男性	505	70.1	0.6	6.1	15.2	1.6	6.3
	女性	557	50.6	2.2	9.7	23.7	3.9	9.9
	無回答	24	54.2	0.0	8.3	16.7	4.2	16.7
年齢別	65～69歳	38	68.4	0.0	10.5	21.1	0.0	0.0
	70～74歳	316	58.2	0.6	6.6	24.4	4.1	6.0
	75～79歳	145	58.6	2.8	11.0	18.6	4.1	4.8
	80～84歳	322	60.2	1.6	6.5	18.0	2.2	11.5
	85歳以上	241	61.0	1.7	9.5	16.2	1.7	10.0
	無回答	24	54.2	0.0	8.3	16.7	4.2	16.7
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	258	43.8	3.5	8.9	28.7	3.5	11.6
	夫婦のみふたり暮らし世帯	506	65.0	0.6	6.1	18.8	2.0	7.5
	その他の世帯	287	64.8	1.0	10.8	13.6	3.8	5.9
	無回答	35	60.0	0.0	5.7	14.3	2.9	17.1
小学校区別	行橋校区	151	55.6	2.0	7.3	24.5	3.3	7.3
	行橋北校区	101	57.4	1.0	1.0	23.8	2.0	14.9
	行橋南校区	97	60.8	2.1	8.2	21.6	1.0	6.2
	今元校区	96	65.6	0.0	7.3	16.7	4.2	6.3
	葦島校区	13	76.9	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0
	仲津校区	168	55.4	1.8	10.1	20.2	4.2	8.3
	泉校区	171	57.9	2.3	11.7	15.8	1.8	10.5
	今川校区	36	61.1	0.0	8.3	25.0	2.8	2.8
	稗田校区	59	69.5	0.0	5.1	20.3	1.7	3.4
	樺市校区	30	76.7	0.0	10.0	6.7	0.0	6.7
	延永校区	136	61.0	0.7	7.4	18.4	2.9	9.6
	無回答	28	50.0	3.6	7.1	17.9	10.7	10.7

10. 高齢者福祉制度全般について

(1) 介護保険料と介護サービスのあり方

- 介護保険料と介護サービスのあり方について「どちらともいえない」が39.7%と最も高く、次いで「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(31.5%)、「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(21.2%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(37.0%)が10.2ポイント高い。
- 年齢別にみると、65～69歳では「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(28.9%)が他の年代に比べて高い。
- 世帯構成別にみても大きな差はみられない。
- 介護希望別にみると、自宅介護希望者は施設等介護希望者より「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(35.8%)が6.1ポイント高い。一方、施設等介護希望者は自宅介護希望者より「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(25.0%)が3.5ポイント高くなっており、希望する介護形態によって考え方にやや差がみられる。

【介護保険料と介護サービスのあり方】



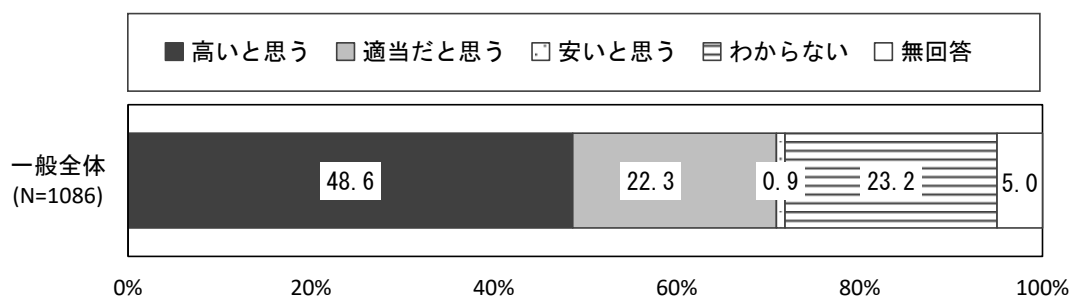
【介護保険料と介護サービスのあり方(性別・年齢別・世帯構成別・介護希望別)】

		調査数	ても充利用	多利用	どちらともいえない	無回答
			も実用で	少抑で		
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,086	21.2	31.5	39.7	7.6
性別	男性	505	23.2	37.0	33.5	6.3
	女性	557	20.1	26.8	45.2	7.9
	無回答	24	4.2	25.0	41.7	29.2
年齢別	65～69歳	38	28.9	31.6	36.8	2.6
	70～74歳	316	19.9	37.0	41.1	1.9
	75～79歳	145	21.4	32.4	42.1	4.1
	80～84歳	322	21.1	29.2	39.1	10.6
	85歳以上	241	23.2	26.6	37.3	12.9
	無回答	24	4.2	33.3	41.7	20.8
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	258	20.2	27.9	43.8	8.1
	夫婦のみふたり暮らし世帯	506	23.9	32.4	36.0	7.7
	その他の世帯	287	18.8	33.4	42.9	4.9
	無回答	35	8.6	28.6	37.1	25.7
介護希望別	自宅介護希望者	548	21.5	35.8	39.6	3.1
	施設等介護希望者	316	25.0	29.7	42.4	2.8
	その他	25	4.0	24.0	64.0	8.0
	無回答	197	16.2	23.4	32.5	27.9

(2) 介護保険料の負担感

- 介護保険料の負担感について「高いと思う」が48.6%と最も高く、次いで「わからない」(23.2%)、「適当だと思う」(22.3%)となっている。
- 年齢別にみると、65～69歳(68.4%)、70～74歳(56.0%)では「高いと思う」が50%を超えており、年齢が若いほど介護保険料の負担が重いと感じている。
- 世帯構成別にみると、夫婦のみふたり暮らし世帯(52.2%)やその他の世帯(54.4%)では「高いと思う」が50%を超えている。一方、ひとり暮らし世帯では「適当だと思う」(25.2%)、「わからない」(32.6%)が他の世帯構成に比べて高い。
- 介護希望別にみると、自宅介護希望者は「高いと思う」が51.3%と施設等介護希望者より4.8ポイント高い。一方、施設等介護希望者では「適当だと思う」という割合が25.3%みられる。

【介護保険料の負担感】



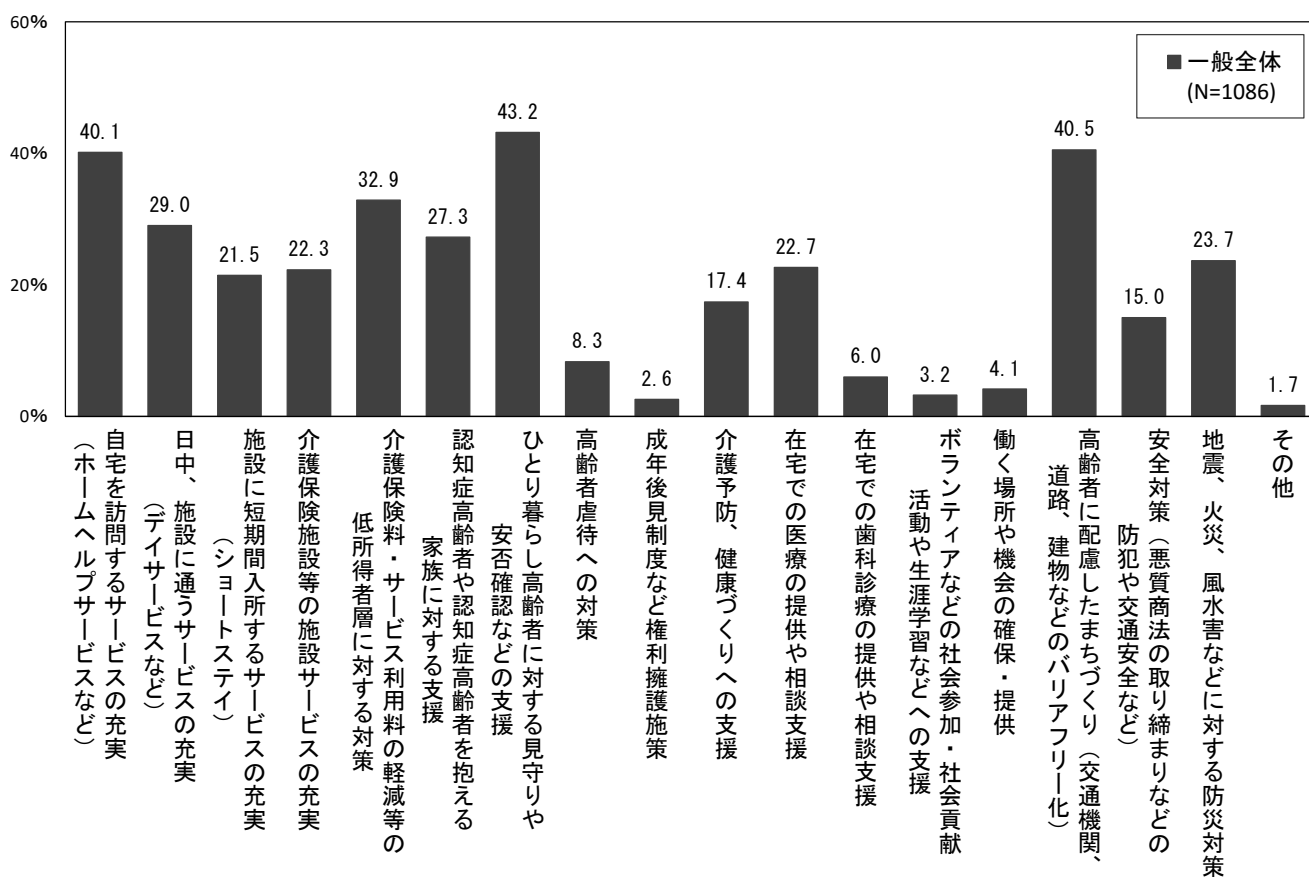
【介護保険料の負担感(性別・年齢別・世帯構成別・介護希望別)】

		調査数	高いと思う	適当だと思う	安いと思う	わからない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,086	48.6	22.3	0.9	23.2	5.0
性別	男性	505	56.8	21.2	0.6	18.0	3.4
	女性	557	41.3	23.5	1.3	28.2	5.7
	無回答	24	45.8	16.7	0.0	16.7	20.8
年齢別	65～69歳	38	68.4	13.2	5.3	13.2	0.0
	70～74歳	316	56.0	20.9	0.0	22.8	0.3
	75～79歳	145	47.6	26.9	0.7	20.7	4.1
	80～84歳	322	48.4	20.8	1.6	22.7	6.5
	85歳以上	241	36.5	25.3	0.8	28.6	8.7
	無回答	24	50.0	16.7	0.0	12.5	20.8
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	258	35.7	25.2	1.2	32.6	5.4
	夫婦のみふたり暮らし世帯	506	52.2	20.8	0.8	21.5	4.7
	その他の世帯	287	54.4	23.0	0.7	18.5	3.5
	無回答	35	45.7	17.1	2.9	17.1	17.1
介護希望別	自宅介護希望者	548	51.3	22.8	0.5	23.9	1.5
	施設等介護希望者	316	46.5	25.3	1.3	25.9	0.9
	その他	25	48.0	24.0	0.0	28.0	0.0
	無回答	197	44.7	15.7	1.5	16.2	21.8

(3) 高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの

- 高齢者施策・支援で特に大切だと思うものは「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」が43.2%と最も高く、次いで「高齢者に配慮したまちづくり（交通機関、道路、建物などのバリアフリー化）」(40.5%)、「自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）」(40.1%)、「介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策」(32.9%)、「日中、施設に通うサービスの充実（デイサービスなど）」(29.0%)が上位5項目にあがっている。
- 性別にみると、男性は「自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）」(44.2%)、女性は「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」(46.0%)が最も高い。
- 年齢別にみると、65～74歳の前期高齢者は「自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）」「施設に短期間入所するサービスの充実（ショートステイ）」「介護保険施設等の施設サービスの充実」等の介護サービスの充実に関する項目の割合が高い。「在宅での医療の提供や相談支援」は年齢が上がるにつれて高い傾向にある。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」が62.0%と高い。

【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの】



【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの(性別・年齢別・世帯構成別)】

	調査数	自宅を訪問するサービスなど(ホームヘルプサービスの充実)	日中、施設に通うサービスの充実(デイサービスなど)	施設に短期間入所するサービスの充実(ショートステイ)	介護保険施設等の施設サービスの充実	介護保険料・サービスの軽減等の低所得者層に対する対策	認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援	ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援	高齢者虐待への対策	成年後見制度など権利擁護施策
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	1,086	40.1	29.0	21.5	22.3	32.9	27.3	43.2	8.3	2.6
性別	男性	505	44.2	27.7	22.8	25.9	32.9	27.9	6.9	1.8
	女性	557	36.6	30.7	20.6	19.4	33.4	26.9	9.3	3.4
	無回答	24	37.5	16.7	12.5	12.5	20.8	20.8	12.5	0.0
年齢別	65～69歳	38	47.4	23.7	23.7	36.8	34.2	42.1	7.9	5.3
	70～74歳	316	42.4	32.6	23.4	24.1	38.0	32.9	6.6	2.5
	75～79歳	145	35.2	32.4	17.2	17.2	36.6	26.2	7.6	1.4
	80～84歳	322	42.2	27.3	20.8	25.2	32.3	23.9	9.3	2.5
	85歳以上	241	36.5	26.6	22.8	17.4	26.1	22.8	9.1	3.3
	無回答	24	37.5	16.7	12.5	16.7	16.7	25.0	12.5	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	258	36.0	24.8	15.1	16.7	34.5	16.7	12.8	3.5
	夫婦のみふたり暮らし世帯	506	43.1	29.8	22.7	23.9	29.2	42.3	6.7	2.4
	その他の世帯	287	38.3	31.7	26.1	25.1	39.4	34.5	6.3	2.4
	無回答	35	42.9	25.7	11.4	17.1	20.0	22.9	14.3	0.0

	調査数	介護予防、健康づくりへの支援	在宅での医療の提供や相談支援	在宅での歯科診療の提供や相談支援	ボランティアなどの社会参加・社会貢献活動や生涯学習などへの支援	働く場所や機会の確保・提供	高齢者に配慮したまちづくり(交通機関、道路、建物などのバリアフリー化)	安全対策(悪質商法の取り締まりなどの防犯や交通安全など)	地震、火災、風水害などに対する防災対策	その他
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	1,086	17.4	22.7	6.0	3.2	4.1	40.5	15.0	23.7	1.7
性別	男性	505	17.2	21.6	5.1	3.4	6.1	39.6	20.6	1.4
	女性	557	17.2	23.5	6.3	3.2	2.5	41.8	26.9	1.6
	無回答	24	25.0	25.0	16.7	0.0	0.0	29.2	12.5	8.3
年齢別	65～69歳	38	18.4	18.4	0.0	2.6	13.2	34.2	10.5	0.0
	70～74歳	316	18.4	22.8	4.4	3.5	8.5	42.7	24.4	1.3
	75～79歳	145	20.0	24.1	6.9	5.5	5.5	47.6	25.5	2.8
	80～84歳	322	16.5	21.1	6.8	2.8	0.6	40.1	26.7	1.6
	85歳以上	241	14.5	24.5	6.6	2.5	1.2	36.1	20.7	1.2
	無回答	24	29.2	20.8	12.5	0.0	0.0	29.2	12.5	8.3
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	258	19.4	21.7	5.8	3.9	3.5	42.2	27.1	1.9
	夫婦のみふたり暮らし世帯	506	17.6	23.1	5.1	3.2	4.0	42.7	21.7	1.2
	その他の世帯	287	15.0	23.0	7.0	3.1	5.6	36.2	25.1	1.7
	無回答	35	20.0	20.0	11.4	0.0	0.0	31.4	14.3	5.7

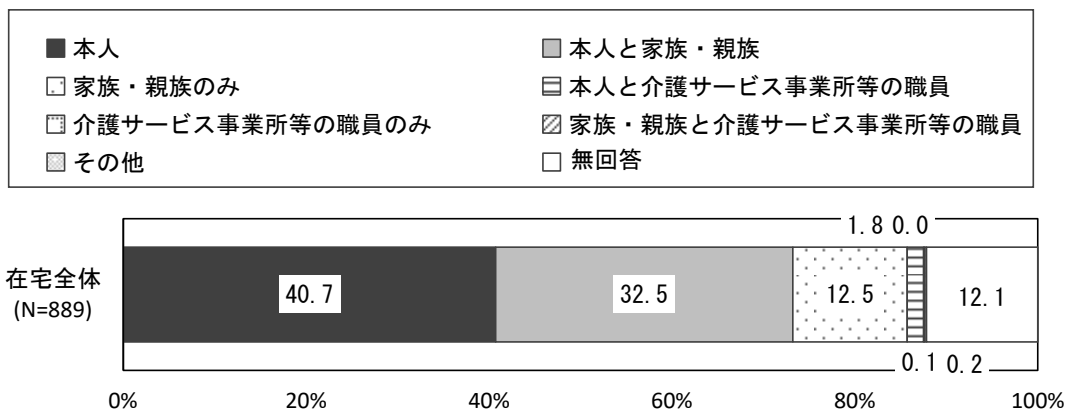
第4章 在宅要介護認定者用調査

1. 回答者の基本属性

(1) 調査の回答者

- 「本人」による回答が40.7%、「本人と家族・親族」による回答が32.5%、「家族・親族のみ」の回答が12.5%となっている。

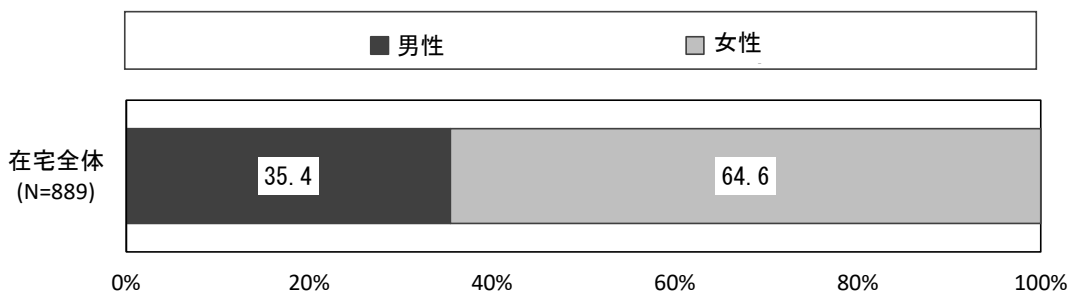
【調査の回答者】



(2) 性別

- 「女性」が64.6%を占め、「男性」(35.4%)を29.2ポイント上回っている。

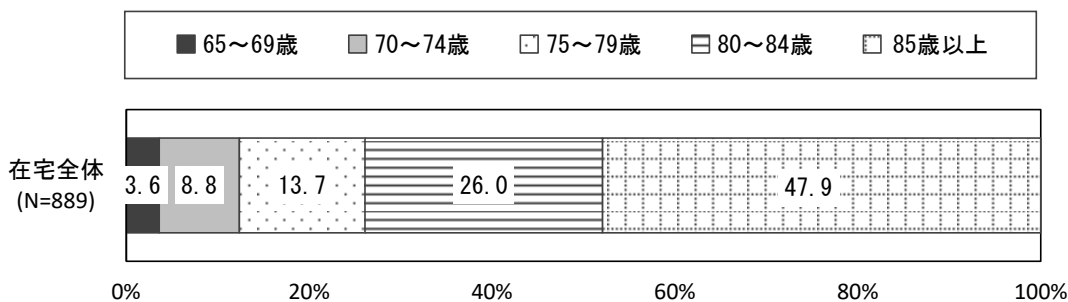
【性別】



(3) 年齢

- 「85歳以上」が47.9%と最も高く、次いで「80～84歳」(26.0%)、「75～79歳」(13.7%)と年齢が若いほど少なくなっており、75歳以上が87.6%を占めている。

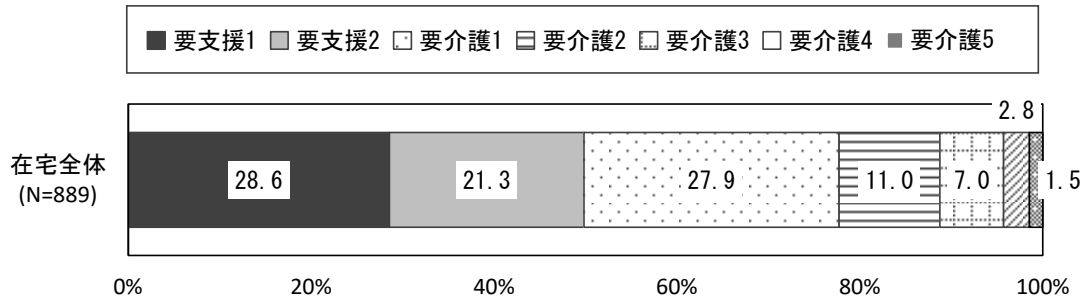
【年齢】



(4) 要介護度

- 「要支援1」が28.6%と最も高く、次いで「要介護1」(27.9%)となっている。「要支援1」と「要支援2」(21.3%)を合わせると、『要支援認定者』が49.9%となっている。
- 性別にみると、大きな差はみられないが、男性は女性に比べて『要介護認定者』(51.7%)が2.4ポイント高い。

【要介護度】



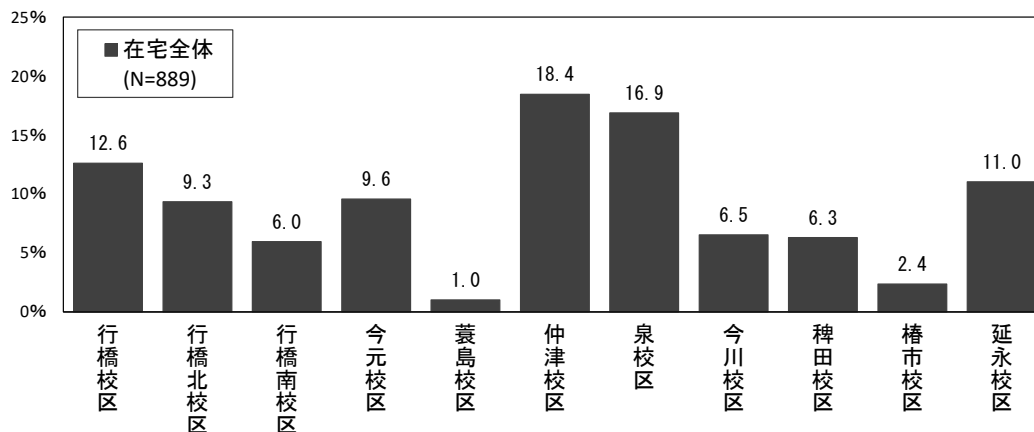
【要介護度(性別・年齢別)】

		調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		889	28.6	21.3	27.9	11.0	7.0	2.8	1.5
性別	男性	315	24.1	24.1	29.2	11.4	7.3	3.2	0.6
	女性	574	31.0	19.7	27.2	10.8	6.8	2.6	1.9
年齢別	65～69歳	32	12.5	18.8	25.0	18.8	15.6	3.1	6.3
	70～74歳	78	24.4	23.1	25.6	11.5	11.5	3.8	0.0
	75～79歳	122	29.5	23.0	25.4	13.1	4.9	3.3	0.8
	80～84歳	231	33.3	23.8	25.1	9.1	6.5	1.7	0.4
	85歳以上	426	27.7	19.2	30.8	10.8	6.3	3.1	2.1

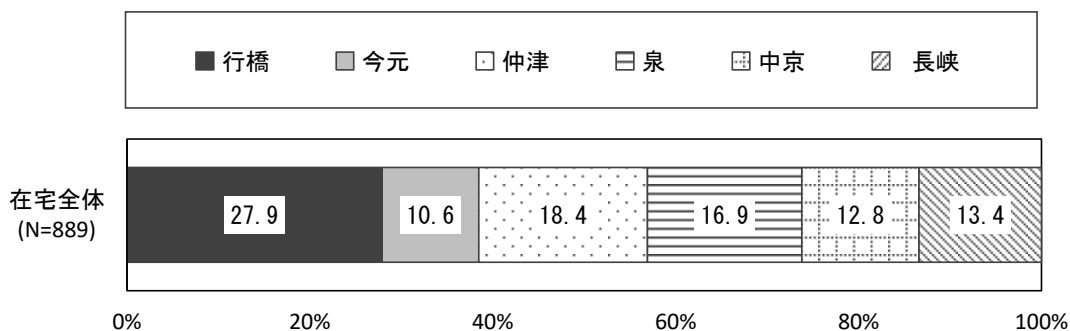
(5) 居住地区

- 「仲津校区」が18.4%と最も高く、次いで「泉校区」(16.9%)、「行橋校区」(12.6%)の順に続く。

● 【居住地区(小学校区)】



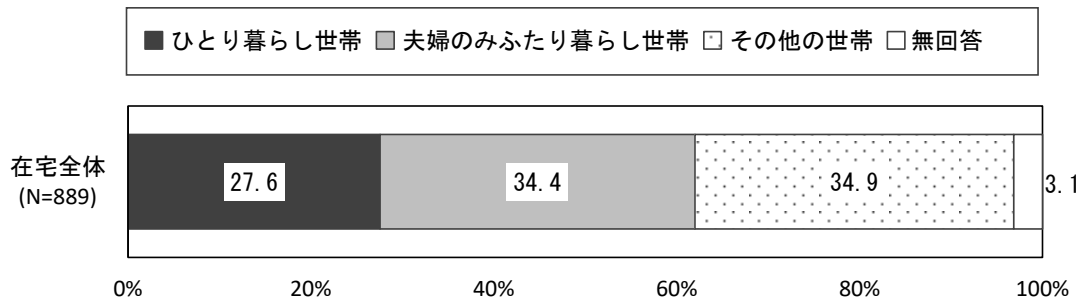
【居住地区(圏域)】



(6) 世帯構成

- 「その他の世帯」が34.9%と最も高く、次いで「夫婦のみふたり暮らし世帯」(34.4%)、「ひとり暮らし世帯」(27.6%)の順に続く。
- 性別にみると、女性は「ひとり暮らし世帯」が34.3%と男性(15.2%)より19.1ポイント高い。男性は「夫婦のみふたり暮らし世帯」が54.6%を占めている。
- 年齢別にみると、65歳以上では、年齢が上がるにつれて「ひとり暮らし世帯」の割合が高まる傾向にあり、85歳以上では30.5%を占める。
- 要介護度別にみると、「ひとり暮らしの世帯」は要支援1では37.4%、要支援2では32.3%と高い。
- 小学校区別にみると、「ひとり暮らし世帯」は、行橋南校区が41.5%と他の小学校区に比べて顕著に高い。また、「夫婦のみふたり暮らし世帯」は、稗田校区(42.9%)が高い。

【世帯構成】



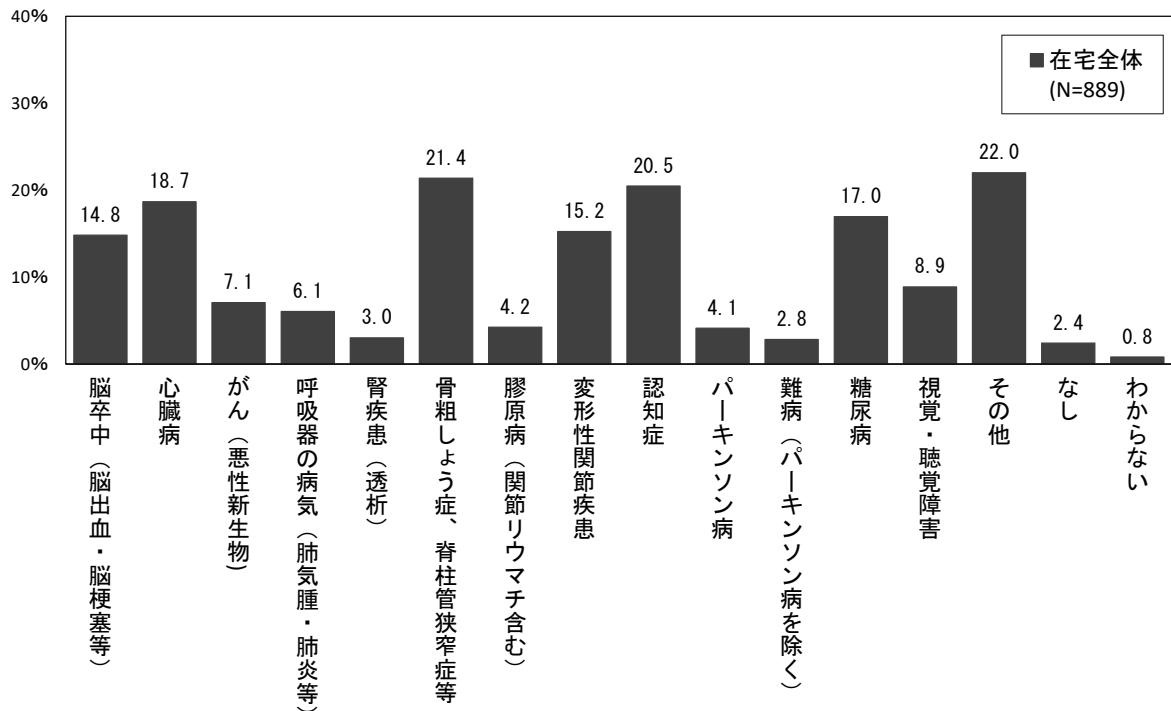
【世帯構成(性別・年齢別・要介護度別・小学校区別)】

		調査数	ひとり暮らし世帯	夫婦のみふたり暮らし世帯	その他の世帯	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		889	27.6	34.4	34.9	3.1
性別	男性	315	15.2	54.6	27.6	2.5
	女性	574	34.3	23.3	38.9	3.5
年齢別	65～69歳	32	15.6	53.1	25.0	6.3
	70～74歳	78	24.4	43.6	25.6	6.4
	75～79歳	122	27.9	48.4	22.1	1.6
	80～84歳	231	24.7	45.5	26.8	3.0
	85歳以上	426	30.5	21.4	45.3	2.8
要介護度別	要支援1	254	37.4	32.3	26.4	3.9
	要支援2	189	32.3	34.4	30.2	3.2
	要介護1	248	24.2	33.5	39.9	2.4
	要介護2	98	15.3	42.9	38.8	3.1
	要介護3	62	16.1	30.6	48.4	4.8
	要介護4	25	12.0	44.0	44.0	0.0
	要介護5	13	7.7	30.8	61.5	0.0
小学校区別	行橋校区	112	31.3	32.1	33.9	2.7
	行橋北校区	83	28.9	32.5	34.9	3.6
	行橋南校区	53	41.5	35.8	15.1	7.5
	今元校区	85	27.1	32.9	37.6	2.4
	菟島校区	9	22.2	22.2	55.6	0.0
	仲津校区	164	20.7	36.6	40.2	2.4
	泉校区	150	26.7	37.3	32.0	4.0
	今川校区	58	29.3	24.1	44.8	1.7
	稗田校区	56	25.0	42.9	30.4	1.8
	樺市区	21	19.0	33.3	47.6	0.0
	延永校区	98	30.6	33.7	31.6	4.1

(7) 現在、抱えている怪我、病気

- 怪我、病気は「その他」が22.0%と最も高く、次いで「骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等」(21.4%)、「認知症」(20.5%)、「心臓病」(18.7%)、「糖尿病」(17.0%)の順に高い。「その他」は具体的には、「高血圧」、「うつ病」等の回答がある。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(25.1%)や「糖尿病」(24.4%)等が高く、女性は男性に比べて「骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等」(29.4%)や「変形性関節疾患」(22.0%)等が高い。
- 年齢別にみると「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」は年齢が若いほど高く、65～69歳では43.8%となっている。「心臓病」、「認知症」は、年齢が上がるにつれて高くなっている。
- 要介護度別にみると、要支援認定者は要介護認定者に比べて「骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等」や「変形性関節疾患」の割合が高い。また、「認知症」は要介護1(44.0%)、要介護5(61.5%)が高くなっている。

【現在、抱えている怪我、病気】



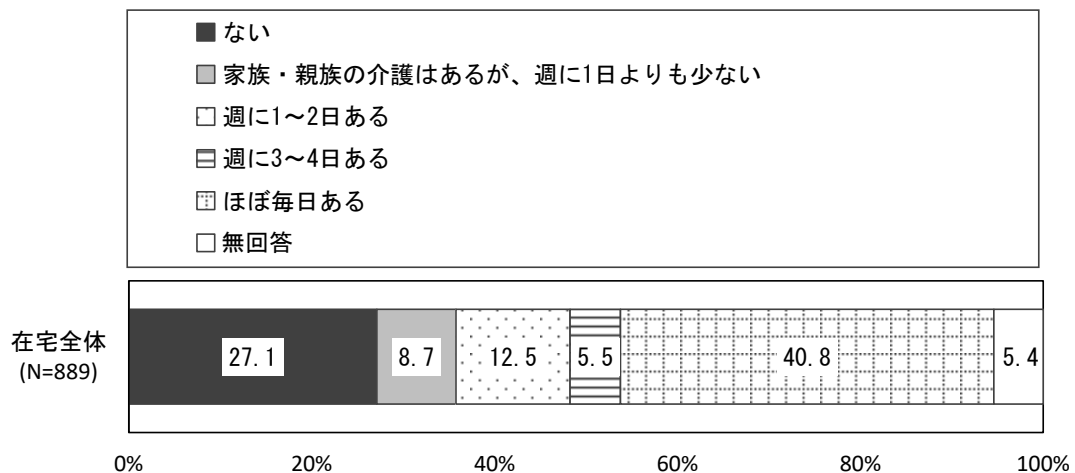
【現在、抱えている怪我、病気(性別・年齢別・要介護度別)】

	調査数	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	腎疾患(透析)	骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等	膠原病(関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病(パーキンソン病を除く)	糖尿病	視覚・聴覚障害	その他	なし	わからない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	991	14.8	18.7	7.1	6.1	3.0	21.4	4.2	15.2	20.5	4.1	2.8	17.0	8.9	22.0	2.4	0.8	
性別	男性	315	25.1	23.5	11.4	10.2	4.8	13.7	4.1	7.9	21.3	7.0	3.5	24.4	8.9	24.1	2.2	1.3
	女性	574	11.8	19.3	5.9	4.9	2.6	29.4	5.1	22.0	23.7	3.3	3.0	15.9	10.5	24.7	3.0	0.7
年齢別	65～69歳	32	43.8	15.6	21.9	9.4	0.0	18.8	6.3	3.1	6.3	6.3	12.5	18.8	6.3	31.3	0.0	0.0
	70～74歳	78	35.9	16.7	5.1	9.0	5.1	20.5	11.5	15.4	9.0	6.4	9.0	26.9	5.1	23.1	2.6	0.0
	75～79歳	122	23.0	17.2	9.0	4.9	6.6	25.4	4.9	15.6	21.3	12.3	2.5	26.2	6.6	25.4	0.0	0.0
	80～84歳	231	13.4	17.3	8.7	8.7	3.5	21.6	4.8	18.6	23.4	4.3	3.5	20.8	7.8	22.9	1.7	0.9
	85歳以上	426	10.8	24.9	6.6	5.6	2.3	25.6	3.3	17.8	26.8	2.1	1.4	14.3	13.1	24.9	4.2	1.4
要介護度別	要支援1	254	11.4	19.7	7.5	8.3	1.6	25.6	5.9	24.4	4.7	2.8	2.4	19.3	9.1	29.5	2.4	1.6
	要支援2	189	9.5	23.3	10.1	6.3	5.3	32.8	6.9	21.2	7.9	6.3	3.2	21.7	10.1	25.9	2.1	2.1
	要介護1	248	18.1	21.0	9.3	5.2	2.8	19.0	4.0	9.3	44.0	3.6	2.8	17.3	9.3	21.4	4.0	0.0
	要介護2	98	24.5	16.3	4.1	8.2	6.1	21.4	1.0	16.3	26.5	7.1	4.1	13.3	10.2	16.3	1.0	0.0
	要介護3	62	27.4	17.7	4.8	6.5	0.0	17.7	3.2	9.7	38.7	8.1	3.2	22.6	16.1	30.6	1.6	0.0
	要介護4	25	32.0	36.0	8.0	8.0	8.0	16.0	0.0	12.0	36.0	4.0	8.0	24.0	12.0	12.0	0.0	0.0
要介護5	13	46.2	23.1	0.0	0.0	7.7	15.4	7.7	7.7	61.5	0.0	7.7	15.4	0.0	23.1	15.4	0.0	

(8) 家族・親族から介護を受けている頻度

- 家族・親族から介護を受けている頻度は「ほぼ毎日ある」が40.8%を占め、次いで「ない」(27.1%)、「週に1～2日ある」(12.5%)となっている。「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」～「ほぼ毎日ある」までを合わせた67.5%が家族・親族から介護を受けている。
- 性別にみると、あまり大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、「ほぼ毎日ある」は65～69歳では59.4%、70～74歳では52.6%と50%を超えている。
- 要介護度別にみると、要介護1以上になると「ほぼ毎日ある」が52.8%と50%を超える。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「ない」(37.1%)の割合が他の世帯構成に比べて高い。「ほぼ毎日ある」は、夫婦のみふたり暮らし世帯(37.3%)やその他の世帯(64.5%)が高い。
- 小学校区にみると、「ほぼ毎日ある」の割合は菟島校区(55.6%)や椿市校区(52.4%)、今元校区(49.4%)が高い。

【家族・親族から介護を受けている頻度】



【家族・親族から介護を受けている頻度(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

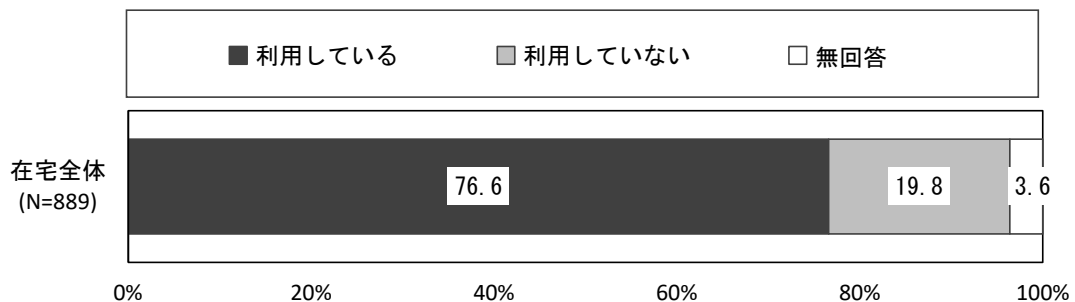
		調査数 (人)	ない	家族・親族の介護はあ るが、週に1日よりも 少ない	週に1 ～2日ある	週に3 ～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		889	27.1	8.7	12.5	5.5	40.8	5.4
性別	男性	315	28.3	7.9	13.3	4.4	41.6	4.4
	女性	574	26.5	9.1	12.0	6.1	40.4	5.9
年齢別	65～69歳	32	18.8	3.1	9.4	6.3	59.4	3.1
	70～74歳	78	21.8	6.4	9.0	3.8	52.6	6.4
	75～79歳	122	34.4	8.2	12.3	5.7	38.5	0.8
	80～84歳	231	29.4	10.4	15.6	6.1	32.0	6.5
	85歳以上	426	25.4	8.7	11.7	5.4	42.7	6.1
要介護度別	要支援1	254	42.5	12.6	16.5	3.9	17.7	6.7
	要支援2	189	28.0	11.6	15.9	5.8	30.2	8.5
	要介護1	248	17.7	6.0	10.9	8.5	52.8	4.0
	要介護2	98	16.3	2.0	7.1	6.1	65.3	3.1
	要介護3	62	19.4	8.1	4.8	1.6	62.9	3.2
	要介護4	25	16.0	0.0	8.0	0.0	76.0	0.0
	要介護5	13	30.8	7.7	0.0	0.0	61.5	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	245	37.1	15.5	18.8	7.3	18.4	2.9
	夫婦のみふたり暮らし世帯	306	32.0	8.2	12.7	6.5	37.3	3.3
	その他の世帯	310	15.5	4.5	8.4	3.2	64.5	3.9
	無回答	28	14.3	0.0	0.0	3.6	14.3	67.9
小学校区別	行橋校区	112	26.8	7.1	15.2	6.3	41.1	3.6
	行橋北校区	83	28.9	10.8	12.0	3.6	42.2	2.4
	行橋南校区	53	34.0	13.2	15.1	3.8	28.3	5.7
	今元校区	85	28.2	7.1	7.1	4.7	49.4	3.5
	葦島校区	9	33.3	0.0	0.0	0.0	55.6	11.1
	仲津校区	164	28.7	8.5	11.6	6.1	41.5	3.7
	泉校区	150	22.0	6.0	16.0	3.3	44.0	8.7
	今川校区	58	17.2	12.1	15.5	6.9	39.7	8.6
	稗田校区	56	39.3	8.9	3.6	7.1	35.7	5.4
	椿市校区	21	19.0	9.5	19.0	0.0	52.4	0.0
	延永校区	98	26.5	10.2	12.2	10.2	32.7	8.2

2. 介護保険サービスについて

(1) 介護保険サービスの利用有無

- 介護保険サービスの利用有無について「利用している」が76.6%を占め、「利用していない」は19.8%となっている。
- 性別にみると、あまり大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、「利用している」は70～74歳が80.8%と高い。
- 要介護別にみると、「利用している」は要介護3（93.5%）、要介護4（100.0%）では90%以上を占める。
- 世帯構成別にみると、その他の世帯は「利用している」（80.0%）が他の世帯構成に比べて高い。

【介護保険サービスの利用有無】



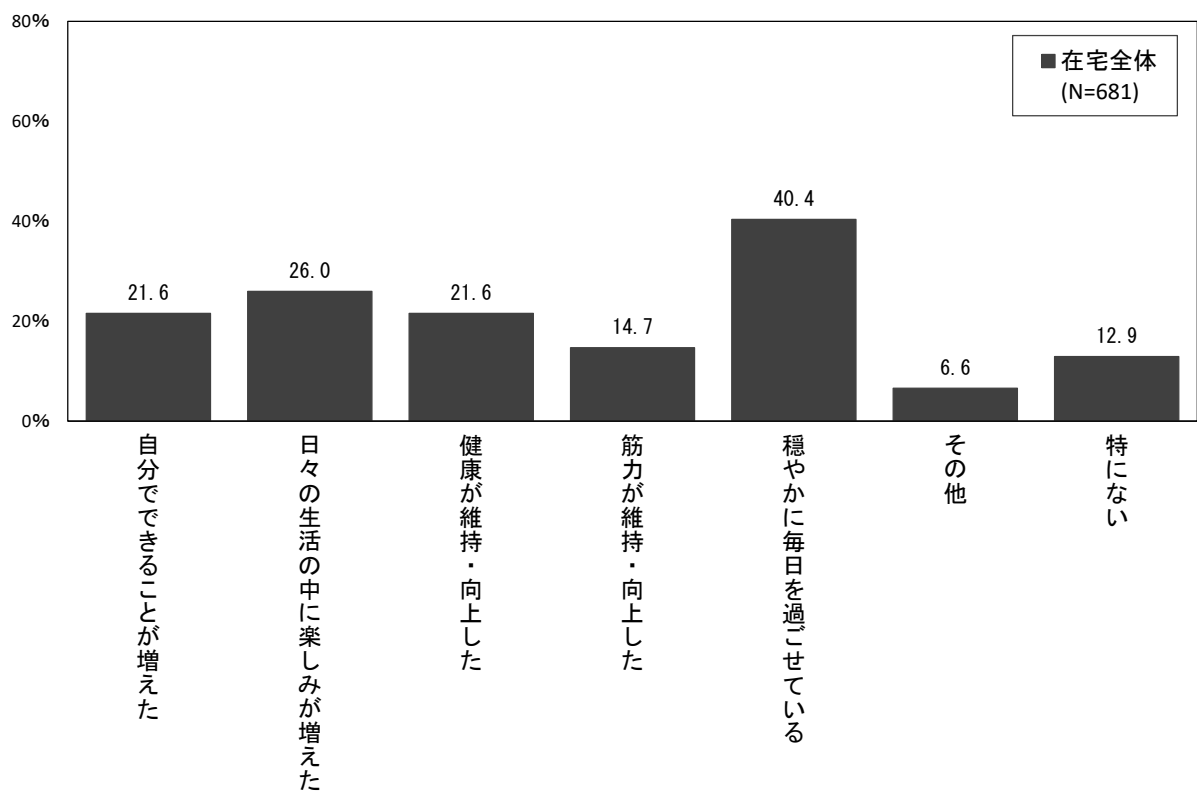
【介護保険サービスの利用有無(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別)】

		調査数	利用している	利用していない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		889	76.6	19.8	3.6
性別	男性	315	76.2	20.0	3.8
	女性	574	76.8	19.7	3.5
年齢別	65～69歳	32	78.1	21.9	0.0
	70～74歳	78	80.8	15.4	3.8
	75～79歳	122	78.7	17.2	4.1
	80～84歳	231	72.7	23.4	3.9
	85歳以上	426	77.2	19.2	3.5
要介護度別	要支援1	254	64.6	31.5	3.9
	要支援2	189	79.9	15.9	4.2
	要介護1	248	79.0	17.7	3.2
	要介護2	98	78.6	17.3	4.1
	要介護3	62	93.5	3.2	3.2
	要介護4	25	100.0	0.0	0.0
	要介護5	13	76.9	23.1	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	245	79.2	18.4	2.4
	夫婦のみふたり暮らし世帯	306	71.6	24.2	4.2
	その他の世帯	310	80.0	17.4	2.6
	無回答	28	71.4	10.7	17.9

(2) 介護保険サービス利用による生活の変化

- 介護保険サービスを利用したことにより、生活の中で良くなったと感じることは「穏やかに毎日を過ごせている」が40.4%と最も高く、次いで「日々の生活の中に楽しみが増えた」(26.0%)、「自分でできることが増えた」「健康が維持・向上した」(21.6%)の順に続く。
- 性別にみると、あまり大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、「自分でできることが増えた」は65～69歳では32.0%となっているが、85歳以上では16.4%まで減少している。
- 要介護度別にみると、「自分でできることが増えた」は要支援1で26.8%、要介護2で27.3%となっている。「筋力が維持・向上した」は要介護4(20.0%)が他の要介護度に比べて高い。
- 世帯構成別にみると、その他の世帯では「穏やかに毎日を過ごせている」が44.4%と他の世帯構成に比べて高い。

【介護保険サービス利用による生活の変化】



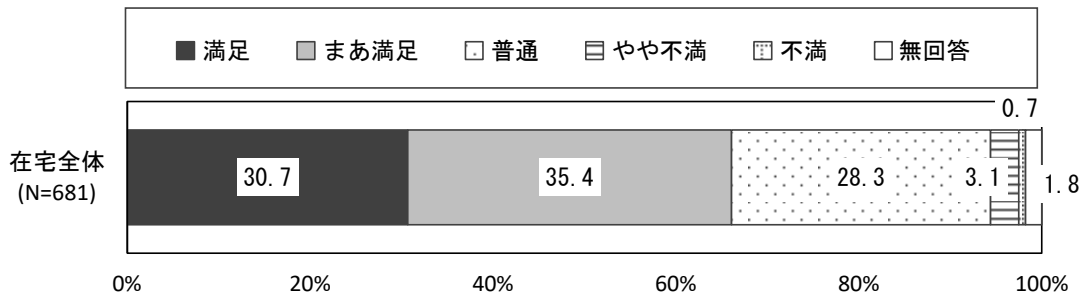
【介護保険サービス利用に生活の変化(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別)】

	調査数	自分でできることが増えた	日々の生活の中に楽しみが増えた	健康が維持・向上した	筋力が維持・向上した	穏やかに毎日を過ごせている	その他	特にない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	681	21.6	26.0	21.6	14.7	40.4	6.6	12.9	
性別	男性	240	22.5	22.9	25.0	17.9	38.8	5.4	14.2
	女性	441	21.1	27.7	19.7	12.9	41.3	7.3	12.2
年齢別	65～69歳	25	32.0	12.0	8.0	8.0	32.0	4.0	12.0
	70～74歳	63	27.0	23.8	25.4	23.8	34.9	6.3	19.0
	75～79歳	96	27.1	17.7	17.7	17.7	37.5	8.3	13.5
	80～84歳	168	25.0	23.2	20.8	13.1	35.7	4.8	16.1
	85歳以上	329	16.4	31.3	23.4	13.4	45.3	7.3	10.0
要介護度別	要支援1	164	26.8	27.4	17.7	12.2	37.2	5.5	14.0
	要支援2	151	22.5	21.2	23.2	17.9	35.8	7.3	12.6
	要介護1	196	18.9	33.2	23.5	14.3	39.8	5.6	11.7
	要介護2	77	27.3	16.9	20.8	15.6	44.2	7.8	11.7
	要介護3	58	10.3	25.9	22.4	13.8	55.2	3.4	17.2
	要介護4	25	20.0	20.0	24.0	20.0	40.0	20.0	8.0
世帯構成別	要介護5	10	0.0	20.0	20.0	0.0	60.0	10.0	20.0
	ひとり暮らし世帯	194	17.0	25.8	18.0	11.3	43.3	9.3	11.9
	夫婦のみふたり暮らし世帯	219	26.5	24.2	21.5	16.9	34.7	6.4	15.5
	その他の世帯	248	20.6	28.6	24.6	15.3	44.4	4.8	11.7
	無回答	20	25.0	15.0	20.0	15.0	25.0	5.0	10.0

(3) 介護保険サービスの満足度

- 介護保険サービスの満足度は、「まあ満足」が 35.4%と最も高く、これに「満足」(30.7%)を合わせた『満足』の割合は 66.1%となっている。これに対して「やや不満」(3.1%)と「不満」(0.7%)を合わせた『不満』の割合は 3.8%となっている。
- 性別にみると、『不満』の割合は女性(3.2%)に比べて男性(5.0%)が高い。
- 年齢別にみると、『不満』の割合は 75～79歳が 6.2%と他の年齢層に比べて高い。65～69歳では『満足』の割合が 72.0%と高い。
- 要介護度別にみると、『満足』の割合は要介護2(71.5%)と要介護4(80.0%)が 70%を超えて高く、一方、『不満』の割合は要支援1が 6.7%と他の要介護度に比べて高い。
- 世帯構成別にみると、『満足』の割合は、夫婦のみふたり暮らし世帯が 61.2%と他の世帯に比べて低い。

【介護保険サービスの満足度】



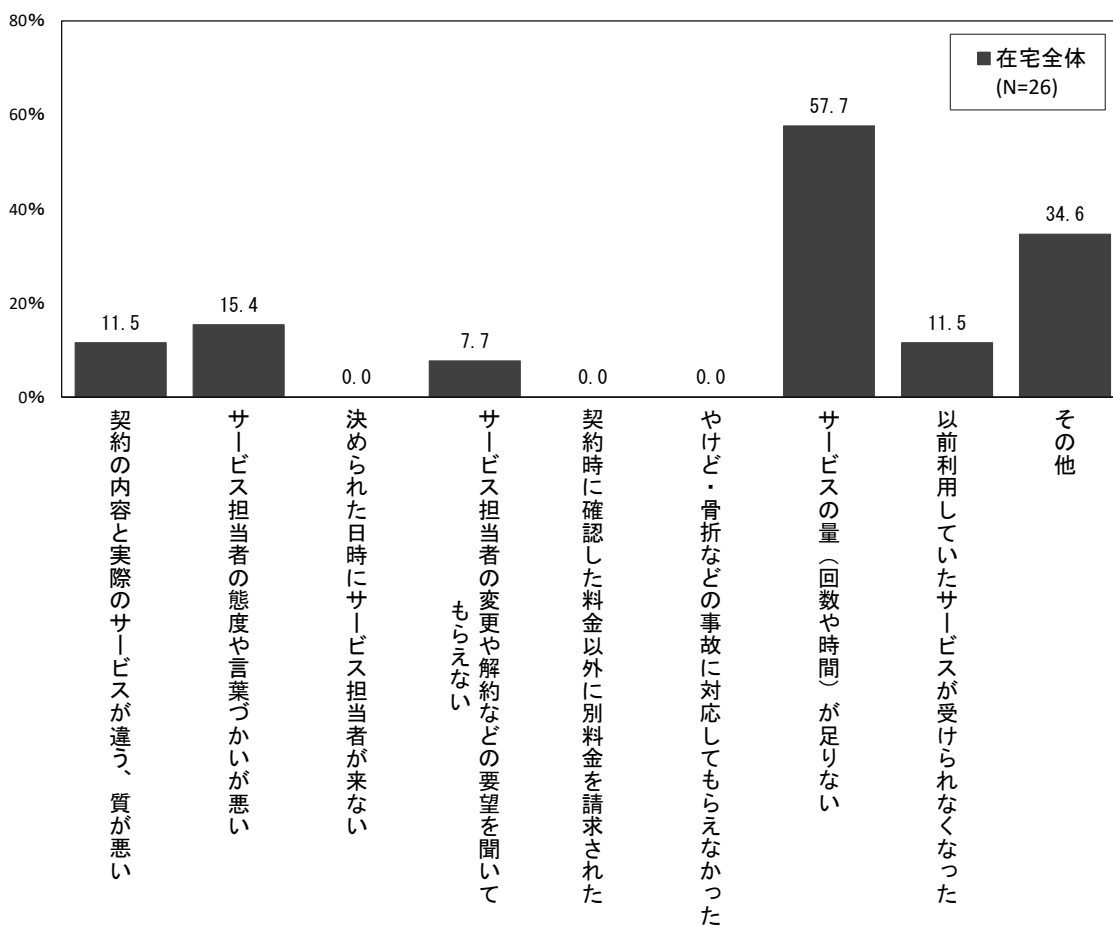
【介護保険サービスの満足度(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別)】

		調査数	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		681	30.7	35.4	28.3	3.1	0.7	1.8
性別	男性	240	25.8	35.4	31.3	4.2	0.8	2.5
	女性	441	33.3	35.4	26.8	2.5	0.7	1.4
年齢別	65～69歳	25	28.0	44.0	28.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	63	22.2	36.5	36.5	1.6	0.0	3.2
	75～79歳	96	29.2	37.5	27.1	5.2	1.0	0.0
	80～84歳	168	29.8	31.0	33.3	2.4	0.6	3.0
	85歳以上	329	33.4	36.2	24.6	3.3	0.9	1.5
要介護度別	要支援1	164	31.1	30.5	28.7	5.5	1.2	3.0
	要支援2	151	30.5	34.4	29.1	3.3	0.0	2.6
	要介護1	196	31.1	35.7	29.1	2.0	1.0	1.0
	要介護2	77	29.9	41.6	26.0	2.6	0.0	0.0
	要介護3	58	29.3	37.9	27.6	1.7	1.7	1.7
	要介護4	25	32.0	48.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	要介護5	10	30.0	30.0	40.0	0.0	0.0	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	194	29.9	37.6	27.8	2.1	0.5	2.1
	夫婦のみふたり暮らし世帯	219	24.7	36.5	31.5	3.7	0.9	2.7
	その他の世帯	248	37.5	31.9	26.2	3.2	0.8	0.4
	無回答	20	20.0	45.0	25.0	5.0	0.0	5.0

(4) 介護保険サービスに不満な理由

- 介護保険サービスに不満がある人の理由は、「サービスの量（回数や時間）が足りない」が57.7%と最も高く、次いで「その他」（34.6%）となっている。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「サービス担当者の態度や言葉づかいが悪い」（25.0%）、「契約の内容と実際のサービスが違う、質が悪い」「サービス担当者の変更や解約などの要望を聞いてもらえない」（16.7%）が顕著に高い。
- 年齢別にみると、『不満』の割合が最も高かった75～79歳は、「サービスの量が足りない」（66.7%）が最も高い。
- 要介護度別にみると、「サービスの量が足りない」が要支援1では72.7%、要介護1では66.7%と60%を超えている。

【介護保険サービスに不満な理由】



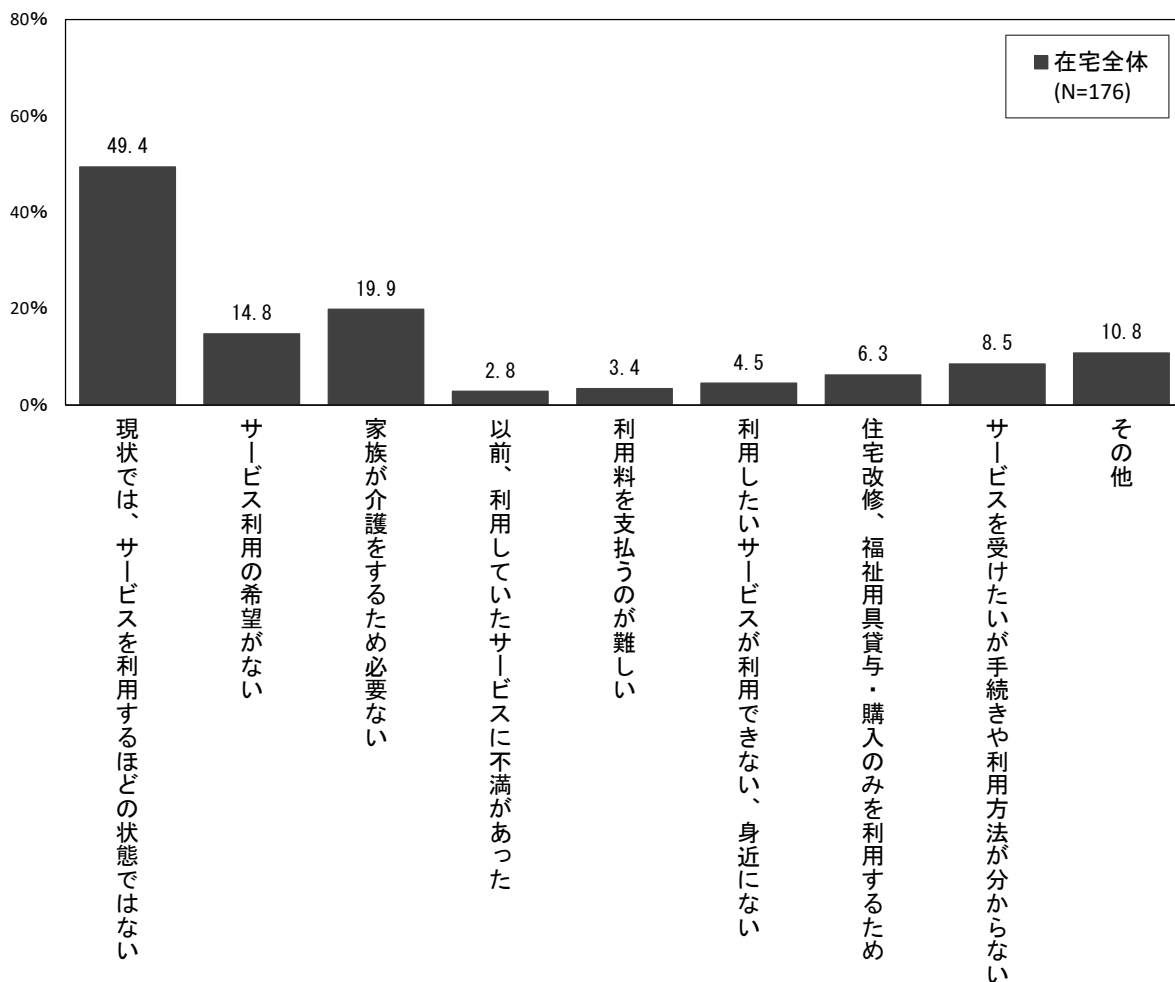
【介護保険サービスに不満な理由(性別・年齢別・要介護度別)】

		調査数	契約の内容と実際のサービスが違う質が悪い	サービス担当者の態度や言葉づかいが悪い	決められた日時にサービス担当者が来ない	サービス担当者の変更や解約などの要望を聞いてもらえない	契約時に確認した料金以外に別料金を請求された	やけど・骨折などの事故に対応してもらえなかった	サービスの量(回数や時間)が足りない	以前利用していたサービスが受けられなくなった	その他
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		26	11.5	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	57.7	11.5	34.6
性別	男性	12	16.7	25.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	50.0
	女性	14	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	78.6	21.4	21.4
年齢別	65～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75～79歳	6	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	66.7	0.0	16.7
	80～84歳	5	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0
	85歳以上	14	14.3	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	64.3	21.4	50.0
要介護度別	要支援1	11	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	72.7	18.2	18.2
	要支援2	5	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	要介護1	6	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	66.7	0.0	66.7
	要介護2	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	要介護3	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0
	要介護4	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護5	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	40.0
	夫婦のみふたり暮らし世帯	10	10.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	30.0
	その他の世帯	10	20.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	50.0	20.0	40.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(5) 介護保険サービスを利用していない理由

- 介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が49.4%と最も高い。次いで「家族が介護をするため必要ない」(19.9%)、「サービス利用の希望がない」(14.8%)となっている。
- 性別にみると、女性は男性に比べて「家族が介護をするため必要ない」(23.0%)の割合が8.7ポイント高い。
- 年齢別にみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が70～74歳(66.7%)、と85歳以上(51.2%)が全体の割合を超えている。また、65～69歳未満では「サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない」が14.3%と他の年代と比べて高い。
- 要介護度別にみると、要介護3以上では介護保険サービスを利用していない人は少ない。また、要支援1では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(62.5%)と60%を超えている。

【介護保険サービスを利用していない理由】



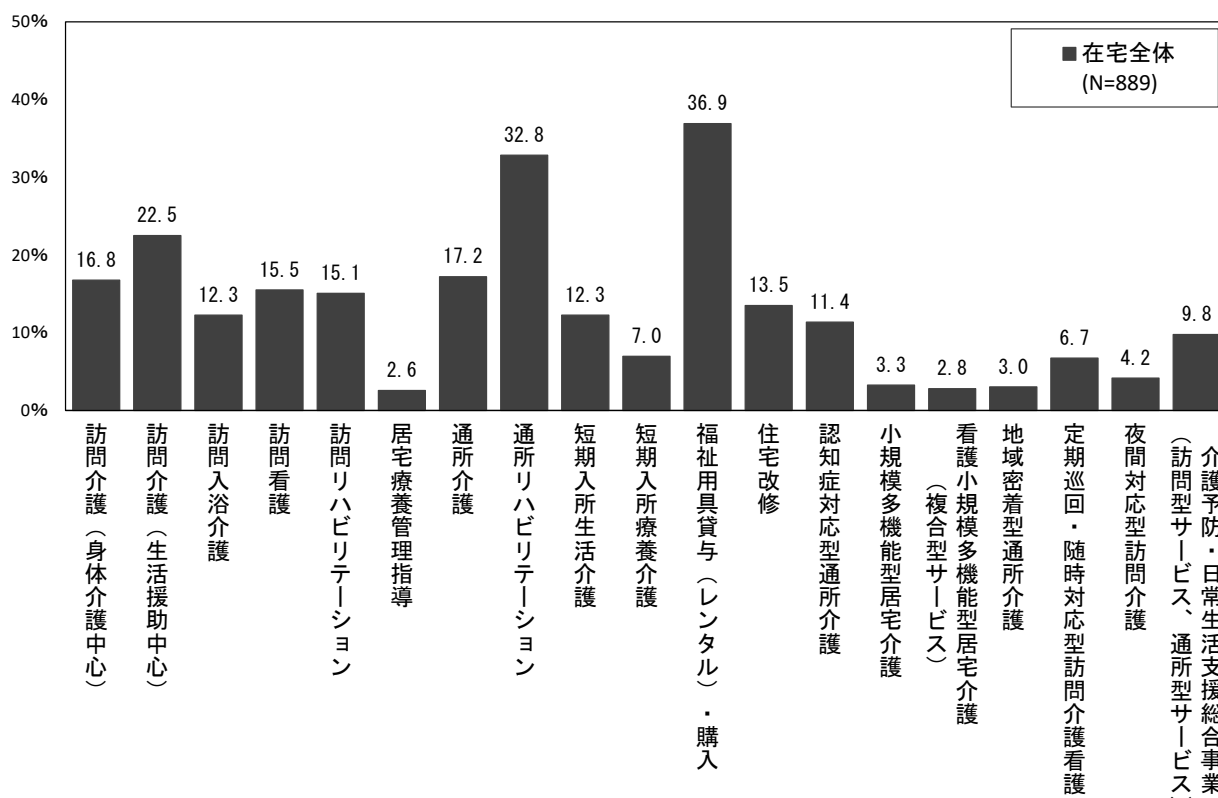
【介護保険サービスを利用していない理由(性別・年齢別・要介護度別)】

		調査数	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	サービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		176	49.4	14.8	19.9	2.8	3.4	4.5	6.3	8.5	10.8
性別	男性	63	50.8	15.9	14.3	4.8	4.8	6.3	4.8	7.9	9.5
	女性	113	48.7	14.2	23.0	1.8	2.7	3.5	7.1	8.8	11.5
年齢別	65～69歳	7	42.9	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	70～74歳	12	66.7	16.7	33.3	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	8.3
	75～79歳	21	42.9	4.8	14.3	4.8	9.5	4.8	4.8	4.8	19.0
	80～84歳	54	46.3	20.4	13.0	1.9	5.6	7.4	5.6	9.3	11.1
	85歳以上	82	51.2	13.4	22.0	2.4	1.2	3.7	6.1	9.8	9.8
要介護度別	要支援1	80	62.5	10.0	15.0	1.3	2.5	3.8	2.5	6.3	15.0
	要支援2	30	30.0	16.7	16.7	3.3	6.7	6.7	10.0	6.7	6.7
	要介護1	44	47.7	20.5	29.5	2.3	2.3	6.8	9.1	15.9	4.5
	要介護2	17	29.4	17.6	17.6	11.8	5.9	0.0	11.8	5.9	11.8
	要介護3	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護4	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護5	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

(6) 在宅サービスの利用意向

- 今後利用したい(利用し続けたい)在宅サービスの利用意向は、「福祉用具貸与(レンタル)・購入」が36.9%と最も高く、次いで「通所リハビリテーション」(32.8%)、「訪問介護(生活援助中心)」(22.5%)、「通所介護」(17.2%)、「訪問介護(身体介護中心)」(16.8%)が上位5項目にあがっている。
- 性別にみると、大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、65～69歳では「通所リハビリテーション」が46.9%と40%を超えている。70～74歳では「訪問介護(身体介護中心)」(24.4%)や「訪問看護」(20.5%)の割合が他の年代に比べて高い。
- 要介護度別にみると、要支援認定者は要介護認定者に比べて「訪問介護(生活援助中心)」の割合が高い。一方、要介護認定者は要支援認定者に比べて「通所介護」や「短期入所生活介護」、「短期入所療養介護」の割合が高い。要介護4は「福祉用具貸与(レンタル)・購入」が64.0%と他の要介護度に比べて高い。「認知症対応型通所介護」は要介護1～3が他の要介護度に比べて高い。「夜間対応型訪問介護」は要介護5(15.4%)が他の要介護度に比べて高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は「訪問介護(生活援助中心)」が39.6%と他の世帯構成に比べて顕著に高い。また、その他の世帯では「通所介護」(21.3%)が他の世帯構成に比べて高い。
- 現在の介護保険サービスの利用状況別にみると、介護保険サービス利用者は未利用者に比べてほとんどの項目の割合が上回っており、「福祉用具貸与(レンタル)・購入」(40.8%)の割合が40%を超えている。また、介護保険サービス未利用者は「訪問介護(生活援助中心)」(23.3%)、「通所リハビリテーション」(22.2%)、「福祉用具貸与(レンタル)・購入」(26.1%)の利用意向が20%以上となっている。

【在宅サービスの利用意向】



【在宅サービスの利用意向(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別・介護保険サービス利用状況別)】

	調査数	訪問介護(身体介護)	訪問介護(生活援助)	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体	889	16.8	22.5	12.3	15.5	15.1	2.6	17.2	32.8	12.3	7.0
性別											
男性	315	18.4	20.6	12.7	17.5	18.1	3.2	16.5	35.9	12.1	6.3
女性	574	15.9	23.5	12.0	14.5	13.4	2.3	17.6	31.2	12.4	7.3
年齢別											
65～69歳	32	18.8	15.6	15.6	21.9	37.5	0.0	6.3	46.9	18.8	9.4
70～74歳	78	24.4	24.4	10.3	20.5	14.1	1.3	17.9	34.6	3.8	1.3
75～79歳	122	13.1	18.0	10.7	15.6	17.2	3.3	13.1	31.1	10.7	4.1
80～84歳	231	16.0	23.8	9.1	12.1	10.8	1.7	17.3	29.4	10.0	6.5
85歳以上	426	16.7	23.2	14.6	16.0	15.3	3.3	19.0	33.8	15.0	8.9
要介護度別											
要支援1	254	11.8	24.0	8.7	11.4	12.2	2.4	9.8	32.7	7.9	4.7
要支援2	189	14.8	23.8	11.6	9.5	11.6	2.1	11.1	35.4	5.8	4.2
要介護1	248	15.7	22.2	12.1	16.5	14.1	2.4	23.0	37.1	16.9	8.9
要介護2	98	23.5	22.4	12.2	21.4	24.5	3.1	15.3	26.5	13.3	8.2
要介護3	62	27.4	19.4	17.7	21.0	14.5	1.6	40.3	25.8	30.6	12.9
要介護4	25	24.0	16.0	28.0	44.0	36.0	8.0	24.0	24.0	12.0	12.0
要介護5	13	46.2	7.7	38.5	38.5	30.8	7.7	30.8	15.4	7.7	7.7
世帯構成別											
ひとり暮らし世帯	245	16.7	39.6	10.6	14.7	11.0	3.7	17.6	28.2	9.4	4.9
夫婦のみふたり暮らし世帯	306	16.0	18.0	13.7	15.0	18.6	3.3	12.7	35.6	12.1	8.2
その他の世帯	310	17.1	14.5	12.3	16.1	14.5	1.3	21.3	34.2	14.8	7.7
無回答	28	21.4	10.7	10.7	21.4	17.9	0.0	17.9	28.6	10.7	3.6
状況別											
介護保険サービス利用者	681	18.8	23.2	12.9	16.6	16.2	2.9	20.3	36.4	13.2	6.8
介護保険サービス未利用者	176	11.9	23.3	10.8	14.2	12.5	1.7	8.0	22.2	10.2	8.0
無回答	32	0.0	3.1	6.3	0.0	6.3	0.0	3.1	15.6	3.1	6.3

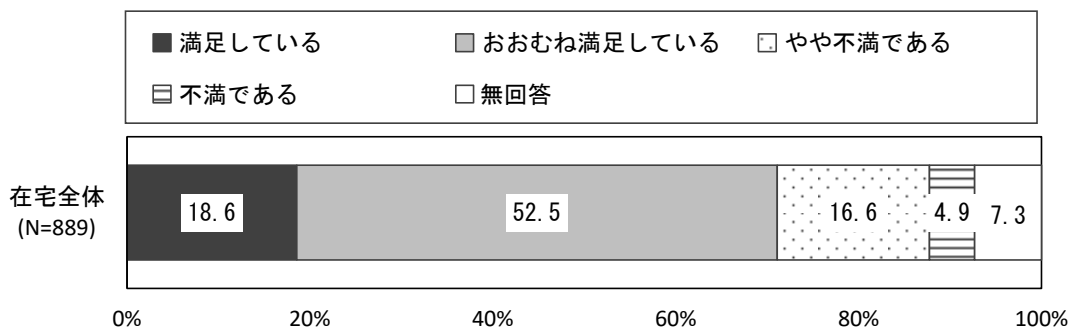
	調査数	福祉用具貸与(レンタル)	住宅改修	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)	地域密着型通所介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	通所型サービス(介護予防・日常生活支援総合事業)
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体	889	36.9	13.5	11.4	3.3	2.8	3.0	6.7	4.2	9.8
性別										
男性	315	38.7	13.0	11.4	2.5	2.9	3.2	7.6	5.1	9.5
女性	574	35.9	13.8	11.3	3.7	2.8	3.0	6.3	3.7	9.9
年齢別										
65～69歳	32	43.8	18.8	6.3	0.0	0.0	3.1	6.3	3.1	6.3
70～74歳	78	35.9	12.8	5.1	2.6	3.8	2.6	2.6	2.6	6.4
75～79歳	122	38.5	9.8	10.7	3.3	1.6	0.8	4.1	2.5	10.7
80～84歳	231	30.3	15.6	12.6	3.0	1.7	2.6	7.4	2.6	7.8
85歳以上	426	39.7	13.1	12.4	3.8	3.8	4.0	8.0	5.9	11.5
要介護度別										
要支援1	254	32.7	13.0	5.1	2.4	2.8	2.8	9.4	3.9	11.0
要支援2	189	39.2	15.3	6.3	1.6	1.1	2.6	3.7	1.6	10.1
要介護1	248	32.3	12.5	19.8	4.4	4.0	4.4	6.9	4.8	11.3
要介護2	98	42.9	14.3	14.3	3.1	3.1	1.0	5.1	2.0	8.2
要介護3	62	41.9	14.5	17.7	6.5	4.8	4.8	4.8	9.7	4.8
要介護4	25	64.0	12.0	4.0	8.0	0.0	0.0	8.0	8.0	4.0
要介護5	13	53.8	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	15.4	15.4	0.0
世帯構成別										
ひとり暮らし世帯	245	34.7	8.2	6.1	4.1	2.4	2.4	5.7	4.1	11.4
夫婦のみふたり暮らし世帯	306	35.3	14.1	12.4	2.3	1.3	2.3	6.5	3.6	6.5
その他の世帯	310	41.3	17.1	13.9	3.5	3.5	4.5	7.1	4.5	11.3
無回答	28	25.0	14.3	17.9	3.6	14.3	0.0	14.3	7.1	14.3
状況別										
介護保険サービス利用者	681	40.8	14.1	12.0	3.8	2.9	3.4	7.3	4.7	10.1
介護保険サービス未利用者	176	26.1	12.5	10.2	1.7	2.8	2.3	5.7	2.8	10.2
無回答	32	12.5	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3. 介護保険制度について

(1) 介護保険制度の満足度

- 介護保険制度の満足度は「おおむね満足している」が52.5%と最も高く、「満足している」(18.6%)を合わせると71.1%が『満足』と回答している一方、「やや不満である」(16.6%)と「不満である」(4.9%)を合わせた『不満』の割合は21.5%となっている。
- 性別、年齢別にみても大きな差はみられないが、65～69歳は『満足』(65.7%)の割合が他の年齢層に比べて低い。
- 要介護度別にみると、要介護1～4は『満足』の割合が70%を超えているが、要介護5では69.3%とやや低い。
- 介護保険サービスの利用状況別にみると、『満足』の割合は利用者(75.9%)が未利用者(58.5%)に比べて17.4ポイント高い。

【介護保険制度の満足度】



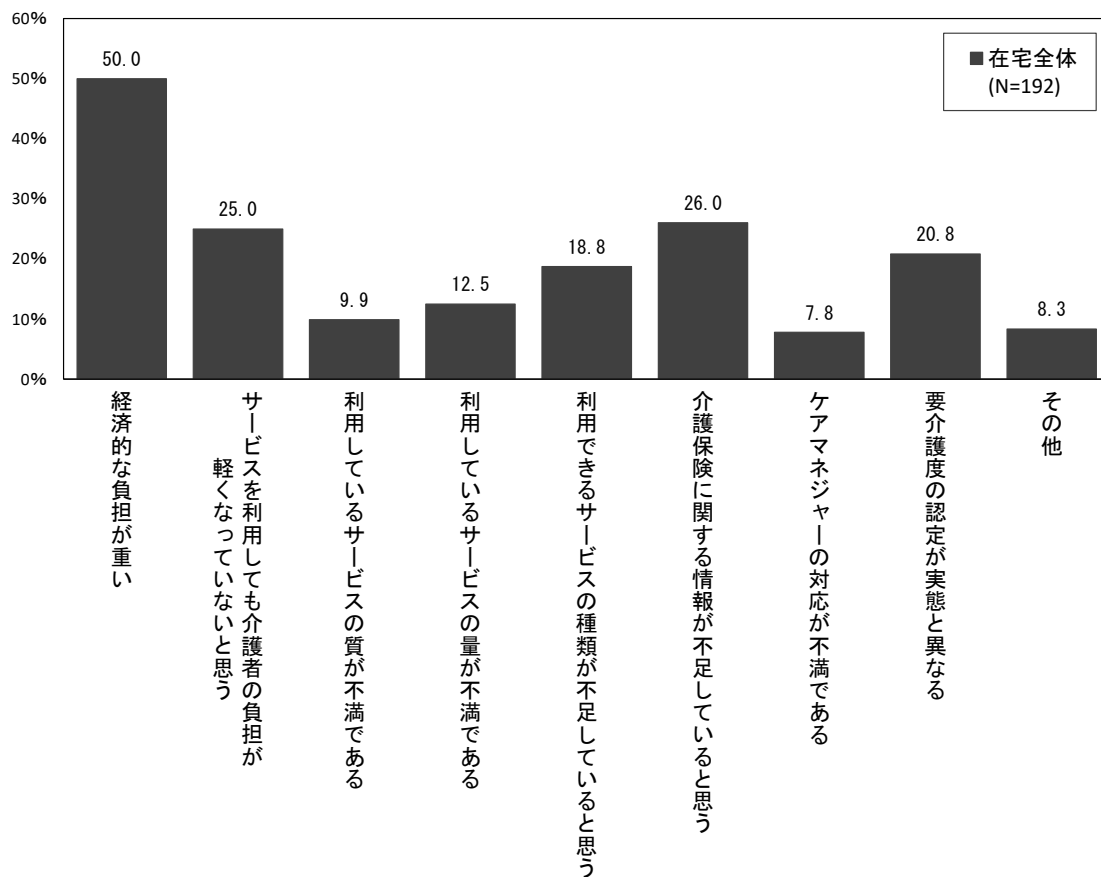
【介護保険制度の満足度(性別・年齢別・要介護度別・介護保険サービス利用状況別)】

	調査数	満足している	おおむね満足している	やや不満である	不満である	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体	889	18.6	52.5	16.6	4.9	7.3	
性別	男性	315	20.0	49.5	17.1	6.7	6.7
	女性	574	17.8	54.2	16.4	4.0	7.7
年齢別	65～69歳	32	21.9	43.8	18.8	9.4	6.3
	70～74歳	78	19.2	52.6	16.7	5.1	6.4
	75～79歳	122	27.0	47.5	11.5	7.4	6.6
	80～84歳	231	15.2	51.1	21.6	3.9	8.2
	85歳以上	426	17.6	55.4	15.3	4.5	7.3
要介護度別	要支援1	254	21.3	47.6	16.9	4.7	9.4
	要支援2	189	16.9	52.4	16.9	4.2	9.5
	要介護1	248	17.7	54.8	16.5	5.2	5.6
	要介護2	98	17.3	56.1	14.3	6.1	6.1
	要介護3	62	12.9	59.7	19.4	4.8	3.2
	要介護4	25	28.0	52.0	12.0	4.0	4.0
状況別	介護保険サービス利用者	681	19.8	56.1	15.7	4.3	4.1
	介護保険サービス未利用者	176	16.5	42.0	19.9	7.4	14.2
	無回答	32	3.1	34.4	18.8	6.3	37.5

(2) 介護保険制度に満足していない理由

- 介護保険制度に満足していない理由は、「経済的な負担が重い」が50.0%と半数を占めて最も高く、次いで「介護保健に関する情報が不足していると思う」(26.0%)、「サービスを利用しても介護者の負担が軽くなっていないと思う」(25.0%)、「要介護度の認定が実態と異なる」(20.8%)の順に高い。
- 性別にみると、女性は男性に比べて「利用できるサービスの種類が不足していると思う」(24.8%)が15.5ポイント高い。
- 年齢別にみると、65～69歳では「サービスを利用しても介護者の負担が軽くなっていないと思う」(44.4%)が他の年齢層に比べて高い。
- 要介護度別にみると、要介護1以上になると「経済的な負担が重い」の割合が50%を超える。
- 介護保険サービスの利用状況別にみると、未利用者は利用者に比べて「介護保健に関する情報が不足していると思う」(35.4%)の割合が特に高い。

【介護保険制度に満足していない理由】



【介護保険制度に満足していない理由(性別・年齢別・要介護度別・介護保険サービス利用状況別)】

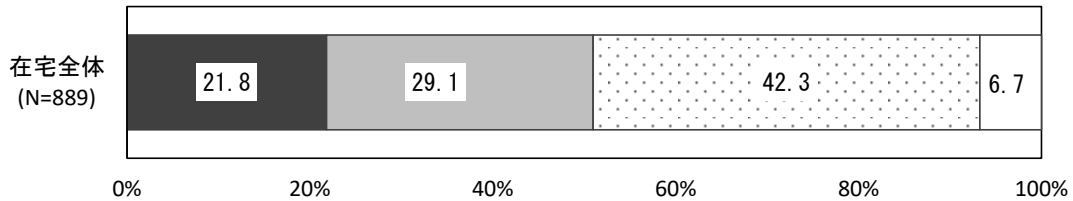
	調査数	経済的な負担が重い	サービスを利用しても介護者の負担が軽くなっていないと思う	利用しているサービスの質が不満である	利用しているサービスの量が不満である	利用できるサービスの種類が不足していると思う	介護保険に関する情報が不足していると思う	ケアマネジャーの対応が不満である	要介護度の認定が実態と異なる	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	192	50.0	25.0	9.9	12.5	18.8	26.0	7.8	20.8	8.3	
性別	男性	75	53.3	16.0	8.0	8.0	9.3	26.7	5.3	21.3	10.7
	女性	117	47.9	30.8	11.1	15.4	24.8	25.6	9.4	20.5	6.8
年齢別	65～69歳	9	33.3	44.4	0.0	11.1	11.1	33.3	0.0	11.1	44.4
	70～74歳	17	64.7	29.4	5.9	17.6	11.8	23.5	5.9	23.5	11.8
	75～79歳	23	39.1	26.1	4.3	13.0	26.1	34.8	21.7	17.4	4.3
	80～84歳	59	47.5	22.0	13.6	11.9	16.9	23.7	13.6	20.3	5.1
	85歳以上	84	53.6	23.8	10.7	11.9	20.2	25.0	1.2	22.6	7.1
要介護度別	要支援1	55	38.2	20.0	14.5	12.7	25.5	29.1	5.5	18.2	7.3
	要支援2	40	37.5	25.0	2.5	15.0	20.0	25.0	17.5	22.5	15.0
	要介護1	54	63.0	24.1	14.8	5.6	14.8	24.1	3.7	27.8	5.6
	要介護2	20	50.0	30.0	5.0	20.0	15.0	40.0	10.0	20.0	15.0
	要介護3	15	60.0	33.3	6.7	20.0	20.0	13.3	6.7	6.7	0.0
	要介護4	4	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	要介護5	4	100.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
状況別	介護保険サービス利用者	136	50.7	27.2	10.3	15.4	22.8	23.5	7.4	24.3	6.6
	介護保険サービス未利用者	48	45.8	20.8	8.3	4.2	10.4	35.4	8.3	12.5	12.5
	無回答	8	62.5	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5

(3) 介護保険料と介護サービスのあり方

- 介護保険料と介護サービスのあり方について「どちらともいえない」が42.3%と最も高く、次いで「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(29.1%)、「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(21.8%)の順に続く。
- 性別、年齢別にみても大きな差はみられない。
- 要介護度別にみると、「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」の割合は、要介護1が27.4%と他の要介護度に比べて高い。
- 介護保険サービスの利用状況別にみると、大きな差はみられないが、利用者は未利用者に比べて「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(22.9%)が2.4ポイント高く、未利用者は利用者に比べて「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(31.3%)が3.3ポイント高い。

【介護保険料と介護サービスのあり方】

- 利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない
- 利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい
- どちらともいえない
- 無回答



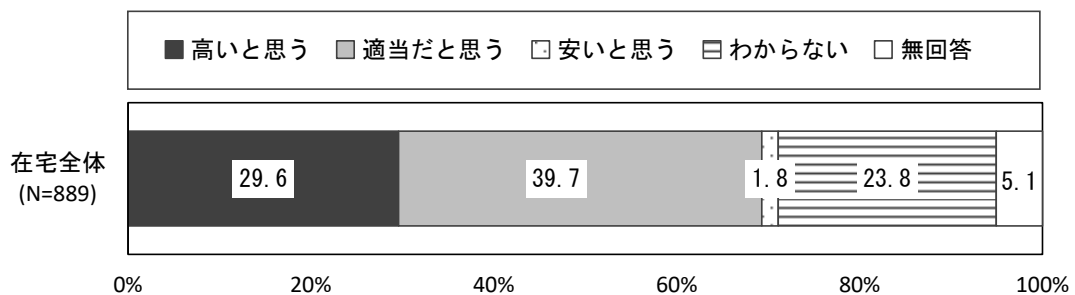
【介護保険料と介護サービスのあり方(性別・年齢別・要介護度別・介護保険サービスの利用状況別)】

		調査数	ても充利用 か実用 まされ わされる ないの なら、 介護サ ービス の種類 や量が 高くが	多利用 少抑で えける ても、 介護サ ービス の種類 や量を	どちらともいえない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		889	21.8	29.1	42.3	6.7
性別	男性	315	19.0	34.6	39.7	6.7
	女性	574	23.3	26.1	43.7	6.8
年齢別	65～69歳	32	25.0	21.9	43.8	9.4
	70～74歳	78	15.4	29.5	52.6	2.6
	75～79歳	122	15.6	36.9	39.3	8.2
	80～84歳	231	17.7	34.6	39.4	8.2
	85歳以上	426	26.8	24.4	42.7	6.1
要介護度別	要支援1	254	20.9	31.5	39.8	7.9
	要支援2	189	18.5	29.1	42.9	9.5
	要介護1	248	27.4	28.6	39.1	4.8
	要介護2	98	17.3	32.7	44.9	5.1
	要介護3	62	24.2	21.0	50.0	4.8
	要介護4	25	12.0	16.0	64.0	8.0
	要介護5	13	23.1	30.8	46.2	0.0
状況別 利用	介護保険サービス利用者	681	22.9	28.0	44.6	4.4
	介護保険サービス未利用者	176	20.5	31.3	36.9	11.4
	無回答	32	6.3	40.6	21.9	31.3

(4) 介護保険料の負担感

- 介護保険料の負担感について「相当だと思う」が39.7%と最も高く、次いで「高いと思う」(29.6%)、「わからない」(23.8%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「高いと思う」(36.8%)が11.2ポイント高い。
- 年齢別にみると、70～84歳では「高いと思う」が30%を超えている。
- 要介護度別にみると、要支援1・2、要介護2では「高いと思う」が30%を超えている。一方、要介護1、要介護3・4では「相当だと思う」が40%を超えている。
- 介護保険サービスの利用状況別にみると、未利用者は利用者に比べて「高いと思う」(36.4%)が8.6ポイント高い。一方、利用者は「相当だと思う」が43.3%と40%を超えている。

【介護保険料の負担感】



【介護保険料の負担感(性別・年齢別・世帯構成別・介護希望別)】

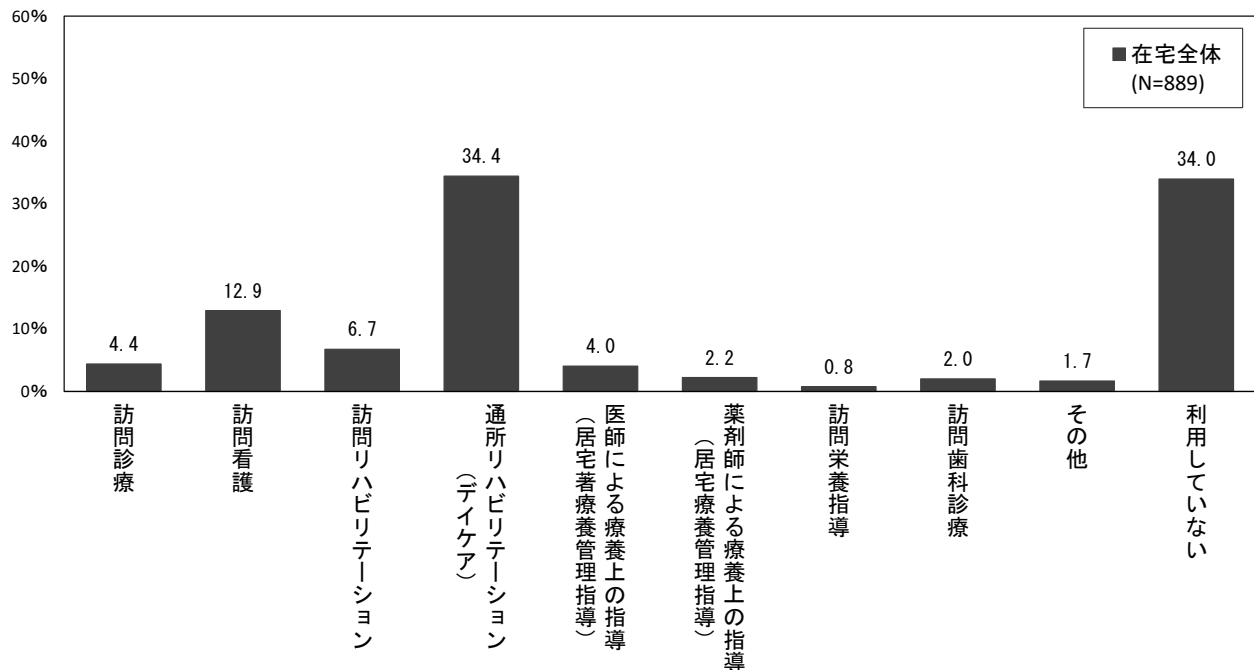
		調査数	高いと思う	相当だと思う	安いと思う	わからない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		889	29.6	39.7	1.8	23.8	5.1
性別	男性	315	36.8	35.9	1.0	21.3	5.1
	女性	574	25.6	41.8	2.3	25.3	5.1
年齢別	65～69歳	32	21.9	46.9	3.1	25.0	3.1
	70～74歳	78	32.1	30.8	2.6	32.1	2.6
	75～79歳	122	31.1	38.5	0.8	23.0	6.6
	80～84歳	231	30.3	33.3	0.0	31.2	5.2
	85歳以上	426	28.9	44.6	2.8	18.5	5.2
要介護度別	要支援1	254	31.5	37.0	1.2	24.0	6.3
	要支援2	189	32.3	36.0	1.6	24.3	5.8
	要介護1	248	26.2	43.5	2.0	24.2	4.0
	要介護2	98	35.7	33.7	2.0	24.5	4.1
	要介護3	62	24.2	54.8	0.0	17.7	3.2
	要介護4	25	8.0	44.0	8.0	32.0	8.0
	要介護5	13	38.5	38.5	7.7	15.4	0.0
状況別	介護保険サービス利用者	681	27.8	43.3	1.9	23.8	3.2
	介護保険サービス未利用者	176	36.4	29.0	1.7	25.6	7.4
	無回答	32	31.3	21.9	0.0	15.6	31.3

4. 在宅医療について

(1) 在宅医療サービスの利用状況

- 在宅医療サービスの利用状況は「通所リハビリテーション（デイケア）」が34.4%と最も高く、次いで「訪問看護」（12.9%）、「訪問リハビリテーション」（6.7%）の順に続く。「利用していない」は34.0%となっている。
- 年齢別にみると大きな差はみられないが、65～69歳では特に、「訪問看護」の割合が他の年齢層に比べて高い。
- 要介護度別にみると、要介護5では「訪問診療」「訪問看護」「医師による療養上の指導（居宅療養管理指導）」「薬剤師による療養上の指導（居宅療養管理指導）」「訪問栄養指導」の割合が他の要介護に比べて高い。

【在宅医療サービスの利用状況】



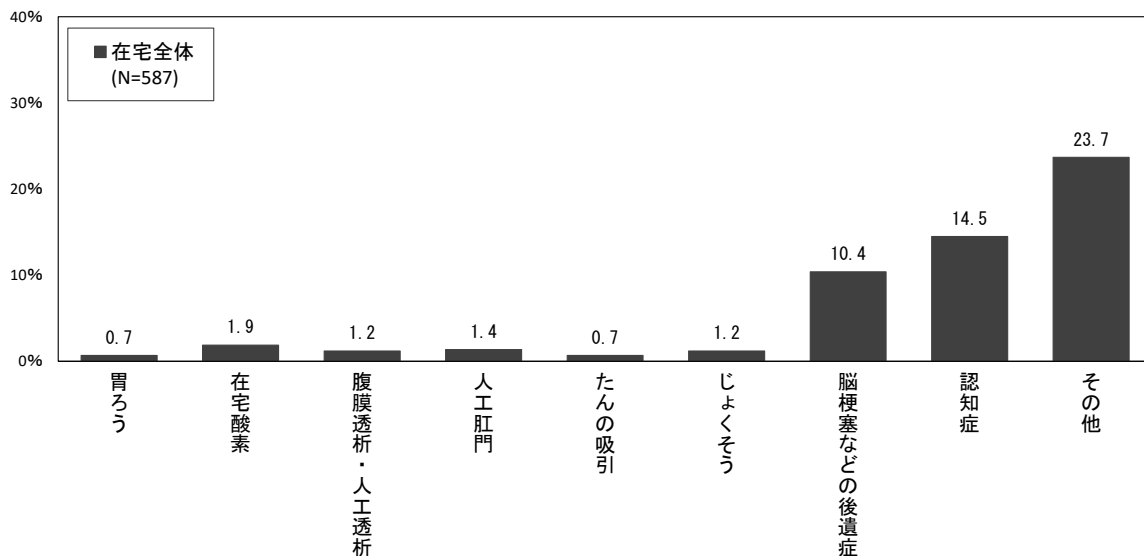
【在宅医療サービスの利用状況(性別・年齢別・要介護度別)】

	調査数	訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ	通所リハビリ (デイケア)	医師による療養管理指導 (居宅療養)	薬剤師による療養管理指導 (居宅療養)	訪問栄養指導	訪問歯科診療	その他	利用していない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	889	4.4	12.9	6.7	34.4	4.0	2.2	0.8	2.0	1.7	34.0	
性別	男性	315	5.1	14.3	8.3	36.5	5.4	1.9	1.9	2.5	0.6	32.7
	女性	574	4.0	12.2	5.9	33.3	3.3	2.4	0.2	1.7	2.3	34.7
年齢別	65～69歳	32	3.1	31.3	18.8	43.8	6.3	0.0	0.0	3.1	3.1	25.0
	70～74歳	78	6.4	7.7	10.3	32.1	2.6	2.6	0.0	1.3	1.3	37.2
	75～79歳	122	3.3	12.3	9.0	32.0	3.3	1.6	0.8	2.5	0.8	31.1
	80～84歳	231	3.5	14.7	4.3	36.4	4.3	1.7	0.4	0.9	1.7	32.0
	85歳以上	426	4.9	11.7	5.9	33.8	4.2	2.8	1.2	2.6	1.9	35.9
要介護度別	要支援1	254	1.6	3.1	2.0	28.0	3.5	1.2	0.8	0.8	2.4	42.1
	要支援2	189	3.7	9.0	3.2	34.9	3.2	0.5	0.0	1.6	0.0	34.9
	要介護1	248	3.6	15.7	7.7	40.7	3.2	2.8	1.6	1.6	1.6	31.0
	要介護2	98	5.1	23.5	12.2	31.6	3.1	4.1	0.0	6.1	4.1	30.6
	要介護3	62	11.3	21.0	9.7	43.5	8.1	3.2	0.0	0.0	0.0	27.4
	要介護4	25	8.0	40.0	36.0	24.0	4.0	4.0	0.0	8.0	4.0	12.0
	要介護5	13	38.5	38.5	23.1	30.8	30.8	15.4	7.7	7.7	0.0	15.4

(2) 在宅医療サービスが必要となった理由

- 何らかの在宅医療サービスを利用している人のうち、在宅医療サービスが必要となった理由は「その他」(23.7%)を除くと、「認知症」が14.5%と最も高く、次いで「脳梗塞などの後遺症」(10.4%)となっており、他の項目は2.0%以下とかなり低い。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「脳梗塞などの後遺症」(16.5%)が顕著に高い。
- 年齢別にみると、若いほど「脳梗塞などの後遺症」が高い。
- 要介護度別にみると、要介護5は「胃ろう」(18.2%)、「たんの吸引」「じょくそう」(9.1%)、「脳梗塞などの後遺症」(27.3%)の割合が他の要介護度に比べて高い。

【在宅医療サービスが必要となった理由】



【在宅医療サービスが必要となった理由(性別・年齢別・要介護度別)】

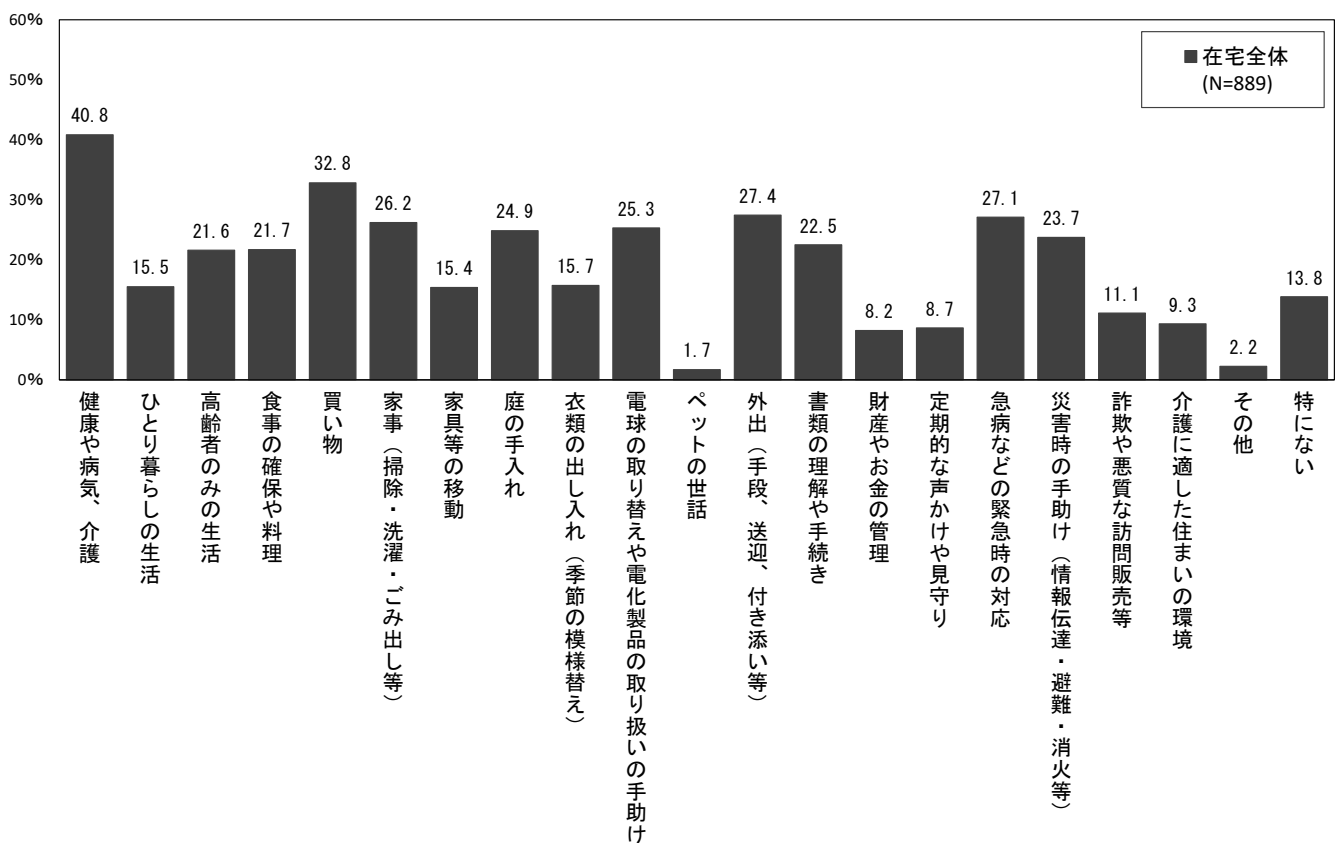
	調査数	胃ろう	在宅酸素	腹膜透析・人工透析	人工肛門	たんの吸引	じょくそう	脳梗塞などの後遺症	認知症	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	587	0.7	1.9	1.2	1.4	0.7	1.2	10.4	14.5	23.7	
性別	男性	212	0.0	2.4	1.4	1.4	0.0	0.9	16.5	12.3	21.2
	女性	375	1.1	1.6	1.1	1.3	1.1	1.3	6.9	15.7	25.1
年齢別	65～69歳	24	4.2	4.2	0.0	4.2	4.2	0.0	33.3	0.0	20.8
	70～74歳	49	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	26.5	2.0	28.6
	75～79歳	84	1.2	1.2	2.4	0.0	0.0	0.0	14.3	19.0	25.0
	80～84歳	157	0.0	2.5	1.3	2.5	1.3	0.6	8.9	14.0	22.3
	85歳以上	273	0.7	1.5	0.7	1.1	0.4	2.2	5.1	16.8	23.4
要介護度別	要支援1	147	0.7	2.7	0.0	2.0	0.0	0.0	6.8	2.0	27.9
	要支援2	123	0.0	3.3	2.4	0.8	1.6	0.0	5.7	4.9	20.3
	要介護1	171	0.0	0.6	0.6	0.6	0.0	0.6	9.4	29.2	20.5
	要介護2	68	1.5	0.0	1.5	1.5	0.0	4.4	17.6	16.2	27.9
	要介護3	45	0.0	2.2	0.0	0.0	2.2	4.4	20.0	22.2	22.2
	要介護4	22	0.0	4.5	9.1	9.1	0.0	0.0	18.2	9.1	27.3
	要介護5	11	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	27.3	27.3	27.3

5. 日常生活上等について

(1) 日常生活上の不安や困りごと

- 日常生活上の不安や困りごとは、「特にない」は13.8%に留まっており、不安や困りごとがある人では、「健康や病気、介護」が40.8%と最も高く、次いで「買い物」(32.8%)、「外出(手段、送迎、付き添い等)」(27.4%)、「急病などの緊急時の対応」(27.1%)、「家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)」(26.2%)が上位5項目にあがっている。
- 要介護度別にみると、「買い物」「家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)」「家具等の移動」「庭の手入れ」「電球の取り替えや電化製品の取り扱いの手助け」「災害時の手助け(情報伝達・避難・消火等)」等は、おおむね要支援認定者の割合の方が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「ひとり暮らしの生活」が49.0%と半数近くを占めている。
- 小学校区別にみると、「買い物」は椿市校区(52.4%)や稗田校区(42.9%)が40%を超えている。「外出(手段、送迎、付き添い等)」は、椿市校区(38.1%)、蓑島校区(33.3%)、今川校区(32.8%)、行橋北校区(30.1%)が30%を超えている。「災害時の手助け(情報伝達・避難・消火等)」は今川校区(31.0%)が30%を超え、他の小学校区に比べて高い。

【日常生活上の不安や困りごと】



第4章 在宅要介護認定者用調査

【日常生活上の不安や困りごと(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

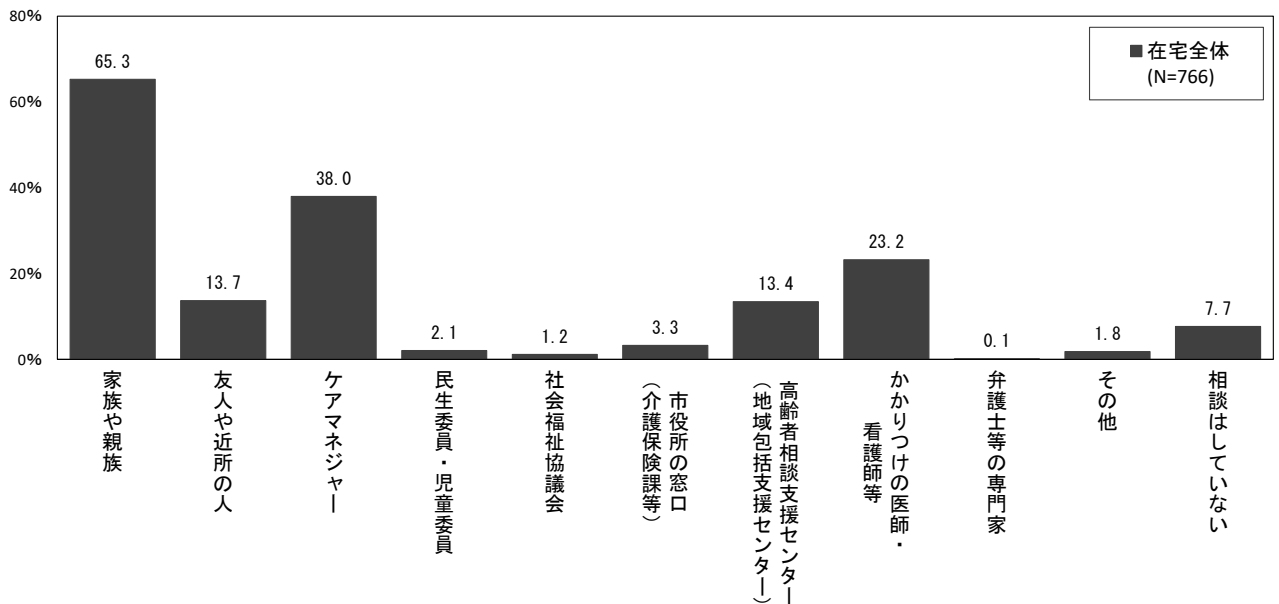
	調査数	健康や病気、介護	ひとり暮らしの生活	高齢者のみの生活	食事の確保や料理	買い物	家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)	家具等の移動	庭の手入れ	衣類の出し入れ(季節の模様替え)	電球の取り替えや電	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	889	40.8	15.5	21.6	21.7	32.8	26.2	15.4	24.9	15.7	25.3	
要介護度別	要支援1	254	31.5	19.3	18.1	19.7	39.4	25.2	16.5	28.3	13.0	29.1
	要支援2	189	45.5	20.6	23.3	25.4	41.3	31.2	24.3	34.4	19.0	34.4
	要介護1	248	43.1	14.9	23.8	23.8	31.0	27.4	10.9	22.2	17.3	22.6
	要介護2	98	51.0	9.2	26.5	21.4	23.5	25.5	15.3	16.3	17.3	16.3
	要介護3	62	43.5	3.2	16.1	14.5	14.5	16.1	9.7	16.1	12.9	16.1
	要介護4	25	40.0	8.0	24.0	16.0	12.0	20.0	0.0	8.0	8.0	12.0
要介護5	13	23.1	0.0	7.7	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	245	36.3	49.0	19.6	30.2	45.7	36.7	18.4	36.3	19.6	40.4
	夫婦のみふたり暮らし世帯	306	44.1	3.6	39.2	19.6	33.7	26.5	17.6	23.2	17.3	22.9
	その他の世帯	310	42.3	1.6	6.1	16.8	22.9	18.7	11.0	18.1	11.0	16.5
	無回答	28	28.6	7.1	17.9	25.0	21.4	14.3	14.3	17.9	17.9	17.9
小学校区別	行橋校区	112	42.9	18.8	21.4	21.4	32.1	19.6	12.5	17.0	17.0	28.6
	行橋北校区	83	39.8	12.0	16.9	21.7	30.1	22.9	16.9	26.5	13.3	24.1
	行橋南校区	53	41.5	24.5	28.3	26.4	26.4	32.1	13.2	17.0	15.1	30.2
	今元校区	85	37.6	14.1	23.5	17.6	28.2	21.2	9.4	15.3	11.8	23.5
	菟島校区	9	33.3	11.1	33.3	33.3	33.3	55.6	11.1	11.1	33.3	44.4
	仲津校区	164	40.2	15.9	22.0	21.3	34.8	24.4	14.0	28.0	13.4	20.1
	泉校区	150	44.7	13.3	17.3	16.0	30.0	24.7	19.3	24.0	18.0	24.0
	今川校区	58	39.7	13.8	20.7	20.7	29.3	25.9	17.2	37.9	12.1	27.6
	稗田校区	56	35.7	16.1	19.6	23.2	42.9	33.9	17.9	33.9	19.6	37.5
	榑市校区	21	38.1	9.5	23.8	42.9	52.4	47.6	19.0	14.3	23.8	19.0
延永校区	98	41.8	16.3	26.5	26.5	36.7	31.6	17.3	31.6	17.3	23.5	

	調査数	ペットの世話	外出(手段、送り迎え)	書類の理解や手続き	財産やお金の管理	定期的な声かけや見守り	急病などの緊急時の対応	災害時の避難・消火(情報伝達)	詐欺や悪質な訪問販売等	介護に適した住まいの環境	その他	特にな	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	889	1.7	27.4	22.5	8.2	8.7	27.1	23.7	11.1	9.3	2.2	13.8	
要介護度別	要支援1	254	3.1	24.8	22.4	5.5	10.2	24.8	25.2	8.3	6.3	2.4	15.0
	要支援2	189	1.6	32.3	24.9	8.5	9.5	32.8	28.0	16.4	10.6	1.1	8.5
	要介護1	248	0.4	29.0	23.0	10.9	8.9	24.2	21.8	12.5	11.3	2.4	13.3
	要介護2	98	2.0	25.5	21.4	9.2	7.1	27.6	22.4	11.2	9.2	3.1	12.2
	要介護3	62	1.6	29.0	24.2	9.7	4.8	32.3	19.4	6.5	9.7	1.6	19.4
	要介護4	25	0.0	20.0	8.0	4.0	4.0	28.0	24.0	4.0	12.0	0.0	36.0
要介護5	13	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	15.4	23.1	
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	245	2.0	30.6	27.8	9.4	13.9	35.1	31.0	17.6	9.4	0.4	6.5
	夫婦のみふたり暮らし世帯	306	2.6	26.5	18.3	7.5	8.5	28.8	23.5	10.1	10.1	3.3	11.8
	その他の世帯	310	0.3	26.5	24.2	8.7	4.8	19.4	18.1	7.7	8.4	2.9	21.6
	無回答	28	3.6	21.4	3.6	0.0	7.1	25.0	25.0	3.6	10.7	0.0	14.3
小学校区別	行橋校区	112	2.7	29.5	21.4	12.5	8.0	27.7	28.6	14.3	9.8	0.9	11.6
	行橋北校区	83	0.0	30.1	24.1	7.2	9.6	21.7	19.3	8.4	4.8	2.4	12.0
	行橋南校区	53	1.9	18.9	17.0	7.5	15.1	30.2	26.4	9.4	7.5	3.8	5.7
	今元校区	85	0.0	21.2	24.7	8.2	3.5	23.5	23.5	10.6	4.7	2.4	17.6
	菟島校区	9	0.0	33.3	44.4	22.2	0.0	44.4	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1
	仲津校区	164	3.0	25.0	22.6	8.5	8.5	26.2	21.3	9.1	14.0	2.4	15.2
	泉校区	150	1.3	28.7	25.3	6.7	6.7	26.0	22.0	12.0	9.3	2.7	14.0
	今川校区	58	0.0	32.8	19.0	6.9	10.3	22.4	31.0	6.9	6.9	0.0	10.3
	稗田校区	56	1.8	30.4	23.2	8.9	10.7	35.7	23.2	16.1	7.1	3.6	21.4
	榑市校区	21	0.0	38.1	28.6	9.5	9.5	38.1	9.5	14.3	23.8	0.0	19.0
延永校区	98	3.1	27.6	17.3	5.1	11.2	29.6	28.6	12.2	10.2	3.1	13.3	

(2) 不安や困りごとの相談先

- 日常生活上の不安や困りごとの相談先は、「相談はしていない」は7.7%に留まっており、相談先がある人では、「家族や親族」が65.3%を占めて最も高く、次いで「ケアマネジャー」(38.0%)、「かかりつけの医師・看護師等」(23.2%)、「友人や近所の人」(13.7%)の順に続く。
- 要介護度別にみると、要支援認定者の方が「友人や近所の人」「民生委員・児童委員」「社会福祉協議会」「高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）」の割合が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「友人や近所の人」(21.8%)のほか、「民生委員・児童委員」(3.9%)の割合が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「市役所の窓口（介護保険課等）」は行橋北校区（6.8%）や椿市校区（5.9%）、「高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）」は延永校区（18.8%）稗田校区（18.2%）が他の校区に比べて高い。また、行橋南校区は「高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）」が6.0%と他の小学校区に比べて極めて低い。

【不安や困りごとの相談先】



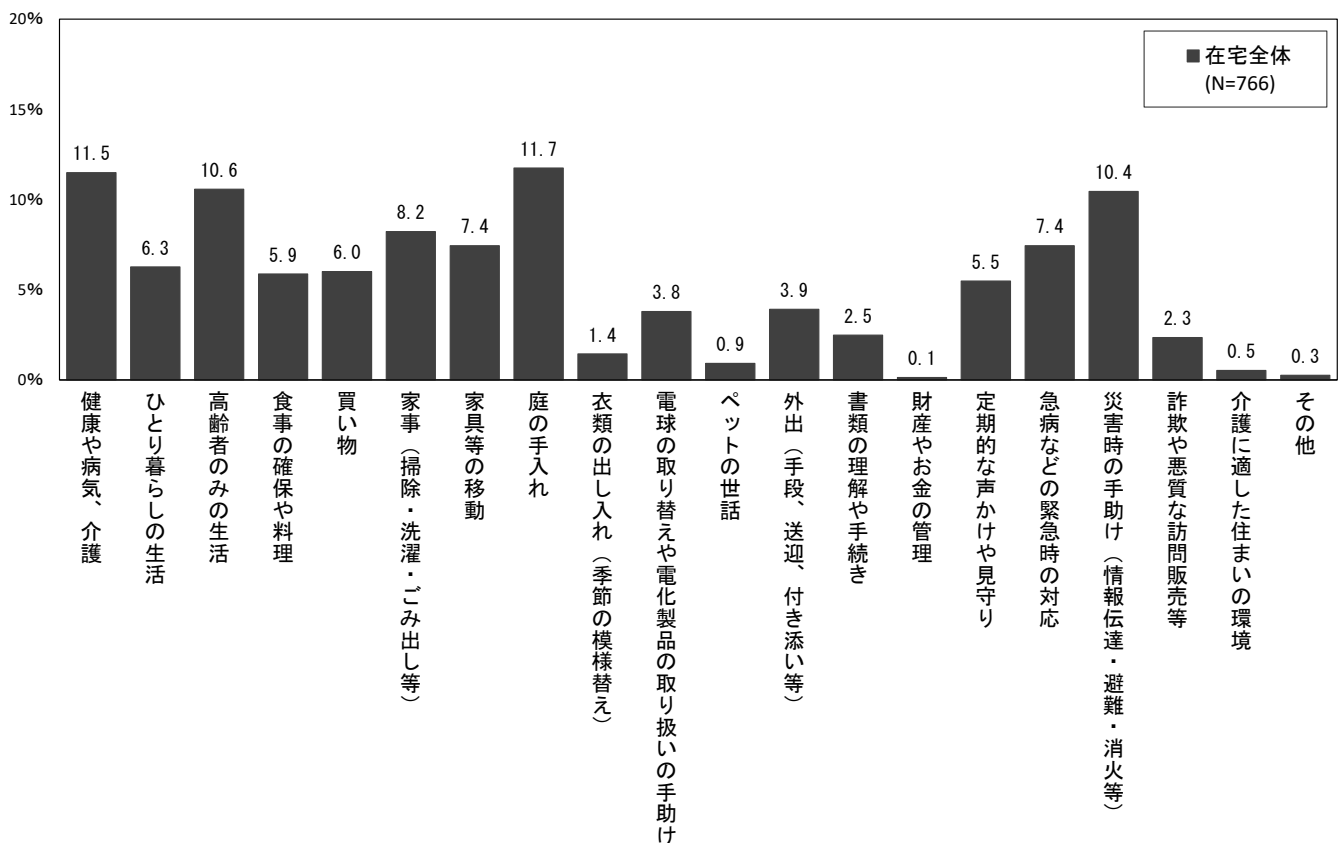
【不安や困りごとの相談先(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

	調査数	家族や親族	友人や近所の人	ケアマネジャー	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	市役所の窓口 (介護保険課等)	高齢者相談支援センター (地域包括支援センター)	かかりつけの医師・ 看護師等	弁護士等の専門家	その他	相談はしていない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	766	65.3	13.7	38.0	2.1	1.2	3.3	13.4	23.2	0.1	1.8	7.7	
要介護度別	要支援1	216	61.6	15.7	25.0	2.3	2.3	2.3	19.9	15.7	0.0	2.3	6.9
	要支援2	173	60.7	21.4	34.7	3.5	1.7	4.6	22.0	26.6	0.0	0.6	9.2
	要介護1	215	74.4	11.2	40.5	2.3	0.5	2.8	7.0	24.7	0.5	2.8	7.0
	要介護2	86	64.0	7.0	48.8	0.0	0.0	4.7	5.8	27.9	0.0	1.2	9.3
	要介護3	50	60.0	4.0	68.0	0.0	0.0	4.0	4.0	24.0	0.0	2.0	6.0
	要介護4	16	87.5	12.5	81.3	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0
要介護5	10	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	20.0	
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	229	61.6	21.8	42.4	3.9	0.9	3.1	14.8	20.5	0.4	2.2	8.7
	夫婦のみふたり暮らし世帯	270	66.3	11.5	36.3	1.5	0.7	4.4	17.4	24.8	0.0	2.2	7.4
	その他の世帯	243	69.1	9.1	36.2	1.2	2.1	2.1	8.6	25.9	0.0	1.2	7.4
	無回答	24	50.0	8.3	33.3	0.0	0.0	4.2	4.2	4.2	0.0	0.0	4.2
小学校区別	行橋校区	99	63.6	12.1	37.4	1.0	3.0	5.1	10.1	29.3	0.0	2.0	8.1
	行橋北校区	73	64.4	19.2	45.2	2.7	0.0	6.8	15.1	23.3	0.0	4.1	4.1
	行橋南校区	50	54.0	22.0	32.0	2.0	0.0	2.0	6.0	22.0	0.0	0.0	14.0
	今元校区	70	61.4	8.6	34.3	1.4	1.4	0.0	12.9	24.3	0.0	0.0	7.1
	菟島校区	8	87.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0
	仲津校区	139	64.0	13.7	38.8	3.6	1.4	3.6	13.7	23.0	0.0	2.2	10.1
	泉校区	129	69.0	11.6	33.3	0.8	0.8	3.1	14.0	22.5	0.0	3.1	7.8
	今川校区	52	73.1	11.5	46.2	1.9	1.9	1.9	11.5	23.1	1.9	0.0	3.8
	稗田校区	44	65.9	15.9	43.2	2.3	2.3	2.3	18.2	20.5	0.0	2.3	4.5
	椿市校区	17	58.8	5.9	41.2	0.0	0.0	5.9	11.8	5.9	0.0	0.0	11.8
延永校区	85	68.2	16.5	37.6	3.5	0.0	2.4	18.8	21.2	0.0	1.2	7.1	

(3) 不安や困りごとについて、身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいこと

- 不安や困りごとがある人のうち、身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいことは「庭の手入れ」が11.7%と最も高く、次いで「健康や病気、介護」(11.5%)、「高齢者のみの生活」(10.6%)、「災害時の手助け(情報伝達・避難・消火等)」(10.4%)、「家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)」(8.2%)が上位5項目にあがっている。
- 要介護度別にみると、要介護4は「定期的な声かけや見守り」(18.8%)、「災害時の手助け(情報伝達・避難・消火等)」(25.0%)が他の要介護度に比べて高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「ひとり暮らしの生活」(10.5%)のほか、「食事の確保や料理」(9.2%)、「買い物」(8.3%)、「家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)」(10.5%)、「外出(手段、送迎、付き添い等)」(5.2%)、「定期的な声かけや見守り」(6.6%)、「災害時の手助け(情報伝達・避難・消火等)」(12.7%)が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、養島校区は、特に「家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)」(37.5%)「外出(手段、送迎、付き添い等)」(12.5%)や「急病などの緊急時の対応」(25.0%)が他の小学校区に比べて高い。

【身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいこと】



第4章 在宅要介護認定者用調査

【身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいこと(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

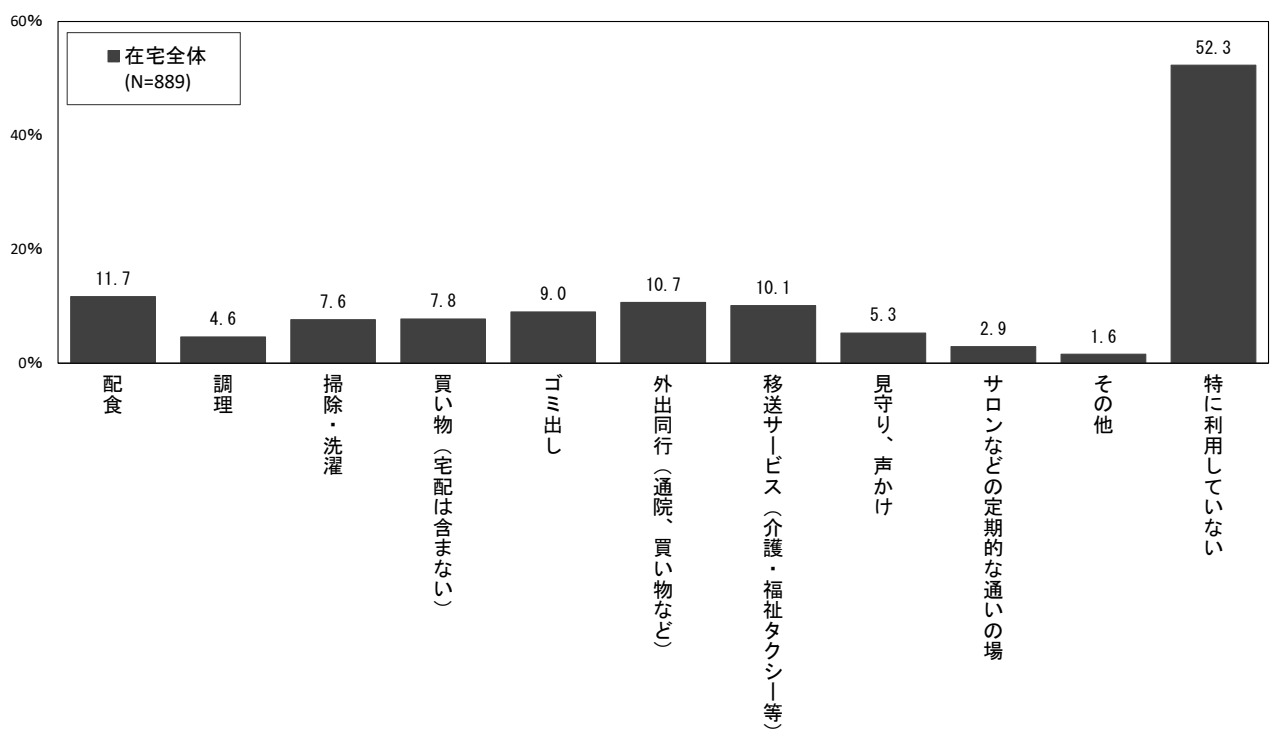
	調査数	健康や病気、介護	ひとり暮らしの生活	高齢者のみの生活	食事の確保や料理	買い物	家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)	家具等の移動	庭の手入れ	衣類の出し入れ(季節の模様替え)	電球の取り替えや電化製品の取り扱い	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	766	11.5	6.3	10.6	5.9	6.0	8.2	7.4	11.7	1.4	3.8	
要介護度別	要支援1	216	11.1	7.4	9.7	3.7	7.4	4.6	9.3	13.4	0.5	4.6
	要支援2	173	11.0	10.4	9.2	6.4	7.5	11.6	10.4	13.9	1.7	5.2
	要介護1	215	13.5	5.1	11.6	7.9	4.7	9.8	4.7	8.8	1.4	1.9
	要介護2	86	11.6	2.3	12.8	7.0	5.8	10.5	5.8	11.6	2.3	2.3
	要介護3	50	10.0	2.0	10.0	2.0	0.0	2.0	4.0	10.0	2.0	2.0
	要介護4	16	6.3	0.0	18.8	6.3	6.3	6.3	12.5	18.8	6.3	12.5
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	229	11.4	10.5	9.2	9.2	8.3	10.5	7.0	13.1	2.2	3.5
	夫婦のみふたり暮らし世帯	270	13.3	5.6	14.1	5.2	6.3	7.8	9.6	11.1	0.7	6.3
	その他の世帯	243	10.3	3.7	8.2	4.1	3.3	7.0	5.3	10.7	1.2	1.6
	無回答	24	4.2	0.0	8.3	0.0	8.3	4.2	8.3	16.7	4.2	0.0
小学校区別	行橋校区	99	12.1	7.1	12.1	10.1	10.1	9.1	5.1	13.1	4.0	2.0
	行橋北校区	73	9.6	6.8	13.7	4.1	2.7	8.2	13.7	12.3	1.4	8.2
	行橋南校区	50	18.0	8.0	12.0	12.0	6.0	8.0	4.0	14.0	2.0	2.0
	今元校区	70	5.7	2.9	5.7	0.0	4.3	7.1	4.3	5.7	1.4	0.0
	菟島校区	8	12.5	0.0	12.5	25.0	12.5	37.5	0.0	12.5	0.0	12.5
	仲津校区	139	11.5	7.9	11.5	5.8	3.6	6.5	7.2	12.2	0.0	3.6
	泉校区	129	10.9	4.7	7.8	4.7	6.2	9.3	6.2	12.4	0.8	4.7
	今川校区	52	15.4	5.8	11.5	1.9	5.8	5.8	7.7	13.5	1.9	5.8
	稗田校区	44	11.4	9.1	18.2	0.0	6.8	9.1	18.2	15.9	4.5	2.3
	樺市校区	17	11.8	0.0	5.9	5.9	5.9	11.8	0.0	5.9	0.0	5.9
	延永校区	85	11.8	7.1	8.2	9.4	8.2	7.1	8.2	9.4	0.0	3.5

	調査数	ペットの世話	外出(手段、送り)	書類の理解や手続き	財産やお金の管理	定期的な声かけや見守り	急病などの緊急時の対応	災害時の伝達・避難・けが(火情等)	詐欺や悪質な訪問販売等	介護に適した住まいの環境	その他
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体	766	0.9	3.9	2.5	0.1	5.5	7.4	10.4	2.3	0.5	0.3
要介護度別	要支援1	216	1.4	5.1	3.2	0.5	5.6	6.5	10.2	0.5	0.5
	要支援2	173	0.6	5.8	1.7	0.0	5.2	6.4	9.2	4.0	1.2
	要介護1	215	1.4	2.3	3.3	0.0	6.0	8.4	10.7	3.3	0.0
	要介護2	86	0.0	4.7	2.3	0.0	4.7	10.5	14.0	2.3	1.2
	要介護3	50	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	6.0	6.0	2.0	0.0
	要介護4	16	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	6.3	25.0	0.0	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	229	1.7	5.2	2.6	0.0	6.6	8.7	12.7	3.5	0.4
	夫婦のみふたり暮らし世帯	270	0.4	4.8	1.9	0.0	5.2	8.5	9.6	1.9	0.7
	その他の世帯	243	0.4	2.1	3.3	0.4	4.5	4.9	9.5	2.1	0.4
	無回答	24	4.2	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0
小学校区別	行橋校区	99	1.0	3.0	2.0	0.0	7.1	4.0	13.1	3.0	1.0
	行橋北校区	73	0.0	6.8	4.1	1.4	4.1	6.8	9.6	0.0	1.4
	行橋南校区	50	4.0	0.0	2.0	0.0	8.0	12.0	10.0	0.0	0.0
	今元校区	70	0.0	2.9	2.9	0.0	2.9	7.1	10.0	4.3	1.4
	菟島校区	8	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	仲津校区	139	0.7	2.2	0.7	0.0	6.5	5.0	7.9	2.2	0.7
	泉校区	129	0.8	7.8	3.9	0.0	4.7	6.2	11.6	0.8	0.0
	今川校区	52	3.8	1.9	1.9	0.0	5.8	7.7	7.7	1.9	0.0
	稗田校区	44	0.0	2.3	2.3	0.0	6.8	11.4	13.6	4.5	0.0
	樺市校区	17	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	17.6	11.8	0.0
	延永校区	85	0.0	4.7	1.2	0.0	4.7	11.8	10.6	3.5	0.0

(4) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

- 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況は、「特に利用していない」が52.3%と半数を超えて高い。利用している人では「配食」(11.7%)、「外出同行(通院、買い物など)」(10.7%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(10.1%)の順に続く。
- 要介護度別で見ると、要支援2では「買い物(宅配は含まない)」(12.7%)や「外出同行(通院、買い物など)」(17.5%)の割合が他の要介護度に比べて高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は多くの項目で、他の世帯構成に比べて高くなっており、特に「配食」(20.0%)の割合が高い。
- 小学校区別にみると、「外出同行(通院、買い物など)」は今川校区(20.7%)、「サロンなどの定期的な通いの場」は葦島校区(11.1%)が、それぞれ他の小学校区に比べて高い。

【介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況】



第4章 在宅要介護認定者用調査

【介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

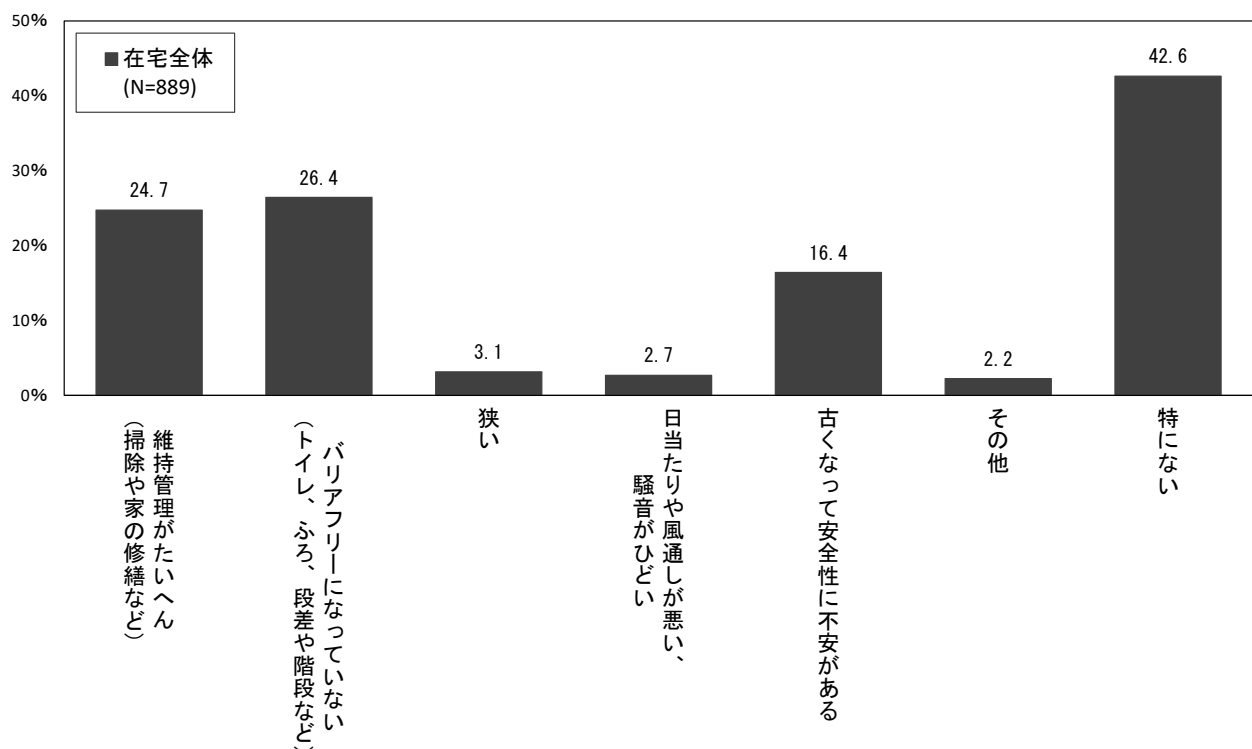
	調査数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特に利用していない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	889	11.7	4.6	7.6	7.8	9.0	10.7	10.1	5.3	2.9	1.6	52.3	
要介護度別	要支援1	254	11.0	3.9	7.5	7.9	11.0	10.6	7.5	3.1	2.0	2.4	54.3
	要支援2	189	10.6	5.3	11.6	12.7	12.2	17.5	12.2	6.3	5.8	1.1	46.6
	要介護1	248	12.9	4.4	6.9	6.5	6.5	8.5	8.5	6.0	2.8	0.8	55.6
	要介護2	98	11.2	2.0	3.1	4.1	6.1	4.1	9.2	3.1	1.0	3.1	54.1
	要介護3	62	12.9	8.1	4.8	4.8	6.5	11.3	21.0	8.1	0.0	0.0	46.8
	要介護4	25	16.0	12.0	12.0	4.0	12.0	8.0	12.0	12.0	4.0	4.0	52.0
	要介護5	13	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	15.4	7.7	7.7	0.0	46.2
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	245	20.0	6.9	11.0	12.2	13.5	15.1	12.7	10.6	3.7	0.8	40.8
	夫婦のみふたり暮らし世帯	306	10.1	3.6	6.9	6.2	7.2	10.1	9.8	2.6	2.0	2.3	51.6
	その他の世帯	310	7.4	4.2	5.2	5.5	7.1	7.7	8.4	4.2	3.5	1.6	63.2
	無回答	28	3.6	0.0	14.3	10.7	10.7	10.7	10.7	0.0	0.0	0.0	39.3
小学校区別	行橋校区	112	8.0	4.5	11.6	8.9	5.4	8.9	6.3	6.3	0.9	0.9	54.5
	行橋北校区	83	13.3	3.6	7.2	4.8	7.2	3.6	9.6	2.4	2.4	1.2	56.6
	行橋南校区	53	9.4	5.7	9.4	11.3	17.0	17.0	17.0	9.4	1.9	1.9	49.1
	今元校区	85	8.2	2.4	7.1	3.5	4.7	9.4	9.4	3.5	0.0	1.2	55.3
	菟島校区	9	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	77.8
	仲津校区	164	12.2	6.1	6.1	5.5	7.9	11.0	11.6	7.3	3.7	1.8	49.4
	泉校区	150	14.7	6.0	4.7	6.0	10.0	6.7	10.0	5.3	2.7	2.7	52.7
	今川校区	58	19.0	1.7	8.6	6.9	3.4	20.7	10.3	0.0	5.2	1.7	43.1
	稗田校区	56	7.1	1.8	7.1	8.9	7.1	10.7	10.7	3.6	3.6	3.6	55.4
	樺市校区	21	9.5	0.0	14.3	14.3	14.3	9.5	0.0	0.0	9.5	0.0	57.1
	延永校区	98	12.2	6.1	8.2	15.3	17.3	16.3	11.2	7.1	4.1	0.0	50.0

6. 住まいについて

(1) 住環境で困っていること【住居】

- 住居で困っていることは「特にない」が42.6%と最も高く、困っていることがある人では「バリアフリーになっていない（トイレ、ふろ、段差や階段など）」(26.4%)、「維持管理がたいへん（掃除や家の修理など）」(24.7%)、「古くなって安全性に不安がある」(16.4%)の順に続く。
- 要介護別にみると、「バリアフリーになっていない（トイレ、ふろ、段差や階段など）」は要支援2と要介護3が30%を超えている。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）」(27.8%)が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）」は稗田校区(33.9%)、「バリアフリーになっていない（トイレ、ふろ、段差や階段など）」は菟島校区(55.6%)、仲津校区(31.1%)の割合がそれぞれ30%を超えている。「日当たりや風通しが悪い、騒音がひどい」は菟島校区(11.1%)と椿市校区(9.5%)が他の小学校区に比べて高い。

【住居で困っていること】



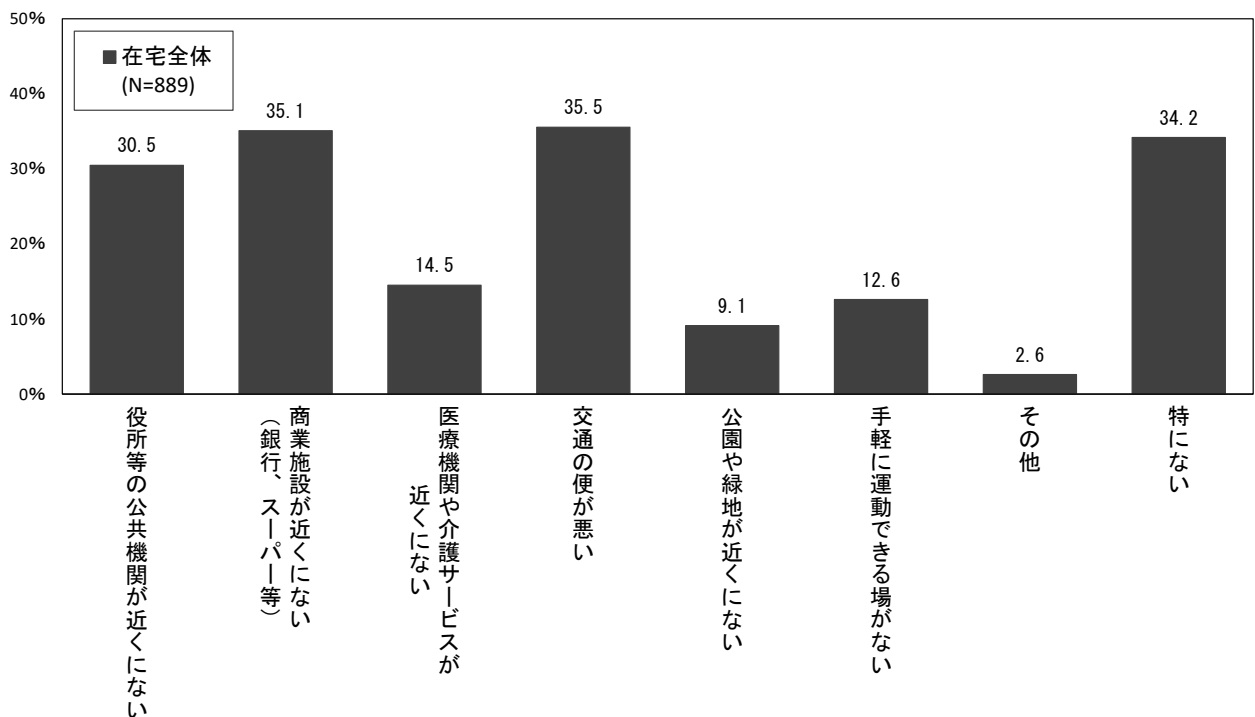
【住居で困っていること(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

	調査数	維持管理がたいへん (掃除や家の修繕など)	バリアフリーになっていない (トイレ、ふろ、段差や階段など)	狭い	日当たりや風通しが悪い、 騒音がひどい	古くなって安全性に不安がある	その他	特にない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	889	24.7	26.4	3.1	2.7	16.4	2.2	42.6	
要介護度別	要支援1	254	25.2	25.2	2.0	2.4	13.8	2.8	40.6
	要支援2	189	31.7	30.2	4.2	3.2	20.6	2.1	32.8
	要介護1	248	23.0	22.6	2.4	2.4	14.5	1.2	50.4
	要介護2	98	15.3	29.6	4.1	3.1	18.4	3.1	46.9
	要介護3	62	27.4	35.5	6.5	3.2	17.7	3.2	37.1
	要介護4	25	24.0	24.0	0.0	0.0	16.0	0.0	52.0
	要介護5	13	7.7	7.7	7.7	7.7	23.1	7.7	53.8
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	245	27.8	23.3	2.0	3.3	18.8	2.0	39.6
	夫婦のみふたり暮らし世帯	306	24.5	25.2	3.6	2.0	15.0	2.6	43.1
	その他の世帯	310	22.9	30.6	3.9	3.2	16.1	1.6	45.5
	無回答	28	21.4	21.4	0.0	0.0	14.3	7.1	32.1
小学校区別	行橋校区	112	22.3	22.3	3.6	4.5	19.6	2.7	43.8
	行橋北校区	83	21.7	26.5	9.6	4.8	15.7	1.2	42.2
	行橋南校区	53	20.8	13.2	1.9	1.9	13.2	3.8	43.4
	今元校区	85	25.9	28.2	1.2	3.5	15.3	0.0	44.7
	叢島校区	9	22.2	55.6	0.0	11.1	11.1	0.0	44.4
	仲津校区	164	27.4	31.1	3.0	3.0	16.5	1.8	35.4
	泉校区	150	22.7	26.0	2.0	0.0	17.3	2.7	48.0
	今川校区	58	29.3	29.3	0.0	0.0	19.0	1.7	44.8
	稗田校区	56	33.9	26.8	1.8	0.0	7.1	3.6	42.9
	椿市校区	21	19.0	19.0	0.0	9.5	23.8	4.8	42.9
	延永校区	98	23.5	26.5	5.1	3.1	17.3	3.1	41.8

(2) 住環境で困っていること【環境・地域】

- 自分の住む環境・地域で困っていることは「特にない」が 34.2%を占め、困っていることがある人では「交通の便が悪い」(35.5%)、「商業施設が近くにない(銀行、スーパー等)」(35.1%)、「役所等の公共機関が近くにない」(30.5%)となっている。
- 要介護別にみると、「役所等の公共機関が近くにない」「医療機関や介護サービスが近くにない」「交通の便が悪い」は、要介護認定者に比べて要支援認定者の割合が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「役所等の公共機関が近くにない」「商業施設が近くにない(銀行、スーパー等)」「医療機関や介護サービスが近くにない」「交通の便が悪い」の割合が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、葦島校区では「商業施設が近くにない(銀行、スーパー等)」や「交通の便が悪い」の割合が60%を超えており、他の小学校に比べて高くなっている。

【環境・地域で困っていること】



第4章 在宅要介護認定者用調査

【環境・地域で困っていること(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

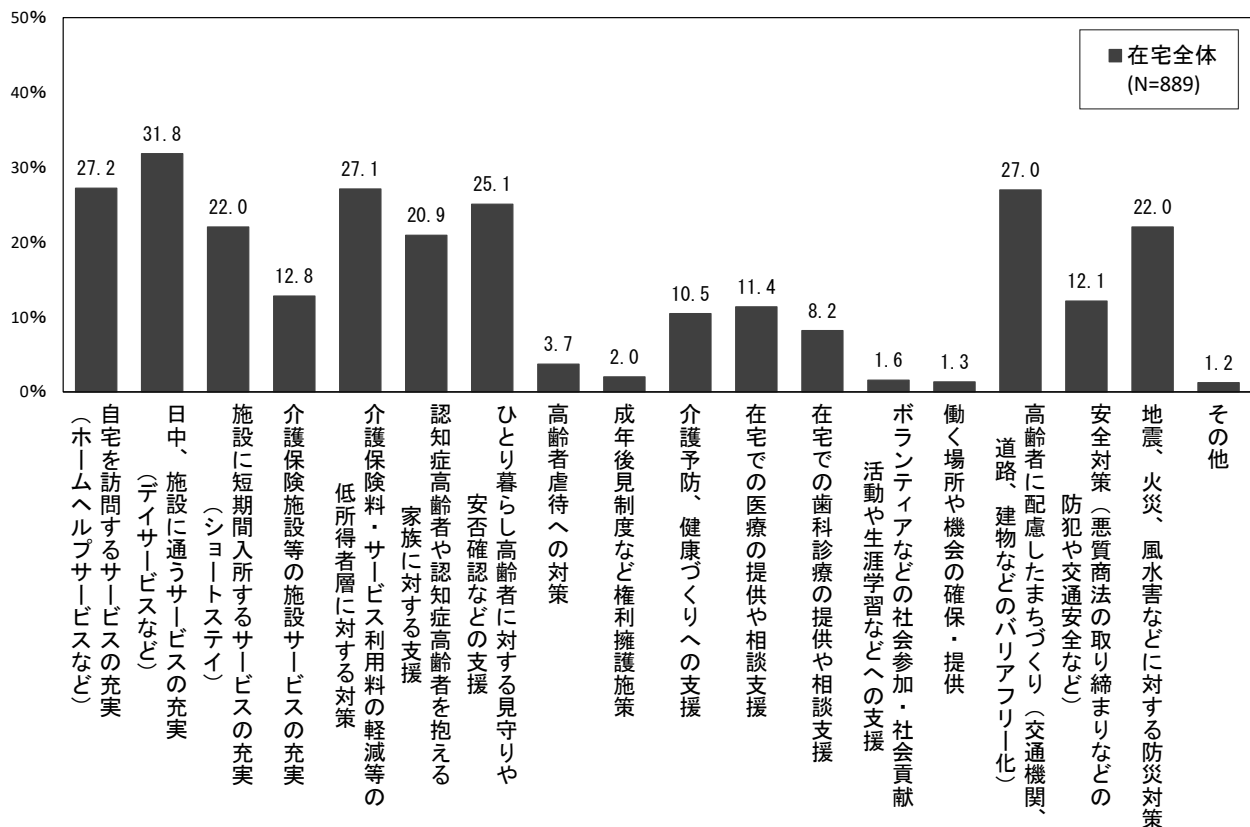
	調査数	役所等の公共機関が近くにない	(商業施設が近くにない (銀行、スーパー等))	医療機関や介護サービスが 近くにない	交通の便が悪い	公園や緑地が近くにない	手軽に運動できる場がない	その他	特 に ない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	889	30.5	35.1	14.5	35.5	9.1	12.6	2.6	34.2	
要介護度別	要支援1	254	33.1	35.8	15.7	36.6	7.9	12.6	3.5	28.3
	要支援2	189	38.6	42.9	20.1	47.6	14.8	19.0	2.6	22.2
	要介護1	248	28.6	35.5	14.1	35.1	8.9	9.7	0.8	38.3
	要介護2	98	25.5	30.6	10.2	28.6	7.1	13.3	3.1	42.9
	要介護3	62	17.7	19.4	8.1	19.4	3.2	4.8	3.2	51.6
	要介護4	25	24.0	36.0	4.0	20.0	4.0	12.0	0.0	56.0
	要介護5	13	7.7	7.7	0.0	7.7	7.7	7.7	15.4	53.8
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	245	37.1	41.6	20.4	42.0	10.2	14.3	3.3	28.6
	夫婦のみふたり暮らし世帯	306	30.4	36.6	14.1	34.3	9.5	14.4	2.6	31.0
	その他の世帯	310	26.8	29.4	11.6	32.6	7.4	9.7	2.3	41.6
	無回答	28	14.3	25.0	0.0	25.0	14.3	10.7	0.0	35.7
小学校区別	行橋校区	112	10.7	21.4	8.9	14.3	7.1	12.5	1.8	45.5
	行橋北校区	83	26.5	20.5	7.2	22.9	8.4	13.3	3.6	43.4
	行橋南校区	53	5.7	32.1	9.4	17.0	5.7	11.3	0.0	37.7
	今元校区	85	22.4	40.0	22.4	50.6	12.9	12.9	1.2	27.1
	葦島校区	9	55.6	66.7	44.4	77.8	0.0	0.0	0.0	11.1
	仲津校区	164	43.9	57.3	6.1	42.1	11.6	13.4	3.7	26.2
	泉校区	150	27.3	20.0	12.0	20.0	8.0	8.0	3.3	47.3
	今川校区	58	32.8	29.3	19.0	50.0	17.2	20.7	1.7	25.9
	稗田校区	56	50.0	53.6	28.6	62.5	0.0	10.7	0.0	19.6
	樺市校区	21	47.6	52.4	38.1	57.1	0.0	9.5	4.8	23.8
	延永校区	98	40.8	32.7	22.4	48.0	11.2	16.3	4.1	28.6

7. 高齢者福祉施策全般について

(1) 高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの

- 高齢者施策・支援で特に大切だと思うものは「日中、施設に通うサービスの充実」が31.8%と最も高く、次いで「自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）」(27.2%)、「介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策」(27.1%)、「高齢者に配慮したまちづくり（交通機関、道路、建物などのバリアフリー化）」(27.0%)、「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」(25.1%)が上位5項目にあがっている。
- 要介護度別にみると、要支援認定者は要介護認定者に比べて「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」や「介護予防、健康づくりへの支援」の割合が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）」(30.6%)や「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」(49.0%)が他の世帯構成に比べて高い。

【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの】



第4章 在宅要介護認定者用調査

【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの(要介護度別・世帯構成別)】

	調査数	（ホームヘルプサービスの充実	日中、施設に通うサービスの充	施設に短期間入所するサービスの充実（ショートステイ）	介護保険施設等の施設サービスの充実	介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策	認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援	ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援	高齢者虐待への対策	成年後見制度など権利擁護施策	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	889	27.2	31.8	22.0	12.8	27.1	20.9	25.1	3.7	2.0	
要介護度別	要支援1	254	22.0	23.2	14.2	8.7	24.8	10.6	26.4	2.4	1.6
	要支援2	189	28.0	28.6	18.0	7.4	24.9	12.2	30.2	3.7	0.5
	要介護1	248	28.2	39.9	26.2	16.9	29.0	32.3	24.6	4.4	3.6
	要介護2	98	36.7	38.8	29.6	22.4	38.8	26.5	16.3	3.1	3.1
	要介護3	62	25.8	37.1	30.6	16.1	17.7	24.2	24.2	6.5	1.6
	要介護4	25	36.0	32.0	40.0	16.0	36.0	40.0	24.0	8.0	0.0
	要介護5	13	15.4	15.4	23.1	0.0	7.7	38.5	7.7	0.0	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	245	30.6	31.4	15.9	8.6	20.8	11.4	49.0	3.3	0.4
	夫婦のみふたり暮らし世帯	306	26.5	28.8	20.6	13.1	27.5	23.5	13.7	3.3	2.9
	その他の世帯	310	25.8	36.1	29.7	16.5	31.0	26.5	17.7	4.5	2.6
	無回答	28	21.4	21.4	7.1	7.1	35.7	14.3	21.4	3.6	0.0

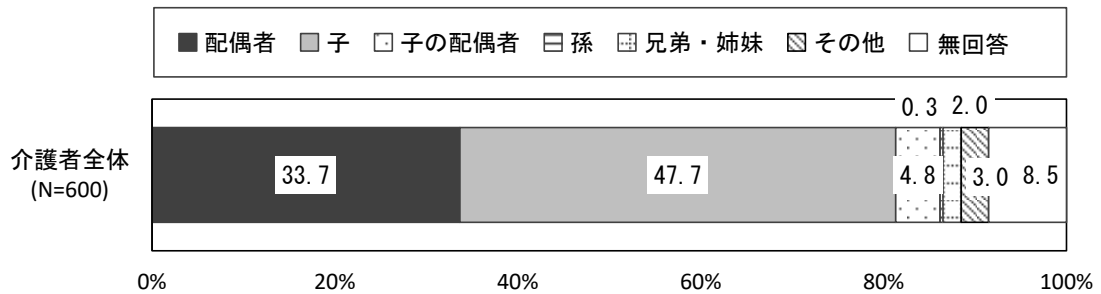
	調査数	介護予防、健康づくりへの支援	在宅での医療の提供や相談支援	在宅での歯科診療の提供や相談支援	ボランティアなどの社会参加への支援	働く場所や機会の確保・提供	高齢者に配慮したまちづくりのバリアフリー化（交通機関、道路、建物など）	安全対策（悪質商法の取り締まりなどの防犯や交通安全など）	地震、火災、風水害などに対する防災対策	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体	889	10.5	11.4	8.2	1.6	1.3	27.0	12.1	22.0	1.2	
要介護度別	要支援1	254	15.4	8.3	7.5	2.4	0.4	26.8	12.6	22.8	2.8
	要支援2	189	13.8	11.6	7.9	0.5	3.7	32.3	14.3	23.8	0.0
	要介護1	248	6.9	9.3	7.3	2.0	0.8	25.0	12.5	20.2	0.8
	要介護2	98	3.1	17.3	13.3	0.0	1.0	28.6	10.2	26.5	1.0
	要介護3	62	8.1	16.1	9.7	1.6	1.6	17.7	8.1	14.5	0.0
	要介護4	25	4.0	24.0	4.0	0.0	0.0	28.0	8.0	24.0	0.0
	要介護5	13	15.4	15.4	7.7	7.7	0.0	23.1	7.7	15.4	7.7
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	245	9.0	9.8	8.6	1.6	1.6	24.1	13.9	22.9	2.4
	夫婦のみふたり暮らし世帯	306	10.5	10.5	7.2	1.6	1.0	28.4	10.8	21.2	1.0
	その他の世帯	310	12.3	13.2	9.4	1.6	1.6	28.4	12.3	22.3	0.3
	無回答	28	3.6	14.3	3.6	0.0	0.0	21.4	10.7	21.4	3.6

8. 主な介護者の基本属性

(1) 主な介護者の続柄

- 調査対象本人からみた主な介護者の続柄は「子」が47.7%と最も高く、次いで「配偶者」(33.7%)、「子の配偶者」(4.8%)となっている。

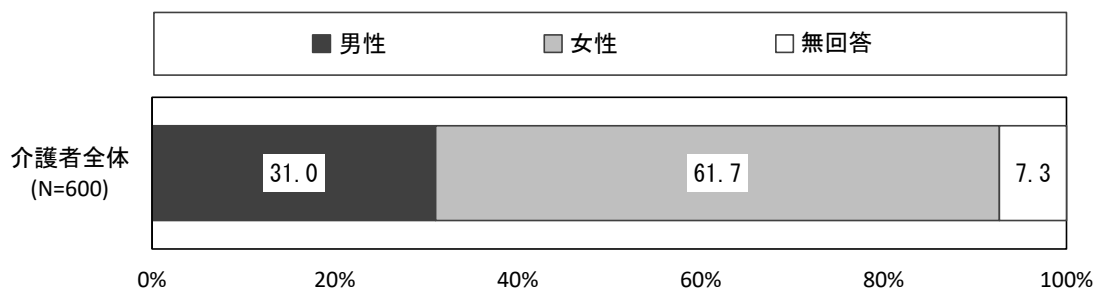
【主な介護者の続柄】



(2) 主な介護者の性別

- 主な介護者の性別は「女性」が61.7%と半数以上を占め、「男性」は31.0%となっている。

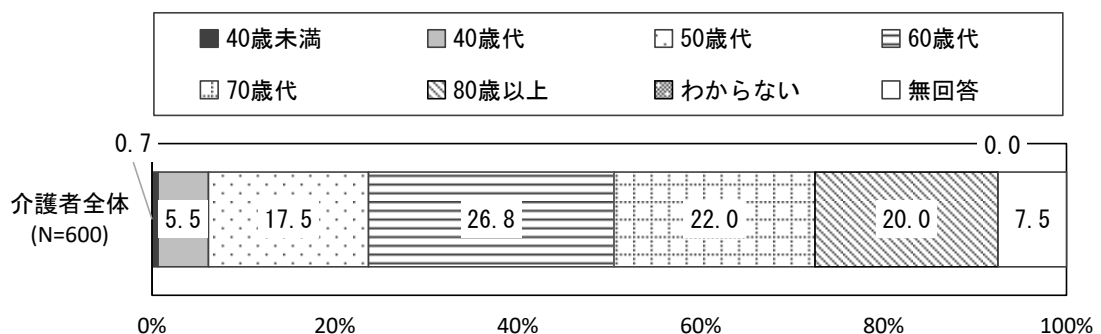
【主な介護者の性別】



(3) 主な介護者の年齢

- 主な介護者の年齢は「60歳代」が26.8%と最も高く、次いで「70歳代」(22.0%)、「80歳以上」(20.0%)となっており、70歳以上が42.0%を占める。
- 主な介護者の性別にみると、女性は男性に比べて「40歳代」(6.2%)、「50歳代」(20.5%)、「60歳代」(31.4%)の割合が高い。
- 要介護者の年齢別にみると、要介護者が70~74歳の場合「70歳代」が53.6%と高い。また、要介護者が80~84歳の場合「80歳以上」が37.8%と最も高い。

【主な介護者の年齢】



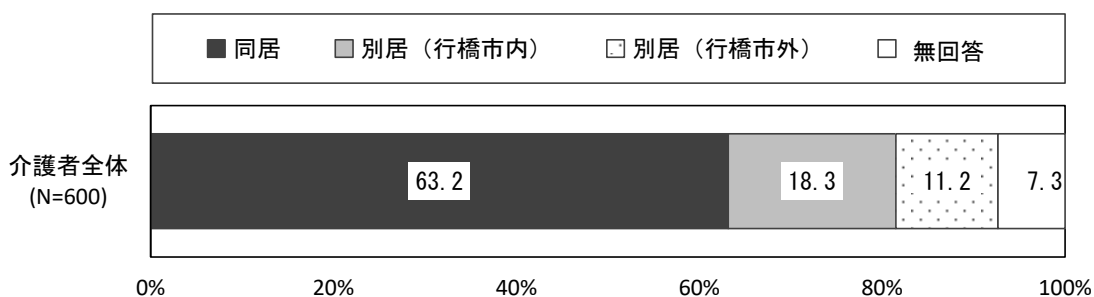
【主な介護者の年齢(主な介護者の性別・要介護者の年齢別・要介護度別)】

		調査数	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		600	0.7	5.5	17.5	26.8	22.0	20.0	0.0	7.5
性別	(主な介護者) 男性	186	1.1	5.4	15.6	23.7	23.7	30.6	0.0	0.0
	(主な介護者) 女性	370	0.5	6.2	20.5	31.4	23.5	16.2	0.0	1.6
	(主な介護者) 無回答	44	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	6.8	0.0	88.6
年齢別	(要介護者) 65～69歳	25	0.0	16.0	8.0	44.0	28.0	4.0	0.0	0.0
	(要介護者) 70～74歳	56	1.8	16.1	1.8	16.1	53.6	3.6	0.0	7.1
	(要介護者) 75～79歳	79	2.5	12.7	16.5	2.5	48.1	10.1	0.0	7.6
	(要介護者) 80～84歳	148	0.0	2.7	29.7	8.8	13.5	37.8	0.0	7.4
	(要介護者) 85歳以上	292	0.3	2.1	15.4	43.2	12.7	18.2	0.0	8.2
要介護度別	(要介護者) 要支援1	129	0.0	7.8	24.0	27.9	10.9	12.4	0.0	17.1
	(要介護者) 要支援2	120	0.8	6.7	15.8	26.7	17.5	23.3	0.0	9.2
	(要介護者) 要介護1	194	1.0	4.1	19.1	26.8	21.6	23.2	0.0	4.1
	(要介護者) 要介護2	79	0.0	2.5	10.1	24.1	35.4	25.3	0.0	2.5
	(要介護者) 要介護3	48	2.1	6.3	10.4	22.9	35.4	18.8	0.0	4.2
	(要介護者) 要介護4	21	0.0	4.8	14.3	42.9	28.6	9.5	0.0	0.0
	(要介護者) 要介護5	9	0.0	11.1	22.2	22.2	44.4	0.0	0.0	0.0

(4) 同居の状況

- 要介護者との同居の状況は「同居」が63.2%と最も高く、次いで「別居(行橋市内)」(18.3%)、「別居(行橋市外)」(11.2%)の順に続く。
- 主な介護者の属性別にみると、男性は女性に比べて「同居」(76.3%)の割合が高い。『別居』(「行橋市内」と「行橋市外」を合わせたもの)は、40歳代(51.5%)、50歳代(52.4%)が高い。
- 要介護者の属性別にみると、男性は女性に比べて「同居」(69.8%)の割合が高い。年齢が高くなるにつれて「同居」の割合が低く、『別居』の割合が高い。
- 要介護認定別にみると、「同居」の割合は、要介護3では85.4%、要介護2では79.7%と他の要介護度と比べると高い。

【同居の状況】



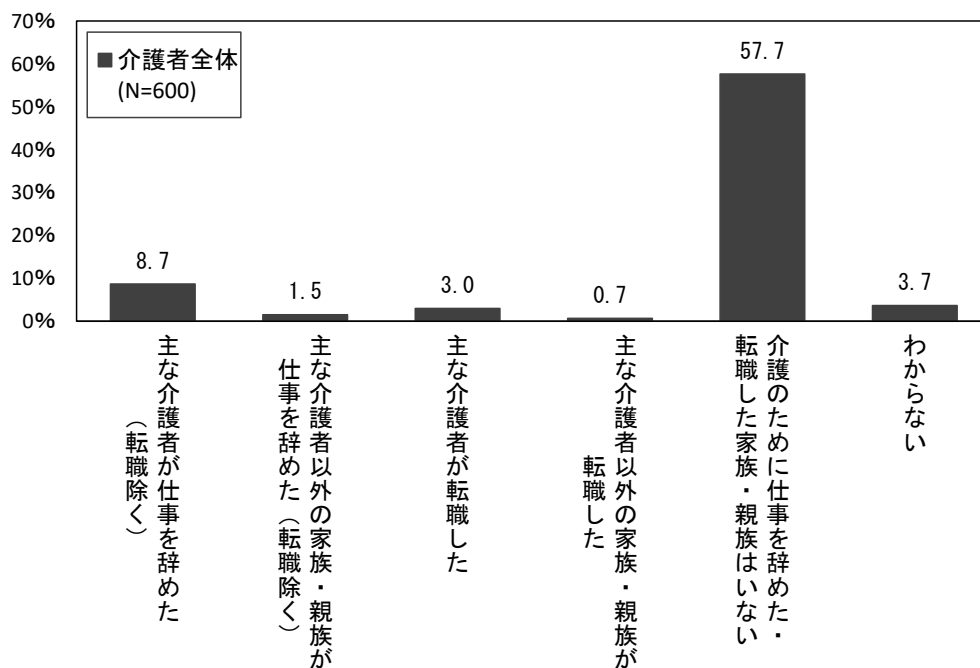
【同居の状況(性別・年齢別・要介護度別)】

		調査数	同居	別居 (行橋市内)	別居 (行橋市外)	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		600	63.2	18.3	11.2	7.3
性別	(主な介護者) 男性	186	76.3	15.1	7.0	1.6
	(主な介護者) 女性	370	63.0	21.6	14.3	1.1
	(主な介護者) 無回答	44	9.1	4.5	2.3	84.1
	(要介護者) 男性	212	69.8	17.0	7.5	5.7
	(要介護者) 女性	388	59.5	19.1	13.1	8.2
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	4	50.0	25.0	25.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	33	48.5	27.3	24.2	0.0
	(主な介護者) 50歳代	105	43.8	31.4	21.0	3.8
	(主な介護者) 60歳代	161	53.4	31.1	14.9	0.6
	(主な介護者) 70歳代	132	91.7	4.5	2.3	1.5
	(主な介護者) 80歳代	120	88.3	5.8	5.8	0.0
	(主な介護者) 不明	45	4.4	8.9	4.4	82.2
	(要介護者) 65～69歳	25	84.0	12.0	4.0	0.0
	(要介護者) 70～74歳	56	80.4	10.7	1.8	7.1
	(要介護者) 75～79歳	79	72.2	11.4	11.4	5.1
	(要介護者) 80～84歳	148	60.8	18.9	12.2	8.1
(要介護者) 85歳以上	292	56.8	21.9	13.0	8.2	
要介護度別	(要介護者) 要支援1	129	41.9	26.4	16.3	15.5
	(要介護者) 要支援2	120	57.5	20.8	10.8	10.8
	(要介護者) 要介護1	194	67.5	16.5	12.4	3.6
	(要介護者) 要介護2	79	79.7	11.4	6.3	2.5
	(要介護者) 要介護3	48	85.4	10.4	0.0	4.2
	(要介護者) 要介護4	21	66.7	19.0	14.3	0.0
	(要介護者) 要介護5	9	77.8	11.1	11.1	0.0

(5) 仕事の離職・転職の状況

- 家族・親族等の中で、要介護者の介護を理由とした離職・転職の状況は「介護のために仕事を辞めた・転職した家族・親族はいない」が57.7%を占めており、最も高い。「主な介護者が仕事を辞めた」(8.7%)と「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」(1.5%)を合わせた10.2%が離職している。
- 主な介護者の性別にみると、女性は男性に比べて「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(10.8%)が高い。
- 主な介護者が50歳代、60歳代は「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が10%を超えて高い。

【仕事の離職・転職の状況】



【仕事の離職・転職の状況(主な介護者の性別・年齢別)】

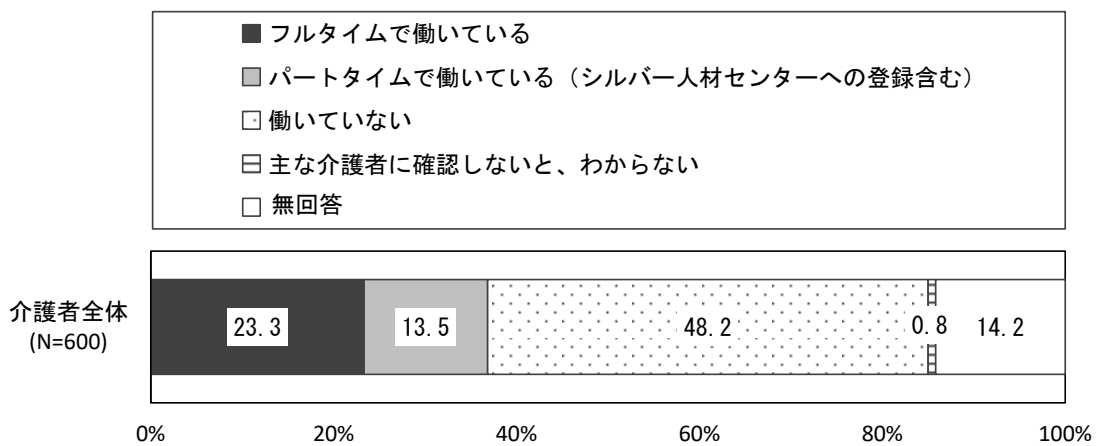
	調査数	辞めた・転職した					わからない	
		主な介護者が仕事を辞めた (転職除く) (%)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く) (%)	主な介護者が転職した (%)	主な介護者以外の家族・親族が転職した (%)	介護のために仕事を辞めた・転職した家族・親族はいない (%)		
介護者全体	600	8.7	1.5	3.0	0.7	57.7	3.7	
性別	(主な介護者) 男性	186	5.9	3.2	2.2	1.1	63.4	3.2
	(主な介護者) 女性	370	10.8	0.5	3.8	0.5	60.5	4.1
	(主な介護者) 無回答	44	2.3	2.3	0.0	0.0	9.1	2.3
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	33	9.1	0.0	12.1	0.0	66.7	6.1
	(主な介護者) 50歳代	105	10.5	1.0	3.8	1.0	66.7	1.9
	(主な介護者) 60歳代	161	11.8	1.9	5.0	0.6	59.6	5.0
	(主な介護者) 70歳代	132	9.1	1.5	1.5	1.5	59.1	2.3
	(主な介護者) 80歳代	120	5.0	2.5	0.0	0.0	60.0	3.3
(主な介護者) 不明	45	2.2	0.0	0.0	0.0	8.9	6.7	

9. 主な介護者の勤務形態について

(1) 主な介護者の勤務形態

- 主な介護者の勤務形態は「働いていない」が48.2%と最も高い。「フルタイムで働いている」(23.3%)と「パートタイムで働いている(シルバー人材センターへの登録含む)」(13.5%)を合わせると36.8%が働きながら介護を行っている。
- 主な介護者の性別にみると、男性は女性に比べて「フルタイムで働いている」(28.5%)、「働いていない」(53.2%)、女性は男性に比べて「パートタイムで働いている」(18.1%)がそれぞれ高い。
- 主な介護者の年齢別にみると、「フルタイムで働いている」は40歳未満(75.0%)、40歳代(51.5%)、50歳代(46.7%)が高い。70歳以上になると「働いていない」が70%を超えて高い。

【主な介護者の勤務形態】



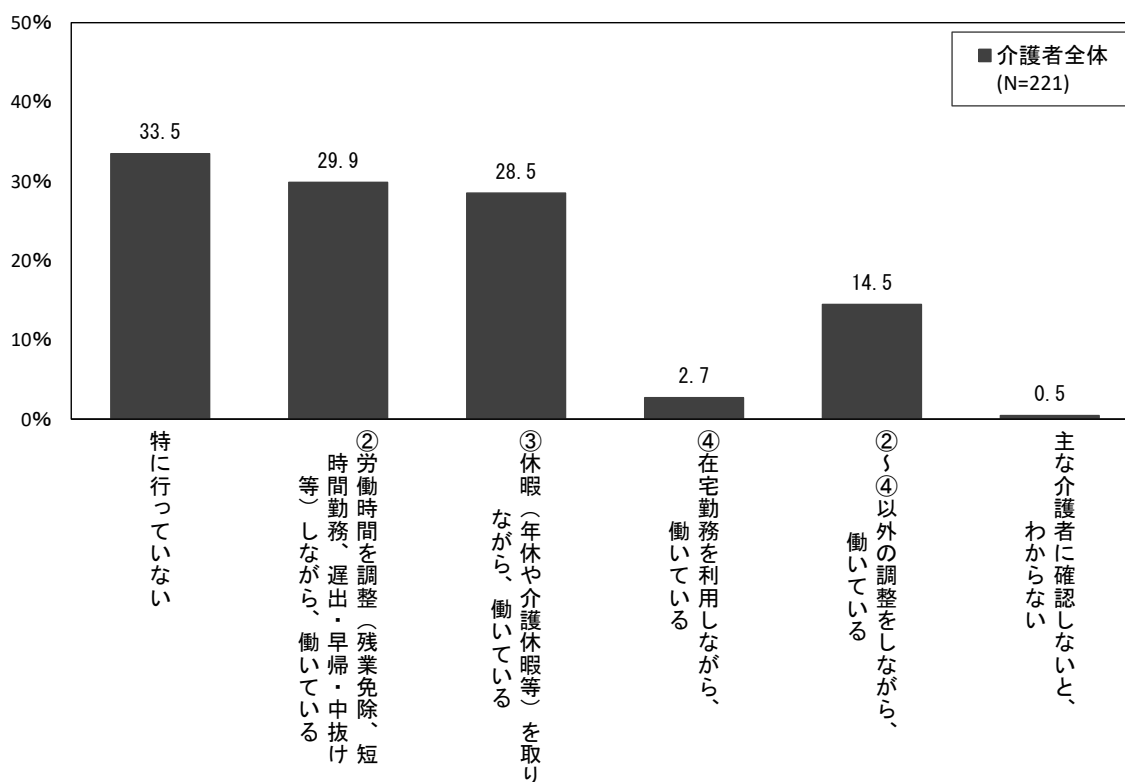
【主な介護者の勤務形態(主な介護者の性別・年齢別)】

	調査数 (人)	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている (シルバー人材センターへの登録含む)	働いていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
介護者全体	600	23.3	13.5	48.2	0.8	14.2	
性別	(主な介護者) 男性	186	28.5	7.0	53.2	1.6	9.7
	(主な介護者) 女性	370	23.0	18.1	50.8	0.5	7.6
	(主な介護者) 無回答	44	4.5	2.3	4.5	0.0	88.6
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	33	51.5	9.1	33.3	6.1	0.0
	(主な介護者) 50歳代	105	46.7	21.0	22.9	1.0	8.6
	(主な介護者) 60歳代	161	27.3	23.6	40.4	0.0	8.7
	(主な介護者) 70歳代	132	6.8	7.6	78.8	0.0	6.8
	(主な介護者) 80歳代	120	12.5	4.2	70.0	0.8	12.5
	(主な介護者) 不明	45	6.7	4.4	2.2	2.2	84.4

(2) 働き方の調整等の有無

- 働いている主な介護者のうち、働き方の調整等は「特に行っていない」が33.5%と最も高く、何らかの調整等を行っている人は「②労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」（29.9%）、「③休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている」（28.5%）が高い。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務はパートタイム勤務に比べて「特に行っていない」（36.4%）、「③休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている」（33.6%）の割合が高い。

【働き方の調整等の有無】



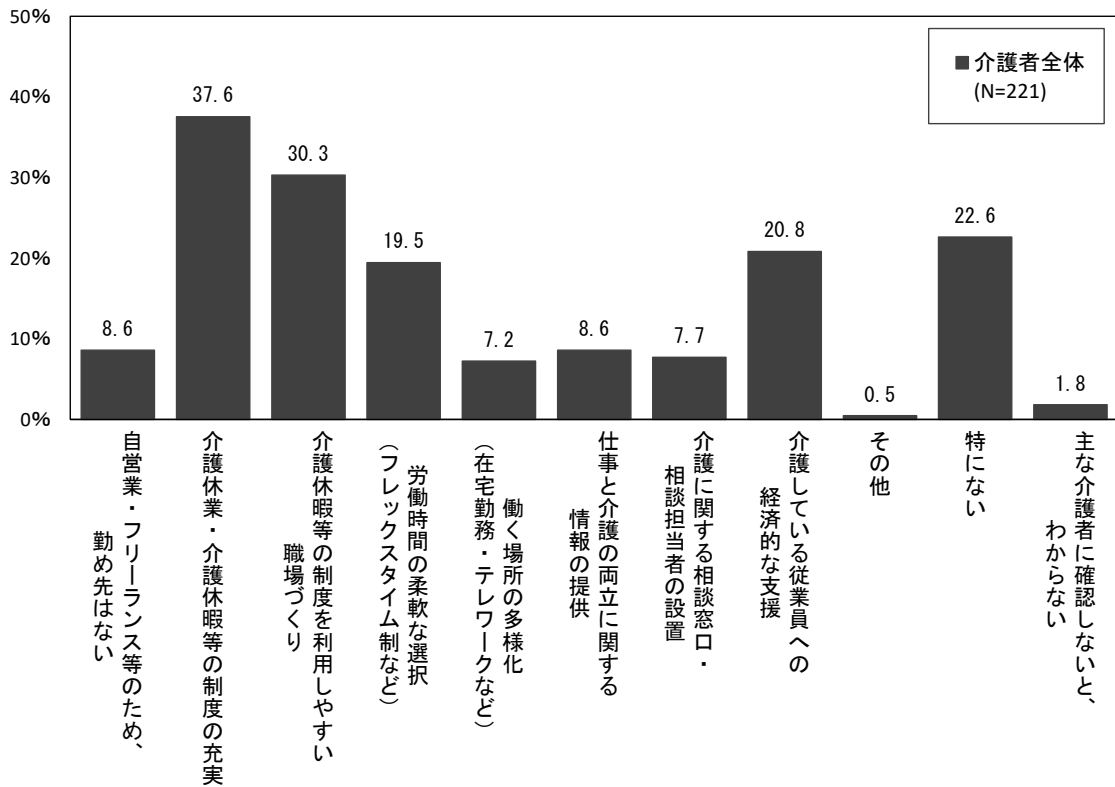
【働き方の調整等の有無（主な介護者の勤務形態別）】

勤務形態	調査数	働き方の調整等の有無 (%)					
		特に行っていない	②労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている	③休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている	④在宅勤務を利用しながら、働いている	②④以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない
介護者全体	221	33.5	29.9	28.5	2.7	14.5	0.5
(主な介護者)フルタイム勤務	140	36.4	24.3	33.6	4.3	15.0	0.0
(主な介護者)パートタイム勤務	81	28.4	39.5	19.8	0.0	13.6	1.2

(3) 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援

- 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が37.6%と最も高く、次いで「介護休暇等の制度を利用しやすい職場づくり」(30.3%)、「特にない」(22.6%)、「介護している従業員への経済的な支援」(20.8%)の順に高い。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務はパートタイム勤務に比べて「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」(24.3%)の割合が13.2ポイント高い一方、パートタイム勤務はフルタイム勤務より「仕事と介護の両立に関する情報の提供」(11.1%)と「特にない」(28.4%)が高い。

【仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援】



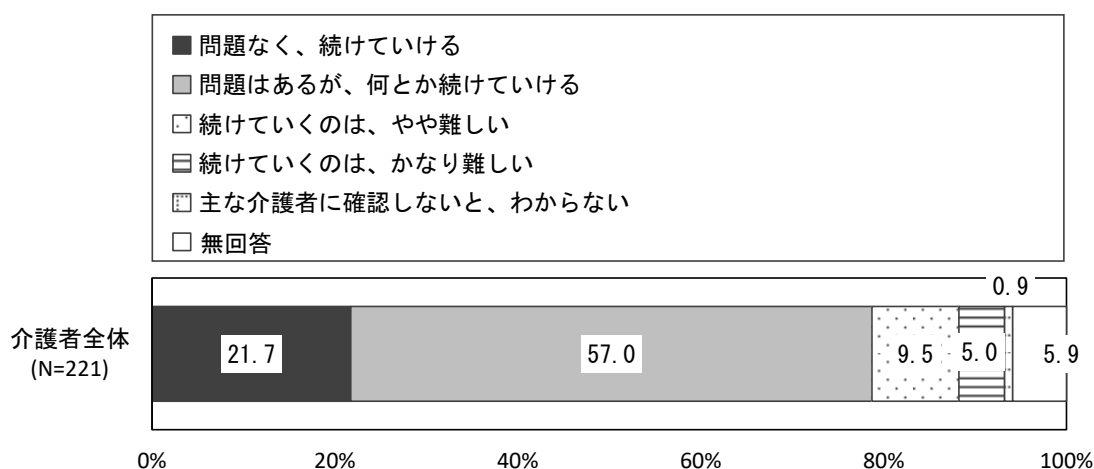
【仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援(主な介護者の勤務形態別)】

勤務形態	調査数	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	介護休暇等の制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護している従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体	221	8.6	37.6	30.3	19.5	7.2	8.6	7.7	20.8	0.5	22.6	1.8
(主な介護者)フルタイム勤務	140	8.6	40.0	31.4	24.3	9.3	7.1	7.9	21.4	0.0	19.3	1.4
(主な介護者)パートタイム勤務	81	8.6	33.3	28.4	11.1	3.7	11.1	7.4	19.8	1.2	28.4	2.5

(4) 介護と就労の両立の見込み

- 今後も働きながら介護を続けていくことの見込みについて「問題があるが、何とか続けていける」が 57.0%と最も高く、「問題なく、続けていける」(21.7%)を合わせた『就労継続可能』の割合は 78.7%となっている。一方、「続けていくのは、やや難しい」(9.5%)と「続けていくのは、かなり難しい」(5.0%)を合わせた『就労継続困難』は 14.5%となっている。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、『就労継続可能』は、フルタイム勤務が 77.8%、パートタイム勤務は 80.3%とパートタイム勤務の方が高い。
- 要介護者の要介護度別にみると、『就労継続困難』の割合は要介護2が 25.9%と他の要介護度別に比べて高く、要介護4以上になるとその割合は低くなる。

【介護と就労の両立の見込み】



【介護と就労の両立の見込み(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・要介護者の要介護度別)】

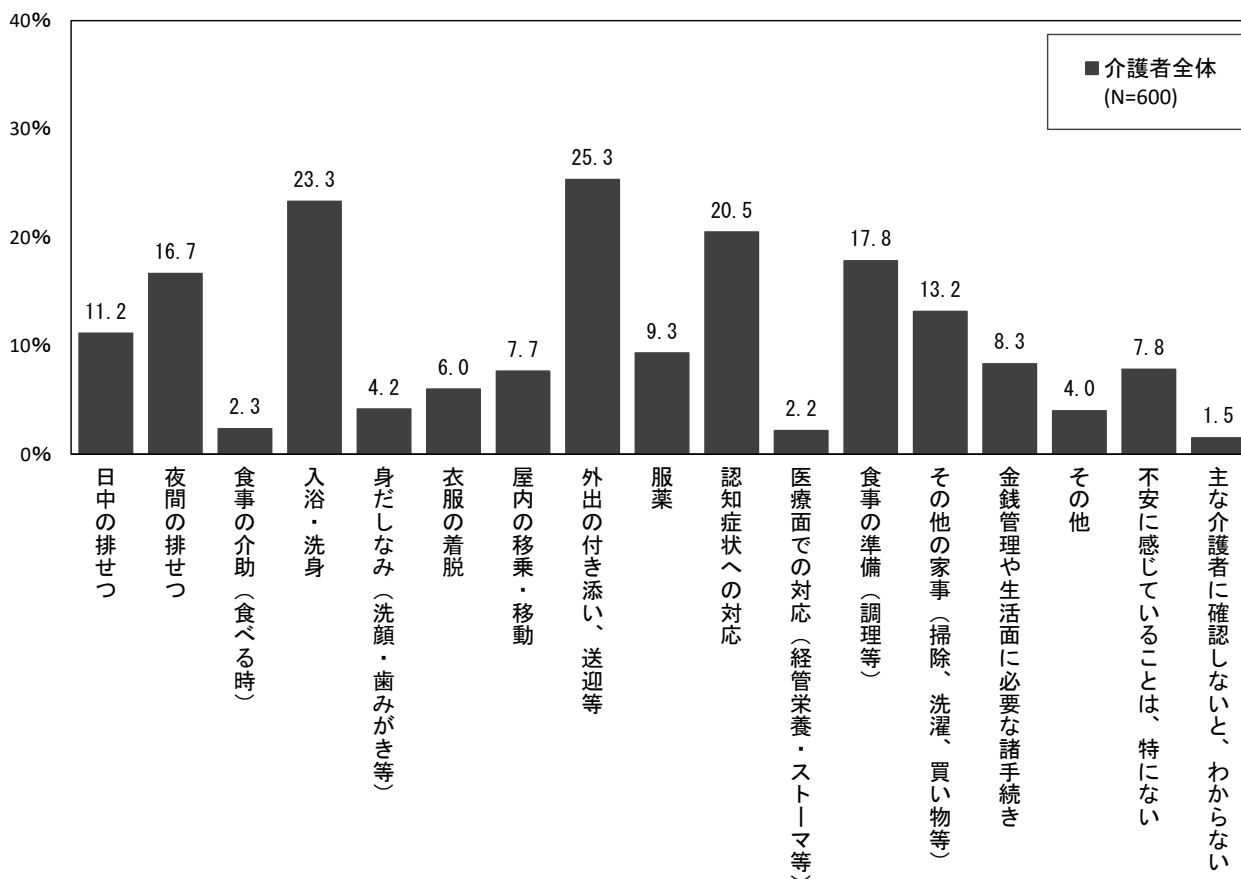
		調査数 (人)	問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか続けていける	続けていくのは、 やや難しい	続けていくのは、 かなり難しい	主な介護者に確認しないと、 わからない	無回答
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		221	21.7	57.0	9.5	5.0	0.9	5.9
性別	(主な介護者) 男性	66	24.2	53.0	9.1	6.1	1.5	6.1
	(主な介護者) 女性	152	20.4	58.6	9.9	4.6	0.7	5.9
	(主な介護者) 無回答	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	4	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	20	10.0	70.0	5.0	0.0	0.0	15.0
	(主な介護者) 50歳代	71	18.3	56.3	9.9	4.2	2.8	8.5
	(主な介護者) 60歳代	82	25.6	54.9	11.0	6.1	0.0	2.4
	(主な介護者) 70歳代	19	26.3	42.1	15.8	5.3	0.0	10.5
	(主な介護者) 80歳代	20	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(主な介護者) 不明	5	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0
勤務形態	(主な介護者) フルタイム勤務	140	20.7	57.1	9.3	6.4	1.4	5.0
	(主な介護者) パートタイム勤務	81	23.5	56.8	9.9	2.5	0.0	7.4
要介護度別	(要介護者) 要支援1	57	21.1	54.4	3.5	3.5	3.5	14.0
	(要介護者) 要支援2	41	24.4	58.5	9.8	2.4	0.0	4.9
	(要介護者) 要介護1	71	18.3	63.4	12.7	4.2	0.0	1.4
	(要介護者) 要介護2	27	18.5	48.1	14.8	11.1	0.0	7.4
	(要介護者) 要介護3	14	28.6	50.0	7.1	14.3	0.0	0.0
	(要介護者) 要介護4	8	37.5	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	(要介護者) 要介護5	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0

10. 介護について

(1) 介護者が不安に感じる介護等

- 主な介護者が不安に感じる介護等は「外出の付き添い、送迎等」が25.3%と最も高く、次いで「入浴・洗身」(23.3%)、「認知症状への対応」(20.5%)、「食事の準備(調理等)」(17.8%)、「夜間の排せつ」(16.7%)が上位5項目にあがっている。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、パートタイム勤務はフルタイム勤務に比べて「外出の付き添い、送迎等」(29.6%)が特に高い。また、フルタイム勤務はパートタイム勤務に比べて「認知症状への対応」(24.3%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(10.7%)が特に高い。無職の介護者は、就労者に比べて「日中の排せつ」(14.2%)や「夜間の排せつ」(21.5%)、「入浴、洗身」(27.0%)や「衣服の着脱」(7.3%)の割合が高い。
- 主な介護者の就労継続見込別にみると、『就労継続困難』は「日中の排せつ」(21.9%)、「夜間の排せつ」(31.3%)、「認知症状への対応」(28.1%)、「食事の準備(調理等)」(25.0%)が高い。これらの介護等の不安が、今後の就労継続見込に影響していると推察される。
- 要介護者の要介護度別にみると、「認知症状への対応」は要介護1(32.0%)と要介護3(31.3%)が30%を超えている。

【不安に感じる介護等】



【不安に感じる介護等(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・就労見込別・要介護者の要介護度別)】

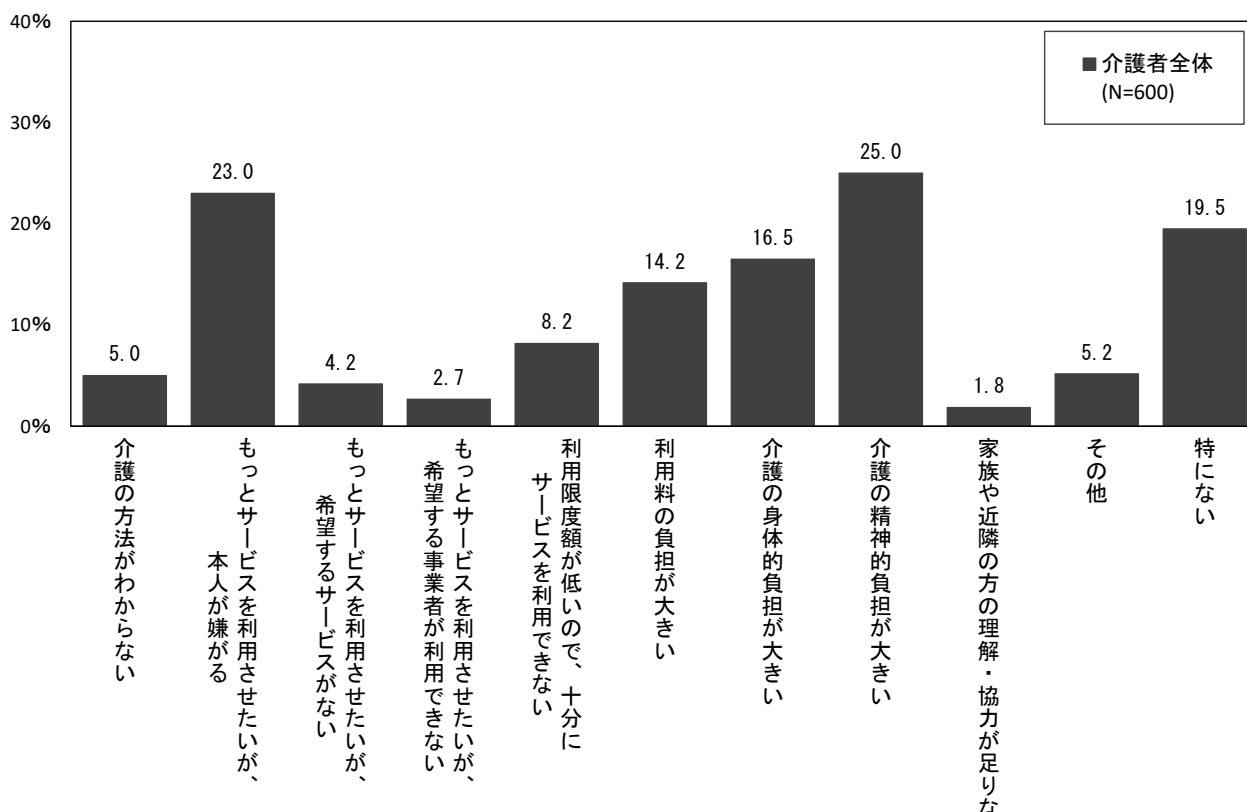
	調査数	日中の排せつ	夜間の排せつ	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	顔・歯みがき(洗身)	身だしなみ	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体	600	11.2	16.7	2.3	23.3	4.2	6.0	7.7	25.3	9.3	
性別	(主な介護者) 男性	224	9.4	16.1	0.9	17.0	3.6	5.8	4.0	21.0	6.7
	(主な介護者) 女性	407	11.1	15.7	2.9	24.6	4.2	5.4	9.1	25.3	9.6
	(主な介護者) 無回答	79	1.3	0.0	0.0	2.5	0.0	1.3	0.0	2.5	2.5
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	33	12.1	21.2	0.0	30.3	9.1	3.0	12.1	27.3	18.2
	(主な介護者) 50歳代	105	10.5	16.2	1.9	24.8	6.7	1.0	8.6	23.8	8.6
	(主な介護者) 60歳代	161	10.6	18.6	1.2	26.1	3.1	4.3	9.3	21.7	9.3
	(主な介護者) 70歳代	132	14.4	20.5	4.5	27.3	2.3	8.3	8.3	29.5	6.8
	(主な介護者) 80歳代	120	12.5	14.2	2.5	20.0	5.0	13.3	4.2	33.3	11.7
	(主な介護者) 不明	45	0.0	2.2	2.2	4.4	2.2	0.0	0.0	8.9	6.7
	形態	(主な介護者) フルタイム勤務	140	12.1	16.4	0.7	22.1	5.7	3.6	10.7	23.6
(主な介護者) パートタイム勤務		81	11.1	13.6	2.5	25.9	9.9	6.2	9.9	29.6	9.9
(主な介護者) 無職		289	14.2	21.5	3.8	27.0	3.1	7.3	7.3	27.0	10.0
見就込	(主な介護者) 就労継続可能	174	10.9	13.8	1.7	25.3	7.5	4.0	10.9	27.6	10.9
	(主な介護者) 就労継続困難	32	21.9	31.3	0.0	21.9	6.3	3.1	9.4	18.8	9.4
要介護度別	(要介護者) 要支援1	129	3.9	9.3	0.0	14.7	2.3	3.1	7.8	32.6	7.0
	(要介護者) 要支援2	120	5.0	10.0	0.8	24.2	3.3	7.5	6.7	25.0	10.8
	(要介護者) 要介護1	194	15.5	17.5	3.1	24.7	5.7	6.2	6.7	24.2	12.9
	(要介護者) 要介護2	79	12.7	21.5	3.8	29.1	5.1	7.6	8.9	16.5	6.3
	(要介護者) 要介護3	48	25.0	35.4	6.3	18.8	4.2	10.4	8.3	27.1	6.3
	(要介護者) 要介護4	21	19.0	33.3	0.0	42.9	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0
	(要介護者) 要介護5	9	0.0	11.1	11.1	33.3	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1

	調査数	応認知	ト(一	医	理食	買(そ	続面	金銭	その他	ない	不安	か認	主
		知症	経管	療	事	買(そ	続面	金銭	その他	ない	不安	か認	主
	(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体	600	20.5	2.2	17.8	13.2	8.3	4.0	7.8	1.5				
性別	(主な介護者) 男性	224	16.1	1.3	15.6	11.2	7.1	3.1	5.8	2.2			
	(主な介護者) 女性	407	21.1	2.5	17.0	12.8	8.1	4.2	8.1	0.7			
	(主な介護者) 無回答	79	1.3	0.0	3.8	2.5	1.3	0.0	1.3	1.3			
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0			
	(主な介護者) 40歳代	33	15.2	6.1	18.2	21.2	6.1	0.0	3.0	3.0			
	(主な介護者) 50歳代	105	31.4	2.9	14.3	15.2	11.4	4.8	4.8	1.0			
	(主な介護者) 60歳代	161	18.6	3.1	19.9	17.4	7.5	3.7	11.2	1.9			
	(主な介護者) 70歳代	132	17.4	1.5	17.4	6.1	5.3	3.8	10.6	0.0			
	(主な介護者) 80歳代	120	24.2	0.8	20.8	15.0	12.5	6.7	5.8	2.5			
	(主な介護者) 不明	45	2.2	0.0	11.1	4.4	4.4	0.0	2.2	2.2			
	形態	(主な介護者) フルタイム勤務	140	24.3	2.1	20.7	16.4	10.7	2.9	8.6	0.7		
(主な介護者) パートタイム勤務		81	21.0	2.5	19.8	17.3	6.2	3.7	9.9	2.5			
(主な介護者) 無職		289	23.2	2.4	17.3	11.4	9.7	5.9	7.6	1.4			
見就込	(主な介護者) 就労継続可能	174	24.1	2.3	19.0	17.8	10.9	2.3	10.9	1.1			
	(主な介護者) 就労継続困難	32	28.1	3.1	25.0	15.6	3.1	6.3	0.0	3.1			
要介護度別	(要介護者) 要支援1	129	13.2	2.3	22.5	20.2	11.6	3.1	5.4	2.3			
	(要介護者) 要支援2	120	10.8	1.7	13.3	12.5	5.0	2.5	10.8	1.7			
	(要介護者) 要介護1	194	32.0	1.5	19.1	13.9	7.2	3.1	4.6	1.0			
	(要介護者) 要介護2	79	13.9	3.8	17.7	5.1	10.1	6.3	12.7	2.5			
	(要介護者) 要介護3	48	31.3	0.0	18.8	12.5	10.4	4.2	8.3	0.0			
	(要介護者) 要介護4	21	14.3	4.8	4.8	4.8	0.0	9.5	14.3	0.0			
	(要介護者) 要介護5	9	22.2	11.1	11.1	0.0	22.2	22.2	11.1	0.0			

(2) 介護を行う上で、困っていること

- 介護を行う上で、困っていることは「介護の精神的負担が大きい」が25.0%と最も高く、次いで「もっとサービスを利用させたいが、本人が嫌がる」(23.0%)、「特にない」(19.5%)、「介護の身体的負担が大きい」(16.5%)、「利用料の負担が大きい」(14.2%)が上位5項目にあがっている。
- 主な介護者の性別にみると、女性は男性に比べて「介護の精神的負担が大きい」(28.4%)が5.3ポイント高い。
- 主な介護者の年齢別にみると、40歳代では「利用限度額が低いので、十分サービスを利用できない」が27.3%と他の年代に比べて高い。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、大きな差はみられないが、フルタイム勤務やパートタイム勤務は、無職に比べて「利用限度額が低いので、十分にサービスを利用できない」や「利用料の負担が大きい」の割合が高い。一方、無職はフルタイム勤務やパートタイム勤務に比べて「介護の身体的負担が大きい」(24.2%)が顕著に高い。
- 主な介護者の就労継続見込別にみると、『就労継続困難』はほとんどの項目が『就労継続可能』の割合より高く、特に「もっとサービスを利用させたいが、本人が嫌がる」(43.8%)、「もっとサービスを利用させたいが、希望するサービスがない」(12.5%)、「利用料の負担が大きい」(34.4%)、「介護の身体的負担が大きい」(21.9%)、「介護の精神的負担が大きい」(46.9%)に差がみられる。
- 要介護者の要介護度別にみると、「介護の精神的負担が大きい」は要介護1以上では20%を超えており、要介護4では47.6%と高い。

【介護を行う上で、困っていること】



【介護を行う上で、困っていること】

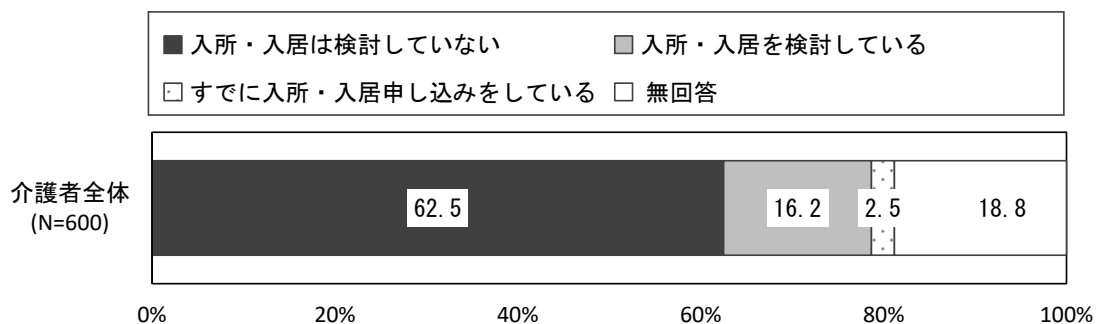
(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・就労見込別・要介護者の要介護度別)

	調査数	介護の方法がわからない	もっと本人が嫌がる	もっとサービスを利用させたい	もっとサービスを利用させたい	もっとサービスを利用させたい	もっとサービスを利用させたい	利用限度額が低いので、十分にサービスを利用できない	利用料の負担が大きい	介護の身体的負担が大きい	介護の精神的負担が大きい	家族や近隣の方の理解・協力が足りない	その他	特にな
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体	600	5.0	23.0	4.2	2.7	8.2	14.2	16.5	25.0	1.8	5.2	19.5		
性別	(主な介護者) 男性	186	6.5	23.7	1.6	2.2	8.6	12.4	18.8	23.1	1.6	3.8	24.7	
	(主な介護者) 女性	370	4.9	25.4	5.9	3.2	8.9	15.7	16.5	28.4	2.2	6.5	18.6	
	(主な介護者) 無回答	44	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	6.8	4.5	0.0	0.0	4.5	
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	
	(主な介護者) 40歳代	33	6.1	18.2	6.1	0.0	27.3	12.1	18.2	27.3	6.1	3.0	21.2	
	(主な介護者) 50歳代	105	7.6	22.9	9.5	1.9	8.6	18.1	14.3	28.6	5.7	4.8	16.2	
	(主な介護者) 60歳代	161	3.1	25.5	3.1	5.0	6.2	10.6	13.7	23.6	1.2	6.2	27.3	
	(主な介護者) 70歳代	132	3.8	23.5	4.5	3.8	8.3	16.7	22.7	30.3	0.8	3.0	21.2	
	(主な介護者) 80歳代	120	8.3	28.3	1.7	0.8	6.7	16.7	21.7	25.8	0.0	7.5	14.2	
	(主な介護者) 不明	45	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	6.7	0.0	2.2	0.0	2.2	4.4	
勤務形態	(主な介護者) フルタイム勤務	140	5.7	30.0	5.7	2.1	11.4	16.4	10.7	20.0	2.1	2.9	24.3	
	(主な介護者) パートタイム勤務	81	2.5	23.5	4.9	4.9	9.9	21.0	9.9	30.9	4.9	2.5	18.5	
	(主な介護者) 無職	289	5.5	24.2	4.2	2.4	7.3	14.5	24.2	30.1	1.0	8.3	19.0	
就労見込	(主な介護者) 就労継続可能	174	4.0	25.9	4.6	2.3	10.9	16.1	6.3	19.5	2.3	2.9	26.4	
	(主な介護者) 就労継続困難	32	6.3	43.8	12.5	9.4	15.6	34.4	21.9	46.9	3.1	3.1	3.1	
要介護度別	(要介護者) 要支援1	129	7.0	16.3	2.3	3.1	11.6	8.5	10.1	16.3	2.3	3.1	15.5	
	(要介護者) 要支援2	120	1.7	23.3	6.7	1.7	10.0	13.3	8.3	15.0	0.0	5.8	25.0	
	(要介護者) 要介護1	194	3.6	27.8	4.6	2.1	6.7	14.4	16.0	29.9	2.6	5.7	20.6	
	(要介護者) 要介護2	79	11.4	26.6	2.5	2.5	8.9	16.5	25.3	25.3	1.3	6.3	16.5	
	(要介護者) 要介護3	48	4.2	16.7	4.2	4.2	2.1	22.9	35.4	39.6	4.2	6.3	20.8	
	(要介護者) 要介護4	21	4.8	19.0	4.8	9.5	4.8	23.8	19.0	47.6	0.0	4.8	14.3	
(要介護者) 要介護5	9	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	44.4	44.4	0.0	0.0	11.1		

(3) 施設等への入所・入居の検討状況

- 施設等への入所・入居の検討状況は「入所・入居は検討していない」が62.5%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(16.2%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(2.5%)となっている。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、パートタイム勤務はフルタイム勤務や無職に比べて「入所・入居を検討している」(28.4%)や「すでに入所・入居申し込みをしている」(3.7%)の割合が高い。
- 主な介護者の就労継続見込別にみると、『就労継続困難』は『就労継続可能』に比べて「入所・入居は検討していない」(46.9%)が低く、「入所・入居を検討している」(40.6%)が高い。
- 要介護者の要介護度別にみると、「入所・入居を検討している」は要介護3では20.8%と高い。また、要介護5は「すでに入所・入居申し込みをしている」が22.2%と高い。

【施設等への入所・入居の検討状況】



【施設等への入所・入居の検討状況】

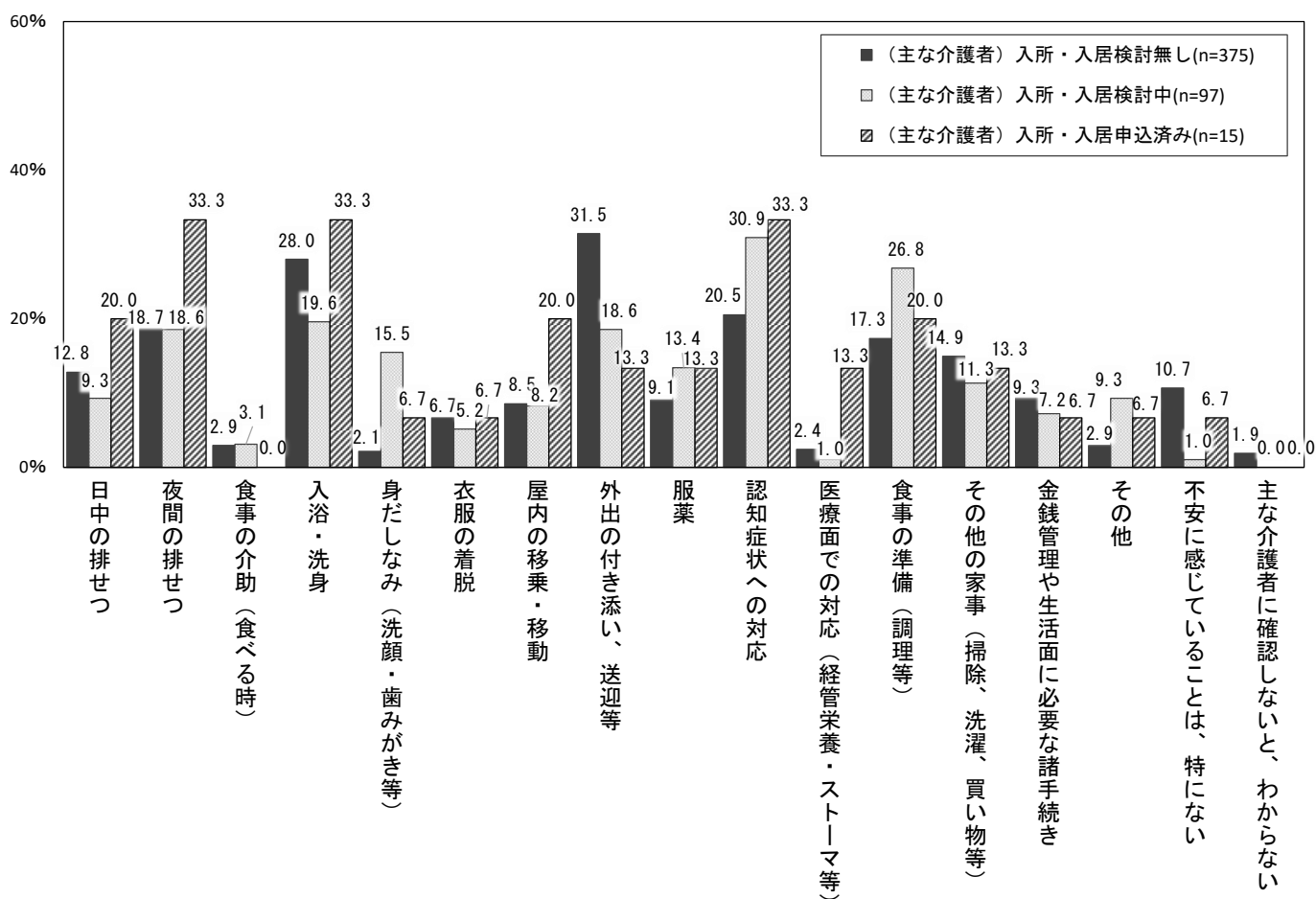
(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・就労見込別・要介護者の要介護度別)

		調査数	て入所・入居は検討し	て入所・入居を検討し	しすでに入所・入居申	無回答
			(人)	(%)	(%)	
介護者全体		600	62.5	16.2	2.5	18.8
性別	(主な介護者) 男性	186	67.2	17.7	2.7	12.4
	(主な介護者) 女性	370	66.2	16.8	2.7	14.3
	(主な介護者) 無回答	44	11.4	4.5	0.0	84.1
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	4	75.0	0.0	25.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	33	72.7	18.2	0.0	9.1
	(主な介護者) 50歳代	105	63.8	19.0	1.9	15.2
	(主な介護者) 60歳代	161	65.2	20.5	4.3	9.9
	(主な介護者) 70歳代	132	69.7	14.4	3.8	12.1
	(主な介護者) 80歳代	120	65.0	15.0	0.0	20.0
	(主な介護者) 不明	45	13.3	2.2	0.0	84.4
勤務形態	(主な介護者) フルタイム勤務	140	67.9	20.7	2.9	8.6
	(主な介護者) パートタイム勤務	81	55.6	28.4	3.7	12.3
	(主な介護者) 無職	289	71.3	13.8	2.8	12.1
就労見込	(主な介護者) 就労継続可能	174	66.1	21.3	4.0	8.6
	(主な介護者) 就労継続困難	32	46.9	40.6	0.0	12.5
要介護度別	(要介護者) 要支援1	129	51.9	14.7	0.8	32.6
	(要介護者) 要支援2	120	70.8	13.3	0.0	15.8
	(要介護者) 要介護1	194	62.9	18.6	3.1	15.5
	(要介護者) 要介護2	79	63.3	16.5	5.1	15.2
	(要介護者) 要介護3	48	64.6	20.8	2.1	12.5
	(要介護者) 要介護4	21	71.4	9.5	4.8	14.3
	(要介護者) 要介護5	9	55.6	11.1	22.2	11.1

第4章 在宅要介護認定者用調査

- 施設等への入所・入居の検討状況別に不安を感じる介護等の内容をみると、入所・入居検討中の人は、入所・入居検討無しの人や入所・入居申込済みの人より、「食事の介助（食べる時）」(3.1%)、「身だしなみ（洗顔・歯みがき等）」(15.5%)、「食事の準備（調理等）」(26.8%)の割合が高い。
- 入所・入居申込済みの人は、入所・入居検討無しの人や入所・入居検討中の人より「日中の排泄」(20.0%)、「夜間の排せつ」(33.3%)、「入浴・洗身」(33.3%)、「認知症状への対応」(33.3%)の割合が高い。
- 入所・入居検討無しの方は「外出の付き添い、送迎等」(31.5%)や「入浴・洗身」(28.0%)への不安が高い。

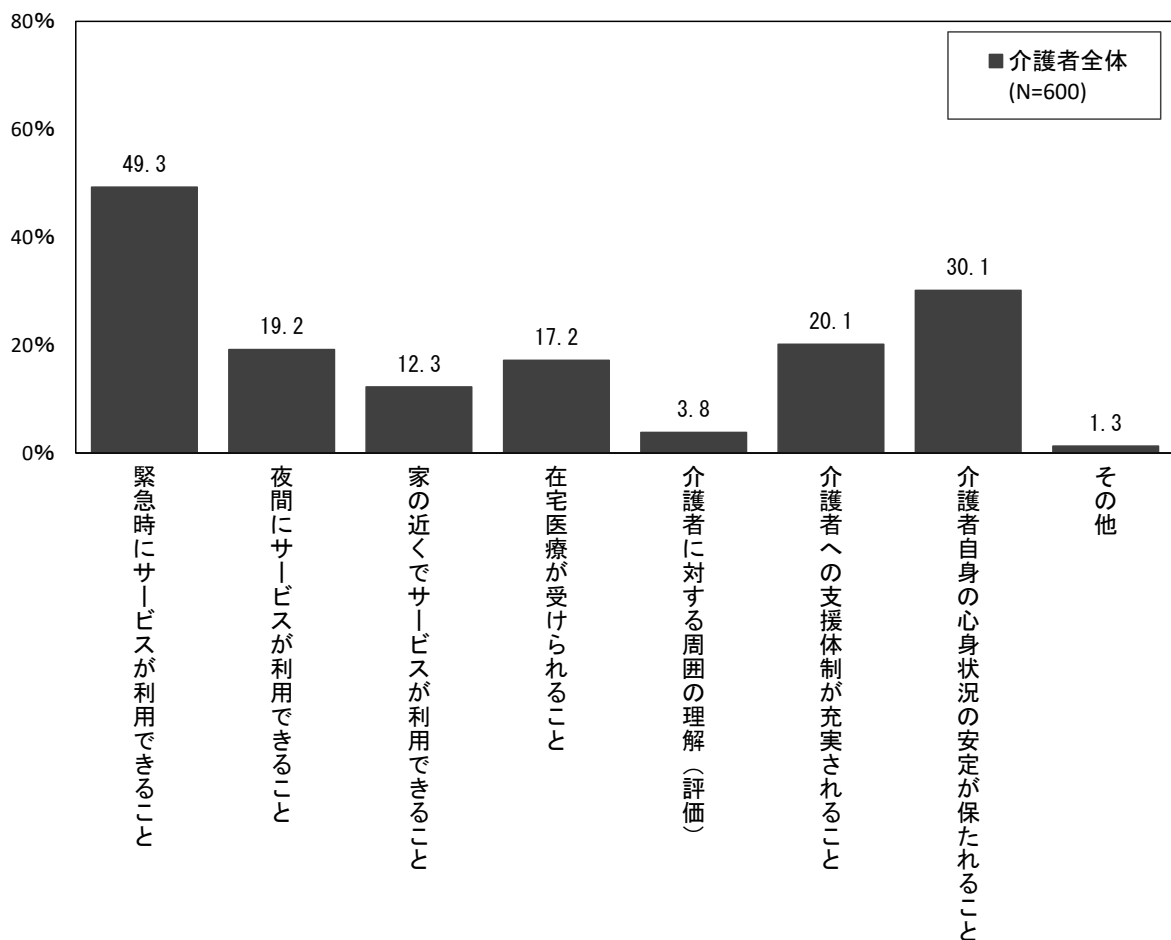
【不安を感じる介護等(主な介護者の施設等への入所・入居検討状況別)】



(4) 在宅介護を続けるために重要なこと

- 在宅介護を続けていくために重要なことは「緊急時にサービスが利用できること」が49.3%と最も高く、次いで、「介護者自身の心身状況の安定が保たれること」(30.1%)、「介護者への支援体制が充実されること」(20.1%)、「夜間にサービスが利用できること」(19.2%)の順に続く。
- 主な介護者の年齢別にみると、40歳代では「在宅医療が受けられること」が34.3%と他の年代に比べて高い。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務はパートタイム勤務や無職に比べて、特に「夜間にサービスが利用できること」「家の近くでサービスが利用できること」「介護者への支援体制が充実されること」の割合が高い。
- 主な介護者の就労継続見込別にみると、『就労継続困難』は『就労継続可能』に比べて「緊急時にサービスが利用できること」(78.1%)、「介護者への支援体制が充実されること」(43.8%)が高く、介護者に対する支援や理解の少なさが、就労継続に困難を生じていると推察される。
- 要介護者の要介護度別にみると、「緊急時にサービスが利用できること」は要介護1～4で60%を超えて高い。

【在宅介護を続けていくために重要なこと】



【在宅介護を続けていくために重要なこと】

(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・就労見込別・要介護者の要介護度別)

		調査数	緊急時にサービスが利用できること	夜間にサービスが利用できること	家の近くでサービスが利用できること	在宅医療が受けられること	介護者に対する周囲の理解(評価)	介護者への支援体制が充実されること	介護者自身の心身状況の安定が保たれること
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		710	49.3	19.2	12.3	17.2	3.8	20.1	30.1
性別	(主な介護者) 男性	186	58.1	24.7	17.7	24.7	6.5	29.0	32.3
	(主な介護者) 女性	370	63.8	23.2	14.3	19.7	4.1	23.8	41.4
	(主な介護者) 無回答	44	13.6	9.1	2.3	6.8	0.0	2.3	2.3
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	5	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0
	(主な介護者) 40歳代	35	65.7	20.0	14.3	34.3	5.7	22.9	40.0
	(主な介護者) 50歳代	145	45.5	18.6	13.1	13.8	7.6	21.4	26.2
	(主な介護者) 60歳代	212	52.8	21.7	9.9	14.6	1.9	15.6	27.4
	(主な介護者) 70歳代	127	60.6	23.6	14.2	26.0	1.6	27.6	42.5
	(主な介護者) 80歳代	107	61.7	20.6	20.6	21.5	6.5	30.8	41.1
	(主な介護者) 不明	79	5.1	3.8	1.3	3.8	0.0	2.5	6.3
勤務形態	(主な介護者) フルタイム勤務	140	64.3	31.4	20.0	19.3	7.1	30.0	39.3
	(主な介護者) パートタイム勤務	81	56.8	23.5	11.1	12.3	6.2	24.7	40.7
	(主な介護者) 無職	289	64.4	22.1	14.2	25.6	3.8	24.9	38.8
就労見込	(主な介護者) 就労継続可能	174	60.3	27.6	17.8	17.2	7.5	26.4	40.2
	(主な介護者) 就労継続困難	32	78.1	34.4	18.8	9.4	6.3	43.8	43.8
要介護度別	(要介護者) 要支援1	129	45.7	18.6	15.5	14.7	4.7	20.9	24.8
	(要介護者) 要支援2	120	56.7	25.0	15.0	22.5	5.8	18.3	29.2
	(要介護者) 要介護1	194	64.4	22.7	13.4	16.0	6.2	28.9	41.8
	(要介護者) 要介護2	79	65.8	26.6	16.5	25.3	2.5	26.6	39.2
	(要介護者) 要介護3	48	60.4	20.8	16.7	31.3	0.0	27.1	47.9
	(要介護者) 要介護4	21	61.9	19.0	9.5	33.3	0.0	9.5	47.6
	(要介護者) 要介護5	9	44.4	33.3	0.0	33.3	0.0	22.2	22.2

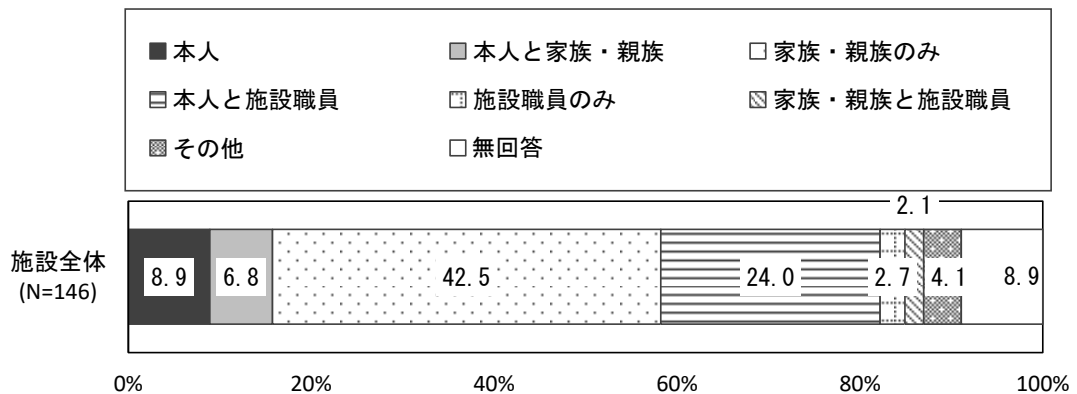
第5章 施設・居住系サービス利用者用調査

1. 回答者の基本属性

(1) 調査の回答者

- 「家族・親族のみ」が42.5%と最も高い。また、「本人」「本人と家族・親族」「本人と施設職員」を合わせた、本人を含む回答は39.7%となっている。

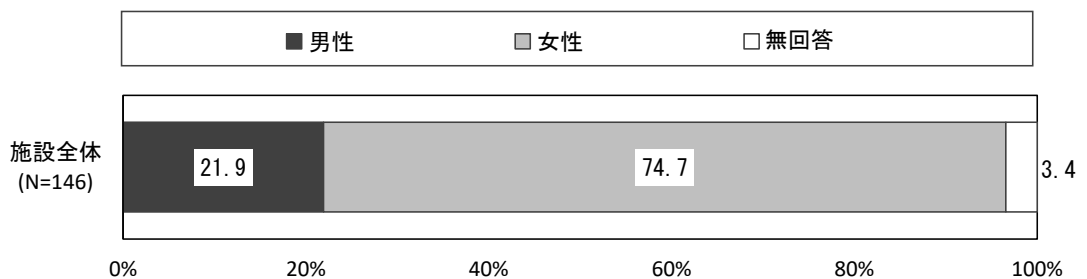
【調査の回答者】



(2) 性別

- 「女性」が74.7%と大多数を占めており、「男性」は21.9%となっている。

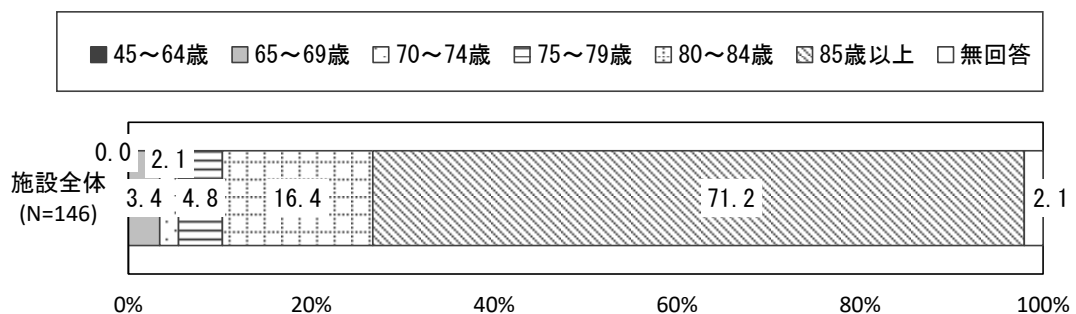
【性別】



(3) 年齢

- 「85歳以上」が71.2%と最も高く、次いで「80～84歳」(16.4%)、「75～79歳」(4.8%)と後期高齢者が92.4%を占めている。

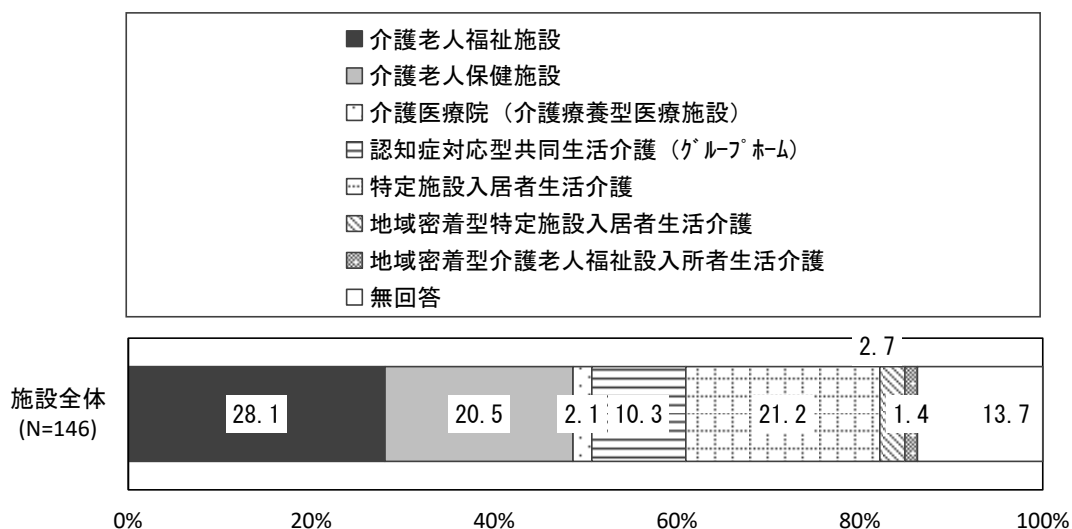
【年齢】



(4) 入所施設の種類の種類

- 「介護老人福祉施設」が28.1%と最も高く、次いで「特定施設入居者生活介護」(21.2%)、「介護老人保健施設」(20.5%)、の順に続く。

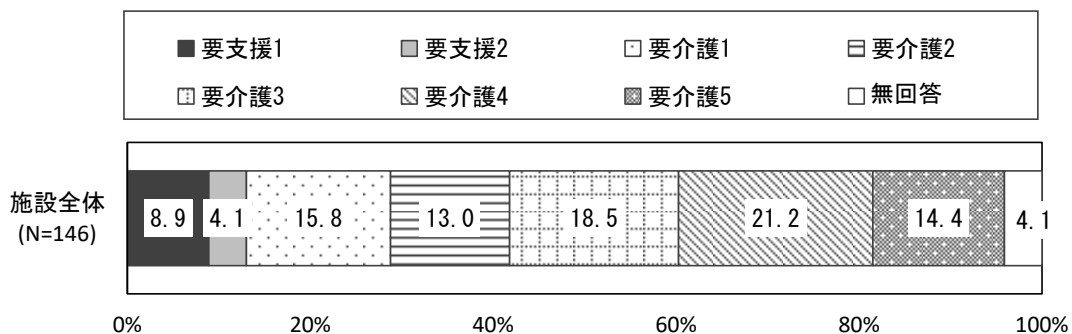
【入所施設の種類の種類】



(5) 要介護度

- 「要介護4」が21.2%と最も高く、次いで「要介護3」(18.5%)、「要介護1」(15.8%)となっている。また、要介護3以上が54.1%を占める。
- 入所施設別にみると、介護老人福祉施設では要介護3以上の割合が83.0%を占める。特定施設入居者生活介護では要支援認定者の割合が29.0%と他の入所施設に比べて高い。

【要介護度】



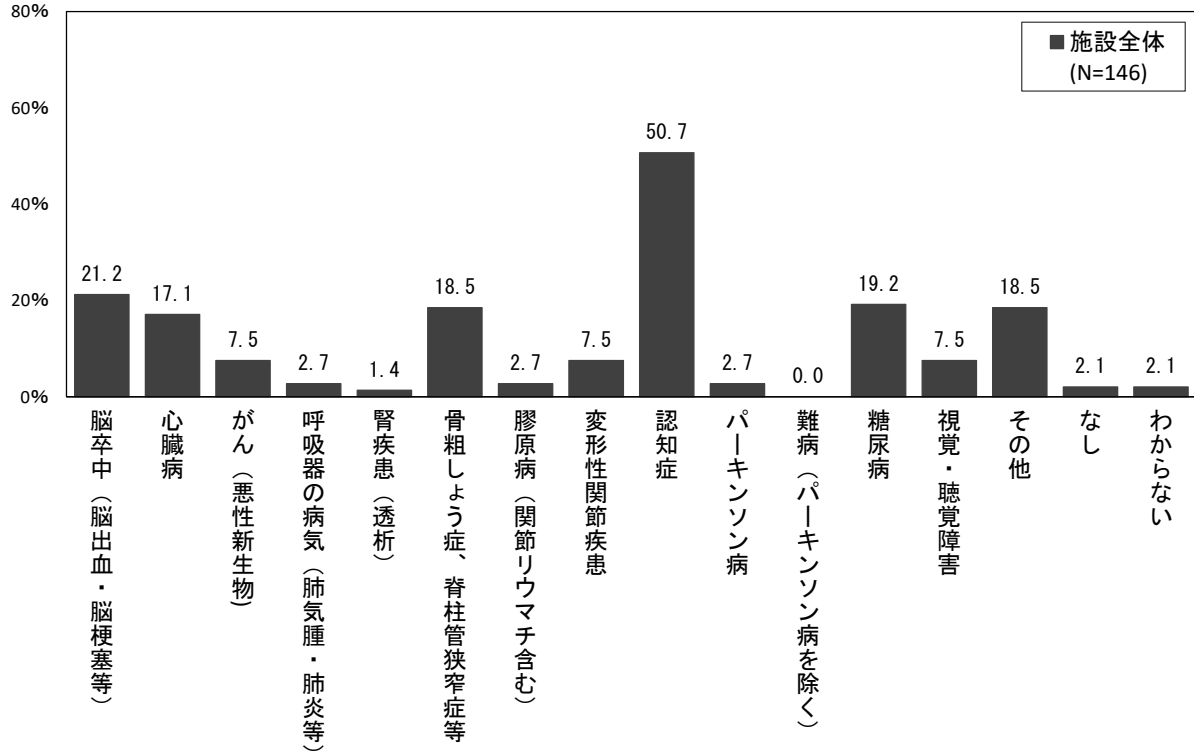
【要介護度(入所施設別)】

	調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	146	8.9	4.1	15.8	13.0	18.5	21.2	14.4	4.1	
入所施設別	介護老人福祉施設	41	4.9	0.0	9.8	2.4	31.7	22.0	29.3	0.0
	介護老人保健施設	30	0.0	0.0	10.0	10.0	33.3	30.0	13.3	3.3
	介護医療院 (介護療養型医療施設)	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	15	0.0	13.3	33.3	26.7	6.7	13.3	6.7	0.0
	特定施設入居者生活介護	31	25.8	3.2	16.1	25.8	3.2	12.9	9.7	3.2
	地域密着型特定施設入居者生活介護	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

(6) 現在、抱えている、怪我、病気

- 怪我、病気は「認知症」が50.7%と最も高く、次いで「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(21.2%)、「糖尿病」(19.2%)、「骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等」「その他」(18.5%)の順に高い。

● 【現在抱えている怪我、病気】



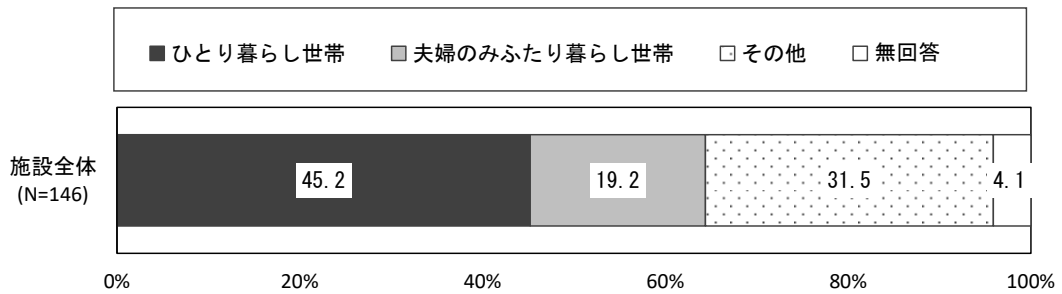
【現在抱えている怪我、病気(入所施設別)】

	調査数	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	腎疾患 (透析)	骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等	膠原病 (関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を除く)	糖尿病	視覚・聴覚障害	その他	なし	わからない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	146	21.2	17.1	7.5	2.7	1.4	18.5	2.7	7.5	50.7	2.7	0.0	19.2	7.5	18.5	2.1	2.1	
入所施設別	介護老人福祉施設	41	36.6	19.5	7.3	4.9	2.4	4.9	2.4	9.8	56.1	7.3	0.0	22.0	12.2	4.9	2.4	4.9
	介護老人保健施設	30	13.3	10.0	13.3	3.3	0.0	26.7	10.0	0.0	43.3	0.0	0.0	10.0	6.7	36.7	0.0	0.0
	介護医療院 (介護療養型医療施設)	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	15	6.7	20.0	6.7	0.0	0.0	33.3	0.0	20.0	86.7	6.7	0.0	20.0	6.7	6.7	0.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	31	19.4	25.8	3.2	0.0	3.2	25.8	0.0	12.9	32.3	0.0	0.0	25.8	9.7	22.6	3.2	3.2
	地域密着型特定施設入居者生活介護	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(7) 施設入所前の世帯構成

- 施設入所前の世帯構成は、「ひとり暮らし世帯」が 45.2%と最も高く、次いで「その他」(31.5%)、「夫婦のみふたり暮らし世帯」(19.2%)の順に続く。
- 現在の入所施設別にみると、介護老人福祉施設や認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護は「ひとり暮らし世帯」の割合が高い。

【世帯構成】



【世帯構成(入所施設別)】

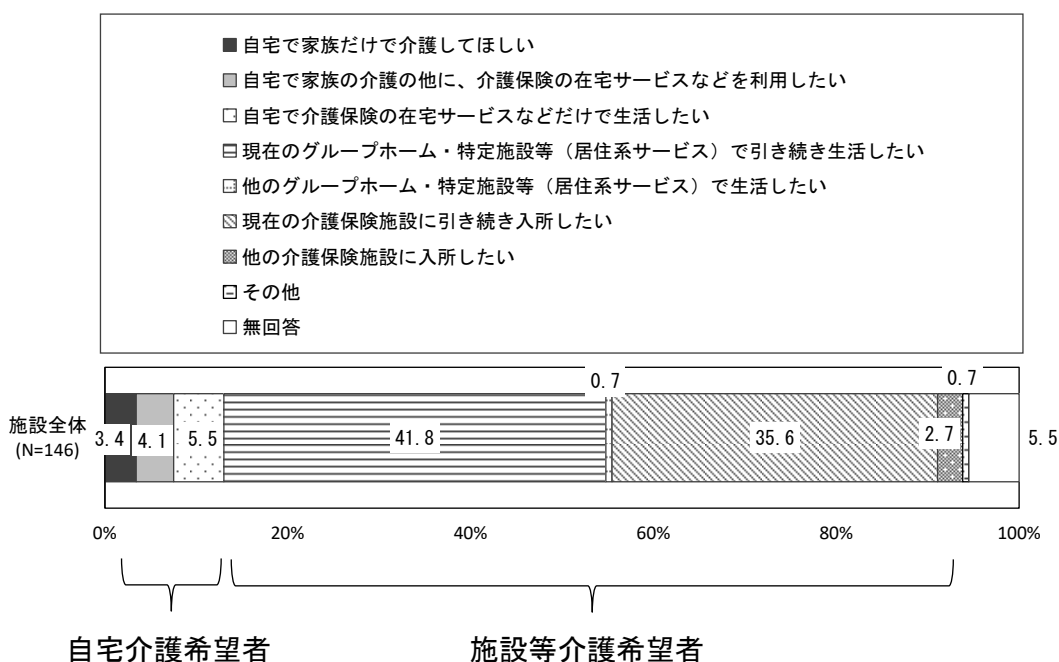
	調査数	ひとり暮らし世帯	夫婦のみふたり暮らし世帯	その他	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	146	45.2	19.2	31.5	4.1	
入所施設別	介護老人福祉施設	41	48.8	19.5	31.7	0.0
	介護老人保健施設	30	40.0	20.0	36.7	3.3
	介護医療院(介護療養型医療施設)	3	33.3	33.3	33.3	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	15	66.7	20.0	13.3	0.0
	特定施設入居者生活介護	31	41.9	25.8	32.3	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	4	25.0	0.0	75.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	50.0	0.0	50.0	0.0

2. 今後の介護希望について

(1) 今後の介護希望

- 今後の介護希望は「現在のグループホーム・特定施設等（居住系サービス）で引き続き生活したい」が41.8%と最も高く、次いで「現在の介護保険施設に引き続き入所したい」(35.6%)となっており、現在の入所施設等での生活を継続したいと考える人は77.4%を占めている。『自宅での生活を希望』（「自宅で家族だけで介護してほしい」～「自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい」）は13.0%となっている。

【今後の介護希望】



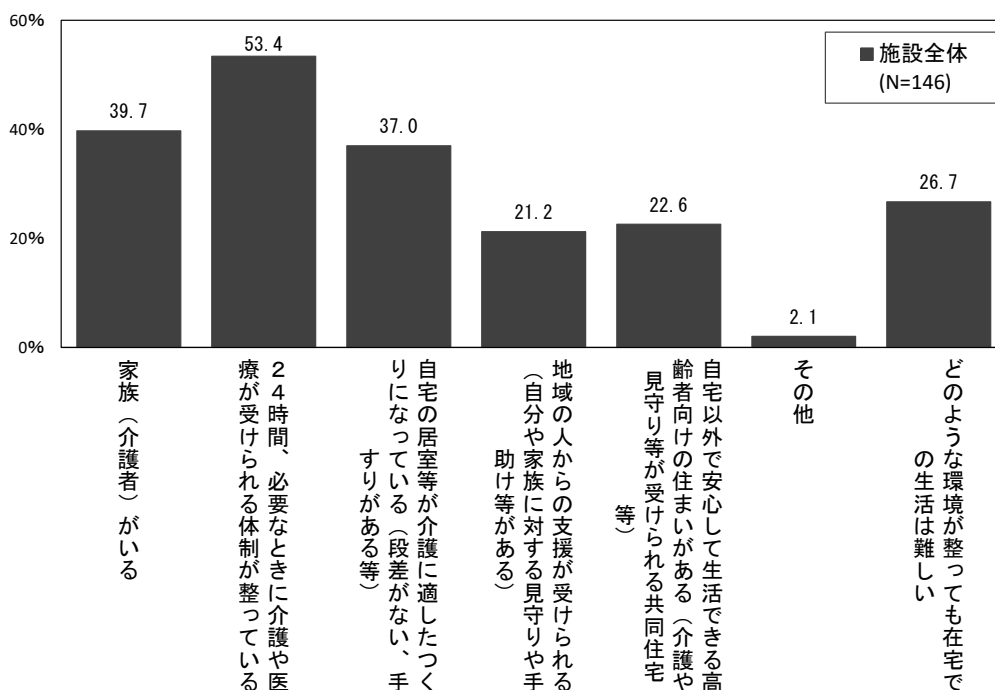
【今後の介護希望(入所施設別)】

	調査数	希望内容									
		自宅 で家族 だけで 介護し てほ しい	自 宅 で 家 族 の 介 護 の 他 に 、 介 護 保 険 の 在 宅 サ ー ビ ス な ど を 利 用 し た い	自 宅 で 介 護 保 険 の 在 宅 サ ー ビ ス な ど で し か り に し た い	自 宅 で 介 護 保 険 の 在 宅 サ ー ビ ス で し か り に し た い	引 き 続 き 生 活 し た い	施 設 等 （ 居 住 系 サ ー ビ ス ） で し か り に し た い	現 在 の グ ル ー プ ホ ー ム ・ 特 定 施 設 等 （ 居 住 系 サ ー ビ ス ） で し か り に し た い	現 在 の 介 護 保 険 施 設 に 引 き 続 き し た い	他 の 介 護 保 険 施 設 に 入 所 し た い	そ の 他
(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	146	3.4	4.1	5.5	41.8	0.7	35.6	2.7	0.7	5.5	
入 所 施 設 別	介護老人福祉施設	41	4.9	2.4	2.4	26.8	0.0	61.0	2.4	0.0	0.0
	介護老人保健施設	30	0.0	6.7	0.0	16.7	3.3	63.3	6.7	0.0	3.3
	介護医療院（介護療養型医療施設）	3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	15	0.0	6.7	0.0	80.0	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	31	6.5	0.0	12.9	74.2	0.0	3.2	0.0	0.0	3.2
	地域密着型特定施設入居者生活介護	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

(2) 在宅で生活するために必要なサービスや環境

- 在宅で生活するために必要なサービスや環境は「24時間、必要なときに介護や医療が受けられる体制が整っている」が53.4%と最も高く、次いで「家族(介護者)がいる」(39.7%)となっており、「どのような環境が整っても在宅での生活は難しい」が26.7%を占めている。
- 入所施設別にみると、特定施設入居者生活介護は「どのような環境が整っても在宅での生活は難しい」(41.9%)が他の入所施設に比べて高い。

【在宅で生活するために必要なサービスや環境】



【在宅で生活するために必要なサービスや環境(入所施設別)】

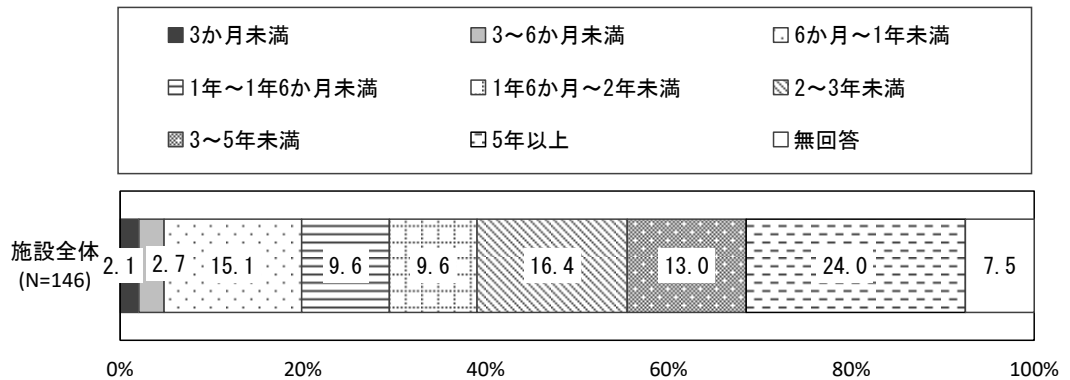
	調査数	在宅で生活するために必要なサービスや環境							
		家族(介護者)がいる	24時間、必要なときに介護や医療が受けられる体制が整っている	自宅の居室等が介護に適したつくりになっている(段差がない、手すりがある等)	地域の人からの支援が受けられる(自分や家族に対する見守りや手助け等がある)	自宅以外で安心して生活できる高齢者向けの住まいがある(介護や見守り等が受けられる共同住宅等)	その他	どのような環境が整っても在宅での生活は難しい	
	(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	146	39.7	53.4	37.0	21.2	22.6	2.1	26.7	
入所施設別	介護老人福祉施設	41	63.4	68.3	53.7	36.6	14.6	2.4	26.8
	介護老人保健施設	30	33.3	50.0	33.3	6.7	13.3	3.3	26.7
	介護医療院(介護療養型医療施設)	3	0.0	100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	15	40.0	60.0	33.3	26.7	33.3	0.0	20.0
	特定施設入居者生活介護	31	22.6	45.2	29.0	25.8	38.7	0.0	41.9
	地域密着型特定施設入居者生活介護	4	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0

3. 施設等でのサービスについて

(1) 施設等の入所期間

- 現在の入所施設等での入所期間は「5年以上」が24.0%と最も高く、次いで「2～3年未満」(16.4%)、「6か月～1年未満」(15.1%)となっている。また、『2年以上』は53.4%を占める。
- 入所施設別にみると、『2年以上』の割合は、介護老人福祉施設(63.4%)や特定施設入居者生活介護(77.5%)が高い。

【施設等の入所期間】



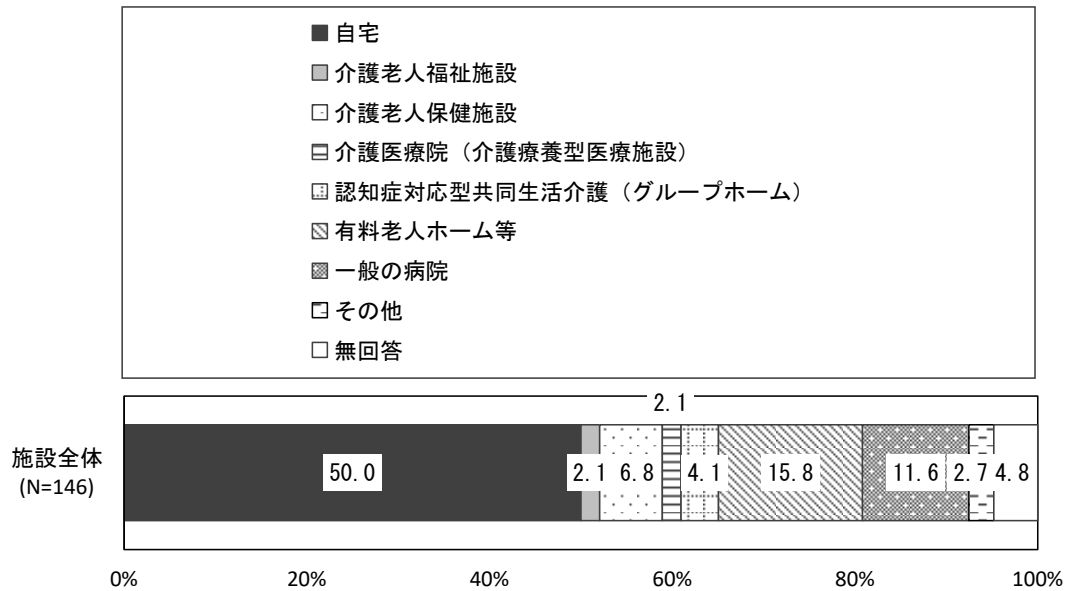
【施設等の入所期間(入所施設別)】

	調査数	3か月未満	3～6か月未満	6か月～1年未満	1年～1年6か月未満	1年6か月～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5年以上	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	146	2.1	2.7	15.1	9.6	9.6	16.4	13.0	24.0	7.5	
入所施設別	介護老人福祉施設	41	0.0	2.4	17.1	7.3	9.8	19.5	17.1	26.8	0.0
	介護老人保健施設	30	6.7	3.3	23.3	13.3	6.7	23.3	10.0	13.3	0.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	15	0.0	0.0	26.7	13.3	20.0	13.3	13.3	13.3	0.0
	特定施設入居者生活介護	31	3.2	6.5	6.5	6.5	0.0	12.9	19.4	45.2	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	4	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

(2) 現在の施設等に入所する前の所在

- 現在の施設等に入所する前の所在は「自宅」が50.0%と最も高く、次いで「有料老人ホーム等」(15.8%)、「一般の病院」(11.6%)となっている。
- 入所施設別にみると、ほとんどの施設で「自宅」の割合が最も高い。

【施設等に入所する前の所在】



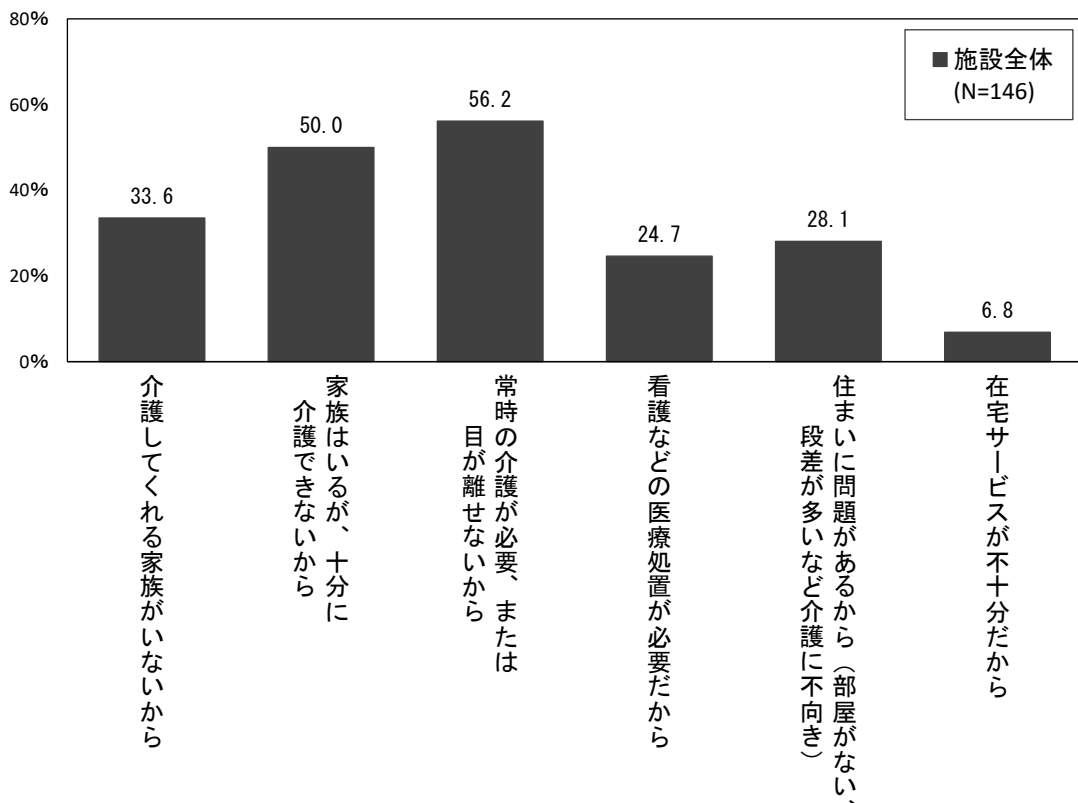
【施設等に入所する前の所在(入所施設別)】

	調査数	自宅	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院 (介護療養型医療施設)	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	有料老人ホーム等	一般の病院	その他	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	146	50.0	2.1	6.8	2.1	4.1	15.8	11.6	2.7	4.8	
入所施設別	介護老人福祉施設	41	41.5	4.9	9.8	0.0	4.9	12.2	24.4	2.4	0.0
	介護老人保健施設	30	43.3	3.3	13.3	6.7	3.3	13.3	16.7	0.0	0.0
	介護医療院 (介護療養型医療施設)	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	15	40.0	0.0	13.3	0.0	20.0	26.7	0.0	0.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	31	71.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.1	6.5	6.5	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(3) 施設等に入所している理由

- 施設等に入所している理由は「常時の介護が必要、または目が離せないから」が 56.2%と最も高く、次いで「家族はいるが、十分に介護できないから」(50.0%)、「介護してくれる家族がいないから」(33.6%)の順に続く。
- 入所施設別にみると、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)や地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護は「介護してくれる家族がいないから」が50%を超えている。また、介護医療院では「看護などの医療処置が必要だから」(66.7%)が他の入所施設に比べて高い。

【施設等に入所している理由】



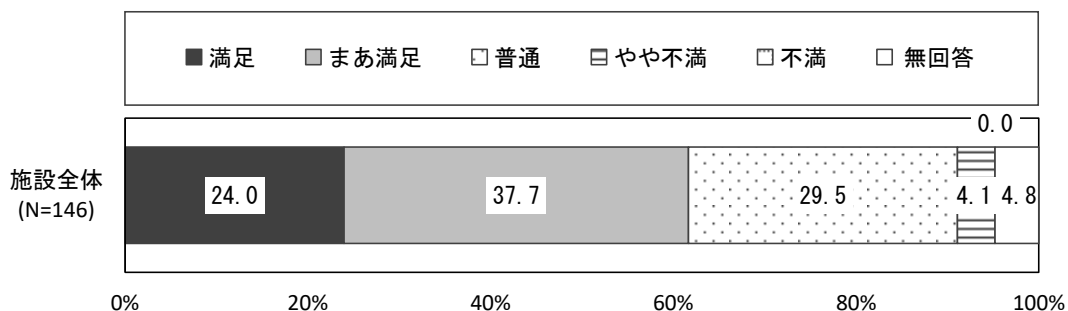
【施設等に入所している理由(入所施設別)】

	調査数	理由							
		介護してくれる家族がいないから	家族はいるが、十分に介護できないから	常時の介護が必要、または目が離せないから	看護などの医療処置が必要だから	住まいに問題があるから(部屋がない、段差が多いなど介護に不向き)	在宅サービスが不十分だから	その他	
	(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	146	33.6	50.0	56.2	24.7	28.1	6.8	4.8	
入所施設別	介護老人福祉施設	41	39.0	51.2	68.3	34.1	39.0	7.3	0.0
	介護老人保健施設	30	13.3	63.3	70.0	33.3	36.7	3.3	6.7
	介護医療院(介護療養型医療施設)	3	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	15	53.3	26.7	60.0	13.3	6.7	13.3	6.7
	特定施設入居者生活介護	31	32.3	64.5	51.6	19.4	35.5	9.7	9.7
	地域密着型特定施設入居者生活介護	4	0.0	25.0	75.0	25.0	0.0	25.0	25.0
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	2	50.0	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	

(4) 施設等サービスの満足度

- 施設等サービスの満足度は「まあ満足」が37.7%と最も高く、これに「満足」(24.0%)を合わせると『満足』は61.7%となっている。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』の割合は4.1%に留まり、満足度は高くなっている。
- 入所施設別にみると、『満足』の割合は、介護老人保健施設(73.3%)や認知症対応型共同生活介護(80.0%)、「地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護」(100.0%)が特に高い。

【施設等サービスの満足度】



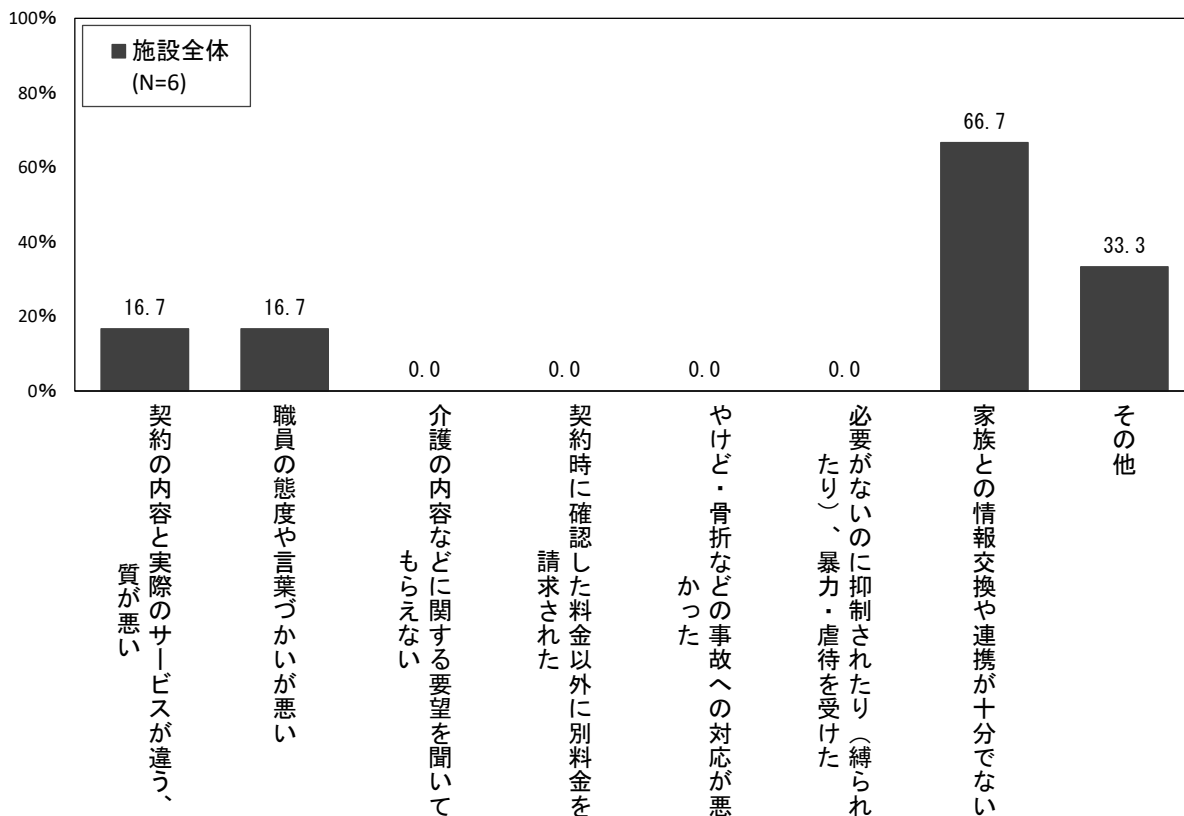
【施設等サービスの満足度(入所施設別)】

	調査数 (人)	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	146	24.0	37.7	29.5	4.1	0.0	4.8	
入所施設別	介護老人福祉施設	41	17.1	46.3	31.7	4.9	0.0	0.0
	介護老人保健施設	30	30.0	43.3	16.7	10.0	0.0	0.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	15	53.3	26.7	20.0	0.0	0.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	31	16.1	38.7	41.9	3.2	0.0	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(5) 施設等サービスに不満な理由

- 施設等サービスに不満な人は6人と少なく、その理由は「家族との情報交換や連携が十分でない」(66.7%)のほか、「その他」(33.3%)、「契約の内容と実際のサービスが違う、質が悪い」「職員の態度や言葉づかいが悪い」(16.7%)となっている。

【施設等サービスに不満な理由】

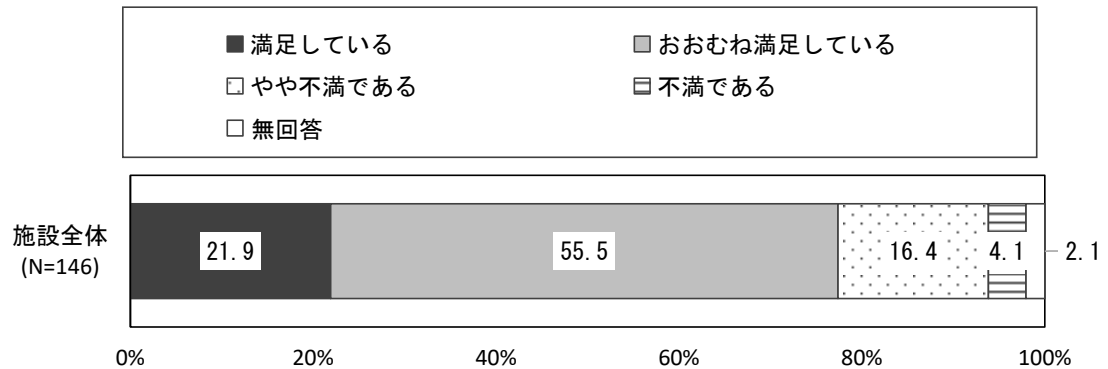


4. 介護保険制度について

(1) 介護保険制度の満足度

- 介護保険制度の満足度は「おおむね満足している」が55.5%と最も高く、「満足している」(21.9%)を合わせると77.4%が『満足』と回答している。一方、「やや不満である」(16.4%)と「不満である」(4.1%)を合わせた『不満』の割合は20.5%となっている。
- 入所施設別にみると、認知症対応型共同生活介護は『満足』(93.3%)が他の入所施設に比べて最も高い。

【介護保険制度の満足度】



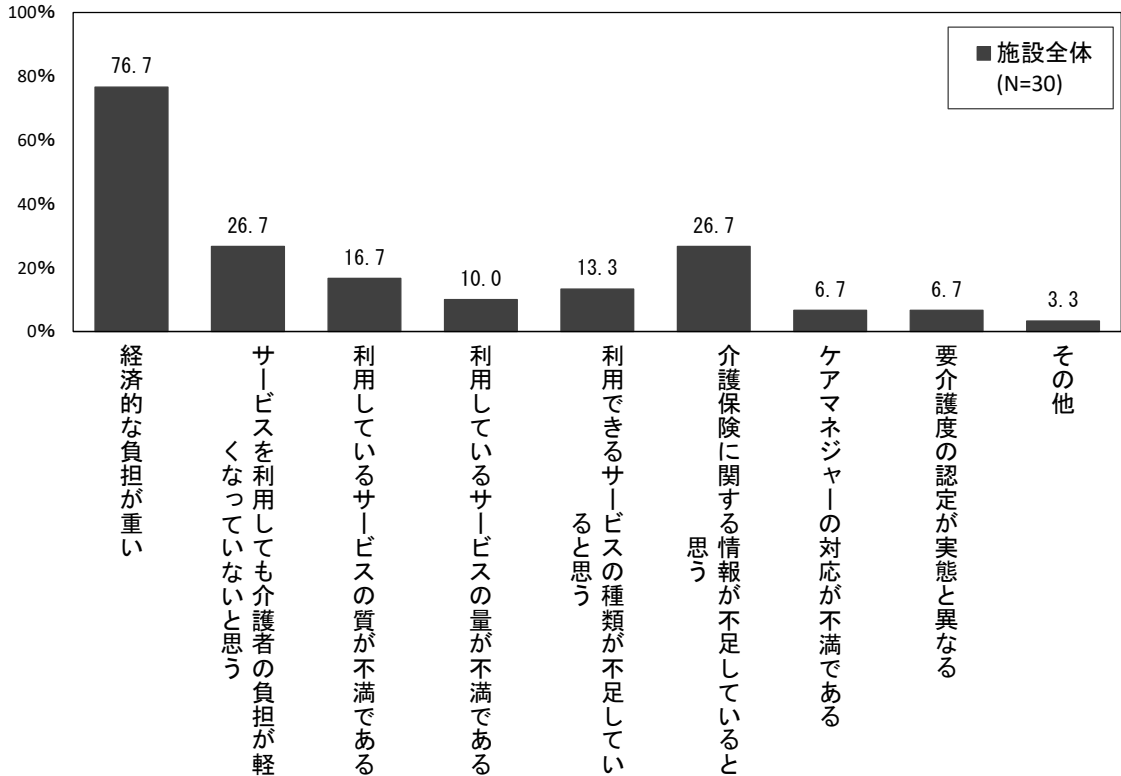
【介護保険制度の満足度(入所施設別)】

	調査数	満足している	おおむね満足している	やや不満である	不満である	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	146	21.9	55.5	16.4	4.1	2.1	
入所施設別	介護老人福祉施設	41	12.2	63.4	19.5	4.9	0.0
	介護老人保健施設	30	23.3	50.0	26.7	0.0	0.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	15	73.3	20.0	0.0	6.7	0.0
	特定施設入居者生活介護	31	3.2	87.1	9.7	0.0	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

(2) 介護保険制度に満足していない理由

- 介護保険制度に満足していない理由は、「経済的な負担が重い」が76.7%と最も高く、次いで「サービスを利用しても介護者の負担が軽くなっていないと思う」「介護保険に関する情報が不足していると思う」(26.7%)の順に高い。

【介護保険制度に満足していない理由】



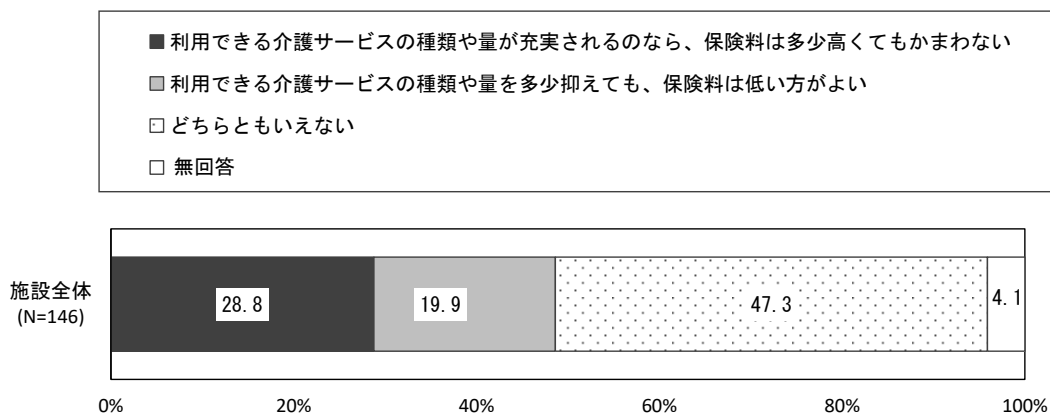
【介護保険制度に満足していない理由(入所施設別)】

	調査数	経済的な負担が重い	サービスを利用しても介護者の負担が軽くなっていないと思う	利用できるサービスの質が不満である	利用できるサービスの量が不満である	利用できるサービスの種類が不足していると思う	介護保険に関する情報が不足していると思う	ケアマネジャーの対応が不満である	要介護度の認定が実態と異なる	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	30	76.7	26.7	16.7	10.0	13.3	26.7	6.7	6.7	3.3	
入所施設別	介護老人福祉施設	10	100.0	20.0	40.0	20.0	10.0	30.0	10.0	0.0	10.0
	介護老人保健施設	8	50.0	12.5	0.0	0.0	25.0	37.5	12.5	12.5	0.0
	介護医療院 (介護療養型医療施設)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(3) 介護保険料と介護サービスのあり方

- 介護保険料と介護サービスのあり方について「どちらともいえない」が47.3%と最も高く、次いで「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(28.8%)、「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(19.9%)となっている。

【介護保険料と介護サービスのあり方】



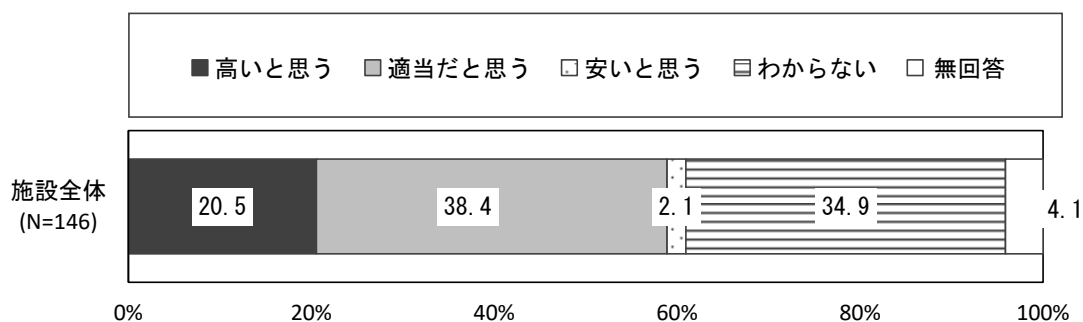
【介護保険料と介護サービスのあり方(入所施設別)】

入所施設別	調査数	てもかまわない	利用できる介護サービスの種類や量が	多利用できる介護サービスの種類や量を	どちらともいえない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	146	28.8	19.9	47.3	4.1	
介護老人福祉施設	41	36.6	9.8	48.8	4.9	
介護老人保健施設	30	36.7	26.7	36.7	0.0	
介護医療院（介護療養型医療施設）	3	66.7	0.0	33.3	0.0	
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	15	26.7	13.3	60.0	0.0	
特定施設入居者生活介護	31	12.9	22.6	61.3	3.2	
地域密着型特定施設入居者生活介護	4	25.0	50.0	25.0	0.0	
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	50.0	0.0	50.0	0.0	

(4) 介護保険料の負担感

- 介護保険料の負担感について「相当だと思う」が38.4%と最も高く、次いで「わからない」(34.9%)、「高いと思う」(20.5%)の順に続く。

【介護保険料の負担感】



【介護保険料の負担感(入所施設別)】

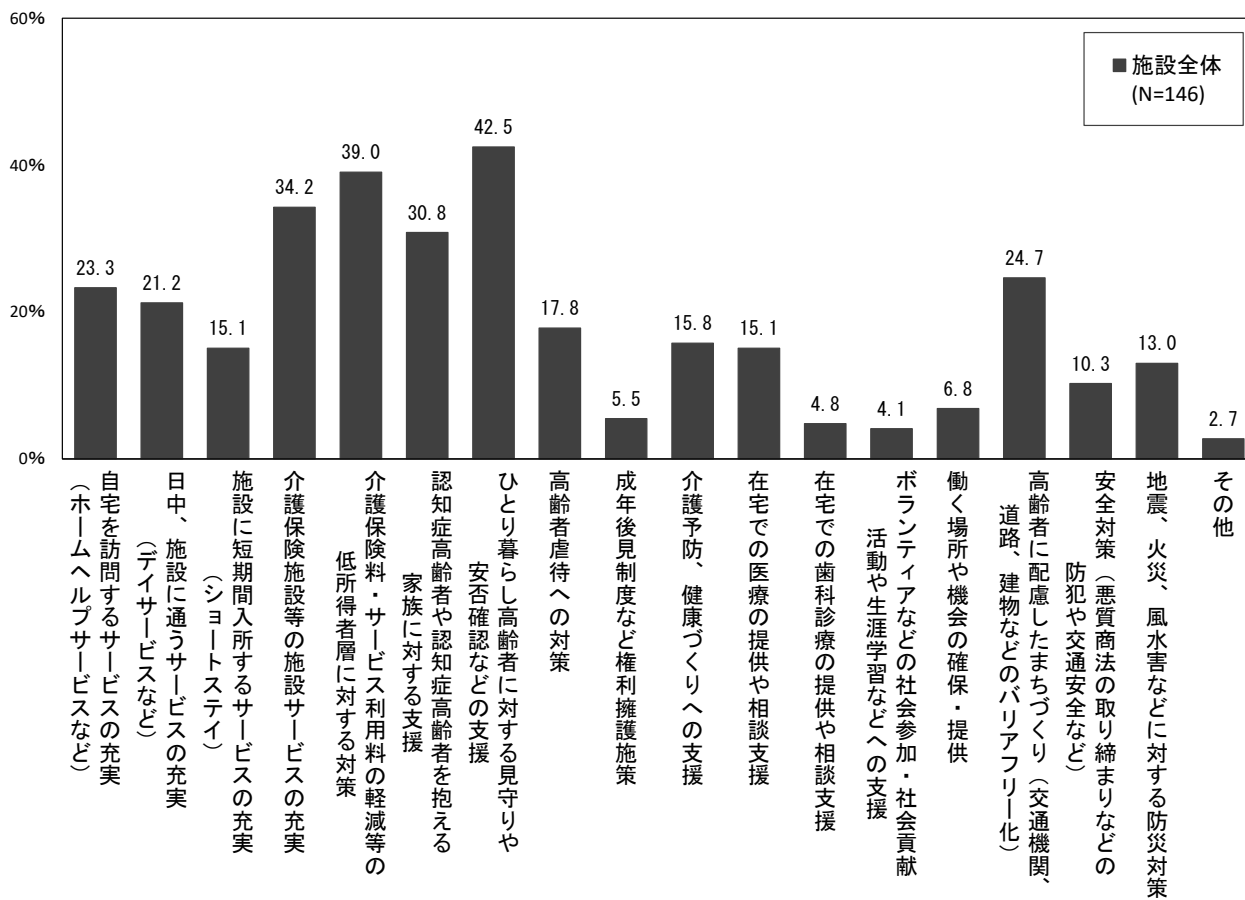
	調査数	高いと思う	相当だと思う	安いと思う	わからない	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	146	20.5	38.4	2.1	34.9	4.1	
入所施設別	介護老人福祉施設	41	24.4	39.0	0.0	36.6	0.0
	介護老人保健施設	30	23.3	46.7	6.7	23.3	0.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	15	13.3	46.7	6.7	33.3	0.0
	特定施設入居者生活介護	31	12.9	22.6	0.0	58.1	6.5
	地域密着型特定施設入居者生活介護	4	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

5. 高齢者福祉施策全般について

(1) 高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの

- 高齢者施策・支援で特に大切だと思うものは「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」が42.5%と最も高く、次いで「介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策」(39.0%)、「介護保険施設等の施設サービスの充実」(34.2%)、「認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援」(30.8%)、「高齢者に配慮したまちづくり(交通機関、道路、建物などのバリアフリー化)」(24.7%)が上位5項目にあがっている。

【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの】



【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの(入所施設別)】

	調査数	自宅を訪問するサービスの充実 (ホームヘルプサービスなど)	日中、施設に通うサービスの充実 (デイサービスなど)	施設に短期間入所するサービスの充 実(ショートステイ)	介護保険施設等の施設サービスの充 実	介護保険料・サービス利用料の軽減 等の低所得者層に対する対策	認知症高齢者や認知症高齢者を抱え る家族に対する支援	ひとり暮らし高齢者に対する見守り や安否確認などの支援	高齢者虐待への対策	成年後見制度など権利擁護施策	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	146	23.3	21.2	15.1	34.2	39.0	30.8	42.5	17.8	5.5	
入所施設別	介護老人福祉施設	41	22.0	19.5	19.5	39.0	48.8	22.0	29.3	4.9	7.3
	介護老人保健施設	30	30.0	20.0	16.7	40.0	36.7	50.0	60.0	16.7	10.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	3	0.0	33.3	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	15	20.0	6.7	13.3	33.3	46.7	46.7	80.0	26.7	6.7
	特定施設入居者生活介護	31	16.1	19.4	3.2	25.8	22.6	16.1	25.8	22.6	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	4	25.0	50.0	50.0	25.0	75.0	75.0	50.0	75.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	0.0	50.0	0.0	100.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0

	調査数	介護予防、健康づくりへの支援	在宅での医療の提供や相談支援	在宅での歯科診療の提供や相談支援	ボランティアなどの社会参加・社会 貢献活動や生涯学習などへの支援	働く場所や機会の確保・提供	機関、道路、建物などのバリアフ リー化	高齢者に配慮したまちづくり(交通 機関、道路、建物などのバリアフ リー化)	安全対策(悪質商法の取り締まりな どの防犯や交通安全など)	地震、火災、風水害などに対する防 災対策	その他
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	146	15.8	15.1	4.8	4.1	6.8	24.7	10.3	13.0	2.7	
入所施設別	介護老人福祉施設	41	22.0	9.8	0.0	0.0	4.9	19.5	4.9	12.2	4.9
	介護老人保健施設	30	6.7	26.7	6.7	0.0	3.3	40.0	10.0	10.0	3.3
	介護医療院(介護療養型医療施設)	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	15	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	33.3	13.3	20.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	31	22.6	12.9	6.5	12.9	3.2	16.1	12.9	12.9	3.2
	地域密着型特定施設入居者生活介護	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

参考資料

1. 一般高齢者用調査票

行橋市 高齢者福祉に関するアンケート調査 (一般高齢者用)

調査ご協力をお願い

日頃から市政に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

行橋市では、令和5年度に「行橋市老人保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。そのため、計画の見直しの基礎資料として、高齢者の健康状態や福祉・介護に対する考え方をおうかがいするためのアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、要介護認定を受けていない65歳以上の市民の方から無作為に抽出した約1,800人を対象に行うものです。

ご回答いただきました内容は、統計的な分析等に使用するものであり、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年12月

行橋市長 工藤 政宏

記入にあたってのお願い

- 1 ご本人による回答が困難な場合は、ご本人の立場にたって、ご家族や代理人の方が記入してください。
- 2 回答は令和4年12月1日現在でご回答ください。
- 3 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 4 記入された調査票は、**令和5年1月13日(金)**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください(切手は不要です)。
- 5 この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

行橋市 介護保険課

電話 0930-25-1111 (内線1172)

FAX 0930-26-3017

◆ 回答者について ◆

○調査対象のご本人(宛名の方)の所在

調査対象のご本人(宛名の方)が何らかの事情により不在で回答できない場合には、その理由を下の枠内から選び、回答を終了してください。【○は1つだけ】

1. 病院に入院中
 2. 施設に入所中
 3. 転居・転出
 4. 死亡
 5. その他 ()

回答終了です。
 同封の返信用封筒
 に入れ、ポストに
 入れてください。

○調査の回答者

この調査の回答者はどなたですか。【○は1つだけ】

1. 本人
 2. 本人と家族・親族
 3. 家族・親族のみ
 4. その他 ()

◆ あなたご自身のことについて ◆

問1 あなたの性別を教えてください。【○は1つだけ】

1. 男性
 2. 女性

問2 あなたの年齢を教えてください。【○は1つだけ】

1. 65～69歳
 2. 70～74歳
 3. 75～79歳
 4. 80～84歳
 5. 85歳以上

問3 あなたの世帯は次のどれにあてはまりますか。【○は1つだけ】

1. ひとり暮らし世帯
 2. 夫婦のみのふたり暮らし世帯
 3. その他 ()

問4 あなたのお住まいの地域(小学校区)を教えてください。【○は1つだけ】

1. 行橋校区
 2. 行橋北校区
 3. 行橋南校区
 4. 今元校区
 5. 菟島校区
 6. 仲津校区
 7. 泉校区
 8. 今川校区
 9. 稗田校区
 10. 椿市校区
 11. 延永校区

◆ 健康について ◆

問5 あなたは、自分の健康状態をどう思いますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 健康だと思う | 3. あまり健康だと思わない |
| 2. まあ健康だと思う | 4. 健康だと思わない |

問6 あなたは、現在、治療中、もしくは生活に支障がある怪我、病気はありますか(風邪等の一時的な病気はのぞきます)。【○はいくつでも】

- | | |
|---|--------------------|
| 1. 高血圧 | 11. がん(悪性新生物) |
| 2. 脳卒中(脳出血・ <small>のうこうそく</small> 脳梗塞等) | 12. 血液・免疫の病気 |
| 3. 心臓病 | 13. うつ病 |
| 4. 糖尿病 | 14. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 5. 高脂血症(脂質異常) | 15. パーキンソン病 |
| 6. 呼吸器の病気(肺炎・気管支炎等) | 16. 目の病気 |
| 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 17. 耳の病気 |
| 8. 腎臓・前立腺の病気 | 18. その他() |
| 9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等) | 19. 特にない |
| 10. 外傷(転倒・骨折等) | |

問7 あなたは、健康診断を受けていますか。【○は1つだけ】

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 毎年、受けている | 3. 受けていない ⇒問7-1へ |
| 2. 毎年ではないが、受けている | |

《問7-1は、問7で「3.受けていない」に回答された方のみお答えください》

問7-1 健康診断を受けていない主な理由はなんですか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1. 健康に自信があるから | |
| 2. 時間がないから | |
| 3. 面倒だから | |
| 4. 費用がかかるから | |
| 5. 市の健康診断等を受けられる場所や日時がわからないから | |
| 6. その他() | |

◆ 介護予防について ◆

(※)介護予防とは、ご自身が元気なうちから、加齢とともに生じる心身の機能低下を防ぎ、介護を必要とする状態にならないように、健康維持・機能の増進に努めることを言います。

問8 健康づくりや介護予防のために、日常生活の中で取り組んでいることはありますか。

【○はいくつでも】

- | | |
|---------------------|----------------------------------|
| 1. 歩く（散歩や買い物等） | 10. なるべく人と話す |
| 2. 定期的に体操や運動をする | 11. できるだけ外出する |
| 3. 食事の栄養バランスに気をつける | 12. 気持ちをなるべく明るく保つ |
| 4. 規則正しい生活をする | 13. ストレスをためこまないようにする |
| 5. 十分な休養や睡眠をとる | 14. 介護予防や健康づくりに関する
講座や教室へ参加する |
| 6. 酒やたばこを控える | 15. その他（ ） |
| 7. 歯や口の健康に気をつける | 16. 特に取り組んでいない |
| 8. 適正な体重に向けた体重調整をする | |
| 9. 日記を書く | |
-→問8-1へ

《問8-1は、問8で「16.特に取り組んでいない」に回答された方のみお答えください》

問8-1 取り組んでいない理由はなんですか。【○はいくつでも】

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 時間がないため | 5. 一緒にやる仲間がないため |
| 2. 何をしたいかわからないため | 6. 身体的に無理な状況のため |
| 3. きっかけがないため | 7. 特に意識したことがないため |
| 4. 関心がないため | 8. その他（ ） |

問9 健康づくりや介護予防に関する事で、どのようなことに関心がありますか。

【○はいくつでも】

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. がん・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予防について | |
| 2. 望ましい食生活や食生活の改善について | |
| 3. 運動等による体づくりや肥満の予防について | |
| 4. 膝痛や腰痛の改善・予防のための運動等について | |
| 5. 転倒・骨折予防について | |
| 6. 寝たきりの予防について | |
| 7. 認知症の予防について | |
| 8. 閉じこもりやうつ病の予防、心の健康づくりについて | |
| 9. 歯や口の健康づくりについて | |
| 10. その他（ ） | |
| 11. 特にない | |

◆ 認知症について ◆

問10 あなたは、「認知症」という病気を知っていますか。【○は1つだけ】

1. よく知っている
2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない
3. 知らない

問11 認知症のことについて、おたずねします。

次の(1)～(3)の項目ごとに、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ 1 つずつ選んでください。

(1)認知症は、ふだんから頭を使うことで予防できると思いますか。【○は1つだけ】

1. 予防できると思う
2. 予防できるとは思わない
3. わからない

(2)認知症は、ふだんから運動をすることで予防できると思いますか。【○は1つだけ】

1. 予防できると思う
2. 予防できるとは思わない
3. わからない

(3)認知症は、早く見つけて治療することが必要な病気だと思いますか。【○は1つだけ】

1. そう思う
2. そうは思わない
3. わからない

問12 あなたは認知症についてどのようなことに関心がありますか。【○はいくつでも】

1. 認知症の介護のしかた
2. 認知症の医学的な情報
3. 認知症の予防
4. 認知症の人や家族を支えるボランティア活動
5. その他 ()
6. 特にない

◆ 社会参加や生きがいつくりについて ◆

問13 あなたは、以下のような地域のグループや団体等の活動に参加していますか。

【〇はいくつでも】

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 老人クラブ | 7. 青少年育成団体 |
| 2. いきいきサロン | 8. ボランティア活動・NPO 法人 |
| 3. 町内会・自治会 | 9. シルバー人材センター |
| 4. 趣味のサークル・団体 | 10. 民間主催の趣味・スポーツクラブ |
| 5. 健康・スポーツのサークル・団体 | 11. 市主催の教室や講座 |
| 6. 学習・教養のサークル・団体 | 12. その他のグループや団体() |
| | 13. 参加していない |

《問13-1は、問13で「13. 参加していない」に回答された方のみお答えください》

▶ 問13-1 参加していない理由は何ですか。【〇はいくつでも】

- | |
|-----------------------------|
| 1. 参加したい活動がないから |
| 2. どのようなグループや団体等があるかわからないから |
| 3. 参加するきっかけがないから |
| 4. 一人の方が気楽だから |
| 5. 経費がかかるから |
| 6. 体力に自信がないから |
| 7. 家庭の事情（家事や仕事等）で時間がとれないから |
| 8. その他() |

問14 今後、どのようなことをやりたいと思いますか。【〇はいくつでも】

- | | |
|--|----------|
| 1. 働くこと（仕事） | |
| 2. 教養を高めること | |
| 3. サークル活動等で、スポーツや趣味・娯楽を楽しむこと | |
| 4. ボランティア活動に参加すること | |
| 5. 自治会等の地域活動に参加すること | |
| 6. 老人クラブやいきいきサロン等の、身近な地域で年齢が近い人とふれあえる活動に参加すること | |
| 7. 個人や家族でスポーツや趣味・娯楽を楽しむこと | |
| 8. 家族と一緒に過ごすこと | |
| 9. 若い世代と交流すること | |
| 10. これまでの友人や知人と交流すること | |
| 11. 新しい友人や知人を増やすこと | |
| 12. 家に閉じこもらないでできるだけ外にでること | |
| 13. 常に新しいことにチャレンジすること | |
| 14. その他() | 15. 特にない |

問21 将来、あなた自身に介護が必要になったら、どのように介護してほしいと思いますか。【〇は1つだけ】

1. 自宅で家族だけで介護してほしい
2. 自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい
3. 自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい
4. グループホームや有料老人ホームなどの小規模で家庭的な雰囲気の施設を利用したい
5. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を利用したい
6. その他（ ）

問22 あなたは、どこで人生の最期を迎えたいですか。【〇は1つだけ】

1. 自宅
2. 子や孫などの親族の家
3. 特別養護老人ホーム等の施設
4. 病院等の医療施設（ホスピスや緩和ケア病棟含む）
5. その他（ ）

◆ 高齢者福祉制度全般について ◆

問23 介護保険制度では、介護サービスを利用する人が増えたり、利用できる介護サービスの種類や量が充実されれば、その費用をまかなうため、基本的には介護保険料が高くなることとなります。

介護保険料と介護サービスのあり方について、どのようにお考えですか。

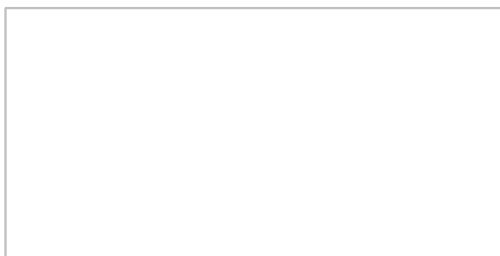
【〇は1つだけ】

1. 利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない
2. 利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい
3. どちらともいえない

問24 ご自分の介護保険料について、どのように思いますか。【〇は1つだけ】

1. 高いと思う
2. 適当だと思う
3. 安いと思う
4. わからない

2. 在宅要介護認定者用調査票



《在宅要介護認定者用》

行橋市 高齢者福祉に関するアンケート調査

調査ご協力をお願い

日頃から市政に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

行橋市では、令和5年度に「行橋市老人保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。そのため、計画の見直しの基礎資料として、高齢者の健康状態や福祉・介護に対する考え方をおうかがいするためのアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、要介護認定を受けて在宅で生活されている市民の方 約2,600人を対象に行うものです。

ご回答いただきました内容は、統計的な分析等に使用するとともに、「個人情報の取り扱いについて」(1ページの上段に記載)に基づき、適正に取り扱いますので、皆様にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年12月

行橋市長 工藤 政宏

記入にあたってのお願い

- 1 ご本人による回答が困難な場合は、ご本人の立場にたって、ご家族や代理人の方が記入してください。
- 2 回答は令和4年12月1日現在でご回答ください。
- 3 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 4 記入された調査票は、令和5年1月13日(金)までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください(切手は不要です)。
- 5 この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

行橋市 介護保険課

電話 0930-25-1111 (内線1172)

FAX 0930-26-3017

◆ 介護保険サービスについて ◆

問4 あなたは、現在、住宅改修、福祉用具貸与、購入以外の介護保険サービスを利用していますか。【〇は1つだけ】

1. 利用している

2. 利用していない ⇒問5へ

《問4-1、2は、問4で「1.利用している」に回答された方のみお答えください。》

→問4-1 介護保険サービスを利用したことにより、日常生活を送る中で「良くなった」と感じることもある場合は、当てはまるものに〇を付けてください。【〇は3つまで】

1. 自分でできることが増えた
2. 日々の生活の中に楽しみが増えた
3. 健康が維持・向上した
4. 筋力が維持・向上した
5. 穏やかに毎日を過ごせている
6. その他 ()
7. 特にない

→問4-2 あなたは利用しているサービスに満足していますか。【〇は1つだけ】

1. 満足

2. まあ満足

3. 普通

4. やや不満

5. 不満

《問4-3は、問4-2で「4.」「5.」に回答された方のみお答えください》

→問4-3 不満に思うことはどのようなことですか。【〇はいくつでも】

1. 契約の内容と実際のサービスが違う、質が悪い
2. サービス担当者の態度や言葉づかいが悪い
3. 決められた日時にサービス担当者が来ない
4. サービス担当者の変更や解約などの要望を聞いてもらえない
5. 契約時に確認した料金以外に別料金を請求された
6. やけど・骨折などの事故に対応してもらえなかった
7. サービスの量（回数や時間）が足りない
8. 以前利用していたサービスが受けられなくなった
9. その他 ()

◆ 在宅医療について ◆

問10 現在、利用している在宅医療(※2)サービスをすべて選んでください。【〇はいくつでも】

- 1. 訪問診療
- 2. 訪問看護
- 3. 訪問リハビリテーション
- 4. 通所リハビリテーション(デイケア)
- 5. 医師による療養上の指導(居宅療養管理指導)
- 6. 薬剤師による療養上の指導(居宅療養管理指導)
- 7. 訪問栄養指導
- 8. 訪問歯科診療
- 9. その他()
- 10. 利用していない

《問10-1は、問10で「1.」～「9.」に回答された方のみお答えください》

→問10-1 在宅医療サービスが必要となった理由(状態、病気、処置)は何ですか。

【〇はいくつでも】

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 胃ろう | 6. じょくそう |
| 2. 在宅酸素 | 7. 脳梗塞などの後遺症 |
| 3. 腹膜透析・人工透析 | 8. 認知症 |
| 4. 人工肛門 | 9. その他 |
| 5. たんの吸引 | () |

(※2)在宅医療とは…通院が困難で自宅での療養を希望する方のために、自宅などに訪問して診療を行うことです。「在宅」には自宅だけでなく、老人ホームや高齢者住宅も含まれます。

ここからは、調査対象のご本人を介護されているご家族やご親族等へ
お伺いします。
ご家族やご親族のご回答が難しい場合は、調査対象のご本人が回答を
お願いします。

◆ 主な介護者について ◆

問16 あて名の方からみた続柄を教えてください。【○は1つだけ】

- | | | |
|--------|----------|--------------------------------|
| 1. 配偶者 | 3. 子の配偶者 | 5. 兄弟・姉妹 |
| 2. 子 | 4. 孫 | 6. その他（ ） |

問17 主な介護者の性別を教えてください。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問18 主な介護者の年齢を教えてください。【○は1つだけ】

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 3. 30歳代 | 5. 50歳代 | 7. 70歳代 | |
| 2. 20歳代 | 4. 40歳代 | 6. 60歳代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問19 主な介護者は、あて名の方と同居していますか。【○は1つだけ】

- | | | |
|-------|-------------|-------------|
| 1. 同居 | 2. 別居（行橋市内） | 3. 別居（行橋市外） |
|-------|-------------|-------------|

問20 ご家族やご親族の中で、あて名の方の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか。（現在の就労状況や勤務形態は問いません）【○はいくつでも】

- | |
|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） |
| 3. 主な介護者が転職した |
| 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 仕事を辞めた家族・親族はいない |
| 6. わからない |

◆ 主な介護者の勤務形態について ◆

問21 主な介護者の現在の勤務形態について教えてください。【〇は1つだけ】

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている（シルバー人材センターへの登録含む）
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

《問21-1、2、3は、問21で「1.」「2.」に回答された方のみお答えください》

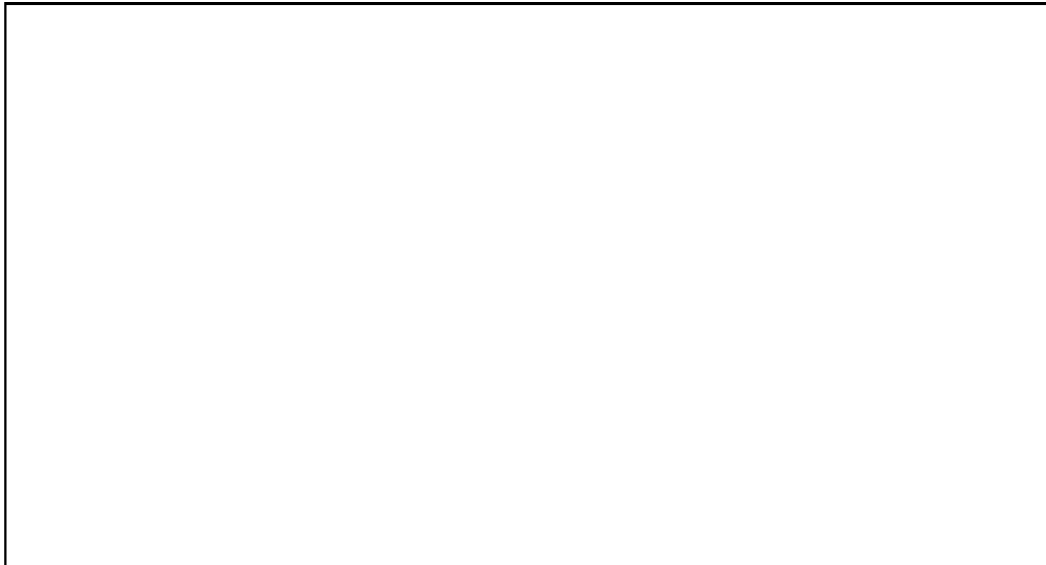
→問21-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしてい
ますか。【〇はいくつでも】

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」
しながら、働いている
3. 介護のために「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、上記2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

→問21-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果
があると思いますか。【〇は3つまで】

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 介護休暇等の制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護している従業員への経済的な支援
9. その他（）
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問26 介護をされているご家族として、市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度に対するご意見など、ご自由にお書きください。



調査は以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください。

3. 施設・居住系サービス利用者用調査票

行橋市 高齢者福祉に関するアンケート調査 (施設・居住系サービス利用者用)

調査ご協力のお願い

日頃から市政に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

行橋市では、令和5年度に「行橋市老人保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。そのため、計画の見直しの基礎資料として、高齢者の健康状態や福祉・介護に対する考え方をおうかがいするためのアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、要介護認定を受けて介護保険施設やグループホーム等の居住系サービスを利用されている市民の方 約600人を対象に行うものです。

ご回答いただきました内容は、統計的な分析等に使用するものであり、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年12月

行橋市長 工藤 政宏

記入にあたってのお願い

- 1 ご本人による回答が困難な場合は、ご本人の立場にたって、ご家族や施設職員等の代理人の方が記入してください。
- 2 回答は令和4年12月1日現在でご回答ください。
- 3 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 4 記入された調査票は、**令和5年1月13日(金)**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください(切手は不要です)。
- 5 この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

行橋市 介護保険課

電話 0930-25-1111 (内線1172)

FAX 0930-26-3017

◆ 回答者について ◆

○調査対象のご本人(宛名の方)の所在

調査対象のご本人(宛名の方)が何らかの事情により不在で回答できない場合には、その理由を下の枠内から選び、回答を終了してください。【○は1つだけ】

- 1. 退所後、在宅で生活している
- 2. 他の施設・病院などに転所・転院
- 3. 死亡
- 4. その他 ()

回答終了です。
同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください。

○調査の回答者

この調査の回答者はどなたですか。【○は1つだけ】

- 1. 本人
- 2. 本人と家族・親族
- 3. 家族・親族のみ
- 4. 本人と施設職員
- 5. 施設職員のみ
- 6. 家族・親族と施設職員
- 7. その他 ()

◆ あなたご自身のことについて ◆

問1 入所されている施設(サービス)の種類は、どれですか。【○は1つだけ】

- | 【介護保険施設】 | 【居住系サービス】 |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 介護老人福祉施設 | 4. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) |
| 2. 介護老人保健施設 | 5. 特定施設入居者生活介護 |
| 3. 介護医療院
(介護療養型医療施設) | 6. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| | 7. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |

問2 あなたの性別を教えてください。【○は1つだけ】

- 1. 男性
- 2. 女性

問3 あなたの年齢を教えてください。【○は1つだけ】

- 1. 40～64歳
- 2. 65～69歳
- 3. 70～74歳
- 4. 75～79歳
- 5. 80～84歳
- 6. 85歳以上

問4 あなたの現在の要介護度を教えてください(あてはまるものに○)。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 |
| 3. 要介護1 | 4. 要介護2 |
| 5. 要介護3 | 6. 要介護4 |
| 7. 要介護5 | |

問5 あなたが現在抱えている怪我、病気はなんですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 9. 認知症 |
| 2. 心臓病 | 10. パーキンソン病 |
| 3. がん(悪性新生物) | 11. 難病(パーキンソン病を除く) |
| 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) | 12. 糖尿病 |
| 5. 腎疾患(透析) | 13. 視覚・聴覚障害 |
| 6. 骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等 | 14. その他() |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 15. なし |
| 8. 変形性関節疾患 | 16. わからない |

問6 現在の施設に入所する前はどなたと暮らしていましたか。(○は1つだけ)

- | |
|------------------|
| 1. ひとり暮らし世帯 |
| 2. 夫婦のみのふたり暮らし世帯 |
| 3. その他 |

◆ 今後の介護希望について ◆

問7 今後、どのように介護してほしいと思いますか。(○は1つだけ)

- | |
|---|
| 1. 自宅で家族だけで介護してほしい |
| 2. 自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい |
| 3. 自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい |
| 4. 現在のグループホーム・特定施設等(居住系サービス)で引き続き生活したい |
| 5. <u>他</u> のグループホーム・特定施設等(居住系サービス)で生活したい |
| 6. 現在の介護保険施設に引き続き入所したい |
| 7. <u>他</u> の介護保険施設に入所したい |
| 8. その他() |

問8 あなたが、在宅で生活するとしたら、どのようなサービスや環境が必要になると思いますか。【〇はいくつでも】

1. 家族（介護者）がいる
2. 24時間、必要ときに介護や医療が受けられる体制が整っている
3. 自宅の居室等が介護に適したつくりになっている（段差がない、手すりがある等）
4. 地域の人からの支援が受けられる（自分や家族に対する見守りや手助け等がある）
5. 自宅以外で安心して生活できる高齢者向けの住まいがある（介護や見守り等が受けられる共同住宅等）
6. その他（）
7. どのような環境が整っても在宅での生活は難しい
⇒（理由：）

◆ 施設等でのサービスについて ◆

問9 あなたは、現在の施設等にどのくらいの期間入所していますか。【〇は1つだけ】

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 3か月未満 | 5. 1年6か月～2年未満 |
| 2. 3～6か月未満 | 6. 2～3年未満 |
| 3. 6か月～1年未満 | 7. 3～5年未満 |
| 4. 1年～1年6か月未満 | 8. 5年以上 |

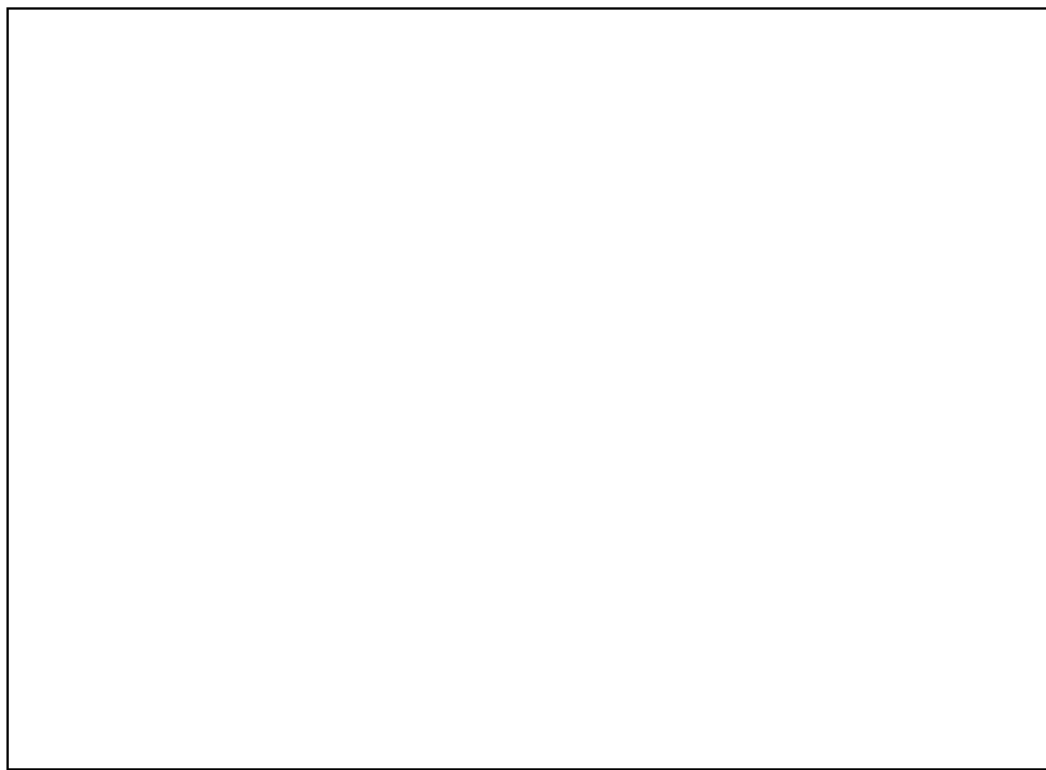
問10 あなたは現在の施設等に入所する前は、どちらにいらっしゃいましたか。【〇は1つだけ】

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 自宅 | 5. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） |
| 2. 介護老人福祉施設 | 6. 有料老人ホーム等 |
| 3. 介護老人保健施設 | 7. 一般の病院 |
| 4. 介護医療院
（介護療養型医療施設） | 8. その他（ ） |

問11 あなたが施設等に入所しているのはなぜですか。【〇はいくつでも】

1. 介護してくれる家族がないから
2. 家族はいるが、十分に介護できないから
3. 常時の介護が必要、または目が離せないから
4. 看護などの医療処置が必要だから
5. 住まいに問題があるから（部屋がない、段差が多いなど介護に不向き）
6. 在宅サービスが不十分だから
7. その他（）

問17 市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度に対するご意見など、ご自由にお書きください。



調査は以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください。

